

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
001	14	11	弥生土器 壺	10	5/2灰黄褐～7.5YR5/4にぶ褐(赤彩)／7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤(赤彩)	18.0?/(2.9)/-	良好	密だが砂粒が多く、砂っぽい	口縁端部が上下に肥厚・拡張され、外面に単節RL、下縁に布を挟んだ棒状工具による刺突文を施す 口縁拡張部以下に赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本 胎土のせいかわ、器面の遺存が良くない
001	14	12	弥生土器 壺	50	5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙～赤彩?	-/(7.4)/-	良好	密	くびれに単節RL・ヘラ描き沈線の文様帯を持ち、以下は赤彩・縦ヘラミガキされる	ナデ→くびれ途中から上側に赤彩のような痕がある	反転復元
001	14	13	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-/(3.4)/-	良好	精緻 砂粒はほとんど目立たない	単節RL・LR→ヘラ描き沈線文様帯以下：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
001	14	14	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-/(1.6)/-	良好	密 ～1mmの砂粒含む 角閃石が目立つ	網目状摺り糸文	ナデ	拓本
001	14	15	弥生土器 甕	5	7.5YR7/6橙／7/4にぶ黄橙	-/(3.4)/-	良好	密	若干磨滅する 輪積みの後にナデするが、輪積痕は残る 口縁端部に上方からの押圧が通る	ナデ	拓本
001	14	16	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-/(3.9)/-	良好	精緻	くびれ下部に段を形成。→布をはさんだ棒状工具による刺突文を縁に巡らせる	密な横ヘラミガキ	拓本
001	14	17	弥生土器 甕	5	5YR5/6明赤褐色／7.5YR5/4にぶ褐	-/(3.7)/-	良好	密 ～1mmの砂粒含む 角閃石が目立つ	くびれ下部に段を形成。→布をはさんだ棒状工具による刺突文を縁に巡らせる	工具ナデ・ナデ→ヘラミガキ	拓本
001	14	18	弥生土器 壺?	100	4/3にぶ黄褐／2/1黒	-/(2.6)/7.0	良好	密 砂っぽい ～1mmの角閃石・雲母?が目立つ	縦工具ナデ→縦ヘラミガキ 底部接地面が剥離する	ナデ・工具ナデ→横ヘラミガキ 遺存範囲はすべて黒変している	
002	16	1	弥生土器 壺	50	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～6/6明黄褐／2.5YR4/6赤褐(赤彩)～6/4にぶ黄橙	-/(7.9)/-	良好	精緻	くびれに単節RL・LRを施し、その上に沈線を描く 文様帯以上：工具ナデ→赤彩・縦ヘラミガキ	横の工具ナデ→上位：赤彩・ヘラミガキ	反転復元
002	16	2	弥生土器 鉢	10	7/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐(赤彩)／2.5Y7/3浅黄～黒斑	16.0?/(3.4)/-	良好 2次の可能性あり	密 砂っぽい ～1mmの角閃石が目立つ	口縁部を薄く板状に肥厚し、外面に単節LRを施す 段以下は赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	拓本 被熱のためか内外面とも赤彩遺存不良
002	16	3	弥生土器 鉢?	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-/(2.9)/-	良好	密 砂粒は目立たない	板状に肥厚し外面に、単節RL・LR、下縁に刻み目を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
002	16	4	弥生土器 鉢	10	7/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐	13.5?/(2.6)/-	良好	密 砂粒は目立たない	口縁部を薄く板状に肥厚し、外面に単節LR・RL・LRを施す 端面は無文	赤彩・密な横ヘラミガキ	拓本
002	16	5	弥生土器 (大口) 壺	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4赤褐にぶ(赤彩)	-/(3.2)/-	良好	密 まれに2mm大のシャモット	くびれに段部を形成し、その外面に単節LR・RL・布目圧痕を伴う斜軸の刺突文が通る	ヨコナデ→赤彩・ヘラミガキ(赤彩遺存不良)	拓本
002	16	6	弥生土器 鉢	10	4/3にぶ黄褐／2.5YR4/3にぶ赤褐(赤彩)	-/(3.2)/-	良好 2次あり	密 1mm以下のテフラ状粒が少量に混じる	単節LR・RL・LR・ヘラ描き沈線	赤彩・ヘラミガキ	拓本
002	16	7	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-/(3.9)/-	良好 破片化後の2次あり	密 ～1mmのバミス状粒目立つ	単節LR・RL・ヘラ描き沈線の順に上から施される 区画以下はヘラミガキ	ナデ	拓本
002	16	8	土師器 壺	5	6/4にぶ黄橙／6/3にぶ黄橙	15.6?/(1.5)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が混じる	口縁部を外面に肥厚する ヨコナデ	ヨコナデ	反転復元
002	16	9	弥生土器 壺	5	5YR5/6明赤褐色～赤彩／2.5YR4/6赤褐(赤彩)	16.0?/(1.8)/-	良好	精緻 砂粒はほとんど目立たない	口縁部を板状に肥厚し、外面やや下寄りに、竹管状工具による円形刺突文(径3mm)を巡らせる 不明瞭ながら赤彩・ヘラミガキ	口縁端部は面を持つように整えられている 赤彩・密な放射状ヘラミガキ	拓本
002	16	10	弥生土器 バレス	10	7/4にぶ黄橙／2.5YR4/8赤褐(赤彩)	21.8?/(2.2)/-	良好	密 非在地的な雰囲気 ～4mmの角礫(石英?)目立つ	頸部：縦ハケメ(7本/cm) 口縁部を肥厚し、外面に羽状列点文(板状工具によるハケメと同一か)を施す	ヨコナデ→板状工具による斜列点文(ハケメと同一工具か?)→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
002	16	11	弥生土器 壺 or 器台	10	5/4にぶ黄褐／4/6褐	13.0?/(2.3)/-	良好	密	口縁部：縦のハケメ(25本/cm)→口縁端部：ヨコナデではっきり作られた端面に、木目を伴う板状工具による斜列点文を施す	ハケメ(口縁端部の列点文の原体に近いピッチ、10本/cm)→ナデ・ヨコナデ	反転復元
002	16	12	土師器 小型鉢	10	4/6褐／4/4褐	7.7?/(2.6)/-	良好	精緻	ヘラケズリ?→ナデ・ヨコナデ→ヘラミガキ	口縁部内面が面取り・拡張される ナデ・ヨコナデ→ヘラミガキ	反転復元
002	16	13	弥生土器 高杯	50	5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～黒変／5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～黒変	13.7?/(6.2)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	横から左上がりのハケメ→赤彩・密なヘラミガキ(つぶしきれていないハケメがこる)	赤彩・密なヘラミガキ	被熱のためか黒変部が多い
002	16	14	弥生土器 直口壺	60	6/6明黄褐～7.5YR4/4褐(赤彩?)／7.5YR4/6褐	9.6?/(5.4)/-	良好 破片化後衝の2次の可能性	精緻 やや砂っぽい	口縁が若干ふくむ 体部：ナデ・口縁部：ヨコナデ→口縁部：やや粗い縦ヘラミガキ、体部：ヘラミガキ	口縁部：横ハケメ(10本/cm)、体部：ナデ→口縁部：ヨコナデ	赤彩か、2次焼成による赤変は不明 反転復元
002	16	15	弥生土器 小型大口壺?	15	5YR3/6暗赤褐／6/4にぶ黄橙	10.0?/(6.6)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・テフラ状 橙色粒が目立つ	ナデ・工具ナデ→赤彩(使用によってか口縁付近は剥落が進む)・主に左上がりのヘラミガキ	外面より剥落が進む 最大径付近以上：横ヘラミガキ(赤彩が伴った可能性あり)、以下：ナデ	反転復元
002	16	16	弥生土器 壺	20	7.5YR4/6／6/4にぶ黄橙	-/(5.1)/-	良好	精緻	ハケメ(10本/cm)(頸部に遺存)→赤彩とそれに伴うやや疎なヘラミガキ	頸部以下：ナデと一部に指紋を伴う指頭圧痕、頸部：赤彩・ヘラミガキ 遺存部が少ないが、屈曲はシャープでない	反転復元
002	16	17	土師器 壺	10	10R4/6赤(赤彩)～黒斑／5/3にぶ黄褐	-/(3.7)/-	良好	密	ナデ→赤彩・密な縦のヘラミガキ	水玉模様状に剥落が進む 粘土紐接合痕が指紋を伴ってよく残る	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
002	16	18	弥生土器 小型器台	90	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	8.0/8.1/9.9	良好	密 ～3mmのシャモットが多く混じる	ハケメ→受け部口縁・裾端部ヨコナデ→脚部中位：3方の円形透孔（径1cm）→密な縦のヘラミガキ	受け部：底面径4cmの範囲が使用時の接触によって剥離している、横ハケメ→ヘラミガキ 脚部：ナデ→透孔以下に横ヘラミガキ	非在地的な器形
002	16	19	弥生土器 高杯	80	黒（黒変部）～5/3にぶ黄褐／黒（黒変部）～4/3にぶ黄褐	-(8.3)/13.6	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmのデフラ状橙色微粒が多く混じる	縦の工具ナデ→縦ヘラミガキ 調整はやや雑	工具ナデ→脚柱付近：縦ヘラミガキ、裾：横ヘラミガキ、いずれもやや疎ら	形は非在地的だがつくりは厚手で在地的被熱のため黒変部が多い 断面一部反転復元
002	16	20	土師器 高杯	25	4/6褐（赤彩?）／4/4褐	-(8.3)/-	良好	密	ハケメ?→円形透孔3方に穿つ・透孔の上に横の沈線→密な縦ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	左向きのヘラケズリ→横ハケメ→ナデ	反転復元 断面の透孔は投影
002	16	21	土師器 高杯	50	5/4にぶ黄褐→黒斑／5/4にぶ黄褐	-(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	密	中位に円形透孔が穿たれる 密な縦ヘラミガキ	ナデ	被熱のためか器壁の遺存不良 反転復元
002	16	22	弥生土器 器台	70	5YR5/6明赤褐色～6/4にぶ黄橙／5/8黄褐	-(5.0)/-	良好	精緻	縦のハケメ（8本／cm）（くびれに部遺存）→ナデ→やや疎なヘラミガキ（単位の間に未調整部が生じている） 3方に円形透孔が穿たれる	ナデ→受け部：ヘラミガキ、脚部：ナデのまま透孔穿孔時のバリ状部をそのまま残す	精製品 断面の透孔は投影
002	16	23	土師器 高杯	25	5YR5/6明赤褐（赤彩）／5YR4/8赤褐	-(2.4)/17.6?	良好	密 まばらに～1mmのシャモット混じる	周方向のハケメ（20本／cm）→裾部：ヨコナデ→やや疎な縦ヘラミガキ	裾端部は弱く面取りされる 周方向のハケメ（20本／cm）→裾部：ヨコナデ	反転復元
002	16	24	土師器 台付甕 or 炬器台	40	5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好 使用による2次の可能性あり	密 ～2mmのデフラ状赤褐色粒が多く混じる	被熱のためか黒ずむ 粗い縦のハケメ	ナデ・ハケメ 若干の赤変	反転復元
002	16	25	脚台	15	4/2灰黄褐／3/3暗褐	-(2.6)/7.9?	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmのシャモットが目立つ	ナデ 接合痕及び指頭圧痕が目立つ	裾部端面が切ったような方頭状を呈する 体部：ナデ	内外面が被熱のためか黒変している 反転復元
002	16	26	土師器 小型器種 裾部	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.0)/10.7?	良好	精緻 まれに～5mmのシャモット混じる	縦のハケメ→ナデ?・縦ヘラミガキ	横ヘラミガキ	反転復元
002	16	27	弥生土器 壺	70	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙～2.5YR5/8明赤褐（赤変部）／2.5YR5/6明赤褐～7.5YR7/6橙	-(22.3)/7.9/胴径29.3	良好 2次の可能性あり	やや粗 ～1mmの砂粒・～3mmのシャモットが多く混じる	体部上位に文様帯がある 文様帯：網目状摺り糸文2段からなる横帯の上に、斜方向の網目状摺り糸文が施され、それを縁取るように斜方向の櫛描文（8本/1.2cm）が充填される 文様構成は一定ではないが、斜方向の櫛描文は右下がりの単位が基本のようである	剥落が著しい	櫛描文が非在地的な要素と言える
002	16	28	弥生土器 高杯	100	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR4/6褐	-(7.3)/16.7	良好 2次の可能性あり	精緻	被熱のためか裾部外周を中心に黒変部がある 脚柱部：3方の円形透孔（径1cm）穿孔→縦の密なヘラミガキ、赤彩は不明	杯部：ヘラミガキ 脚部頂点：ヘラ状工具によるカキトリ（下から見て時計回り）、以下：横のヘラミガキ	非在地的な器形 精製品 胎土が002-11と似る
002	16	29	弥生土器 高杯	60	7.5YR5/4にぶ褐→赤彩?／5YR5/6明赤褐	-(3.2)/20.6?	良好 2次あり	精緻	被熱のためか器面が荒れている 脚柱部は縦、裾付近は横の密なヘラミガキ 円形透孔（径1cm）が脚柱に3方、裾部中位に3方、ほぼ180度の位置で穿たれる	裾の接地箇所と被熱部分が荒れている ヘラミガキ	非在地的な器形 精製品 胎土が002-5と似る
002	17	1	弥生土器 甕	5	2/1黒／3/3暗褐	13.8?/(3.7)/-	良好 使用による2次あり	密	使用により黒変する 縦工具ナデ→ヨコナデ→縦ヘラミガキ	ヨコナデ→横ヘラミガキ	反転復元
002	17	2	土師器 小型甕	15	4/3にぶ黄褐→黒変／4/3にぶ黄褐	10.3?/(4.0)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのシャモット目立つ	体部：ヘラケズリ?（一部砂粒移動）・ハケメ→ナデ、→口縁部：ヨコナデ	体部：屈曲部まで左上がりのヘラケズリ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
002	17	3	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐	16.0?/(2.1)/-	良好	精緻	ヨコナデが施されるが、輪積残の口縁端部には、横から刺突が行われる	ヨコナデ	拓本
002	17	4	弥生土器 甕	5	5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	20.0?/(2.1)/-	良好 使用による2次あり	精緻	口縁外面を薄く肥厚し、段部に布目圧痕を伴う刺突文を巡らせる 口縁端部に端部方向への刺突文が巡る	ヘラミガキ	拓本
002	17	5	土師器 甕	15	4/1褐灰→黒変部／4/6褐～4/2灰黄褐（黒変部）	13.0?/(5.0)/-	良好 破片化後の2次あり	精緻	横～左上がりのハケメ（6本／cm）→口縁部：ヨコナデ 使用によると見られる黒変部がある	口縁部：左上がりのハケメ（6本／cm）・体部：左上がりの工具ナデ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
002	17	6	土師器 甕	20	5/4にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(6.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～3mmのシャモット・砂粒がまばらに混じる	被熱のため黒変する ハケメ（8本／cm）→くびれ：ヨコナデ 屈曲はゆるい	くびれ以下：時計回りのヘラケズリ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
002	17	7	土師器? 甕	30	7.5YR5/3にぶ褐	-(7.5)/-	良好 使用による2次あり	精緻	被熱のため全体的に赤変する 左上がりのハケメ（7本/cm） 底面は外周が若干突出しドーナツ状になる	黒変している 工具ナデ・ナデ	ごく薄手で非在地的 反転復元
002	17	8	弥生土器 甕	5	3/1黒褐（煤）／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.6)/-	良好 使用による2次あり	精緻 精製品の胎土	使用によるものか、黒ずんでいる タタキ状の粗いハケメ（4本／1cm）	外面より明らかに細かいハケメ（13本／1cm）	拓本 かなり薄手の作りなので、非在地品の模倣と見られる
002	17	9	弥生土器 台付甕	100	5/4にぶ黄褐／5/8黄褐	-(4.6)/-	良好 2次の可能性あり	密	ヘラケズリ状縦の工具ナデ	上下から粘土を充填して成形したように見える 体部：ヘラケズリ状の工具ナデ→ヘラミガキ、脚部：ナデ	遺存不良 破断面も磨滅が進んでいる

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
002	17	10	土師器 甕	20	黒（黒変部）～5/3にぶ黄褐／5YR5/4にぶ赤褐	-(11.4)-	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmのシャ モットがまば らに混じる	ハケメ（9本／1cm）	ナデ・工具ナデ→密な横ヘラミガキ	拓本
002	17	11	土師器 甕	20	4/2灰黄褐～黒変部／5/4にぶ黄褐	-(12.3)-	良好 使用による 2次あり	密	ヘラケズリ→上位にハケメ（6本／cm） 中位以上に煤付着	左向きのヘラケズリ→ナデ・ヘラミガキ?（単位不明瞭）	薄手のつくりが特徴的 反転復元
002	17	12	土師器 甕	15	7.5YR4/3褐～5YR4/4にぶ赤褐（赤彩?）／5YR5/4にぶ赤褐	-(12.8)-	良好 2次の可能性あり	密 まばらに～ 2mmのシャ モット混じる	煤が付着する 主に右上がりのハケメ（15本／cm）→やや疎なヘラミガキ	横方向の工具ナデ・ナデ	反転復元
002	17	13	弥生土器 甕	60	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	19.2/(21.2)-	良好 使用による 2次あり	精緻	体部：左上がりの工具ナデ→底部付近：疎らかなヘラミガキ 口唇：外面をヨコナデで面取りし、上下2方向から丸い先端を持つ棒状工具による刺突を密に行う	ナデ・工具ナデ→ヘラミガキ 口縁部・底部付近：密なヘラミガキ	断面一部合成
002	17	14	弥生土器 甕	60	5YR4/6赤褐～7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／3/1黒褐（黒変）～5/4にぶ黄褐	19.2/(16.6)-/ 胴径22.9	良好 使用による 2次あり	精緻 大きい砂粒は 目立たない	頸部の屈曲はゆるい 工具ナデ（頸部・口縁部は縦）→口縁部ヨコナデ・体部ヘラミガキ 被熱のために赤変する	頸部の屈曲には弱い稜が入る 横工具ナデ→ヘラミガキ 底部付近が広く黒変する	くの字口縁を呈する が屈曲は特に外面が 弱い
002	17	15	土師器 甕	20	4/4褐／2/3黒褐	-(2.6)/8.0	良好 使用による 2次あり	精緻	赤変・煤付着 ヘラケズリ→主に横のヘラミガキ	黒変 ヘラケズリ・工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
003	14	19	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	19.7?/(2.2)-	良好	密 ～1mmの橙色 テフラ状粒が 多く混じる	口縁端部外面に粘土紐を追加し、肥厚する 肥厚部端部面：棒状工具の腹による刺突文→沈線状のくぼみ（ナデによる?）→単節RL 以下：赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	反転復元
003	14	20	土師器 小型鉢	90	7.5YR5/4にぶ褐／5YR4/6赤褐	9.5/5.1/3.4	良好 2次の可能性あり	密 大きい砂粒は 目立たないが 砂っぽい	工具ナデ→上位にハケメ（8本／cm）・口縁部ヨコナデ→赤彩の可能性あり 底面から体部下半にかけて黒斑あり	口唇部：ヨコナデで面取り気味になる 赤彩・ヘラミガキ?	被熱のためか、内外 面とも剥落が進む
003	14	21	弥生土器 壺	70	7/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄褐	-(9.5)-	良好	密 大きい砂粒は 目立たない	くびれ下方に結節文RSに上を画された単節縄文帯RL・LR・RLが巡る 文様帯以上は赤彩・縦ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・横ヘラミガキ 赤彩はほとんど遺存しない	反転復元
003	14	22	土師器 甕	20	7.5YR6/6橙／4/1褐灰	-(2.4)/5.8?	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	工具ナデ 被熱で赤変する	炭化物が付着する	反転復元
003	14	23	弥生土器 脚台	20	5/4にぶ黄褐／7.5YR6/6橙	-(3.4)/8.4?	良好	精緻 まばらに～ 3mmのシャ モット混じる	ナデ→やや疎な縦ヘラミガキ	裾付近：横工具ナデ、上位：横ヘラミガキ	反転復元 台付甕か
004	19	1	弥生土器 大型壺	70	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR5/6明赤褐／5YR3/6暗赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	28.2?/(11.8)-	良好	密 ～1mmの橙色 テフラ状粒多 量に混じる	口縁部：粘土紐を追加し肥厚 口縁端部：単節RL→下縁に指頭状の圧痕の工具による刺突文を連続させる 肥厚部以下：赤彩・縦ヘラミガキ	頸部上位以上：赤彩・横ヘラミガキ	胎土に多量に入る橙 色スコリア状粒が特 徴的
004	19	2	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／5YR4/6赤褐（赤彩）	-(2.3)-	良好	密 1mm大のバミ ス状粒が多量 に混じる	口唇に粘土紐を巡らし断面垂直形に肥厚する。口唇外面：単節RL、口唇下縁：布による刺突文、口縁以下：赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
004	19	3	弥生土器 壺	20	7.5YR7/6橙／7/6明黄褐	20.0?/(2.1)-	良好	密 1mm大のバミ ス状粒が多量 に混じる	口唇に粘土紐を巡らし肥厚する。口唇外面：単節LR、口唇下縁：布あるいは縄文原体押圧による刺突文、口縁以下：赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ、剥落が著しい	拓本
004	19	4	弥生土器 鉢	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.4)-	良好	密	単節RL→1.5cmの間隔で2孔（径3mm）が穿たれる	赤彩・ヘラミガキ	拓本
004	19	5	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(4.3)-	良好	密 1mm大のバミ ス状粒が多量 に混じる	単節LR2段以上→下側をヘラ描き沈線で画する 以下：赤彩・ヘラミガキ	剥落	拓本
004	19	6	土師器 小型器台	70	7.5YR5/6明褐／5YR5/6明赤褐	-(6.0)-	良好	密	脚柱部：縦ヘラケズリあるいは縦工具ナデ→縦ヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	横ヘラケズリ→ナデ	断面透孔は投影
004	19	7	弥生土器 甕	15	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	14.6?/(3.3)-	良好	精緻	左上がりのハケメ→口縁部：ヨコナデ 口唇部ははつきりと面取りされる	ハケメ→ヨコナデ 屈曲は緩い	反転復元
004	19	8	弥生土器 甕	15	2/1黒／4/1褐灰	-(5.4)-	良好 使用による 2次あり	密	3段以上の輪積み痕を残す 煤が付着	ナデ・ヘラミガキ 黒変する	拓本
004	19	9	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	24.0?/(1.9)-	良好	密 ～4mmのシャ モットが混じ る	口唇：上下両側に刺突、口縁部：ナデ→横ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	拓本
004	19	10	底部	10	5/4にぶ黄褐／剥落	-(1.9)/11.0?	良好	密 1mm大のバミ ス状粒が目立 つ	ナデ 底面に木葉痕あり	剥落	反転復元 壺の底か
005	22	1	弥生土器 甕	20	6/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄橙	19.6?/(3.9)-	良好	密	ナデ→口唇部：棒状工具による刺突	ヨコナデ	拓本
005	22	2	土師器 甕	20	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.4)/7.2?	良好	密	底部付近：ヘラケズリ、底面：ナデ	ナデ	反転復元
005	22	3	土師器 甕	50	4/2灰黄褐／1.7/1黒	-(2.0)/6.0	良好 使用による 2次あり	密	縦のヘラケズリあるいは工具ナデ→一部にヘラミガキ状の光沢	ヘラミガキ	反転復元
006	14	1	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	18.0?/(4.3)-	良好	密 ～1mmの砂粒 が多く、砂っ ぽい	口縁端部を断面平行四辺形に肥厚→肥厚部側面：単節RL、肥厚部屈曲：縄文原体押圧による刺突文、頸部：単節LR・RL	剥落・磨滅が進むが、赤彩の痕跡有り	拓本
006	14	2	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.0)-	良好	密 ～1mmの淡黄 粒が多く混じ る	単節LR・RL→沈線	ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
006	14	3	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／7/4にぶ黄橙	-(4.2)-	良好	密	単節LRとその下にRS結節文3帯を施す 文様帯以下：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
006	14	4	弥生土器 壺	10	7/6明黄褐～黒斑／6/6明黄褐	-(5.1)-	良好 2次の可能性あり	密	結節文RS2個1対を上下に伴う単節RL・LR、その下に単節LRの充填された沈線による山形文が施される	剥落	拓本
006	14	5	弥生土器 壺	5	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(1.4)-	良好	密	先端に木目を伴うハケメもしくは櫛状工具による羽状の刺突文→赤彩	剥落	拓本
006	14	6	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	-(1.9)-	良好	密	粘土紐接合痕を残す 口唇は上方からの刺突を巡らせる	ヨコナデ	
006	14	7	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.1)-	良好	密	ナデもしくはヘラミガキ→櫛描き波状文	口縁部直下にナデつけの痕がある	拓本
006	14	8	弥生土器 小型甕	10	5/4にぶ黄褐／7.5YR5/6明褐	-(1.7)-	良好	密	表面幅5mmの粘土紐接合痕を残す	ナデ	ミニチュアか
006	14	9	弥生土器 鉢	30	10R4/6赤（赤彩）～2.5Y6/4にぶ黄／同	20.0?/8.8/6.6	良好	精緻 砂粒は皆無	工具ナデ→底面を除いて赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ 口唇部は断面方形で面を持つ	反転復元
006	14	10	弥生土器 甕	10	3/1黒褐／5/3にぶ黄褐	-(5.7)-	良好 使用による2次あり	密	くびれ下部に段を形成→段部に管状工具による刺突を密に施す	密な横ヘラミガキ	反転復元
007	24	1	弥生土器 壺	60	10R3/6暗赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／10R3/6暗赤（赤彩）～7/6明黄褐	10.9/(5.4)-	良好	精緻 角閃石・雲母?などガラス状の微粒が目立つ	口縁部に粘土紐を付加し、肥厚する 肥厚部外面：単節RL、肥厚部下端：棒状工具の押圧による刺突文 以下：赤彩・横ヘラミガキ	口縁より2.5cmの範囲：赤彩・横ヘラミガキ、以下：ナデ	調整は位置をずらした
007	24	2	弥生土器 大型壺	10	5YR5/6明赤褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	28.0?/(3.4)-	良好	密 ～2.5mmのテフラ状橙色粒が多量に混じる	口縁端部：粘土紐を付加し断面三角形に肥厚する 肥厚部外面：単節RL・RLを施し、下端が波状を呈するように刺突文を巡らせる 肥厚部以下：赤彩・縦ヘラミガキ	口縁部：赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	3	弥生土器 壺	20	7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙	17.0?/(2.9)-	良好	密 ～2mmのテフラ状橙色微粒が多量に混じる	口縁部に粘土紐を付加し、肥厚する 肥厚部外面：単節RL、肥厚部下端未調整のまま 肥厚部以下：赤彩（遺存不良）	剥落 赤彩か	拓本
007	24	4	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	-(1.6)-	良好	精緻	口縁端部を粘土紐で肥厚する 肥厚部外面：単節RL、肥厚部外面下端：ヘラ状工具による切り込みのような刺突文	赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	5	弥生土器 壺	5	8/4浅黄橙／7/6明黄褐～赤彩	-(2.0)-	良好	精緻 砂っぽい	口縁端部に粘土紐を付加して肥厚する 肥厚部外面：単節LR・RLと下端に棒状工具の腹を使ったような刺突文を5mmおき程度で施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	6	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	22.0?/(3.3)-	良好	精緻	口縁端部を粘土紐で肥厚する 肥厚部外面：単節RL、肥厚部下端：棒状工具の腹による下からの刺突文を4mmおきに施す 以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	7	弥生土器 壺	10	5/2灰黄褐／7/4にぶ黄橙～赤彩痕	18.0?/(2.0)-	良好	密	口縁端部を肥厚する 肥厚部：外面に単節RL、以下に単節LR	赤彩されるがほとんど剥落する	拓本
007	24	8	弥生土器 壺	15	5YR4/4にぶ赤褐／5YR4/6赤褐（赤彩）	17.0?/(3.2)-	良好	密 ～2.5mmのテフラ状橙色粒が多量に混じる	口唇端面に面を作り、単節RLを施す 口縁外面：単節LR・RL・LR	赤彩・ヘラミガキ 端面まで赤彩が及ぶ	拓本
007	24	9	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	16.0?/(3.8)-	良好	密	口唇端面に面を作り、単節LRを施す 口縁外面：単節RL・LR・RL	剥落が進む 赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	10	弥生土器 鉢	5	4/1褐灰～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	-(2.7)-	良好 2次あり	密 1mm大のテフラ状橙色粒が多量に混じる	口縁端部を肥厚する 肥厚部：外面に単節LR、下端に棒状工具の先端による刺突文を巡らす 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	口唇端部：単節RL 以下：赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	24	11	弥生土器 大型壺	10	5YR5/6明赤褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐	-(4.8)-	良好	密 ～2.5mmのテフラ状橙色粒が多量に混じる	肩部：単節RL・RL・LRの上下を沈線が挟む	肩部：ナデ	拓本 2と同一個体の可能性が高い
007	24	12	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～5YR4/6赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(4.8)-	良好	密 ～1mmのテフラ状橙色粒が多量に混じる	単節RL・LR・RLの上下に沈線が伴う 文様帯の上下は赤彩・ヘラミガキ	剥落が進む ナデ	拓本
007	24	13	弥生土器 壺	10	4/1褐灰／5/2灰黄褐	-(3.5)-	良好 2次の可能性あり	精緻	沈線で山形文を描き、単節LRで充填する 文様外は赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
007	24	14	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.0)-	良好	密 ～1mmの橙色粒を多量に含む	ヘラミガキ 穿孔がある	ナデ 剥落が進む	補修孔あるいは転用品か
007	24	15	弥生土器 壺	5	4/3にぶ黄褐～赤彩痕／6/4にぶ黄橙	-(3.9)-	良好	密 ～1mmの橙色粒を多量に含む	赤彩・ヘラミガキ 穿孔がある	ナデ	補修孔あるいは転用品か
007	24	16	弥生土器 甕	20	6/2灰黄褐～黒（煤）／5/2灰黄褐	-(4.4)-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの橙色粒が目立つ	くびれ部に輪積み痕を残す ナデ	横のナデ	拓本
007	24	17	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～黒（煤）／2.5Y4/1黄灰	-(5.7)-	良好 使用による2次あり	密	くびれ下部に段を形成、そこに布状圧痕を伴う刺突文を施す 他：ナデ	ナデ	拓本
007	24	18	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙	-(3.9)-	良好 使用による2次あり	精緻	くびれ下部に段を形成、その下端に竹管状工具による円形刺突を密に施す 段以下：ナデ	ナデ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
007	24	19	弥生土器 甕	5	黒（煤）～6/4にぶ黄橙／5/2 灰黄褐	-(3.6)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	くびれ下部に段を形成、その下端に 竹管状工具による円形刺突文を巡ら せる 他：ナデ	横ヘラミガキ	拓本
007	25	1	弥生土器 甕	50	7.5YR5/6明褐／5/4にぶ黄褐～ 黒変	-(5.5)/5.1	良好 使用による 2次あり	密 まばらに2mm の砂礫混じる	底部付近が縦、以上が横の工具ナデ	ナデ・工具ナデ	断面一部は反転復元
007	25	2	弥生土器 壺	40	5/4にぶ黄褐／7.5YR6/6橙	-(10.0)/8.1?	良好	密 ～1mmの砂粒 が多く、砂っ ぽい	密なヘラミガキ 水玉状に剥落がある 一部赤変するが赤彩であるかは不明	全面的に剥落が進む	
007	25	3	弥生土器 鉢or広 口壺	70	5/4にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐 （赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐	-(9.0)/4.9	良好 2次あり	密	ナデ→赤彩・横ヘラミガキ	ナデ→赤彩（遺存不良）・ヘラミガ キ 成形時のヒビ修復痕が縦の隆帯とし て残っている	修復痕のところで割 れている
007	25	4	弥生土器 壺	50	7.5YR5/6明褐／5/8黄褐	-(9.4)/7.4	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	胴部に屈曲が見られる 胴部：赤彩・ヘラミガキ（下位は被 熱によるものか、器壁が荒れており不 明）	ナデ・工具ナデ	調整は位置をずらし た
007	25	5	弥生土器 鉢	25	2.5YR4/8赤褐（赤彩）～5/4に ぶ黄褐／2.5YR4/8赤褐（赤 彩）	10.8?/(4.1)/-	良好 2次の可能 性あり	精緻	口縁部：単節RL、以下：赤彩・ヘラ ミガキ、口縁端面：単節RL	赤彩・横ヘラミガキ	全体に黒ずんでいる 反転復元
007	25	6	弥生土器 高杯?	25	7.5YR7/6橙／7.5YR6/6橙	11.0?/(3.6)/-	良好	精緻 磨滅 口縁部が小さく外反する	ヘラミガキ 口縁部内面が面取りされる	反転復元	
007	25	7	弥生土器 甕	25	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.9)/6.0?	良好	やや粗 ～2mmの砂粒 が目立つ	横ヘラケズリもしくは工具ナデ→ヘ ラミガキ	工具ナデ→やや疎なヘラミガキ	反転復元
007	25	8	弥生土器 甕	60	6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐	-(2.3)/6.7	良好 使用による 2次あり	密	ナデ・工具ナデ→ヘラミガキ?	ナデ	
007	25	9	弥生土器 壺	100	2.5Y5/3黄褐／2.5Y3/1黒褐	-(1.9)/4.4	良好	密 テフラ状の橙 色微粒が目立 つ	縦工具ナデ	黒変している 底面：一方向のナデ	
007	25	10	弥生土器 甕	25	2.5Y6/4にぶ黄／2/1黒	-(4.5)/6.8?	良好	密 ～2mmのテフ ラ状褐色微粒 が多量に混じ る	縦工具ナデ	ナデ	反転復元
007	25	11	弥生土器 甕	70	3/1黒褐（煤・黒変部）～ 7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐 ～6/4にぶ黄橙	24.1/(21.8)/- 胴径20.7	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの砂 粒・ガラス質 微粒が目立つ	上半は煤と黒変部が広がり、下半は 赤変部が多い 口縁部：粘土紐接合痕を6段残し、 口唇側方に棒状工具による刺突を巡 らせる 体部：左下がりの工具ナデ→下位ほ ど密なヘラミガキ	工具ナデ・ナデ→ヘラミガキ 上位に横ヘラミガキが多く遺存する （使用によるものか）	底部が小さいプロ ーション 台付か
007	25	12	弥生土器 高杯?	20	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～7/4 にぶ黄橙	22.0?/(8.0)/-	良好	密	口縁端部を平らに肥厚する 肥厚部：単節RLと下端に刺突文、口 唇端面：単節RL 肥厚部以下：単節LR・RL・LR・沈 線の文様帯があり、以下は赤彩・ヘ ラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
007	25	13	弥生土器 鉢	60	6/6明黄褐～2.5YR3/6暗赤褐 （赤彩）／2.5YR5/8明赤褐	21.0/7.8～8.5 ／5.1	良好 2次あり	やや粗 大きい砂粒は 含まないが、 かなり砂っぽ い	口縁部：単節LR・RL・LR・沈線 剥落部が広く、遺存不良	赤彩・密な横ヘラミガキ 剥落が著しい	特徴的な胎土
008	26	1	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤 彩）	16.0?/(2.3)/-	良好	密 微小な雲母粒 が多く全体に 砂っぽい	口縁部：口唇を粘土紐で肥厚し、外 面に単節RL、下端に布・あるいは縄 文原体による刺突文を巡らせる	口縁部：赤彩・ヘラミガキ	拓本
008	26	2	弥生土器 壺	5	4/2灰黄褐／7.5YR4/3褐	-(2.6)/-	良好 2次あり	密	単節LR・結節RS2個1組1帯	ナデ	拓本
008	26	3	弥生土器 複合口 縁壺	10	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/6赤 褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙 ～5YR4/8赤褐（赤彩）	-(3.2)/-	良好	非在地的 密 ～3mmの角礫 が多く混じる	主に縦のヘラミガキ 下端は割れたのではなく剥離した状 態で、複合口縁部の一部であることを を示す 下端には浮文の一部と見られる突起 がある	剥落箇所が多い 斜めヘラミガキ 上位には赤彩が伴う	反転復元
008	26	4	弥生土器 壺	40	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 5/4にぶ黄褐／5YR6/6橙（剥 落部）	-(14.5)/6.9?	良好 2次の可能 性あり	密だが非常に 遺存状態が悪 い 1mm大のテフ ラ状褐色粒を 多く含む	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ（体 部：縦から斜め、頸部：縦、底面に 及ぶ）	器壁がほとんど剥落している 被熱によるものか	反転復元
008	26	5	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙	-(3.3)/-	良好	精緻	単節LR・RL・RL	ナデ	拓本
008	26	6	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤 彩）	-(7.5)/-	良好	密 微小な雲母粒 が多く全体に 砂っぽい	体部：単節RL・LR・RLの横帯の上 に山形構成の単節RLを施し、横の沈 線→山形沈線で囲む 空間には赤彩・ヘラミガキを施す	体部：ナデ・横工具ナデ	拓本 1と同一個体の可能 性が高い
008	26	7	弥生土器 甕	10	2/1黒／7.5YR5/4にぶ褐	17.6?/(3.0)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	煤が付着する ナデらが粘土紐接合痕を一部残す 口唇：口縁方向一方向からの幅広い 棒状工具あるいは指頭による刺突文	横のナデ	反転復元
008	26	8	弥生土器 甕	10	2.5Y5/2暗灰黄～黒（煤）／ 6/4にぶ黄橙	15.8?/(6.0)/-	良好 使用による 2次あり	密	煤が付着する 輪積み痕をナデで整える 口唇：内外からの丸い先端を持つ工 具による刺突文で波状を呈する	横ヘラミガキ	反転復元
009	26	9	弥生土器 小型甕	50	7.5YR6/4にぶ橙／5/4にぶ黄褐	9.0/7.9/4.8	良好	密	くびれ下位に段を形成、そこに径 2mmの竹管状工具による円形刺突文 が巡らされる 口縁部：横ヘラミガキ、体部：剥落 部が多いがヘラミガキと見られる	主に横ヘラミガキ	ミニチュアか 遺存不良で小片が多 い

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
009	26	10	土師器 小型壺	90	5YR5/6明赤褐／5YR5/6明赤褐	9.9/(6.4)/2.1	良好	密 まれに2mmの砂粒混じる	底部付近：ヘラケズリまたは工具ナデ、以上：主に縦のハケメ（10/cm）→やや疎な横ヘラミガキ 底部は小さく、やや凹む	口縁部：左上がりのハケメ（10/cm）→疎らなヘラミガキ、体部：ナデ？、剥落部が多く不明	一部反転復元
009	26	11	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR4/4にぶ赤褐	-(1.6)/-	良好	精緻	口縁部：粘土紐を付加し肥厚する、肥厚部：布状圧痕を伴う棒状工具による刺突文 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	
009	26	12	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5YR5/6明赤褐（赤彩）	-(3.9)/-	良好	密 角閃石・雲母？の反射するガラス質の粒が目立つ 砂っぽい	単節LR・RL	横ヘラミガキ（赤彩が上半に伴う）	拓本
009	26	13	弥生土器 鉢	5	7/6明黄褐～5YR4/6赤褐（赤彩）／7/6明黄褐	-(2.3)/-	良好	密	口縁外面を肥厚する 肥厚部：単節LR、内傾する端面に単節LRを施す	剥落 赤彩？	拓本
009	26	14	弥生土器 大型壺	10	6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.7)/-	良好	密 角閃石・雲母？の反射するガラス質の微粒が目立つ	単節RL・LR・RL→上下に沈線	工具のあたり幅の太い、やや疎な縦ヘラミガキ	拓本
009	26	15	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～黒変／7.5YR6/6橙	-(3.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節LR・RL・LR→上下に沈線	剥落が進む	拓本
009	26	16	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙～5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）／同	-(2.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmのデフラ状橙色粒が多量に混じる	口縁部を肥厚し、外面に単節LRを施す 下端に布状圧痕を伴う棒状工具による、あるいは縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
009	26	17	弥生土器 バレス壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR6/6橙	-(4.4)/-	良好	精緻 砂粒は目立たない ～3mmのデフラ状橙色粒混じる	細かいハケメ（16本/cm）→横の櫛描き直線文（6本/cm）→文様以下：赤彩・ヘラミガキ	横のハケメ（7本/cm）	反転復元 形状が非在地的 東海東部バレス壺模倣
009	26	18	土師器？ 甕	5	7.5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.9)/-	堅緻	精緻	タタキ状の粗いハケメ（6本/cm）	条線の浅いハケメ（6本/cm）	薄手で非在地的なつくり 精製品 拓本
009	26	19	土師器？ 甕	5	6/3にぶ黄橙／8/4浅黄橙	-(3.4)/-	良好	密 非在地か	粗く重複の多いハケメ（5本/cm）	ナデ	胎土が非在地的 拓本
009	26	20	弥生土器 甕	5	3/2黒褐／6/4にぶ黄橙	-(2.8)/-	良好 使用による2次あり	密	体部：横工具ナデ・ナデ 段部を形成、そこに先端が山形にくぼむ工具の押圧による刺突文を密に施す	横工具ナデ 工具痕が並ぶ	拓本
009	26	21	弥生土器 壺	25	2.5YR3/4暗赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(8.4)/- 胴径25.6?	良好	精緻 まれに～3mmのシャモット含む	横工具ナデ→赤彩・縦ヘラミガキ 赤彩はやや遺存不良	横工具ナデ 工具痕が並ぶ	反転復元
009	26	22	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～5YR3/6暗赤褐（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	-(4.2)/-	良好	密	段部を形成、その下端に棒状工具による刺突文を施す 以下：赤彩・横ヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩・横ヘラミガキ	反転復元
009	26	23	弥生土器 甕or広口壺	5	7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	密	段部を形成、下端に木目を伴う丸い先端を持つ工具による刺突文を施す	横ヘラミガキ	拓本
009	26	24	弥生土器 甕	15	5/4にぶ黄褐～黒（煤）／6/4にぶ黄橙	18.4?/(7.0)/-	良好 使用による2次あり	密	煤が付着する 口唇：内面から棒状工具による刺突を加え、波状を呈する	横の工具ナデ・ナデ	反転復元
009	26	25	弥生土器 低脚高杯	40	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	11.4?/(8.1)/-	良好	精緻	全面：赤彩・縦ヘラミガキ 脚部屈曲部：4方向に径12mmの円形透孔を穿つ	杯部：赤彩・縦ヘラミガキ、脚部：シボリ・ナデ 杯部底面は粘土円板を充填し成形	内外面とも水玉状の剥落が多い 一部反転復元
009	26	26	弥生土器 小型壺	70	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／5/2灰黄褐	-(4.5)/4.3	良好	密 まばらに3mmのシャモット混じる	ナデ・工具ナデ（底部直上は横）→主に横ヘラミガキ 底面：平行タタキ状に条痕が残る	ナデ→横ハケメ 接合痕が明瞭	一部反転復元
009	26	27	弥生土器 甕	80	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～黒（炭化物）／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	18.6?/17.4/7.5/ 胴径18.2	良好 使用による2次あり	密	全体に赤変、炭化物付着が認められる 口縁部下端接合痕を段状に残す 口唇：側方→方向からの棒状工具による刺突文を施す 段部：8cmほどの区間だけに布あるいは縄文原体による刺突文を施す 体部：主に右上がりの工具ナデ→下位を中心にして左上がりのヘラミガキ	口縁部：横ヘラミガキ 体部：横工具ナデ→ヘラミガキ（使用による磨滅であり遺存しない）	土圧によるものか、器体が楕円形に歪み裂けている
009	26	28	弥生土器 脚台	20	6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐	-(2.1)/7.5?	良好	精緻	ハケメ？→縦工具ナデ	横の工具ナデ 底部内面が若干折れて広がる	反転復元 破片上面がきれいに剥離している
009	26	29	弥生土器 高杯	65	7.5YR6/6橙／7.5YR7/6橙	12.5/(6.3)/-	良好	密	水玉状の剥落が杯部下面を中心に見られる 密なヘラミガキ→口縁：ヨコナデ	杯部中央が若干凹む 主に横のヘラミガキ→口縁：ヨコナデ 器面の剥落が進む	
009	26	30	土師器 甕	30	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐～黒（黒変部）	-(2.8)/6.6?	良好 使用による2次あり	密	横方向のヘラケズリ	黒変する 工具ナデ・ヘラミガキ	反転復元
009	26	31	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙～5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）／同	-(2.1)/4.0?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmのデフラ状橙色粒が多量に混じる	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本 16と同一個体の可能性が高い
009	26	32	弥生土器？ 甕	20	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.2)/7.5?	良好 使用による2次あり	密	横工具ナデ	破断面外皮が赤変する 工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
009	26	33	弥生土器 壺	60	7.5YR5/6明褐／7.5YR5/6明褐	-(3.7)/6.1	良好	密	やや疎な縦ヘラミガキ 器面とくに底部後は磨減が進む	密なヘラミガキ	反転復元
009	26	34	弥生土器 台付甕	80	5YR4/3にぶ赤褐～黒変部／ 2.5YR4/6赤褐	-(9.6)/-	良好 使用による 2次あり	密	被熱のため赤変・黒変し、器面が水 玉状に剥落する 縦ハケメ→縦ヘラミガキ	体部：ヘラミガキ、脚部：ナデ、接 合部に指頭圧痕が目立つ 全体に剥落が進む	珍しい器形 拓本
010	29	1	弥生土器 パレス 模倣壺	95	6/4にぶ黄橙～2.5Y7/3浅黄～ 10R5/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄 橙～10R5/6赤（赤彩）	22.2/(4.5)/-	良好	非在地？ 精緻 まれに～2mm の角礫が混じ る 反射するガラ ス質・雲母？微 粒がまんべん なく混じり特 徴的	口縁部：ハケメ→口縁端部：板状粘 土で肥厚し、その下部に生じた空隙 に粘土を充填する 内面が若干立ち 上がる受口気味で、外面が三角形の 断面形である 肥厚部外面：条線の浅い縦凹線4条 を施す→無文の棒状浮文3個1組をば ら均等の4方向に配置→棒状浮文を 避けて赤彩 頸部屈曲：凸帯残片が遺存	口縁部に稜を形成 稜以上：やや内湾気味になり、外縁 からヘラ状工具による右傾・左傾・ 右傾の列点文が重畳羽状に施される 稜以下：赤彩が施されるが、ほとん ど剥落している	胎土の色調は在地でもおかしくないが、 反射する微粒の多い ことが特徴的で非在 地の胎土である可能 性がある
010	29	2	弥生土器 パレス 壺	5	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／7/4にぶ黄橙	-(3.2)/-	良好	密	細かいハケメ（10本/5mm）→櫛状 工具による斜列点文・櫛描き直線文 （4本/5mm）→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	ナデ	文様が非在地的 拓本
010	29	3	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(2.7)/-	良好	密	細かいハケメ（11本/5mm）→櫛状 工具（1.6cm幅）の羽状刺突文	ナデ	文様が非在地的 拓本
010	29	4	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～2.5Y7/3浅黄 （赤彩）／2.5Y7/3浅黄	-(3.3)/-	良好	密 やや砂っぽい 反射する微粒 が目立つ	ハケメ（5本/5mm）→斜行列点文→ 櫛描き直線文（9本/2cm）	ナデ	東海東部地域の壺模 倣
010	29	5	弥生土器 S字甕	15	2.5Y5/3黄褐／2.5Y5/3黄褐	12.7/(3.5)/-	良好	密 在地的	体部：縦のハケメ（5本/cm） 口縁部：端部をヨコナデでつまみ出 しS字状に作る→外面にハケメ工具 による列点が認められるが部分的で あり偶然の可能性はある	横のハケメ（7本/cm）	反転復元
010	29	6	弥生土器 S字甕	10	4/4褐／7.5YR5/4にぶ褐	14.4?/(3.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmの砂 粒・褐色粒混 じる	口縁部：不明瞭だが、くの字状に成 形したのち外面を短いくの字状に肥 厚し、ヨコナデすることでS字状口 縁を作っているように見受けられる →下縁にはハケメ工具による斜列点 が施される 頸部：縦のハケメ（5本/cm）	横ハケメ→ヨコナデ	反転復元 3とは別個体
010	29	7	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄褐	12.0?/(2.4)/-	良好	密	ナデ→端面に単筋LR	ナデ	拓本
010	29	8	弥生土器 甕	10	5YR5/6明赤褐～黒変／5/4に ぶ褐	20.2/(3.5)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmのデフ ラ状褐色粒が 大量に混じる	左上がりのハケメ（4本/cm）→ヨコ ナデ（口縁部にハケメの痕跡あり） 口縁端部は丸い	横～左上がりのハケメ	胎土が特徴的 反転復元
010	29	9	弥生土器 甕	10	5YR4/6赤褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.5)/-	良好 使用による 2次あり	密	頸部付近が縦、以下が左上がりのハ ケメ（3本/cm）	横のハケメ→ナデ・ヨコナデ	反転復元
010	29	10	弥生土器 甕	20	7.5YR6/6橙～7/4にぶ黄橙／ 2.5Y6/3にぶ黄	22.8?/(9.9)/-	良好 2次の可能 性あり	密 大きい砂粒は 目立たない 非在地的	体部：横に近いハケメ（8本/cm）→ 頸部以上：左上がりのハケメ→ヨコ ナデ 口縁部は内湾するように作られる	工具ナデ→口縁部：ヨコナデ	反転復元 胎土が非在地的
010	29	11	弥生土器 高杯	10	5YR6/6橙／5YR6/6橙	19.0?/(4.2)/-	良好	精緻	ハケメ→ヘラミガキ（単位不明瞭）	ハケメ→ヘラミガキ	反転復元
010	29	12	弥生土器 高杯・ 鉢	10	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5/3に ぶ黄褐／2.5YR4/4にぶ赤褐 （赤彩?）	12.1?/(3.0)/-	良好	精緻	左上がりのハケメ（6本/cm）→赤 彩・縦ヘラミガキ	口縁端部：ヨコナデで面が作られる ナデ→赤彩?・ヘラミガキ	反転復元
010	29	13	弥生土器 台付甕	30	5/4にぶ黄褐～7.5YR6/6橙～ 3/1黒褐／3/1黒褐～7.5YR6/6 橙	28.6?/(16.1)/- 胴径34.1?	良好 使用と破片 化後の2次 あり	密 ～2mmのデフ ラ状粒が混じ る	左上がりのハケメ（6本/cm）→口縁 部：ヨコナデ 口縁部の屈曲はゆるい 底部付近の破片を見るとハケメが底 部側面に続いており、台付甕である 可能性が考えられる	ナデ→口縁部：ハケメ 屈曲にハケメで稜がつけられる箇所 が多い	反転復元
010	29	14	弥生土器 高杯	10	7.5YR6/8橙／7.5YR6/8橙	-(6.1)/9.8?	良好	精緻だがまば らに～2mmの シャモット状 粒混じる	ハケメ（5本/cm）→円形透孔（径 1.2cm）穿孔→ナデ・ヘラミガキ?	横ハケメ→裾部：ヨコナデ 端面は面取られ平である	反転復元 胎土は在地的
010	29	15	弥生土器 台付甕	10	5/4にぶ黄褐／4/4褐	-(3.4)/8.0?	良好 2次の可能 性あり	密	やや内湾気味 縦のハケメ（5本/cm）→裾端部：ヨ コナデ	ナデ 端部が内面に突出する	反転復元
010	29	16	弥生土器 高杯	20	7.5YR6/6橙～2.5YR3/6暗赤褐 ／7.5YR6/6橙	-(1.9)/-	良好	精緻	径約1cm程度の円形透孔を穿つ 細かいハケメ（8本/5mm）→ナデ→ 赤彩・縦ヘラミガキ	ナデ	反転復元
010	29	17	弥生土器 甕	15	5YR5/6明赤褐～5/3にぶ黄褐 ／7.5YR6/6橙	-(11.6)/- 胴 径30.2?	良好 使用による 2次あり	密	細かいハケメ（13本/cm）	横の工具ナデ	反転復元
010	29	18	弥生土器 脚裾部 （器台?）	40	2/1黒（黒変部）～4/1褐灰／ 2/1黒（黒変部）～7.5YR5/4に ぶ褐	-(2.1)/11.6?	良好 破片化後の 2次あり	密 まれに4mmの 円礫混じる	ナデ・ヨコナデ→縦ハケメ（6本 /cm）	横のハケメ→裾部ヨコナデ	炉器台か 反転復元
010	29	19	弥生土器 高杯	50	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/6明 褐	-(1.5)/16.5	良好	密	主に放射方向のハケメ（6本/cm）→ ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり） 裾端部は若干外反する	剥落部あり 周方向のハケメ→ナデ	
010	29	20	弥生土器 台付甕	20	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(3.6)/-	良好 2次あり	密 ～3mmのデフ ラ状褐色粒が まばらに混じ る	左上がり気味の強い工具ナデ→脚台 部：やや疎な縦ヘラミガキ	横工具ナデ	若干赤変する 反転復元
010	29	21	弥生土器 甕	20	2.5Y5/3黄褐／2.5Y4/1黄灰	-(2.0)/6.0?	良好 使用による 2次あり	密	左上がり～縦のハケメ（5本/cm） 底面：若干反っている	きつい工具ナデ	反転復元
010	30	1	弥生土器 壺	15	5YR5/6明赤褐～10R4/6赤（赤 彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	15.0?/(2.6)/-	良好	密	外反する口縁部を垂滴状に重ねて肥 厚する 肥厚部：単筋RL→LR→縄文原体に よる刺突文 押圧以下：赤彩・横ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
010	30	2	弥生土器 壺	10	5YR5/8明赤褐／7.5YR5/6明褐	19.0?/(2.5)/-	良好	密	口縁部に板状粘土を追加し、拡張する 口縁拡張部：単節LR→棒状浮文（3個1組か 貼付前にヘラで目印を付けている）→下端に縄文原体による刺突を巡らせる	端面に単節LR、内面上部の一部に単節LR、屈曲周辺に結節RS3個1組を施す	拓本
010	30	3	弥生土器 壺	15	5/3にぶ黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	15.0?/(1.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの白色砂粒・反射する微粒が大量に混じる	外反する口縁部を垂直状に肥厚する 肥厚部：単節RL→円形押圧文 押圧以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
010	30	4	弥生土器 壺	10	5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	14.0?/(1.3)/-	良好	密 1mm大の黄灰粒が大量に混じる	外反する口縁部を垂直状に肥厚する 肥厚部端面：単節RLが部分的に施される 側面以下：赤彩・ヘラミガキ	単節LR→赤彩・ヘラミガキ	拓本
010	30	5	弥生土器 甕	10	4/1褐灰～5YR4/6赤褐／4/1褐灰～5YR4/6赤褐	19.0?/(1.7)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのテフラ状褐色粒が混じる	ハケメ?→ナデ・ヘラミガキ 口縁端部に一方向からの刺突が施される	ナデ・ヘラミガキ	反転復元
010	30	6	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.0?/(4.1)/-	良好	密	端面に単節LR・RL両方が隣接して施される 側面：単節LR→RL→LR→RL→LR	赤彩・横ヘラミガキ	拓本
010	30	7	弥生土器 壺	15	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～5YR5/6明赤褐／5YR5/6明赤褐	-(5.4)/-	良好	密 ～1mmの黄橙色パミス状粒が大量に混じる	単節LR→LR→沈線→赤彩・横ヘラミガキ	ナデ	拓本
010	30	8	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	18.0?/(2.8)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・反射粒混じる	口縁部に輪積痕を残し、端部に外方からの円形押圧文を施す	ナデ	拓本
010	30	9	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	22.0?/(3.3)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・反射粒混じる	口縁部に輪積痕を残し、端部に内外面上方から刺突文を施す	ナデ→横ヘラミガキ	拓本
010	30	10	弥生土器 甕	10	5YR5/6明赤褐／5/3にぶ黄褐	-(5.2)/-	良好	密 1mm大のパミス状黄橙粒が大量に混じる	段部に布あるいは縄文原体による刺突文が密に巡らせる	横のヘラミガキ	拓本
010	30	11	弥生土器 壺	10	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐	-(2.3)/-	良好	密	単節LR→結節RS（2個1組）→赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
010	30	12	弥生土器 壺	15	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～8/3浅黄橙／7/3にぶ黄橙	-(10.2)/-	良好 2次の可能性あり	精緻 砂粒は目立たないがテフラ状・シャモット状粒が混じる	ハケメ（6本/cm）→赤彩・ヘラミガキ 器表が荒れており赤彩遺存不良	ハケメ（6本/cm）→ナデ	反転復元 形状と胎土が非在地的 東海東部からの搬入品か?
010	30	13	弥生土器 壺	20	7.5YR6/6橙／7.5YR4/6褐	14.2?/(2.1)/-	良好	密 ～1mmの橙色粒が多く混じる	口縁部：断面長方形に肥厚する→横ハケメ（6本/cm）→ヨコナデ 肥厚部下端はやや丸みを帯びている 頸部：左上がりのハケメ	剥落して不明 ハケメか	反転復元
010	30	14	弥生土器 甕	5	4/2灰黄褐／4/2灰黄褐	18.0?/(2.5)/-	良好 2次あり	密	口縁端部が面取りされる ヨコナデ→主に縦の密なヘラミガキ	ヨコナデ?→密な横のヘラミガキ	精製品の雰囲気 反転復元
010	30	15	弥生土器 甕	20	7.5YR4/6褐／7.5YR3/3暗褐	-(3.2)/5.8	良好 2次あり	精緻	ヘラケズリに近い縦の工具ナデ→ハケメ（10本/cm）→ヘラミガキ	ハケメ→ヘラミガキ	反転復元
011	19	11	土師器 小型鉢	15	10R4/6赤（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐	10.0?/(2.9)/-	良好	精緻	縦のヘラケズリ→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ（8本/5mm）→ヘラミガキ	反転復元
011	19	12	土師器 小型甕・壺	20	5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐（黒斑）／4/1褐灰～5/3にぶ黄褐	8.0?/(2.9)/-	良好	精緻	ハケメ（7本/cm）→ヨコナデ→ヘラミガキ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
011	19	13	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙／5YR4/6赤褐（赤彩）	-(2.6)/-	良好	精緻	受け口状に作った口縁を板状に肥厚する 肥厚部：単節RL→下端に縄文原体あるいは布による押圧文を巡らせる	赤彩・ヘラミガキ	拓本
011	19	14	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	15.0?/(2.7)/-	良好	密	口縁端部に粘土紐を追加肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に指頭圧痕を巡らせる 肥厚部以下は赤彩・ヘラミガキ	ヘラミガキ（赤彩は不明）	拓本
011	19	15	土師器 鉢	15	2/1黒／2/1黒	12.0?/(5.0)/-	良好 2次あり	密	左上がり気味の細かいハケメ（12本/cm）→ヘラミガキ	左上がり気味のハケメ→下位にヘラミガキ	反転復元
011	19	16	土師器 小型壺	60	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～5/3にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	-(4.8)/3.0/胴径6.6	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	ハケメ（5本/5mm）→ナデ→赤彩・ヘラミガキ 被熱のためか赤彩が遺存しない範囲がある	ナデ→赤彩・ヘラミガキ 本来は全面赤彩	器面の剥落が進む
011	19	17	土師器 小型壺	25	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～4/4褐／5YR4/6赤褐	-(3.0)/2.1/胴径7.7	良好 破片化後の2次あり	密	底部が若干くぼむ ナデ・赤彩・ヘラミガキ	横のナデ 赤彩は不明	被熱のためか水玉状の剥落部が多い 外面上位反転復元
011	19	18	土師器 小型甕・壺	10	4/2灰黄褐（黒斑）／4/2灰黄褐（黒斑）～5/4にぶ褐	10.9?/(4.5)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmのシャモット状赤褐色粒・黄褐色パミス状粒若干混じる	ハケメ（14本/cm）→ナデ・ヘラミガキ（赤彩の可能性あり）	口縁部：ハケメ→ナデ、体部：ナデ 口縁屈曲部直下に接合痕が明瞭	反転復元
011	19	19	土師器 壺	10	2.5YR4/6赤褐／2.5YR4/6赤褐	-(3.1)/-	良好	密	左上がりの細かいハケメ（12本/cm）→縦のヘラミガキ	右上がりの細かいハケメ→縦のヘラミガキ	高杯? 反転復元
011	19	20	土師器 高杯	20	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）／2.5YR3/4暗赤褐	-(2.3)/-	良好	密 まれに5mmのシャモット状赤褐色粒混じる	赤彩・縦ヘラミガキ 器面の遺存不良	赤彩・ヘラミガキ 遺存不良	反転復元
011	19	21	弥生土器 鉢	10	5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.2)/-	良好	密 ～1mmの明赤褐色テフラ状粒	脚裾部を肥厚し、外面に無節R網目状文、肥厚部稜に同原体による刺突文が施される	ナデ 端部は平面的に作られる 端部直上には指頭圧痕が目立つ	拓本 混入品

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
011	19	22	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～2.5YR3/4暗赤褐(赤彩)／5/3にぶ黄褐	-(5.1)/-	良好	精緻	頸部胎面・単節LR→RL→結節RS2個1組→文様帯外に赤彩・ヘラミガキ	ナデ→頸部：横ヘラミガキ	拓本 混入品
011	20	1	弥生土器 壺	80	5YR4/4にぶ赤褐(赤彩?)／7.5YR6/6橙～黒斑／7.5YR5/4にぶ褐	-(13.5)/5.9/胴径15.4	良好 2次の可能性あり	密 大きい砂粒はほとんどない	工具ナデ→縦ヘラミガキ(赤彩は不明瞭で判らない)	剥落が進んでいる	底部の作りと胎土の雰囲気は弥生土器に近い
011	20	2	弥生土器 甕(転用甕?)	30	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	-(8.5)/-/胴径20.0?	良好	密 ～5mmのシャモット状暗赤褐色粒混じる	左上がりのヘラミガキ状の工具ナデ下側破断面が磨減しており転用甕である可能性を示す	ヘラミガキもしくは工具ナデ	反転復元
011	20	3	土師器 小型土器	25	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.7)/-/胴径9.2?	良好 2次あり	精緻	細かいハケメ(10本/cm)→ヘラミガキ	シボリ痕あり ナデ・ヘラミガキ	反転復元
011	20	4	土師器 壺	25	5/4にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(1.7)/6.5	良好	精緻 微小反射粒が目立つ	ヘラミガキ	放射状のハケメ(13本/cm)	反転復元
011	20	5	土師器 甕	15	5YR4/4にぶ赤褐～4/2灰黄褐／5YR3/6暗赤褐～4/2灰黄褐	-(6.0)/-	良好 使用・破片化後の2次あり	密 砂っぽい	ハケメ(5本/cm)→一部ヘラミガキ	ナデ	剥落が目立つ 拓本
012	20	6	弥生土器 壺	10	2.5YR4/6赤褐(赤彩)／2.5YR4/6赤褐(赤彩)	12.5?/(1.6)/-	良好	密 まばらに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する ヨコナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
012	20	7	弥生土器 壺	10	10R4/6赤(赤彩)／10R3/6赤(赤彩)	14.7?/(4.2)/-	良好	密	直線的に開く口縁を肥厚する 肥厚部下端は真っ直ぐではなく若干蛇行気味で、下側のナデつけはそれほどきつくない 赤彩・ヘラミガキ	ハケメ?→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
012	20	8	弥生土器 高杯	10	10R4/6赤(赤彩)～2/1黒(黒変)／10R4/6赤(赤彩)	17.0?/(4.6)/-	良好 2次あり	密	ハケメ(6本/cm)→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→赤彩・ヘラミガキ	2次焼成のためか黒変部がある 反転復元
012	20	9	弥生土器 壺	10	2.5YR4/8赤褐(赤彩)／10R3/6暗赤(赤彩)	21.0?/(1.8)/-	良好	精緻	外反する口縁を肥厚する 肥厚部には少し指頭圧痕が残るがそのほかは無文 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
012	20	10	土師器 大型壺	20	2.5YR3/4暗赤褐(赤彩)／2.5YR4/6赤褐(赤彩)	-(6.3)/-	良好 破片化後の2次あり	やや粗～1mmの白色・透明砂粒と白色バミス状粒が大量に混じる	外反する口縁に幅広く粘土を追加、肥厚し拡張する 頸部：縦の工具ナデ→拡張部：板状工具による刺突文→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	口径は30cm近く 反転復元 混入品
012	20	11	弥生土器 壺	20	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	10.2?/(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～3mmのシャモット状赤褐色粒がまばらに混じる	やや疎らな縦のヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
012	20	12	弥生土器 壺	15	5YR5/6明赤褐(赤彩部あり)／10R4/6赤(赤彩)	24.0?/(3.2)/-	良好	密 ～2mmの黄灰色バミス状粒・橙色デフラ状粒が大量に混じる	外反する口縁を断面垂直状に拡張しさらに肥厚する 単節LR→RL→肥厚部下端に刺突文→棒状浮文(2個以上1組)	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
012	20	13	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙／2.5YR5/4にぶ赤褐(赤彩)	24.0?/(1.7)/-	良好	密 ～2mmのシャモット状赤褐色粒がまばらに混じる	口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：単節RL→棒状工具の腹を使った刺突文を巡らせる	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
012	20	14	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～4/4褐／10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄橙	20.0?/(1.6)/-	良好	密 ～1mmのデフラ・バミス状粒が多く混じる	内弯気味の口縁を輪積み甕のように肥厚する 端面に単節LR、側面上縁に棒状工具による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
012	20	15	弥生土器 壺	10	10R4/6赤(赤彩)／7.5YR6/4にぶ橙～赤彩	15.0?/(2.4)/-	良好	密 ～1mmの黄橙色バミス状粒が大量に混じる	内弯気味に広がる口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部下端にハケメ工具状工具の斜め刺突文を施す ハケメ?・工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	拓本
012	20	16	弥生土器 壺	10	5YR5/4にぶ褐／2.5YR4/6赤褐(赤彩)	18.0?/(2.0)/-	良好	精緻	外反気味の口縁に板状部を追加する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節LR・RL→拡張部下縁に縄文原体あるいは布による刺突文	肥厚部の屈曲に竹管状工具による円形刺突文をめぐるせる 赤彩・ヘラミガキ	拓本
012	20	17	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)	15.0?/(2.6)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	端面に単節LR、側面に単節RL→LR	水玉状に大きく剥落する 赤彩・ヘラミガキ	拓本
012	20	18	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙／7/6明黄褐～2.5YR5/6明赤褐(赤彩)	15.0?/(3.8)/-	良好	密	端面に単節RL、側面に単節LR→RL→LR	赤彩・ヘラミガキ 剥落が著しい	拓本
012	20	19	弥生土器 広口壺	5	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙～10R4/6赤(赤彩)	20.0?/(3.0)/-	良好	精緻	短く外反する口縁を断面三角形に肥厚する 肥厚部：下縁に縄文原体押圧による刺突文→肥厚部側面に単節RL、頸部に単節RLを施す	ヨコナデ・赤彩・ヘラミガキ	拓本
012	20	20	弥生土器 壺	10	5YR6/8橙／7.5YR6/6橙～2.5YR4/6赤褐	-(1.8)/-	良好	精緻	屈曲直下：櫛描き直線文(6本/cm)	ナデ→頸部：赤彩	反転復元
012	20	21	弥生土器 櫛描文壺	15	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ褐	-(4.8)/-	良好	密	細かいハケメ→櫛描き直線文(10本/1.6cm)	ハケメ(7本/cm)→一部に細かいハケメ(21本/cm)	反転復元
012	20	22	弥生土器 壺	20	2.5YR5/6明赤褐(赤彩)～7/6明黄褐／6/4にぶ黄橙	-(5.7)/-	良好	密 まばらに～5mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	単節LR→結節RS・RZ1組→文様帯間に赤彩・ヘラミガキ	ナデ	肩の張ったプローション 拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
012	20	23	弥生土器 広口壺	10	6/4にぶ黄橙／7.5YR4/4（赤彩部あり）	-(2.7)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒が大量に混じる	くびれ部下端を段として残し、単節RL・結節RSを施し、棒状工具による刺突文を巡らせる	剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	拓本
012	20	24	弥生土器 パレス壺	5	7/4にぶ黄橙7/4にぶ黄橙	-(2.4)/-	良好	密 在地的	左下がりの斜列点文→櫛描き直線文→右下がりの斜列点文	細かいハケメもしくはナデ	
012	20	25	弥生土器 パレス壺?	5	5/4にぶ黄褐～4/1褐灰（黒変）／7.5YR6/6橙	-(3.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	細かいハケメ（7本/5mm）→板状工具の刺突による列点文→赤彩?・ヘラミガキ	剥落が著しい	
012	20	26	弥生土器 壺	10	5YR6/6橙～黒斑／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～4mmのシャモットが混じる 非在地的?	ハケメ→ヘラミガキ?→櫛描き波状文（波高が低く工具を寝かせ気味：8本/cm以上）	横のハケメ（7本/cm）	拓本 東海以西模倣品
012	20	27	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～黒斑／7/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好	密 まばらに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	単節LR→RL→LR→結節RS	ナデ	拓本
012	20	28	弥生土器 甕	15	5YR5/6にぶ赤褐／5YR4/6赤褐～5/4にぶ黄褐	14.6?/(2.7)/-	良好 使用による2次あり	密 砂粒は目立たない	口縁部外面を粘土紐で肥厚する技法が弥生時代的 縦のハケメ（5本/cm）→ヨコナデ	横のハケメ→ヨコナデ	反転復元
012	20	29	弥生土器 甕	10	8/2灰白／8/3浅黄橙	22.0?/(6.6)/-	良好	精緻 大きい砂粒は目立たない	器表の磨減が進む ハケメ（6本/cm）→ヨコナデ	口縁部：横のハケメ→ヨコナデ、体部：ナデ	内外面とも屈曲は弱く明確な稜はない 反転復元
012	20	30	弥生土器 甕	10	2.5Y6/2灰黄～黒変部／7/4にぶ黄橙～黒変部	16.2?/(4.2)/-	良好 使用による2次あり	精緻 砂粒は目立たない 非在地的	ハケメ（4本/cm）→口縁部：ヨコナデ、口唇直下がすこし凹む 頸部屈曲はゆるい	ハケメ→ヨコナデ 屈曲は明瞭	反転復元 非在地的な胎土
012	20	31	弥生土器 壺?	10	5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(2.9)/-	良好	精緻	体部：タタキ状の粗いハケメ（6本/cm）	ナデ	反転復元 非在地的な形状を模倣したものか
012	20	32	弥生土器 甕	20	4/3にぶ黄褐／3/4暗褐	-(5.2)/-	良好 2次あり	密 ～2mmの褐色シャモット状粒がまばらに混じる	頸部：粘土紐の積み上げを輪積裏と同様に行ったように見受けられる ハケメ（6本/cm）	ハケメ→ナデ・ヨコナデ 頸部屈曲は弱い	反転復元
012	21	1	弥生土器 甕	30	5/4にぶ黄褐／6/6明黄褐	-(13.4)/-/胴径24.0?	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの橙色テフラ状粒が目立つ	くびれ部下端を段として残し、その稜に棒状工具による刺突文を巡らせる 胴部下半が赤変する	一部が黒変する 左上がりの工具ナデ→上位：横のヘラミガキ	反転復元
012	21	2	弥生土器 甕	20	3/1黒褐～4/2灰黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(11.2)/-/胴径19.4?	良好 使用による2次あり	密	頸部に粘土紐の接合痕を残す 体部：ナデ→一部ヘラミガキ 最大径付近に帯状に煤炭灰化物が付着し、全体が黒変している	ナデ→ヘラミガキ 下位に剥落箇所が多い	反転復元
012	21	3	弥生土器 高杯	80	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／10R4/6赤（杯部赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	13.6/11.2/9.0?	良好	精緻	杯部：ハケメ（15本/cm）→ナデ・ヨコナデ→赤彩・縦ヘラミガキ 脚部：ハケメ（15本/cm）→裾部：ヨコナデ→赤彩・縦ヘラミガキ ヨコナデ→ばば均等の3方に円形透孔（径8mm）→赤彩・縦ヘラミガキ	杯部：ハケメ（15本/cm）→ナデ・ヨコナデ→赤彩・縦ヘラミガキ 脚部：ハケメ?→ヨコナデ	脚柱部が中実で特徴的
012	21	4	弥生土器 高杯	80	5YR6/6橙／5YR6/6橙	10.9/(4.0)/-	良好 2次の可能性あり	ごく精緻 雲母状の放射微粒が目立つ	緩く内湾する形の杯部 脚柱との接合部寄りにゆるく段がある ごく狭い幅の先端を持つ工具による緻密なヘラミガキによって器面が光沢を放つ 煤状の炭灰化物が付着する 水玉状の剥落が認められる	口縁端部が面取り気味にヨコナデされ若干内傾する 放射状のごく緻密なヘラミガキ	非在地的な形状
012	21	5	弥生土器 高杯	60	2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR5/1褐灰（杯部）・7.5YR6/4にぶ橙（脚部）	-(4.3)/-	良好	精緻	赤彩・縦の密なヘラミガキ	杯部：ヘラミガキ 脚部：ナデ	非在地的な形状
012	21	6	弥生土器 高杯	80	5/3にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐（杯部）・6/4にぶ黄橙（脚部）	-(3.0)/-	良好	密 ～1mmのテフラ状にぶ黄橙粒が目立つ	赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	非在地的な形状
012	21	7	弥生土器 高杯	30	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	-(2.7)/-	良好	密 ～2mmの褐色シャモット状粒	器面が磨減しているため調整不明瞭 ハケメ?→ヘラミガキ?	ヘラミガキ?	反転復元
012	21	8	弥生土器 高杯	90	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／4/2灰黄褐～7/4にぶ黄橙	-(5.2)/-	良好	密	杯部底面は脚柱部の筒状部を上から充填して作られている 脚柱には4方向に均等配置された円形透孔が2段、45度ずらして穿たれている 縦のヘラミガキ	杯部：ヘラミガキ 脚部：ハケメ→ナデ	非在地的な形状
012	21	9	弥生土器 高杯	20	7/4にぶ黄橙～5YR6/6橙（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(1.8)/-	良好	密 やや白っぽく 非在地的な雰囲気	赤彩・ヘラミガキ	赤彩?・ヘラミガキ	非在地的な形状と胎土 反転復元
012	21	10	弥生土器 高杯	30	7.5YR5/6明褐／2.5Y4/2暗灰黄	-(2.9)/18.0?	良好 2次の可能性あり	密	ナデ→ヘラミガキ（赤彩は不明） 器面が全体的に荒れている	細かいハケメ（14本/cm）→ナデ	反転復元 非在地的な形状
012	21	11	土師器? 壺	60	2.5YR4/6赤褐～黒変部／5/4にぶ黄褐	-(3.2)/3.9	良好	精緻	底面がごく弱く反り上がる 体部：赤彩・縦のヘラミガキ	ナデ	
012	21	12	弥生土器 台付甕	25	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.5)/-/接合部径6.4	良好	精緻	工具ナデ→一部ヘラミガキ	体部：ヘラミガキ 脚部：ナデ	反転復元 破断面に焼土が付着
012	21	13	土師器 甕	50	6/4にぶ黄橙／2/1黒	-(2.1)/6.9	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの黄橙色バミス状粒が多く混じる	底面を除きヘラミガキ（主に縦）	工具ナデ→ヘラミガキ	
012	21	14	弥生土器 大型壺	25	2.5Y5/3黄褐～黒斑／8/4浅黄橙	-(5.7)/8.9?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの淡黄粒多量に混じる	縦ヘラミガキ 底部稜：ヘラ状工具のキズ痕	剥落が進み遺存不良	

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
012	21	15	弥生土器 大型壺	20	7.5YR3/3暗褐（赤彩）～7.5YR4/3褐／5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR4/4にぶ赤褐	頸部径：15.4? 底径：18.0? 胴径：70以上か	やや不良	やや粗 ～2mmの黄灰パミス状粒が大量に混じる	器面の剥落が著しい 文様はなく全面が赤彩・ヘラミガキされる 頸部のヘラミガキは非常に緻密である	口縁部から頸部内面：赤彩・ヘラミガキ 一部の破片に赤彩されたものがあるので胴部内面も赤彩された可能性がある	全体像は不明ながらかなり大型の壺である
012	21	16	土師器 壺	40	10R4/8赤（赤彩）～2.5Y5/3黄褐／6/4にぶ黄橙～黒斑	-(2.5)/4.4	良好	精緻だがまばらに～5mmのシャモット状粒混じる	底面は平ら 体部：細かいハケメ?→赤彩（遺存不良）・縦ヘラミガキ	ナデ	反転復元
012	21	17	弥生土器 広口壺・鉢	25	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）～黒斑／10R3/4暗赤（赤彩）	-(2.0)/8.0?	良好	密 ～2mmの砂粒・白色パミス状粒・褐色テフラ状粒が大量に混じる	底面が若干反り上がっている 工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ（底面にもヘラミガキは及ぶ）	底面はやや凹凸を持つ ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
012	21	18	弥生土器 壺	25	7/4にぶ黄橙～10R5/6赤（赤彩）／6/3にぶ黄橙	-(3.1)/8.3?	良好	精緻 白っぽく非在地的	細かいハケメ（14本/cm）→ナデ→赤彩・ヘラミガキ	粗いハケメ（6本/cm）→ヘラミガキ（ハケメは消えきっていない）	反転復元 非在地的胎土 内外面でハケメが異なる
013	32	1	弥生土器 壺	5	7.5YR7/6橙～5YR4/6赤褐／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙	12.0?/(1.7)/-	良好	精緻	外反する口縁を垂滴状に肥厚する 肥厚部：単節LR→下端に縄文原体押圧による刺突文 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
013	32	2	弥生土器 大型壺	5	7/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐（赤彩）／2.5Y7/4浅黄	-(4.4)/-	良好	密	山形文（単節RL・LR→沈線）一文様外：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	遺存不良 拓本
013	32	3	弥生土器 鉢・鉢	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐	22.0?/(3.1)/-	良好	精緻	内湾する口縁を断面低三角形あるいは垂滴状に肥厚する 肥厚部：単節LR→下端に縄文原体押圧による刺突文を密に巡らせる	赤彩・ヘラミガキ	拓本
013	32	4	弥生土器 甕	10	7.5YR5/3にぶ褐／7.5YR6/6橙	-(3.0)/-	良好 使用による2次あり	密	ナデが行われているが輪積み痕が残る 黒変	ヨコナデ	拓本
013	32	5	弥生土器 甕	10	4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～黒変部	-(3.2)/-	良好 使用による2次あり	密	口縁を端部近くで外に屈曲させる ナデ→端面に対して刺突を加える	ナデ→横のヘラミガキ	拓本
013	32	6	弥生土器 甕	5	3/1黒褐／6/6明黄褐	-(3.1)/-	良好 使用による2次あり	精緻	輪積み痕を残し、下端を段部にする 工具ナデ	ナデ→ヘラミガキ	拓本
013	32	7	弥生土器 壺	25	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐～2.5Y5/3黄褐	-(3.2)/7.0?	良好 2次の可能性あり	密	底部付近：縦の工具ナデ→体部：赤彩（遺存不良）・縦のヘラミガキ	被熱のため大きく剥落している 横のヘラミガキ	反転復元
013	32	8	弥生土器 大型壺	100	2.5Y7/2灰黄～6/4にぶ黄橙／2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y7/4浅黄	-(2.2)/7.2	良好 強い2次あり	やや粗 ～1mmの砂粒が大量に混じる	器面が荒れており調整不明瞭 工具ナデか	調整不明瞭 ナデか	かなり胴の張る器形が推定できる
013	32	9	弥生土器 甕	30	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐／6/3にぶ黄橙～3/1黒褐	-(2.4)/7.4	良好 使用による2次あり	密	工具ナデもしくはヘラミガキ 赤変	ナデ	反転復元
014	32	10	弥生土器 壺	75	7/4にぶ黄橙～4/1褐灰／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰	8.8/(7.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～4mmのシャモット多く混じる	ナデ・口縁部：ヨコナデ→縦ハケメ（6本/cm）→一部：縦工具ナデ	体部：ナデ・工具ナデ→口縁部：横ハケメ	
014	32	11	弥生土器 高杯・台付鉢	75	橙褐～灰褐／橙褐～灰褐	15.0?/(7.0)/-	良好	密 砂粒が多い	内湾する杯部に大きく開く口縁部を追加し、接合部を段として残す ハケメ→ナデ 脚部が欠損する	屈曲部にハケメが残る	遺物所在不明
014	32	12	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～5YR4/6赤褐（赤彩）／5YR4/6赤褐（赤彩）	14.0?/(3.2)/-	良好	密	外反する口縁部を断面長方形気味の粘土紐で肥厚する 肥厚部：無文だが指頭圧痕あり 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
014	32	13	弥生土器 壺	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(12.6)/- 頸部径9.1?	良好	密	頸部文様帯：単節RL→LR→RL→上下に沈線→文様外を赤彩・ヘラミガキ	約1cm幅の接合痕が目立つ ナデ→頸部：赤彩・横ヘラミガキ	反転復元 混入品
014	32	14	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.1)/-	良好	密	山形文状の構成で、単節LRと沈線が施される	ナデ	拓本
014	32	15	弥生土器 S字状口縁台付甕	口縁：100 体部：25	3/1黒褐（煤・黒変部）～5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐～3/1黒褐（黒変）	13.2/(5.3・9.8)/ 胴径16.8?	良好 使用と破片化後の2次あり	精緻 大きい砂粒は目立たない ～1mmの橙色テフラ状粒が混じる	使用と破片化後の2次焼成により大部分が黒ずんでいる 口縁部：頸部の屈曲はく字だが鋭角ではない、1次口縁と2次口縁のあいだは明瞭に稜をなす、口唇部はヨコナデで2mm程度つまみ出される 体部：縦ハケメ（6本/cm）→肩部に横ハケメ	口縁部：横ハケメ→ヨコナデ 屈曲部には横ハケメが遺存気味である 屈曲部下：横のナデ、接合痕が残る 指頭圧痕が目立つ	体部反転復元 形状は東海東部地域的だが胎土は在地のように見受けられる 胎土分析試料
014	32	16	弥生土器 甕・鉢	20	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	12.6?/(2.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのテフラ状褐色粒が混じる	く字状の口縁を平らに肥厚し、下端接合部をそのままにする 左上がりのハケメ（5本/5mm）→ナデ・ヨコナデ	ハケメ→ナデ・ヨコナデ 屈曲部にはハケメが残る	反転復元
014	32	17	土師器 小型土器	40	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(2.9)/3.0?	良好	密	ハケメ（4本/5mm）→ナデ→ヘラミガキ?	工具ナデ	反転復元
014	32	18	土師器 小型土器	25	6/4にぶ黄橙／4/1褐灰	-(2.4)/3.2	良好	精緻	ヘラズリもしくは工具ナデ→ヘラミガキ?	工具ナデがクモの巣状に施されている	反転復元
014	32	19	弥生土器 甕	100	6/6明黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5Y4/2暗灰黄	-(2.2)/5.0	良好	密 ～1mmの橙色粒が大量に混じる	ナデ・工具ナデ	黒変 ヘラミガキ 底面が若干反る	
014	32	20	土師器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/6明赤褐／7.5YR6/6橙	-(4.7)/-	良好 2次あり	密 ～2mmの褐色シャモット状粒がまばらに混じる	ハケメ（5本/cm） 使用のためやや黒ずんでいる	ハケメ（7本/cm）	内外面で工具の違う可能性がある 拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
014	32	21	弥生土器 S字 甕?	25	4/2灰黄褐(黒変部) ～6/3に ぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～黒変部	-(4.3)-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの橙色 テフラ状粒混 じる 白っぽく非在 地的	縦から左上がりのハケメ(7本/cm) 使用による被熱のためか煤状炭化物 が付着し黒変する	横の工具ナデ	反転復元 器壁がごく薄く胎土 も非在地的 搬入品か
014	32	22	弥生土器 甕	50	7/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 7.5YR4/3褐～黒(炭化物・黒 変)	-(3.4)/8.0	良好 使用による 2次あり	密 非在地的	ヘラケズリ状の工具ナデ 底面：木葉圧痕	炭化物が一部立体的に付着する ヘラミガキ? 被熱による剥落が広がる	反転復元 胎土と底部断面形が 非在地的
014	32	23	弥生土器 甕	70	6/6明黄褐～2.5Y7/3浅黄～黒 (煤)・赤変／2.5Y5/2暗灰黄 ～2.5Y4/1黄灰	16.2/18.6/5.3	良好 使用による 2次あり	やや粗 砂粒が多く混 じる	下位3分の1以下に赤変、以上に煤付 着が認められる 体部：左上がり～横のハケメ(条線 内に擦痕がありタタキではない：4 本/cm)、口縁部：左上がり～縦の ハケメ→口縁部：ヨコナデで、口唇 外面がごく弱く面取り気味になる 底面：木葉圧痕	口縁部：横ハケメ→ヨコナデ 体部：ナデ	タタキではない 非常に薄手の作りで 形状も非在地的 庄内式模倣
014	32	24	弥生土器 台付甕	95	橙褐～暗褐～黒／不明	10.4/(17.7)/8.5 /胴径13.7	良好 2次の可能 性あり	不明	口縁部は明瞭に屈曲を保ち、端部は 丸くおさめられる ハケメ→ナデ・ヨコナデ	頸部屈曲は明瞭 ハケメ→ナデ	遺物所在不明
014	32	25	弥生土器 小型器 台	100	10R4/6赤(赤彩) ～7/4にぶ黄 橙／7.5YR5/4にぶ褐～10R4/6 赤(赤彩)	7.8/13.4/11.2	良好	精緻	粗い縦ハケメ(5本/cm)→ナデ、端 部・裾部ヨコナデ→円形透孔(径 1cm)3方向に穿つ→赤彩・ヘラミ ガキ	受け部内面：横ハケメ→ナデ・ヨコ ナデ→赤彩・ヘラミガキ 脚部：横ハケメ→	受け部が脚部と分か れた状態で出土
014	32	26	弥生土器 鉢	75	7.5YR4/2灰褐／7.5YR4/3褐～ 7.5YR4/2灰褐	9.3/7.9/4.3	良好 2次の可能 性あり	密	左上がりのハケメ(6本/cm)→口縁 部と底部付近：ヨコナデ	口縁部：横ハケメ→ヨコナデ 体部：ナデ・工具ナデ(工具痕)→ ヘラミガキ?	内面調整は合成 被熱のためか全体的 に黒い
014	33	1	弥生土器 高杯	20	7/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／ 7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	18.2?/(5.1・ 4.8)/10.3?	良好	精緻 まばらに～ 5mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る 在地的	杯部・脚部ともゆるく内湾する 杯部：ナデ・ヨコナデ→縦のヘラミ ガキ→一部に横の擦痕 脚部：ナデ・ヨコナデ→円形透孔 (径約1cm)を3方向に穿つ→ヘラ ミガキ(脚柱が縦、裾近くが横)→ 一部に横の擦痕	杯部：横のハケメ(7本/cm)→縦の ヘラミガキ 脚部：ナデ 爪の跡が明瞭にのこっている	非在地的な形状 反転復元
014	33	2	弥生土器 高杯	100	5YR4/6赤褐(赤彩)／ 2.5YR4/6赤褐(赤彩)～6/4に ぶ黄橙	-(2.0)-	良好	精緻	杯部の底面に稜がある 赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	非在地的な形状
014	33	3	弥生土器 高杯	25	2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～ 黒斑／2.5YR4/4にぶ赤褐(赤 彩)～黒斑	23.2?/(4.8) 1-	良好	密 やや砂っぽい	杯部：放射方向のハケメ(6本/cm) →口縁端部：ヨコナデ(若干凹む) →赤彩・ヘラミガキ(ハケメがかな り遺存する)	杯部：横ハケメ→口縁端部：ヨコナ デでせまく面取りされる→赤彩・ヘ ラミガキ	反転復元
014	33	4	弥生土器 高杯	15	7.5YR5/4にぶ褐～5/4にぶ黄褐 ／4/4褐	-(4.7)-	良好	密	脚柱部上端を巻くように杯部が形成 される 縦の工具ナデ→円形透孔(径約 1.2cm)→縦のヘラミガキ	上面は剥離痕で杯部底面ではない ヘラケズリ→ナデ	反転復元
014	33	5	弥生土器 高杯	15	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(3.3)/10.6?	良好	密 まばらに～5mm のシャモット 状赤褐色粒混 じる	細かい縦のハケメ(10本/5mm)→ ナデ→赤彩(不明瞭)・ヘラミガキ	ナデ・ヘラミガキヨコナデ	反転復元
014	33	6	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 5/4にぶ黄褐	-(3.1)/6.4?	良好	精緻 まばらに～ 2mmの赤褐色 テフラ状粒混 じる	ハケメ→ナデ→縦のヘラミガキ	ハケメ(7本/cm)	反転復元
014	33	7	弥生土器 高杯	25	2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～ 黒斑／2.5YR4/4にぶ赤褐(赤 彩)～黒斑	-/(1.7)/17.8?	良好	密 やや砂っぽい	裾部：赤彩・縦ヘラミガキ	裾部：横ハケメ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元 3と同一個体である 可能性が高い
014	33	8	弥生土器 炉器台	60	5YR4/6赤褐～黒斑／5YR4/6 赤褐～黒変	受け部幅 7.4/(12.2)/11.8	良好 2次あり	密	ヘラミガキ、受け部下側：ヘラケズ リに近い横工具ナデ 赤彩の可能性あり	ナデ・工具ナデ 裾端部がナデで弱く波状を呈する	反転復元 厚手の作り
014	33	9	弥生土器 壺	40	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～ 7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4に ぶ褐	-(17.2)-/胴径 38.0?	良好	密 ～2mmのデフ ラ状粒とまれ に円礫が混じ る	赤彩・縦のヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
015	27	1	弥生土器 甕	5	4/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐	-(2.2)-	良好 使用による 2次あり	密	幅1cm程度の輪積痕を残す 口縁部：端部に棒状工具の押圧によ る斜列点文を施す	ナデ→横のヘラミガキ	拓本
015	27	2	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～2.5YR5/6明赤褐 (赤彩)／2.5YR5/6明赤褐 (赤彩)	-(2.0)-	良好 2次の可能 性あり	密	外反気味の口縁に粘土紐を追加し断 面垂直状に肥厚する 肥厚部：単節RL→下縁に布押圧によ る刺突文→刺突文以下に赤彩・ヘラ ミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
015	27	3	弥生土器 鉢	10	5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)／ 5YR4/3にぶ赤褐(赤彩)	-(4.1)-	良好 2次の可能 性あり	密	口縁端部に単節LR、側面に単節 LR・RL・LR→沈線→沈線以下：赤 彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
015	27	4	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～5YR4/4にぶ赤 褐(赤彩)／6/4にぶ黄橙	-(3.3)-	良好	精緻	単節RL→沈線→赤彩・横のヘラミガ キ	ナデ	拓本
015	27	5	弥生土器 台付甕	50	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐(黒 変部)／5/3にぶ黄褐(体部) ～2.5YR6/8橙(脚部赤変部)	-(4.8)-	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの砂粒 が多く混じる	底部を形成してから脚部を足してい る 縦の工具ナデもしくはヘラミガキ	体部：ナデ 脚部：ナデ、接合痕が明瞭	反転復元
015	27	6	弥生土器 壺	30	5/4にぶ黄褐～黒斑／4/1褐灰	-(2.5)/5.0?	良好	精緻	ヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
015	27	7	弥生土器? 甕・鉢	20	5/3にぶ黄褐／7/4にぶ黄橙／ 7.5YR5/3にぶ褐	-(2.6)/8.0?	良好 2次あり	密	被熱により側面が黒変する ナデ・工具ナデ	被熱のために赤変し剥落が進む ナデ・ヨコナデ	反転復元 混入品か
015	27	8	弥生土器 椀・鉢	25	10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄 橙／10R4/6赤(赤彩)～6/4に ぶ黄橙	15.2?/7.0?/4.0?	良好	密 角閃石状の微 粒が大量に混 じる	口縁部文様帯：端部に単節RL、側面 に単節RL3段・沈線 文様帯以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 プロボーションは推 定復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
016	28	1	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／2.5YR5/6明赤褐(赤彩)	21.0?/(1.7)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚する 肥厚部：側面に単節LR、下縁に縄文原体もしくは布の押圧による刺突文を施す 赤彩は不明	赤彩・ヘラミガキ	拓本
016	28	2	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(2.9)/-	良好	密	外反する口縁を断面逆三角形に肥厚する 口縁端面に結節RS2個1組を2段施し、端面下縁の垂下部に刺突を行う	器面の荒れで不明瞭	拓本
016	28	3	弥生土器 椀・鉢	5	5YR4/4にぶ赤褐／2.5YR4/6赤褐(赤彩)	18.0?/(3.4)/-	良好	密 1mm大のデフラ状橙色粒が大量に混じる	内弯気味の口縁を平らに肥厚する 口縁端面：単節LR、肥厚部側面に単節LR・RL・LR→ボタン状円形浮文(径1.4cm、竹管状円形刺突が十字配置)	赤彩(不明瞭)・ヘラミガキ	拓本
016	28	4	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐	17.0?/(1.4)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：口縁端面に単節RL、端面からの垂下部を押しつける形で縄文原体の押圧による刺突文が施される	赤彩(遺存不良)・ヘラミガキ	拓本
016	28	5	弥生土器 椀	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/3にぶ赤褐(赤彩)～黒変部／6/4にぶ黄橙	12.0?/(2.4)/-	良好	精緻	内弯する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部端面・側面に単節LR、下縁に縄文原体押圧による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	横のヘラミガキ	拓本
016	28	6	弥生土器 壺	50	2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～5YR5/4にぶ赤褐／2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)	20.0?/(5.5)/-	良好	やや粗 1mm大のデフラ状橙色粒がきわめて大量に混じる	受け口状に口縁を作り、上方へ立ち上がりを加える 口縁側面：単節LR→RL→下縁：縄文原体の押圧による刺突文→下縁以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
016	28	7	弥生土器 脚裾部	80	2.5YR5/6明赤褐(赤彩?)／2.5YR5/6明赤褐～2.5YR4/6赤褐	-(3.6)/9.0	良好	密	縦のヘラミガキ(赤彩が伴う可能性)	体部：ナデ 脚部：ヘラミガキ	脚部内面までヘラミガキを行う
016	28	8	弥生土器 壺	10	5YR5/6明赤褐～10R4/6赤(赤彩)／5YR5/6明赤褐	-(5.0)/-	良好	密 1mm大のバミス状浅黄橙色粒が大量に混じる	単節LR・RL→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
016	28	9	弥生土器 壺	20	5/4にぶ黄褐～5YR4/6赤褐(赤彩)／5YR5/8明赤褐色	-(5.2)/-	良好	密 ～2mmの橙色バミス状粒が大量に混じる	山形文：単節RL→沈線 文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
016	28	10	弥生土器 甕	25	7.5YR6/4にぶ橙／5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐	20.5?/(7.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	輪積痕に指頭圧痕が多数残る 口縁部：端部に側方一方向から円形押圧が施される	横の工具ナデ→ヘラミガキ?	反転復元
016	28	11	弥生土器 壺	30	7.5YR4/6褐～黒斑／7.5YR6/6橙	-(11.8)/8.2	良好	密	底面が上に少し反っている 工具ナデ→ヘラミガキ	横～左上がりの工具ナデ	反転復元
017	33	10	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好	精緻	文様帯：単節RL・LR・RL→結節RS2段→単節縄文の上に沈線2本の山形文を描く	ナデ	拓本
017	33	11	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐(赤彩)／5/4にぶ黄褐	-(2.1)/-	良好	精緻	文様帯：結節RS2個1組2段による横帯に、同じ構成の結節文による山形文(沈線文で区画)が描かれる 文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
017	33	12	弥生土器 甕	5	2.5YR5/6明赤褐～黒斑／7.5YR6/4にぶ橙～黒斑	15.0?/(3.3)/-	良好	密 砂っぽい	ゆるくくの字状に屈曲し、端部に内からの刺突が施される ヨコナデ	ナデ→ヘラミガキ	反転復元 混入品か
017	33	13	弥生土器 甕	20	7.5YR6/6橙～2/1黒(炭化物)／7.5YR6/6橙～4/2灰黄褐	-(4.6)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのにぶ黄褐色デフラ状粒が大量に混じる	煤状の炭化物が付着する 幅6～8mmの輪積み痕を残し、最下段を段とする 輪積み部：指頭圧痕 以下：右上がりの工具ナデ	工具ナデ	拓本
017	33	14	弥生土器 椀・鉢	15	7.5YR6/6橙～5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)／6/4にぶ黄橙	16.4?/(5.1)/-	良好	密 ～1mmのデフラ状赤褐色粒が目立つ	ゆるく内弯する口縁を平らに肥厚しする 肥厚部：側面に単節縄文風の擬縄文、下縁に刻み目状の刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩(遺存不良)・横のヘラミガキ	横のヘラミガキ(赤彩の可能性あり)	反転復元
017	33	15	弥生土器 高杯	20	5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(5.6)/-	良好	精緻	縦のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
017	33	16	弥生土器 甕	25	4/2灰黄褐～2/1黒／7.5YR6/6橙	-(4.5)/7.3?	良好 使用による2次あり	精緻	主に縦のハケメ(5本/cm) 底面：木炭圧痕 全体に煤が付着する	放射状のハケメ	反転復元 底部の成形技法が非在地的
017	33	17	弥生土器 鉢	20	10R4/6赤(赤彩)～6/6明黄褐／10R4/4赤褐(赤彩)	17.6?/(7.5)/-	良好	精緻	口縁端部を水平的に面取りし、単節LRを施す 口縁端部以下：単節RL・LR・RL→結節RS・RZ1組→文様以下：赤彩・左上がりのヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
017	33	18	弥生土器 高杯	25	2.5YR5/4にぶ赤褐(赤彩)／7/4にぶ黄橙	-(2.9)/9.0?	良好	精緻 まれに～5mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	ナデ・ヨコナデ	反転復元
017	33	19	弥生土器 脚台部(甕か)	20	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.6)/9.8?	良好 2次の可能性あり	密 まばらに～3mmの褐色デフラ状粒が混じる	縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	横の工具ナデ	反転復元
017	33	20	弥生土器 高杯	15	5YR6/6橙～2.5YR3/3暗赤褐(赤彩)／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.2)/11.0?	良好	精緻	赤彩(遺存不良)・縦の密なヘラミガキ	裾端部が若干突出する ナデ→横のヘラミガキ	精製品 反転復元
017	33	21	弥生土器 壺(広口壺?)	100	7.5YR5/4にぶ褐(赤彩含む)～6/4にぶ黄褐／5YR5/6明赤褐～2.5YR5/8明赤褐(赤変、赤彩か)	-(2.4)/7.4	良好 2次あり	密 砂っぽい	赤彩(遺存不良)・横のヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩の可能性あり	器面の剥落が進む

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
017	33	22	縄文土器? 底部	10	7.5YR5/4にぶ黄～5/4にぶ黄褐 ／2.5Y5/3黄褐	-(3.4)/9.0?	良好 2次あり	密 目立って雲母 片が多い	被熱のためか赤変する ナデ	ナデ	縄文土器か 反転復元 混入品
019	35	1	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 5/4にぶ黄褐	-(3.9)/-	良好	密 ～2mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る	単節RL→結節RS3段→文様外をヘラ ミガキ (赤彩は不明)	横の工具ナデ	拓本
019	35	2	弥生土器 壺	5	10R4/6赤 (赤彩) ～7.5YR6/6 橙／6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	精緻	結節RS2個1組を2列山形に施し、沈 線を描く→文様外：赤彩・ヘラミガ キ	横の工具ナデ	拓本
019	35	3	弥生土器 壺	5	5YR5/6明赤褐～10R4/6赤 (赤 彩) ／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄 褐	-(3.9)/-	良好	精緻	山形を基本にX字状に交差させ、沈 線を描く→文様外：赤彩・ヘラミガ キ	横の工具ナデ	拓本
019	35	4	弥生土器 壺	5	5YR4/6赤褐 (赤彩) ～6/4に ぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	密	上文様帯：単節RL→結節RS2個1組 文様帯外：赤彩・横ヘラミガキ	工具ナデ	器面の屈曲が強い 拓本
019	35	5	弥生土器 壺	15	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(3.4)/-	良好	密	結節RSを7段以上施す	横のヘラミガキ	拓本
019	35	6	弥生土器 甕	30	7.5YR6/6橙～5/2灰黄褐／6/4 にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(7.0)/-くびれ 径16.6?	良好 使用による 2次あり	密	輪積痕をナデ消し、段部もほとんど ない ナデ・工具ナデ	横の工具ナデ・ヘラミガキ?	反転復元
019	35	7	弥生土器 甕	25	5/4にぶ黄褐～黒変部／5/3に ぶ黄褐～4/2灰黄褐	-(2.2)/7.0?	良好 2次の可能 性あり	密 ～4mmの明赤 褐色粒が目立 つ	工具ナデ (一部ヘラミガキ状にな る)	炭化物状の黒変部がある ナデ	反転復元
019	35	8	弥生土器 台付甕	10	5/3にぶ黄褐～4/4褐／5/3にぶ 黄褐	-(4.8)/11.8?	良好 使用による 2次あり	精緻	粗いハケメ (5本/cm) →裾部：ヨコ ナデ	粗いハケメ	非在地的な形状 反転復元
021	41	13	弥生土器 壺	10	10R4/6赤 (赤彩) ～6/4にぶ黄 橙／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤褐 (赤彩)	19.0?/(5.0)/-	良好	密	外反する口縁の端部を断面方形に肥 厚する 肥厚部：端部に単節RL、垂下した下 縁に縄文原体の押圧による刺突文を 施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本 混入品か
021	41	14	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～10R4/6赤 (赤 彩) ／7.5YR6/6橙	-(2.8)/-	良好	密	単節LRを山形に施す→沈線で縄文を 囲み、山形文内も区切る→文様外： 赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
021	41	15	弥生土器 鉢・碗	15	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 (赤彩) ／7.5YR6/4にぶ橙 (赤彩)	20.0?/(4.1)/-	良好	精緻	内弯気味の口縁の端部を平らに肥厚 する 肥厚部：端面と側面に単節LR、下縁 に布による刺突文を施す 以下：赤彩 (ほとんど遺存せず) ・ 密な横のヘラミガキ	赤彩 (ほとんど遺存せず) ・密な横 のヘラミガキ	拓本
021	41	16	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐 (赤彩)	-(2.4)/-	良好	密	内弯気味の口縁部の端部を肥厚する 肥厚部：端部に単節RL、側面に単節 LR、下半から下縁にかけてヘラ状工 具による刺突文を施す 以下：赤彩?・横のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
021	41	17	弥生土器 壺	20	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／5/2 灰黄褐～5/3にぶ黄褐	17.0?/(2.9)/-	良好 2次の可能 性あり	精緻 まばらに～ 7mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る 在地的	外反する口縁部を断面三角形に肥厚 するが肥厚部下縁に垂下部を伴う 肥厚部：ヨコナデ (ヘラミガキ後 か) 以下：細かい縦のハケメ (8本 /5mm) →縦のヘラミガキ	口縁端部がヨコナデで少しつまみ上 げられている 横のヘラミガキ	精製品 反転復元
021	41	18	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤 (赤 彩) ／7.5YR6/6橙	-(3.3)/-	良好	精緻	単節RL・LR・RL→沈線→文様外： 赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本 混入品
021	41	19	弥生土器 壺	10	4/2灰黄褐～10R4/6赤 (赤彩) ／7.5YR4/2灰褐	-(3.7)/-	良好 2次あり	密 ～2mmの橙色 バミス状粒が 大量に混じる	単節RL・LR・RL→沈線→文様外： 赤彩・ヘラミガキ	ナデ	被熱のためか黒変し ている 拓本 混入品
021	41	20	土師器? 壺	20	2.5YR4/6赤褐 (赤彩) ～ 7.5YR6/6橙／4/3にぶ黄褐	-(5.2)/-/胴径 13.0?	良好 2次の可能 性あり	密 ～2mmのシャ モット状赤褐 色粒がまばら に混じる	ハケメ (4本/5mm) →ナデ→赤彩・ ヘラミガキ 被熱のためか赤彩の遺存不良	横の工具ナデ	反転復元
021	41	21	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐 (赤彩) ／6/4にぶ黄橙	-(7.0)/-/胴径 16.2?	良好 破片化後の 2次あり	密	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	被熱のためか器面が 荒れている 反転復元
021	41	22	弥生土器 ミニ チュア壺	25	5YR5/4にぶ赤褐 (赤彩) ／ 10R4/6赤 (赤彩) ～7.5YR6/6 橙	-(1.9)/-	良好	密	縦の工具ナデ (工具痕あり) ・赤彩	ナデ・赤彩	内面赤彩で天地を判 断したが逆の可能性 もある 反転復元
021	41	23	弥生土器 壺	40	5YR3/4暗赤褐 (赤彩) →黒斑 ／7.5YR4/2灰褐	-(2.0)/5.0	良好 2次の可能 性あり	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ (8本/cm)	反転復元
021	41	24	弥生土器 壺	70	7.5YR7/2明褐灰～2.5YR5/4に ぶ赤褐～黒斑／2.5YR5/4にぶ 赤褐～7.5YR7/2明褐灰	11.6?/13.9/4.5/ 胴径12.5	良好 強い2次焼 成を受けてい る	密 やや砂っぽい	底部付近を除き器面の遺存不良 ヘラミガキ (赤彩は不明)	口縁部を除き剥落が著しい	遺存不良 一部反転復元
021	41	25	弥生土器 壺	30	7.5Y6/6橙～5YR6/6橙／7/4に ぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(7.8)/-	良好	密	ハケメ (11本/cm) →ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
021	41	26	弥生土器 壺	60	5YR4/6赤褐 (赤彩) ～7/4に ぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～5/3に ぶ黄褐	-(5.8)/6.5	良好 破片化後の 2次あり	密	ハケメ?→ナデ→赤彩 (遺存不 良) ・ヘラミガキ	ナデ	反転復元
021	41	27	弥生土器 壺	100	5/3にぶ黄褐～2.5YR3/6暗赤褐 (赤彩) ／4/2灰黄褐～5/3に ぶ黄褐	-(1.6)/6.7	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmのにぶ 黄橙色バミス 状粒が多く混 じる	底面がわずかに上反る ヘラケズリ状の工具ナデ→赤彩・縦 のヘラミガキ	ナデ	
021	41	28	弥生土器 大型壺	100	7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～ 4/2灰黄褐	-(2.4)/8.4	良好	精緻	底面が若干上反る 工具ナデ	工具ナデ	
021	41	29	土師器 甕	35	黒 (煤・黒変部) ～5/4にぶ黄 褐／7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	17.5?/19.3/7.0/ 胴径20.3?	良好 使用による 2次あり	密 ～4mmのシャ モットが混じ る	体部：ナデ・工具ナデ→底部付近： 横→右上がりのヘラケズリ→口縁 部：ヨコナデ 体部中位以上に煤が付着する	体部：ヘラケズリ・工具ナデ、指頭 圧痕が目立つ、一部にヘラミガキ 口縁部：横の工具ナデ・ヨコナデ	反転復元 021号からの混入か

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
022	37	1	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	18.0?/(3.8)/-	良好	密 砂っぽい	受け口状の口縁に板状部を追加し肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に無節Rに近い単節RL・LRを施す→肥厚部下縁に棒状工具の腹による刺突文が施される 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	器面の剥落が著しい 拓本
022	37	2	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	18.0?/(2.8)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、下縁垂下部に縄文原体押圧による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
022	37	3	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR3/4暗赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(3.1)/-	良好 破片化後の2次あり	密	単節LR・RL→沈線→文様以下：赤彩・横のヘラミガキ	ナデ	拓本 混入品
022	37	4	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～黒変部／4/1褐灰～5/3にぶ黄褐	-(3.3)/-	良好 2次あり	密 反射する微粒が目立つ	くびれの接合部を段として残し、段部に竹管状工具による円形刺突文（径3mm）を施す	ヨコナデ→横のヘラミガキ	拓本
022	37	5	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR4/6褐	-(1.6)/-	良好	密 ～1mmのにぶ黄橙色テフラ状粒が多く混じる	単節LR?→格子状の沈線文	ナデ	拓本
022	37	6	弥生土器 鉢・碗	15	5/4にぶ黄褐～7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(5.7)/-	良好 2次の可能性あり	密 まれに～4mmの礫が混じる	内湾する口縁部を平らに肥厚する 肥厚部：端面と側面に単節縄文に近い擬縄文（不明原体回転）を施し、下縁にヘラ状工具による刺突文を施す 以下：赤彩（痕跡）・横のヘラミガキ	ヘラミガキ	拓本
022	37	7	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～黒斑／7.5YR6/6橙	-(4.0)/-	良好 2次あり	密 1mm大のにぶ黄橙色テフラ状粒が大量に混じる	単節LR・RL・LR→上段RLとLRの境目に棒状工具の先端による列点文が施される	ナデ	拓本
022	37	8	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙	15.7?/(5.8)/-	良好	精緻 ～6mmのシャモット状暗赤褐色粒がまれに混じる	横の工具ナデ・ヨコナデ→頸部付近：縦のやや疎なヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
022	37	9	弥生土器 小型土器	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／5YR4/6赤褐（赤彩）～6/6明黄褐	7.8?/(2.6)/-	良好	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
022	37	10	弥生土器 小型土器	15	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙	10.4?/(3.8)/-	良好	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
022	37	11	弥生土器 鉢・高杯	10	6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐（赤彩?）	-(5.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節RL→沈線→ヘラミガキ（赤彩伴う可能性あり）	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
022	37	12	弥生土器 高杯	95	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	20.3/(8.5)/-	良好	精緻 まれに～3mmの砂粒と灰白色パミス状粒が混じる	ナデ・ヨコナデ→赤彩・主に縦の密なヘラミガキ	杯部底面が明瞭に凹む 口唇：水平に近い面を持つ 赤彩・放射状の密なヘラミガキ	
022	37	13	弥生土器 高杯	30	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	18.6?/(8.3)/-	良好	密 ～4mmのシャモットが目立つ	接合痕の凹凸が残る やや疎な横ヘラミガキ	剥落著しい 横ヘラミガキ	反転復元
022	37	14	弥生土器 壺	70	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）	8.8/18.7/4.4/胴径15.6	良好 2次の可能性あり	精緻 ～1mmの褐色・橙色テフラ状粒が多く混じる	赤彩・ヘラミガキ 口唇：ヨコナデで少し外反する	口縁部：赤彩・ヘラミガキ 口唇：内面に丸みを帯びる面が作られる 体部は剥落が著しく調整不明	薄手の作りと締まった頸部が特徴的
022	37	15	弥生土器 壺	85	10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）	-/15.7/4.5/胴径13.9	良好	やや粗 ～1mmの橙色テフラ状粒が少量に混じる	赤彩・縦ヘラミガキ	頸部屈曲は弱い 口縁部：赤彩・ヘラミガキ 体部：横工具ナデ・ナデ	丁寧で整った作り 頸部屈曲の緩さは在地の壺を思わせる
022	37	16	弥生土器 壺	100	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(1.6)/4.4	良好	精緻 まれに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	縦の細かいハケメ（6本/5mm）→ヘラミガキ	工具ナデ	
022	37	17	弥生土器 高杯あるいは壺	10	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.0)/12.3?	良好	密	裾端部直上と端面に沈線を施す ナデ・ヨコナデ→縦のヘラミガキ	ナデ・ヨコナデ→横のヘラミガキ	反転復元 壺の口縁部である可能性もある
023	37	18	弥生土器 甕	30	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/6橙～5/4にぶ黄褐	-(13.3)/-/胴径22.4?	良好 使用による2次あり	密	くびれ下部を弱く稜にする くびれ部：横の工具ナデ、段以下：工具ナデ→ヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
023	37	19	土師器 壺・甕	30	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/3にぶ褐	11.6?/(4.3)/-	良好 2次の可能性あり	密 砂っぽい	縦の細かいハケメ（7本/cm）→ヨコナデ 口縁端部は玉縁状に少し突出する	横のハケメもしくは工具ナデ→ヨコナデ	被熱のためか水玉状の剥落部が多い反転復元
023	37	20	弥生土器 甕	60	5/3にぶ黄褐～7.5YR7/6橙／4/3にぶ黄褐	-(3.3)/6.5	良好 使用による2次あり	密	被熱で赤変する 縦のヘラミガキ	ナデ	反転復元
023	37	21	弥生土器 鉢	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	15.8?/(7.5)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの角閃石状、テフラ状粒が多く混じる	口縁端面に単節RL、側面に単節RL・LR・RL→沈線→赤彩・縦のヘラミガキ	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
024	69	1	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）	-(2.7)/-	良好	密 ～1mmの淡黄褐色パミス状粒・角閃石状粒が大量に混じる	緩い受け口状の口縁を断面垂筒状に肥厚し、側面からの垂下部を作る 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下部に縄文原体あるいは布による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ 赤彩はほとんど遺存せず	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
024	69	2	弥生土器 壺	5	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5/3に ぶ黄褐／10R4/6赤（赤彩）～ 黒斑	-(1.6)/-	良好	密 1mm大の明赤 褐色テフラ状 粒が大量に混 じる	外反する口縁を断面垂直状に肥厚す し、側面下側に垂下部を作る 肥厚部：側面に竹管状工具による円 形刺突文（径3mm）、垂下部に棒あ るいは板状工具による刺突文を施す →ボタン状円形浮文（最大径 1.5cm、四角配置の円形刺突を伴 う）→全面赤彩	赤彩・密な横のヘラミガキ	拓本
024	69	3	弥生土器 壺	10	5/4にぶ黄褐／7.5YR6/6橙～ 5/3にぶ黄褐	18.0?/(3.1)/-	良好	密 角閃石状の反 射する微粒が 目立つ	外反する口縁を板状部に肥厚し受口 に作る 肥厚部：側面に単節RL・LR・RL、 端面と肥厚部下端に縄文原体による と見られる刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ 赤彩はほとんど遺存せず	拓本
024	69	4	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 10R4/6赤（赤彩）	19.0?/(2.0)/-	良好	密	外反する口縁を断面長方形気味に肥 厚する 肥厚部：端面に単節LR、端面から垂 下した部分に刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
024	69	5	弥生土器 壺	10	2.5Y6/3にぶ黄～5YR5/4にぶ 赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(2.8)/-	良好	密 1mm大の淡黄 色バミス状粒 と反射する角 閃石状粒が大 量に混じる	文様帯：単節LR・RL→結節LS3個1 組→結節以下：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
024	69	6	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩）／5YR5/6明赤褐 （赤彩）	-(3.5)/-	良好	精緻	文様帯：単節RL・LR・RL→結節 RS2個1組→沈線区画	横の工具ナデ	拓本
024	69	7	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～2.5YR5/4にぶ赤 褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好	密	結節RS3列で山形を描き、沈線を加 える→菱形の空間に赤彩・ヘラミガ キを施す	ナデ	拓本
024	69	8	弥生土器 壺	5	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.4)/-	良好	精緻	網目状燃糸文もしくは附加条縄文→ 沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	024-6の縄文と似る 拓本
024	69	9	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(3.3)/-	良好	密	単節LR?に撚り糸を巻き付けた附加 条縄文を施す	ナデ	拓本
024	69	10	弥生土器 甕	15	7.5YR4/3褐（黒変部含む）～ 7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐 ～黒斑	23.7?/(5.6)/-	良好 使用による 2次あり	密	縦のハケメ（8本/cm）→口縁部：ヨ コナデ、端面は面取られる	横のハケメ→やや疎らなヘラミガキ 状の工具ナデ	反転復元
024	69	11	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.5)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が目立つ	幅1cmほどの粘土紐接合痕を装飾と して残す 口縁端部：内外からの押捺による刺 突文が巡る 輪積痕には指頭圧痕が明瞭に残る	ナデ	被熱のためか遺存不 良 拓本
024	69	12	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 7.5YR6/6橙	-(3.9)/-	良好	精緻	細めの粘土紐接合痕を所々に残す 口縁端部：内外からの押捺による刺 突文、口縁部：横の工具ナデ	ナデ・ヨコナデ	拓本
024	69	13	弥生土器 甕	10	4/1褐灰～6/4にぶ黄橙／6/4に ぶ黄橙	-(3.1)/-	良好	精緻	接合痕をうすく残しながら、口縁端 部に内外面からの押圧による刺突文 を施す	外反気味の口縁の内側に肥厚する	内傾接合 拓本
024	69	14	弥生土器 壺	60	10R4/6赤（赤彩）～5YR4/4に ぶ赤褐／5YR4/6赤褐（赤 彩?）	-(4.8)/-	良好 2次の可能 性あり	密 砂っぽい	底面：ヘラケズリ状の擦痕 体部：赤彩・左上がりのヘラミガキ	被熱のためか、剥落が著しい 赤彩の可能性あり	
024	69	15	弥生土器 小型鉢	15	6/3にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／ 2.5Y5/3黄褐	7.9?/(3.1)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmのシャ モット状暗赤 褐色粒混じる	縦のヘラケズリ	ナデ	反転復元
024	69	16	弥生土器 椀・鉢	10	5/2灰黄褐／2.5YR4/4にぶ赤褐 （赤彩・黒変部）	18.0?/(3.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密 1mm大の淡黄 色バミス状粒 が大量に混じ る	内湾する口縁を平らに肥厚する 肥厚部から以下にかけて単節LR・ RL・LR・RLを施し、肥厚部下縁に 布もしくは縄文原体による刺突文を 施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
024	69	17	弥生土器 鉢	10	5/3にぶ黄褐～5YR4/4にぶ赤 褐／7.5YR5/4にぶ褐（赤彩含 む）	18.0?/(3.0)/-	良好	精緻	内湾気味の口縁を肥厚する 肥厚部：端面・側面に単節LRを施 し、下端にヘラ状工具による刺突文 を施す 肥厚部以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
024	69	18	弥生土器 椀	15	5/4にぶ黄褐／7.5YR6/6橙～ 2.5YR4/6赤褐（赤彩）	14.0?/(3.5)/-	良好 2次の可能 性あり	密	内湾する器体を持ち、口縁部を平ら に肥厚する 肥厚部：端面・側面に単節LRに無節 Rを巻き付けた附加条縄文を施し、 下縁に布を薄い板状工具に挟んで施 した刺突文が巡る 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
024	69	19	弥生土器 壺（転 用甕?）	15	6/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄褐	-(7.7)/13.0?	良好	密 1mm大の黄橙 色バミス状粒 が大量に混じ り、角閃石状 の微粒が多い	底部との剥離面が磨滅している 縦の工具ナデ→ヘラミガキ	工具ナデ	転用甕か 反転復元
024	69	20	弥生土器 底部	20	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.0)/7.0?	良好	精緻	横の工具ナデ	工具ナデ	反転復元
025	44	1	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／ 10R4/6赤（赤彩）	21.0?/(1.7)/-	良好	密 1mm大の淡黄 色バミス状粒 が大量に混じ る	外反する口縁を断面垂直形に肥厚す る 肥厚部：側面単節RL→側面下端の垂 下部に刺突文を巡らせる	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
025	44	2	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 黒斑	14.0?/(1.7)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直形に肥厚す る 肥厚部：側面に単節RL、下縁に布押 圧による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
025	44	3	弥生土器 鉢・椀	10	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	20.0?/(3.7)/-	良好	精緻	口縁端部以下に文様帯有り 文様帯：上から、結節RS2個1組・ 単節RL・RL・LR 口縁端面：単節RL	赤彩・横のヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
025	44	4	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐	21.4?/(4.1)/-	良好	精緻	接合痕をナデ消した指頭圧痕が目立つ 口縁端面：端面方向からの刺突文	ヨコナデ	反転復元
025	44	5	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(3.4)/-	良好	精緻	網目状燃糸文→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	024-6の縄文と似る拓本
025	44	6	弥生土器 壺	10	2.5Y5/3黄褐～2.5Y5/2暗灰黄／2.5Y5/2暗灰黄	-(4.3)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節RL・LR→上下に結節RS3個1組→文様外：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	拓本
025	44	7	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.3)/-	良好	精緻 まれに～4mmのシャモット状褐色粒が混じる	ナデ→ヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
025	44	8	土師器 小型甕	10	7.5YR6/4にぶ橙／5/3にぶ黄褐	-(4.0)/-	良好 2次あり	密	細かいハケメ（8本/5mm）	ハケメ→ナデ	拓本
025	44	9	土師器 甕	10	1.7/1黒／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.6)/-	良好 使用による2次あり	精緻 まれに～2mmのシャモット状粒が混じる	左上がりのハケメ（7本/cm）	ナデ	拓本
025	44	10	弥生土器 高杯	15	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	-(3.8)/-	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：赤彩・放射状の丁寧なヘラミガキ	反転復元
025	44	11	弥生土器 高杯	30	10R4/6赤（赤彩）／2.5YR5/6明赤褐（赤彩・杯部）～5/4にぶ黄褐（脚部）	-(3.4)/-	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	反転復元
025	44	12	弥生土器 高杯（台付甕）	100	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙（杯部）～5/3にぶ黄褐（脚部）	-(2.5)/-	良好	精緻 砂粒が目立たない	リング状の部品を成形後、その上下に充填する形で体部・脚部を作っている 縦のヘラミガキ	体部：工具ナデ 脚部：工具ナデ（ヘラキズ多い）	
025	44	13	弥生土器 器台	80	5/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／5/2灰黄褐（脚部）～5/4にぶ黄褐（受け部）	-(3.6)/-	良好	密	裾部に円形透孔がおそらく均等配置で4箇所穿たれる 縦のヘラケズリに近い工具ナデ・ヘラミガキ	脚部：脚柱部に最大径1.7cmの貫通孔を穿つ→シボリ痕・ナデ受け部：ヘラミガキ	反転復元
025	44	14	弥生土器 器台	80	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.5)/-	良好	密	脚柱を縦の縦が貫通している 脚柱部：円形透孔（径8mm）をほぼ均等配置の3方向に穿つ	脚柱部上面を擬口縁状に整えてから受け部を付け足している 受け部：赤彩?	反転復元
025	44	15	弥生土器 高杯	25	10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.3)/-	良好	精緻	円形透孔をおそらく4方に穿つ→赤彩・縦のヘラミガキ	一部ヘラミガキ	反転復元
026	43	1	弥生土器 小型壺	30	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	-(6.5)/6.0?	良好	密	横の工具ナデ→赤彩・やや疎なヘラミガキ	横のナデ	反転復元
026	43	2	弥生土器 壺	10	5/4にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐（赤彩）	21.0?/(3.2)/-	良好	密	外反する口縁を断面逆三角形に肥厚する 肥厚部側面には指頭圧痕が残る 口縁端面：単節LR、下稜に刺突文を施す 肥厚部：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
026	43	3	弥生土器 壺	5	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～5/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐	-(4.8)/-	良好 2次の可能性あり	密 1mm大の淡黄色パミス状粒が目立つ	単節LR→沈線直線文→山形沈線文（縄文充填はない）→山形を残し赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	珍しい施文例
026	43	4	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.0)/-	良好	精緻	単節RL・LR・RL→結節LZ	横の工具ナデ	拓本
026	43	5	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.4)/-	良好	密	単節LR縦回転→沈線→沈線以下：横のヘラミガキ	ナデ	拓本
026	43	6	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／5YR6/6橙	-(2.0)/-	良好	密	結節RS3個1組→結節を切って細かい山形沈線	ナデ	拓本
026	43	7	弥生土器 壺	5	5YR5/4にぶ赤褐／5YR5/4にぶ赤褐	-(2.2)/-	良好	密	無節Rを軸に巻き付けた原体による網目状文→文様外：ヘラミガキ（赤彩不明）	ナデ	拓本
026	43	8	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好	密	単節RL→結節RS3個1組→ボタン状円形浮文（径1.8～2.0cm、7個の竹管状工具による刺突を伴う）	ナデ	拓本
026	43	9	弥生土器 鉢	15	5/3にぶ黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）	14.0?/(3.5)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	口縁直下から、単節RL・LR→結節RS→文様外：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
026	43	11	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙～黒変部／4/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙	-(7.5)/-	良好 使用・破片化後の2次あり	精緻	ハケメ（8本/cm）	ナデ	
026	43	12	弥生土器 高杯	100	10R5/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～5YR6/6橙	-(1.4)/-	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	脚部：充填し、ナデ	内弯気味の脚部
026	43	13	土師器 甕	30	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／3/2黒褐（黒変）	-(1.8)/7.8?	良好 使用による2次あり	密	右上がりの工具ナデもしくはヘラケズリ	ナデ 炭化物付着によって黒変する	反転復元
026	43	14	弥生土器 壺	40	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(1.9)/4.5?	良好	精緻	横～右上がりのヘラミガキ 底面が若干上反る	工具ナデ	反転復元
026	43	15	弥生土器 高杯	10	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～黒斑	20.8?/(4.6)/-	良好	精緻 テフラ状の橙色微粒が目立つ	赤彩・縦のヘラミガキ（単位幅が細かい）	口縁端部を肥厚気味に面取りし、明瞭な段を示す 赤彩・縦のヘラミガキ	反転復元
027	44	16	土師器 壺	25	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐／7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	-(5.5)/-	良好	密 若干砂っぽい	外反する口縁を断面方形に肥厚する ハケメ（8本/cm）→肥厚部：ナデ	ハケメ→ヘラミガキ（ハケメは消し切れていない）	反転復元
027	44	17	弥生土器 甕	10	5YR4/4にぶ赤褐～2/1黒（炭化物）／5YR4/3にぶ赤褐	22.0?/(2.2)/-	良好 使用による2次あり	密 1mm大の赤褐色テフラ状粒大量に混じる	煤状炭化物が付着する 輪積み痕を口縁部に残す 口縁端面：内外からの刺突文	ヨコナデ	拓本
027	44	18	土師器 甕	5	4/1褐灰～5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐	22.0?/(3.2)/-	良好 使用による2次あり	精緻	被熱のため黒変する 左上がりのヘラミガキ	口縁端部が少しつまみ上げられる 横のヘラミガキ	反転復元
027	44	19	土師器 甕	5	2/2黒褐（黒変）／5/4にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐	16.0?/(3.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～4mmの赤褐色シャモット状粒混じる	黒変する ハケメ（8本/cm）→ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
027	44	20	弥生土器 広口壺	10	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐	-(3.7)/-	良好 2次あり	密 1mm大の淡黄色バミス状粒が目立つ	小さく外反する口縁を粘土紐で肥厚する 横の工具ナデ→肥厚部下縁：指先による刺突文を施す	横の工具ナデ	拓本
027	44	21	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／5YR4/4にぶ赤褐（赤彩含む）	-(2.6)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、さらに側面からの垂下部を作る 肥厚部：側面に単節LR・RL。側面垂下部に布押圧による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
027	44	22	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～7.5YR5/3にぶ褐	-(3.4)/-	良好	精緻	ナデ→口縁端部：内外方向からの刺突文	ナデ→横のヘラミガキ	拓本
027	44	23	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(2.7)/-	良好	精緻	単節RL・LR→結節RS→単節を切つて山形沈線文	ナデ	拓本
027	44	24	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	12.0?/(2.7)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部下縁に板状工具による刺突文を施す	赤彩?・ヘラミガキ	拓本
027	44	25	弥生土器 壺	10	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐	-(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	精緻 砂っぽい	外反して受口を呈する口縁部を持つ 口縁部側面：単節LR→網目状擦糸文（もしくはは附加条を持つ単節LR） 縁以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
027	44	26	弥生土器 壺	5	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／5YR6/6橙	-(2.4)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じり、角閃石状の微粒が目立つ	単節LR→結節RS2個1組→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	ナデ	拓本
027	44	27	弥生土器	20	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙／5/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐	-(8.4)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの砂粒が混じる	使用による被熱のために黒変が認められる 頸部に輪積痕を残し、以下を左上がりの工具ナデで仕上げる	横の工具ナデ	反転復元
027	44	28	弥生土器 甕・壺	25	4/2灰黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／2.5YR5/6明赤褐～7.5YR4/3褐	-(7.7)/-	良好 使用による2次あり	密 淡黄色バミス状微粒が大量に混じる	工具ナデ	工具ナデ	反転復元
027	44	29	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	-(4.2)/-	良好 使用による2次あり	精緻	くびれ下部に段を形成し、段部に布もしくは縄文原体による刺突を施す 工具ナデ・ナデ	横の工具ナデ	拓本
027	44	30	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	-(2.5)/-	良好	精緻	くびれ下部に段を形成する→横のナデ→段部：方形の先端を持つ工具で刺突文を施す	ナデ→横のヘラミガキ	拓本
027	44	31	土師器 甕	10	4/2灰黄褐～2/1黒／5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐	-(5.0)/-	良好 使用による2次あり	精緻	煤状炭化物が全体的に付着する ハケメ（8本/cm）	ナデ	拓本
027	44	32	土師器 甕	20	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(4.9)/-	良好 使用による2次あり	精緻	ハケメ（6本/cm） 一部に赤変する	横の密なヘラミガキ	拓本
027	44	33	土師器 小型土器	60	6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄／6/4にぶ黄橙	-(5.6)/2.8/胴径8.3	良好	精緻	底面が少しくぼむ 工具ナデ→ヘラミガキ	工具ナデ→一部ヘラミガキ	精製品 一部反転復元
027	44	34	弥生土器 小型鉢 あるいは手焙形土器	15	黒斑～4/3にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(4.1)/-	良好	密	ハケメ（14本/cm） 口唇を面的に拡張し、ハケメを周方向に施す	ヘラケズリ状の工具ナデ	手焙形とすれば覆部 端部
027	44	35	土師器 底部	25	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.2)/7.8?	良好	密	底面：木葉圧痕 体部：工具ナデ→ヘラミガキ?	ナデ	反転復元
027	44	36	弥生土器 高杯	90	5YR5/4にぶ赤褐～10R4/4赤褐（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐～10R4/4赤褐（赤彩）	-(9.9)/12.1	良好 2次の可能性あり	精緻	上位が中実の脚柱部を持ち、杯部成形前には5.4cm程度の径で、端部が面取り気味になる擬口縁が形成されている 裾部はやや内弯気味で特徴的な形状である 縦工具ナデ→赤彩・縦ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ハケメ（8本cm）・横ヘラケズリ→横工具ナデ・ナデ	技法と形状が特徴的
027	44	37	土師器 壺	20	5YR5/6明赤褐～7.5YR5/4にぶ褐／5YR4/4にぶ赤褐	-(4.1)/7.0?	良好	精緻	底面：ヘラケズリ 体部：ハケメ（6本/5mm）→密なヘラミガキ	ハケメ→疎らなヘラミガキ	反転復元
027	44	38	土師器 壺	60	6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐～2.5Y7/3浅黄	-(3.7)/8.5	良好	精緻 まれに～5mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	体部：縦のヘラミガキ	ナデ	一部反転復元
027	44	39	弥生土器 甕	25	7.5YR6/4にぶ橙～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.5)/6.0?	良好	精緻 砂っぽい	縦の工具ナデ	工具ナデ	宮ノ台式 反転復元
027	44	40	土師器 甕	30	5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR4/2灰褐／4/2灰黄褐	-(1.7)/7.0?	良好 使用による2次あり	密	赤変・黒変が認められる 縦のヘラケズリもしくは工具ナデ	ナデ	反転復元
027	44	41	土師器 甕	80	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(2.3)/7.0	良好 使用による2次あり	密 ～3mmの暗赤褐色シャモット状粒がまばらに混じる	縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	横の工具ナデ	底部成形時に小皿状だった名残の擬口縁が認められる
027	44	42	土師器 台付甕	60	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／2.5Y7/3浅黄（体部）～6/4にぶ黄橙（脚部）	-(7.8)/9.2?	良好 使用による2次あり	精緻	縦の工具ナデ	体部：ヘラミガキ、脚台部との接合痕が明瞭に残る 脚部：ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
028	45	1	弥生土器 大型壺	60	10R3/6暗赤（赤彩）～3/1黒褐（黒変）～6/4にぶ黄橙（地の色）／5/1褐灰～6/4にぶ黄橙	-(19.0)/-/最大径45以上	良好 破片化後の2次あり	密 まれに～3mmの礫混じる やや砂っぽい	肩部にフェストゥーン状構成の文様帯がある 文様帯：3個1組の結節RS4段の横帯があり、その下辺に斜方向の同結節3段が施され逆三角形に連結される →三角形と横帯の下辺に沿う箇所と三角形内部に2本描き沈線が施される →三角形の下側頂点の位置に竹管状工具による刺突（径3mm）を伴うボタン状円形浮文が施される（径1.8cm以上） 文様帯外：赤彩・主に縦のヘラミガキ 2次焼成のためか全体に黒ずんでいる、円形浮文の剥落痕だけ地の色である	ナデ・横工具ナデ	
028	45	2	弥生土器 壺	15	2.5Y7/4浅黄／6/4にぶ黄橙	13.0?/(3.0)/-	良好	密 砂っぽい	外反する口縁に接合痕が1条残るヘラミガキ	ヘラミガキ	磨減が進んでいる 反転復元
028	45	3	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／ _土 5YR6/4にぶ橙	-(3.5)/-	良好	精緻	網目状態糸文→赤彩・横のヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
028	45	4	弥生土器 小型壺	100	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙	4.7/15.6/5.0	良好	密	ハケメ（7本/cm）→ナデ→口縁部直下：単節LR、頸部：単節LR→底部を除いて赤彩・ヘラミガキ	口唇：単節LR（施文時の指の単位で口縁部が波状に歪む）	断面器厚は推定
028	45	5	弥生土器 壺	25	7/6明黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	17.4?/(3.1)/-	良好	密	外反する口縁に粘土紐を追加し、厚みのある断面垂直状に肥厚する 肥厚部：側面に単節LR→下縁に縄文原体による刺突文 肥厚部以下：単節LR	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
028	45	6	弥生土器 小型壺	30	7.5YR5/4にぶ褐～4/2灰黄褐／2.5Y4/2暗灰黄～7.5YR6/6橙	3.0?/(8.4)/-	良好	精緻	口縁部：端面が面取りされる 体部：ヘラミガキ	工具ナデ（ハケメ状の条線を示す） →ナデ	反転復元
028	45	7	弥生土器 小型壺	25	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(7.1)/-/胴径7.8?	良好	精緻	ヘラミガキ	ナデ	反転復元
028	45	8	弥生土器 壺	100	10R4/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐～黒斑／5/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）	9.7/(5.7)/-	良好	精緻	口縁部：縦工具ナデ・ナデ→口唇：端面に単節RL→口縁部：赤彩・斜め～横の甘いヘラミガキ	ナデ→口唇付近：赤彩（指の単位が明瞭）・甘い横ヘラミガキ	
028	45	9	弥生土器 壺	20	7.5YR5/3にぶ褐／7.5YR6/4にぶ橙	-(5.4)/-	良好	密	赤彩（遺存不良）・縦のヘラミガキ	ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
028	45	10	弥生土器 壺	5	10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好	精緻	複合山形に沈線文を校構成し、単節LRを充填する→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
028	45	11	弥生土器 壺	5	5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.8)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多く混じる	結節RS2個1組を複合山形に施し、沈線を伴わせる 文様区画は結節RS2個1組 結節文外は赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
028	45	12	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む）	-(2.7)/-	良好	密 ～1mmの砂粒目立つ	内湾気味の口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に単節LR、下縁に縄文原体もしくは布による刺突文が施される 肥厚部：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
028	45	13	弥生土器 鉢	100	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(3.3)/5.4	良好 2次の可能性あり	精緻 砂っぽい	底部の周囲に11箇所の切れ込みをほぼ均等に入れる 体部：赤彩・縦のヘラミガキ 底面の中心は盛り上っている	水玉状の剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	
028	45	14	弥生土器 壺	30	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	-(7.0)/-	良好	密 砂っぽい	赤彩・横のヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
028	45	15	弥生土器 甕	25	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐	-(3.7)/8.6?	良好	密 砂っぽい	縦の工具ナデ（工具痕が明瞭、幅1.5cm以上）	剥落が著しい 工具ナデ	反転復元
028	45	16	弥生土器 壺	30	7/4にぶ黄橙～5YR4/4にぶ赤褐／7/4にぶ黄橙	-(3.2)/8.0?	良好	精緻 砂っぽい	縦の工具ナデ（工具痕が目立つ）→赤彩・縦のヘラミガキ	工具ナデ（工具痕が目立つ）	反転復元
028	45	17	弥生土器 壺	25	7.5YR6/6橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR6/6橙	-(3.3)/5.0?	良好	精緻 砂っぽい	磨減が進んでおり調整不明瞭 赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
028	45	18	弥生土器 甕	5	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	23.5?/(2.8)/-	良好	精緻 砂っぽい	弱く外反する口縁を薄く肥厚する ヨコナデ→口縁部端面：端面方向からの刺突が通る	ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
028	45	19	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／5/2灰黄褐	-(2.0)/-	良好	精緻 砂っぽい	口縁端面：指でつまみ波状にする	弱く外反する口縁部の内側を肥厚し、肥厚部の下端に布による刺突を施す	拓本
028	45	20	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/3にぶ褐	-(6.1)/-	良好	密 ～1mmの褐色テフラ状粒混じる	ナデ（指頭圧痕が残る）	横の工具ナデ	反転復元
028	45	21	弥生土器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐／5YR5/4にぶ赤褐	24.0?/(2.9)/-	良好	密	弱く外反する口縁の内側を粘土紐で肥厚する 口縁端面：側面からの押圧による刺突文	ヨコナデ→横のヘラミガキ	反転復元
028	45	22	弥生土器 壺	75	7.5YR6/6橙～7/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙	-(2.0)/7.6?	良好	精緻 砂っぽい	縦の工具ナデ→縦のヘラミガキ（底面に及ぶ）	剥落が著しい 工具ナデ	反転復元
028	45	23	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/6赤／4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐	-(2.8)/-	良好	密	磨減が進む 肩部：布による刺突文、間隔を置いて単節LR→赤彩・ヘラミガキ	磨減が進む	拓本
028	45	24	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7/6明黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.6)/-	良好	精緻 砂っぽい	ナデ→口縁端面：指でつまみ波状にする	ナデ	拓本
028	45	25	弥生土器 広口壺	15	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	14.6?/(5.4)/-	良好	精緻	緩く外反する短い口縁を持ち、その端面に単節LRを施す 体部：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
028	45	26	弥生土器 甌	50	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙～黒斑／6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐	19.2?/16.3/9.0?	良好 破片化後の2次あり	密 ～3mmのシャモット混じる	体部：縦のナデ→口唇：内外方向の指頭による押捺により波状を呈す（外面単位内には爪痕あり）	横のナデ→縦ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
028	45	27	弥生土器 鉢	80	6/4にぶ黄橙～黒斑／6/4にぶ黄橙～黒斑	8.9～10.5/10.7/4.9	良好 2次の可能性あり	精緻	縦ハケメ（9本/cm）→口縁部：対向する位置に2孔穿孔（径5mm）→やや疎らなヘラミガキ（底面も） 口縁部外面：結節ZS・RS・RS・RSを単位として2段の結節文帯が巡る 2次焼成を受けた可能性があり判然としないが、赤彩されていたかもしれない	やや内傾気味に口唇が面取りされるナデ・横工具ナデ→やや疎らな縦ヘラミガキ 口唇：口縁部外面と同じ原体のRS部分が施される	
028	45	28	弥生土器 壺	80	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(7.1)/6.4	良好	精緻 砂っぽい	底部付近：縦工具ナデ→以上：赤彩・横ヘラミガキ	横工具ナデ（工具痕が多く残る） 水玉状の剥落が多い	
028	45	29	弥生土器 壺	30	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(1.6)/6.4?	良好	密	工具ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	反転復元
028	45	30	弥生土器 深鉢	80	3/1黒褐（黒変部）～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄褐～黒斑・黒変	12.2/14.8/5.3	良好 使用・破片化後の2次あり	精緻	ハケメ状の条線を伴う工具ナデ→ナデ	指紋が多数認められる 横の工具ナデ（工具幅2.5cm以上）・ナデ	
029	46	1	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(6.5・6.5)/-	良好	精緻 砂っぽい	文様帯：結節LZを8段施す→竹管状工具による円形刺突文で山形文を描く→文様外：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 工具ナデ	反転復元
029	46	2	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	19.6?/(2.5)/-	良好	精緻 ～1mmのデフラ状赤褐色粒が目立つ	外反する口縁を断面垂直状に肥厚、側面に垂下部を作る 肥厚部：側面に単節LR→垂下部に布による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
029	46	3	弥生土器 壺	15	3/1黒褐～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	24.0?/(4.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの淡黄色ハミス状粒が大量に混じる	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、側面からの垂下部が伴う 肥厚部：側面に単節RL、垂下部に縄文原体押圧による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
029	46	4	弥生土器 壺	20	7.5YR6/6橙／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙	16.0?/(2.0)/-	良好	精緻	外反する口縁を平らに肥厚し、端面からの垂下部が生じている 肥厚部：端面に単節RL、垂下部に縄文原体押圧による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	46	5	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR5/3にぶ褐	17.0?/(2.3)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、端面下縁に布もしくは縄文原体による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	46	6	弥生土器 壺	30	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙	-(4.4)/-	良好	密	附加条を持つ単節LR、もしくは網目状燃糸文→沈線→赤彩・横ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
029	46	7	弥生土器 甕	10	7.5YR7/4にぶ橙～7.5YR6/4にぶ橙／2.5Y7/3浅黄～7.5YR7/4にぶ橙	20.0?/(2.5)/-	良好	精緻 砂粒は目立たない	外反する口縁を断面長方形に肥厚する 肥厚部端面：内外両方向からの刺突 肥厚部以下：ヨコナデ	ヨコナデ	拓本
029	46	8	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／2.5Y5/3黄褐	12.0?/(2.0)/-	良好	精緻	受け口状に内弯する口縁部を持つ 口縁端面直下：単節LR→棒状浮文	口縁部を幅6mm程度の粘土紐で肥厚し、肥厚部端面に単節LRを施す ナデ	拓本
029	46	9	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(8.0)/-	良好	密 やや砂っぽい	頸部文様帯：結節RSで区画 単節RL・LR・RL・LR→結節RS2個1組→文様帯間：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	拓本
029	46	10	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	20.0?/(1.3)/-	良好	精緻 砂っぽく反射する微小粒が目立つ	外反する口縁を断面垂直状に肥厚、垂下部を形成する 肥厚部側面：単節LR→垂下部下縁：布による刺突文	赤彩・ヘラミガキ	拓本
029	46	11	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）～黒斑／7.5YR6/4にぶ橙	-(4.6)/-	良好	精緻	単節LR・RL・LR→結節RS3個1組→単節を切って山形沈線が2段描かれる→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
029	46	12	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙	-(4.2)/-	良好	精緻	横方向の単節RL→上下に沈線→単節RL1帯により上側に山形、下側に縦帯を描く→沈線で文様を囲む→文様外を赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
029	46	13	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(6.1)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒が大量に混じる	頸部：単節RL・LR・RL→沈線→赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
029	46	14	弥生土器 小型鉢	100	5/3にぶ黄褐～2.5Y2/1黒／2/5Y2/1黒～2.5Y5/2暗灰黄	7.1/4.4/3.1	良好	精緻	底面中央がくぼむ 縦のハケメ（6本/cm）→ヘラミガキ（ハケメは消えきっていない）	ナデ→ヘラミガキ	
029	46	15	弥生土器 壺	40	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	8.8?/(4.4)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	口縁端面：単節LR、以下：赤彩・ヘラミガキ	ヨコナデ・ナデ→赤彩	反転復元
029	46	16	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）	7.2?/(6.1)/-	良好	密	ゆるく長めに延びる口縁の端部を面取りする 口縁部：端面に単節RL、以下、RL・LR・RL・LR・LR・RL・LRを施す	ナデ→上位：赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
029	46	17	弥生土器 壺	20	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	11.2?/(3.2)/-	良好	精緻	外反する口縁を小さく肥厚する 肥厚部側面に単節LR、肥厚部下端に縄文原体もしくは布による刺突文を施す 肥厚部以下：縦のヘラミガキ	左上がりのヘラミガキ	反転復元
029	46	18	弥生土器 壺	20	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐	-(9.8)/-	良好 破片化後の2次あり	密	横方向の単節LR・RL→上下に沈線→上側に縦方向の単節LRを施し、下側に単節LR・RLで複合山形を描く→文様を沈線で区画し、文様外を赤彩・ヘラミガキする	剥落が著しい ナデ	拓本
029	46	19	弥生土器 甕	5	4/1褐灰～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	22.0?/(3.7)/-	良好 使用による2次あり	精緻 反射微粒が目立つ	煤状炭化物が付着する 口縁部に輪積痕を残す 口縁端面：内外二方向からの刺突文	外反する口縁を折り返し状に肥厚する ナデ	反転復元
029	46	20	弥生土器 広口壺	20	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.7?/(4.6)/-	良好	密 ～4mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	外反する口縁を肥厚する 肥厚部下縁に指頭圧痕状の刺突文を施し、全体を赤彩・ヘラミガキする	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
029	46	21	弥生土器 甕	40	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／7/3浅黄～7.5YR6/4にぶ橙	20.4?/(12.4)/-	良好	精緻 まばらに～7mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	口縁部に5段の輪積痕を残す。下端が左向きに残るので反時計回りに巻き上げたと推定できる 口縁端部：端面→方向の刺突文 口縁部側面に指頭圧痕が多く遺存する 段部以下：横の工具ナデ	ナデ・工具ナデ→部分的に横のヘラミガキ	反転復元
029	46	22	土師器? 甕	15	4/1褐灰～5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	15.1?/(3.8)/-	良好 使用による2次あり	精緻	使用のためか黒変するくの字状の口縁だが屈曲は弱い 体部：縦のハケメ（5本/5mm）→口縁部：ヨコナデ	口縁部：ハケメ→ヨコナデ→屈曲以下：左上がりの工具ナデで屈曲部にバリ状の突出が生じている	反転復元
029	46	23	土師器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐／6/3にぶ黄橙	17.0?/(3.6)/-	良好	精緻	縦のハケメ（7本/5mm）→ヨコナデ くの字に外反するが屈曲は鋭くない	屈曲部はシャープ 左上がり気味の横のハケメ→ヨコナデ	反転復元
029	47	1	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/6橙	-(3.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	横の工具ナデ→口縁端部：端面側→方向の刺突文	7.5YR6/6橙	拓本
029	47	2	弥生土器 甕	15	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/3にぶ褐／6/4にぶ黄橙	23.0?/(2.8)/-	良好 2次あり	精緻	横の工具ナデ 口縁端部：端面方向からの刺突文	ゆるく外反する口縁の内側を粘土紐で肥厚する 肥厚部下縁：楕円形の刺突文	拓本
029	47	3	弥生土器 甕	10	5/2灰黄褐～2.5Y6/3にぶ黄／6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄	-(3.9)/-	良好 使用による2次あり	密	横の工具ナデ→口縁端部：内外からの刺突文	横の工具ナデ	拓本
029	47	4	弥生土器 鉢・鉢	10	5/3にぶ黄褐／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐	-(3.1)/-	良好	精緻	口縁端部に単節LR、側面に単節RL・LR・RL→単節を切って結節RS2個1組	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	47	5	弥生土器 鉢・高杯	15	7.5YR7/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	20.0?/(7.9)/-	良好	密 ～1mmの白色・透明砂粒が多く混じる	内湾する口縁を平らに肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に単節LR、下縁に縄文原体もしくは布による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	被熱のためか器面が荒れている 反転復元
029	47	6	弥生土器 鉢・鉢	15	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	13.0?/(3.7)/-	良好	精緻	口縁端面から、単節LR・RL・LR・RL→沈線→赤彩、縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	47	7	弥生土器 鉢	10	7/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5/3にぶ黄褐～5YR4/6赤褐（赤彩）	-(5.2)/-	良好 2次の可能性あり	密 1mm大のテフラ状褐色粒が多く混じる	口縁部：端面に単節RL、側面に単節RL・LR・RL→沈線→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	47	8	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	-(3.5)/-	良好	精緻	口縁を肥厚する 肥厚部：側面に単節LR・RL・LR→単節の上に結節RS2個1組→下縁に布もしくは縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
029	47	9	弥生土器 鉢	20	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）	20.0?/(3.9)/-	良好	精緻	内湾する口縁を幅広く肥厚する 肥厚部：口縁端面に単節RL、側面にLR・RL・LR、下縁に刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
029	47	10	弥生土器 鉢	15	5YR5/4にぶ赤褐～黒斑／5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐	18.8?/(5.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの淡黄テフラ状粒が多く混じる	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：面取りされた端面に単節RL、側面に単節LR・RL、下縁に長楕円形の刺突文を巡らせる 肥厚部以下：ナデ	横の工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
029	47	11	弥生土器 鉢	10	10R4/4赤褐（赤彩）～2.5Y7/3浅黄／10R4/4赤褐（赤彩）～2.5Y7/3浅黄	-(5.2)/7.8?	良好 2次の可能性あり	精緻 砂粒は目立たない 非在地的?	剥落が進む 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
029	47	12	弥生土器 甕	80	5/3にぶ黄褐～黒斑／6/4にぶ黄橙～黒斑	-(2.7)/4.9	良好	精緻 砂っぽい	縦の工具ナデ	工具ナデ	混入品
029	47	13	弥生土器 甕	100	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(2.2)/6.2	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	縦の工具ナデ	被熱のためか黒変するヘラミガキ	
029	47	14	土師器? 高杯	90	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～5YR4/2灰褐／10R5/6赤（杯部赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐（脚部）	-(9.4)/-	良好	精緻	上半が中実の脚柱部を持ち、屈折して内湾気味に開く杯部と裾部を持つ脚柱正面にはヘラ状工具で削り取ったほぞ孔があり、杯部はそれに充填する形で成形されている 全体：赤彩・縦の密なヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 裾部：横の工具ナデ	
029	47	15	弥生土器 高杯	10	5/3にぶ黄褐～3/2黒褐～10R4/6赤（赤彩）／3/1黒褐～4/2灰黄褐	-(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	杯部底部に稜がある 縦のハケメ（5本/5mm）→赤彩・ヘラミガキ	密なヘラミガキ	反転復元
029	47	16	弥生土器 高杯	20	10R4/6赤（赤彩）～5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/6明赤褐	-(2.8)/11.0?	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
029	47	17	弥生土器 壺	50	2.5YR5/6明赤褐～5/3にぶ黄褐／6/3にぶ黄橙	-(3.7)/7.9?	良好 2次の可能性あり	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ（底面に及ぶ）	ヘラミガキ	反転復元
029	47	18	弥生土器 高杯	10	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.4)/12.8?	良好	密 ～4mmのシャモット状暗赤褐色粒が目立つ	縦の工具ナデ→縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
029	47	19	弥生土器 壺	100	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(2.2)/6.2	良好	密 ～2mmの淡黄色テフラ状粒が大量に混じる	赤彩・ヘラミガキ（底面に及ぶ）	ナデ	
029	47	20	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/3にぶ褐～5/4にぶ黄褐	-(4.4)/9.2?	良好	精緻 砂っぽい	工具ナデ	工具ナデ→赤彩?・ヘラミガキ（一部ヘラミガキ箇所が赤い）	反転復元
029	47	21	弥生土器 甕	15	5/4にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(6.0)/-	良好	密 ～4mmのシャモット状暗赤褐色粒がまばらに混じる	幅1cm前後の粘土紐の接合痕を残し、下端を段とする 頭部：ナデ（指頭圧痕が明瞭） 段以下：工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
029	47	22	弥生土器 甕	25	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙 ／7.5YR6/6橙	-/(8.2)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	頸部：ナデ（接合痕は部分的に残る）、段以下：ナデ・横の工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
029	47	23	弥生土器? 壺	20	7.5YR7/6橙～7.5YR6/6橙／ 6/4にぶ黄橙	-/(5.3)/14.0?	良好	密	器面が磨滅気味 縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	工具ナデ	反転復元
029	47	27	須恵器 短頸壺	20	2.5Y5/1黄灰～5Y4/2灰オリーブ（軸） ／2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y5/1黄灰	-/(10.3)/13.6?	良好	精緻	中位以上に軸がかかる 回転ヘラケズリ（工具は時計回り） →高さ8mmの高台を貼り付ける→ロ クロナデ 高台には圧着防止のための植物茎圧 痕が見られる	ロクロナデ	反転復元 混入品
030	49	1	弥生土器 壺	15	7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-/(4.0)/-	良好	精緻 まばらに～ 6mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る	単節RL・LR→結節RS2個1組を単節 縄文の上下に配置	ナデ・ヘラミガキ	拓本
030	49	2	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤 彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-/(4.8・3.2)/-	良好	密	頸部と肩部に文様帯あり 頸部文様帯：単節LR→結節RS2個1 組 肩部文様帯：単節RL・LR→結節 RS2個1組 文様外：赤彩・ヘラミガキ	頸部：ヘラミガキ 以下：工具ナデ	拓本
030	49	3	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐 （赤彩）／2.5YR4/6赤褐（赤 彩）	20.0?/(3.1)/-	良好	密 ～1mmの淡黄 色ハミス状粒 が大量に混じ る	口縁部をうすく肥厚する→肥厚部： 側面に単節RL・LR、下縁に木目状 の条線を伴う刺突文→口縁部端面： 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
030	49	4	弥生土器 壺	20	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	-/(3.8)/-	良好 2次の可能 性あり	精緻	結節RSを5段→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	ナデ・工具ナデ	拓本 混入品
030	49	5	弥生土器 壺	15	7/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 7.5YR6/6橙	23.0?/(2.5)/-	良好	精緻 まばらに～2mm の角礫が混じ る	外反する口縁を肥厚する 肥厚部端面：単節LR 肥厚部以下：ハケメ（6本/5mm）→ ナデ→ヘラミガキ?	横のヘラミガキ	反転復元
030	49	6	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙／ 7/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	21.6?/(4.0)/-	良好	精緻 砂粒はほとん ど目立たない	外反する口縁を平らに肥厚する→左 上がりのハケメ（8本/cm）→ナデ・ ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
030	49	7	弥生土器 甕	20	7.5YR4/2灰褐～7.5YR6/6橙／ 7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/2灰 褐	24.8?/(4.2)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	ハケメ（6本/cm）→ナデ→やや疎ら な縦のヘラミガキ	主に横のハケメ→ヨコナデ→横のヘ ラミガキ	大型の甕 屈曲がかなりゆるい 反転復元
030	49	8	弥生土器 甕	25	5YR5/4にぶ赤褐～5YR4/2灰 褐／5YR5/4にぶ赤褐～ 7.5YR4/2灰褐	14.9?/(3.2)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	ハケメ（5本/cm）→横の工具ナデ 頸部屈曲は緩く持たない 口縁部端面が5mm幅で明瞭に面取 りされる	ハケメ→横の工具ナデ	反転復元
030	49	9	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙	21.0?/(5.0)/-	良好	精緻	ゆるく外反する頸部を持つ 口縁部端は丸くおさめる ナデ・工具ナデ	横の工具ナデ→ヘラミガキ?	反転復元
030	49	10	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～2.5Y7/3浅黄～ 7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙	17.8?/(3.2)/-	良好 2次あり	精緻	口縁部の屈曲は緩く緩く形成されな い 口縁部端はまるくおさまり、やや受 口気味に立ち上がる 横の工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
030	49	11	弥生土器 甕	20	5YR5/4にぶ赤褐～3/2黒褐／ 5YR4/6赤褐	15.0?/(5.4)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 まばらに～ 3mmのシャ モット状暗赤 褐色粒混じる	ハケメ（6本/cm）→口縁部：ヨコナ デ、体部頸部屈曲以下：縦の工具ナ デ（工具痕が明瞭） 口縁部端は若干丸く膨らんでいる 口縁部にハケメの遺存することが特 徴的	口縁部：左上がり気味のハケメ→ヨ コナデ 体部：左上がりの工具ナデ	反転復元 雰囲気は030-2によ く似る
030	49	12	土師器 小型土器	15	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 5/3にぶ黄褐／2.5YR4/6赤褐 （赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐	7.0?/(2.3)/-	良好	精緻	ハケメ→ナデ→赤彩	口縁部端が内側に少しつまみ上げら れる 細かいハケメ（8本/5mm）→赤彩	反転復元
030	49	13	弥生土器 鉢	10	5/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／5/4 にぶ黄褐～黒斑	15.8?/(2.8)/-	良好	精緻	口縁部を平らに肥厚する→横のハケ メ状の工具ナデ→ヘラミガキ	横のハケメ状の工具ナデ→ヘラミガ キ	反転復元
030	49	14	土師器? 甕	10	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙 ／7.5YR5/3にぶ褐	14.7?/(3.4)/-	良好 2次あり	精緻 砂っぽい	ハケメ（5本/5mm）→ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	被熱により黒変する 反転復元
030	49	15	弥生土器 小型壺	25	7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐／ 7.5YR6/6橙	6.8?/(2.8)/-	良好	精緻	弱く内湾する短い口縁を持つ 口縁部は屈曲付近のさらに短い口縁 状部を肥厚する形で作り出されている 口縁部：縦のヘラミガキ	ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
030	49	16	弥生土器 壺	30	7.5YR5/6明褐～7.5YR5/4にぶ 褐～黒斑／2.5Y6/3にぶ黄～ 7.5YR5/4にぶ褐	-/(7.5)/-胴径 16.4?	良好 破片化後の 2次あり	密 まばらに～6mm の角礫	ハケメ（6本/cm）→横の密なヘラミ ガキ	水玉状の剥落が著しい ナデ	器形が非在地的 反転復元
030	49	17	土師器? 甕	15	6/4にぶ黄橙～黒斑／6/4にぶ 黄橙	14.8?/(4.2)/-	良好	精緻 まばらに～4mm の砂粒・シャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る	頸部屈曲は鋭くない ハケメ（7本/5mm）→ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
030	49	18	弥生土器 高杯	100	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4 にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-/(3.8)/-	良好	密	3方向均等配置の円形透孔（径 9mm?）を屈曲部直下に穿つ→赤 彩・縦の密なヘラミガキ	ナデ 杯部接合面で剥離している	脚柱部は粘土板を巻 くように成形された 可能性がある
030	49	19	弥生土器 台付甕	20	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／4/1褐 灰～7.5YR6/4にぶ橙	-/(3.8)/7.7?	良好 使用による 2次あり	精緻	被熱のため黒変する ハケメ→ナデ 裾端部は鋭い	脚台部と体部の接合面が明瞭に剥離 しており、その面にハケメが認めら れる 体部：ナデ 脚部：ハケメ（24本/3.6cm） 裾端部内面は切り取られたような面 を持つ	反転復元
030	49	20	弥生土器 鉢	20	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／5YR4/6赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙	-/(1.7)/5.6?	良好	精緻	赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
030	49	21	弥生土器 大型壺	100	5/4にぶ黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐／5/2灰黄褐～4/1褐灰	-(3.2)/8.9	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じる 反射する微粒が目立つ	器面の遺存不良 工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ?	ナデ	一部反転復元
030	49	22	弥生土器 台付甕 (転用甕)	60	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙／5/3にぶ黄褐（体部）～7.5YR6/6橙	-(2.2)/-	良好	精緻	縦の工具ナデ	体部底面が回転穿孔されている ナデ・工具ナデ	
030	49	23	弥生土器 壺・鉢	15	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～黒斑／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.8)/6.4?	良好	精緻 器面に1mm以下の小孔が多数認められる	赤彩・ヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
030	49	25	土製品 土器片鉢	100	5YR4/4にぶ赤褐／7.5YR5/4にぶ褐	長軸3.5/短軸3.4/厚さ1.5	(良好)	(密)	破断面の両端に切り込みがある	—	26.2g 混入品
031	51	1	弥生土器 壺	10	7.5YR7/6橙～7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄褐～10R5/6赤（赤彩）	18.4?/(2.9)/-	良好	精緻 まばらに～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	弱く内湾する口縁部を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：木目を伴う板状工具による斜列点文 以下：細かいハケメ（8本/5mm）→ナデ	口縁端部直下に木目を伴う工具（8本/2cm）による斜列点文が稜杉形に施される 列点文以下：赤彩・ヘラミガキ	文様は非在地的技法だが、口縁肥厚法・胎土は在地的である
031	51	2	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／7.5YR7/6橙	-(2.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が混じる 反射する微粒が目立つ	ハケメ（8本/5mm）→上側磨き直線文（8本/cm）→斜行列点文（工具幅2cm以上）→下側磨き直線文 列点文の区画に赤彩・ヘラミガキ	ナデ	東海東部の壺の模倣品
031	51	3	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙／7.5YR7/6橙	-(4.2)/-	良好	密 反射する微粒が目立つ	磨き直線文（4本/cm）→斜行列点文（上下の直線文を両方切る）	ハケメ→ナデ	東海東部壺模倣品
031	51	4	弥生土器 壺	5	2.5Y6/2灰黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(4.4)/-	良好	密	横の単筋LR→横の沈線→単筋RL・LRの山形文→山形の沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
031	51	5	弥生土器 壺	15	2.5YR5/6明赤褐～5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む）／5/4にぶ黄褐～5YR4/6赤褐（赤彩）	-(9.8)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	ゆるく広がる肩部に文様帯あり 文様帯：単筋RL・LR・RL・LR→沈線 文様以外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
031	51	6	弥生土器 甕・広口壺	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	24.0?/(1.9)/-	良好	精緻	ゆるく外反する口縁を肥厚し、端部に内外二方向からの刺突文を施す ヘラミガキ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
031	51	7	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmのデフラ状粒が大量に混じる	単筋RL・LRを山形に描き、沈線で輪郭を与える 沈線によって菱形の図形が構成される	ナデ	拓本
031	51	8	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	15.8?/(2.3)/-	良好	精緻	外反する口縁部を断面三角形に肥厚し二重口縁を形成する 肥厚部以下：縦のハケメ（6本/5mm）→ヨコナデ・ナデ→ヘラミガキ	ヨコナデ→ヘラミガキ	反転復元
031	51	9	弥生土器 甕	15	2.5Y6/2灰黄～2.5Y5/2暗灰黄／2.5Y5/2暗灰黄	-(8.2)//胴径21.0?	良好 使用・破片化後の2次あり	密	くびれ下部を段として残す→全体：横の工具ナデ	ヘラケズリ状の工具ナデ→一部ヘラミガキ	反転復元
031	51	10	弥生土器 甕	20	3/1黒褐（黒変部）／7.5YR6/6橙～2.5Y5/3黄褐	-(9.3)/-	良好 使用による2次あり	精緻	全面が炭化物の付着で黒変する 横の工具ナデ→下半：縦の疎らなヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
031	51	11	弥生土器 甕	15	4/2灰黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの暗赤褐色シャモット状粒が目立つ	ハケメ（5本/cm）	ハケメ・ナデ	拓本
031	51	12	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／10R3/6暗赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(4.8)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多い	単筋LR・RL・LR・RL	赤彩・ヘラミガキ	拓本
031	51	13	弥生土器 壺	10	5/4にぶ黄褐～2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(4.7)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	単筋RL・LR→沈線（上から見て時計回り）→沈線以下：赤彩・横ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
031	51	14	弥生土器 甕	100	6/4にぶ黄橙～2.5Y5/3黄褐／3/1黒褐～6/4にぶ黄橙	-(3.2)/5.4	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ	赤変し、炭化物が付着する ナデ	
031	51	15	弥生土器 高杯	10	7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(2.6)/9.6?	良好	精緻 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒がまれに混じる	工具ナデ→一部ヘラミガキ	端部近くで弱く内湾する裾部を粘土紐により肥厚する 工具ナデ→ヘラミガキ?	反転復元
031	51	16	弥生土器 高杯	80	7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐／7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐	-(9.0)/12.5	良好 強い2次を受けている	密 ～5mmの赤褐色シャモットが混じる やや砂っぽい	被熱のため器壁の剥落が著しい 縦ハケメ（8本/5mm）→円形透孔（径1.2cm）を3方に穿つ→ナデ 裾部は若干内湾する	脚柱上端はかなり上の方まで開口しており、器台状に形成してから杯部底面の充填を行ったと見られる 脚柱部：横ヘラケズリ→以下：ナデ	
031	51	17	弥生土器 甕	70	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.6)/7.0	良好	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	ヘラケズリ状の工具ナデ	ナデ	一部反転復元
031	51	18	弥生土器 壺	80	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5Y6/3にぶ黄～5/3にぶ黄褐	-(6.5)/5.5	良好	密 ～1mmのにぶ黄褐色バミス状粒が目立つ	下半に稜があり、稜以下は外反する 工具ナデ→赤彩（ヘラミガキは伴わない）	工具ナデ	
031	51	19	弥生土器 甕	75	2.5Y6/3にぶ黄～黒斑／2.5Y6/2灰黄～2.5Y6/3にぶ黄～黒斑	20.5?/20.1/6.0?	良好 使用による2次・破片化後の2次あり	密 ～1mmのにぶ黄褐色粒・褐色デフラ状粒が大量に混じる	全体に黒ずんでいる 口縁部：6段の粘土組接合痕を残すが、下端はなでつけられており段を形成しない、また、口唇の1段は明瞭に肥厚部を残す 体部：底部付近にハケメ状の跡がある、工具ナデ→疎らなヘラミガキ	一部ヘラケズリに近い横の工具ナデ	断面上位合成

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
031	51	20	弥生土器 甕	35	7/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒斑）／2.5Y6/2灰黄～2.5Y6/3にぶ黄	23.0?/(14.2)/- 胴径21.0?	良好 使用による 2次あり	精緻	口縁部に輪積痕を3段残し、口縁端部に一方向の刺突文を施す 輪積痕最下段は無装飾で、以下の体部は工具ナデが施される	横の工具ナデ→中位にヘラミガキ状の単位がある	反転復元
032	53	1	弥生土器 壺	15	5/4にぶ黄褐～10R5/6赤（赤彩）／10R5/6赤（赤彩）	16.0?/(2.2)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、さらに垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR。下段に棒状工具の腹による刺突文を施す→棒状浮文 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
032	53	2	弥生土器 壺	5	10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／5YR5/6明赤褐	-(2.6)/-	良好	密	単節LRで山形文を描き、沈線で区画する 文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
032	53	3	弥生土器 甕	15	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／5/4にぶ黄褐～黒斑	24.8?/(4.7)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの明黄褐テフラ状粒が大量に混じる	緩い屈曲の口縁部を持ち、端部に横一方向からの刺突文を施す 横の工具ナデ	横のヘラケズリ状の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
032	53	4	弥生土器 壺	15	5YR5/6明赤褐～10R4/6赤（赤彩）／5YR5/6明赤褐	-(10.3)/-	良好	密 ～3mmのシャモット状赤褐色粒がまばらに混じる	頸部文様帯：単節RL・LR→結節RS2個1組 肩部文様帯：単節LR1帯による山形文→沈線山形文→結節RS2個1組 沈線による三角形と結節区画外を赤彩・ヘラミガキする	工具ナデ（工具幅3.2cm以上）	反転復元
032	53	5	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～3/1黒褐／5/4にぶ黄褐	21.0?/(2.8)/-	良好 2次あり	精緻	くの字を志向するが緩い屈曲の口縁を持つ ハケメ（5本/5mm）→口縁端部：ヨコナデで幅4mmで面取りされる 煤状炭化物が薄く付着する	横のハケメ→ヨコナデ	反転復元
032	53	6	土師器? 壺	5	3/1黒褐／3/2黒褐	14.2?/(3.0)/-	良好 使用による 2次あり	密	ハケメ（6本/5mm）→ヨコナデ	ヨコナデ	反転復元
032	53	7	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.8)/-	良好 2次あり	密	ナデ→口縁端部：端面一方向からの刺突文	ヨコナデ	拓本
032	53	8	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙	-(4.8)/-	良好 2次あり	密 まばらに～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	頸部の屈曲は弱い ヘラケズリに近い工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
032	53	9	弥生土器 高杯	25	7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／7.5YR6/6橙	8.4?/(3.3)/-	良好	精緻 ～2mmの橙色テフラ状粒・淡黄色バミス状粒が目立つ	やや内弯気味の杯部を持つ 口縁部：6mm幅で面取られる ナデ・ヨコナデ→ヘラミガキ	ナデ・ヨコナデ→ヘラミガキ	反転復元
032	53	10	弥生土器 甕	5	4/1褐灰／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.5)/-	良好 2次あり	精緻	被熱のため黒変する 段部：細長い先端を持つヘラ状工具による刺突文→ヘラミガキ	横のヘラミガキ	拓本
032	53	11	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.4)/-	良好 2次あり	精緻	ナデくびれ部下端に段を持つ 段部：竹管状工具による円形刺突文（径3mm）	工具ナデ	拓本
032	53	12	弥生土器 高杯	5	6/4にぶ黄橙～黒斑／7.5YR5/6明褐	18.4?/(3.0)/-	良好	精緻	ヨコナデ→ヘラミガキ	口縁端部を4mm幅で面取りする放射状のヘラミガキ	形状は非在地的だが胎土は在地的
032	53	13	土師器 小型甕	60	2.5Y3/1黒褐／5/2灰黄褐	-(2.2)/4.6	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの黄褐色テフラ状粒が多く混じる	丸底に近い特徴的な形状の底部を持つ ハケメ（7本/cm）が底面まで施される 底面直上にはハケメの単位による垂下部が生じている	ナデ	反転復元
032	53	14	弥生土器 転用甕	30	6/4にぶ黄橙／4/1褐灰	-(1.3)/5.5?	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	被熱のためか黒変するヘラミガキ	内外両方向からの焼成後、回転穿孔が行われている 反転復元
032	53	15	弥生土器 甕	20	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR4/1褐灰（黒変・黒斑）／6/6明黄褐	-(5.8)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～3mmの黄褐色テフラ状粒が大量に混じる	煤状炭化物の付着が見られる ハケメ（5本/cm）	接合痕が明瞭 横のハケメ	拓本 内外ともハケメで珍しい事例
033	53	16	弥生土器 壺	40	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	17.4?/(11.6)/-	良好	密 ～1mmの砂粒と黄褐色粒が多く混じる	口縁部：粘土紐を追加し断面三角形に肥厚する 肥厚部：単節RL→下面に棒状工具による刺突文を密に巡らせる（横に施文部が覆い被さるようになっている） 頸部：単節RL・LR→上下に沈線 口縁部と頸部文様帯以下：赤彩・ヘラミガキ	口縁部：赤彩・ヘラミガキ 以下：ナデ・工具ナデ	反転復元
033	53	17	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	18.0?/(2.4)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が混じる	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：側面に結節RS2個1組を2段、下段に布目を伴う刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
033	53	18	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	-(2.6)/-	良好	密	外反する口縁を断面方形に肥厚し、端面からの垂下部を持つ 肥厚部：端面に単節LR・RL。垂下部に棒状工具の腹による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
033	53	19	弥生土器 壺	5	5YR6/6橙／2.5YR5/6明赤褐	-(4.9)/-	良好	密	単節RL・LRによる山形文を沈線で囲む 文様外に赤彩されたかは不明	磨減が進む	拓本
033	53	20	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.7)/-	良好	精緻	単節RL・LRによる山形文→沈線→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
033	53	21	弥生土器 壺	20	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙	-(5.0)/-	良好	密	単節RL・LR→沈線→赤彩・ヘラミガキ	頸部上半以上に赤彩・ヘラミガキ 以下：工具ナデ	反転復元
033	53	22	弥生土器 壺	10	7/6明黄褐／5YR6/6橙	-(1.0)/-	良好	密	単節RL→単節RLを切って山形の刺突文（布目を持つ）	ナデ	拓本
033	53	23	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(5.5)/-	良好	精緻	ヘラ描き格子文を描き、山形に沈線で囲む 文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
033	53	24	弥生土器 甕	5	7/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄～6/4にぶ黄橙	-(3.1)/-	良好	密	ゆるく外反する口縁を持ち、端部に内外二方向からの刺突が伴う横の工具ナデ	横の工具ナデ	拓本
033	53	25	弥生土器 甕	5	5/4にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～2/1黒	19.2?/(3.7)/-	良好 使用による 2次あり	密	ハケメ（10本/cm）→ココナデ	ハケメ→ココナデ	反転復元
033	53	26	弥生土器 甕	30	7.5YR5/3にぶ褐～5/3にぶ黄褐／5/2灰黄褐～4/1褐灰	-(8.7)/-/胴径 19.0?	良好 2次あり	やや粗 ～1mmの砂粒 が大量に混じる	被熱のために赤変し、器面が荒れている 縦のヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
033	53	27	弥生土器 甕	5	7.5YR6/4にぶ橙／2.5Y6/3にぶ黄	-(4.0)/-	良好	密	くびれ下部接合痕を段として残す 全面：工具ナデ→段部：布目を伴う刺突文	横の工具ナデ	拓本
033	53	28	弥生土器 鉢	5	7/6明黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	-(3.9)/-	良好	密	直線的に開く口縁を薄く肥厚する 肥厚部：端面と側面に網目状襷糸文を施す→肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
033	53	29	弥生土器 甕	20	7.5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～4/1褐灰	-(6.8)/-	良好 使用による 2次あり	やや粗 ～1mmの砂粒 が多く混じる	くびれ下部を段として残す 全面：横の工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
033	53	30	土師器? 高杯	10	10R4/6赤（赤彩）／2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～黒斑	16.0?/(4.1)/-	良好	精緻	内湾する碗形の杯部を持つ ハケメ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
033	53	31	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y5/2暗灰黄～6/4にぶ黄橙	-(6.0)/-/胴径 11.2?	良好	精緻	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	一部反転復元
033	53	32	弥生土器 脚台部 （高杯か）	10	7/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(3.8)/13.0?	良好	密 反射微粒が目立つ	内湾気味の脚裾部の外側を平らに肥厚する 肥厚部：結節RS2個1組を3～4段施す 肥厚部上縁に刻み目状の刺突文を施す	工具ナデ	拓本
033	53	33	弥生土器 鉢・高杯	5	2.5Y7/4浅黄／10R4/4赤褐（赤彩）	-(3.0)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が大量に混じる	内湾する口縁を平らに肥厚する 肥厚部：側面に結節RS2個1組を4段以上、下縁に棒状工具の腹による刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	033-6の杯部か 拓本
033	53	34	弥生土器 台付甕	10	5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/9.8?	良好	～1mmの砂粒が混じる	ナデ・工具ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
033	53	35	弥生土器 台付甕	35	7.5YR6/4にぶ橙～5/3にぶ黄褐／6/3にぶ黄橙（体部）～5YR6/6橙	-(4.1)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 ～1mmの淡黄色パミス状粒・暗赤褐色シャモット状粒が混じる	被熱のために赤変する ハケメ（8本/5mm）→縦の工具ナデ	体部：ナデ 接合部：体部方向から順次、粘土の充填が行われて成形される	一部反転復元
033	53	36	弥生土器 底部	25	5YR5/4にぶ赤褐／5YR5/6明赤褐	-(1.7)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が目立つ	縦の工具ナデ・ヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
033	53	37	弥生土器 底部	100	6/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄	-(1.3)/6.2	良好	密	工具ナデ	ナデ	
033	53	38	弥生土器 底部	20	6/4にぶ黄橙～5YR5/6明赤褐／5/3にぶ黄褐	-(3.8)/10.0?	良好	密 ～1mmの砂粒・パミス状粒が多く混じる	一部ヘラケズリ状の工具ナデ→ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
033	53	39	弥生土器 底部	80	3/1黒褐／6/4にぶ黄橙	-(2.7)/7.3	良好 2次あり	密	全面が黒変している ヘラミガキ	ナデ	一部反転復元
033	53	40	弥生土器 大型鉢	25	6/4にぶ黄橙～2.5Y4/2暗灰黄／10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(6.4)/6.6	良好	密	器面の磨減が進んでいる 縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
034	54	1	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／10R5/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙	-(2.2)/-	良好	精緻	外反する口縁端部の接合痕を輪積み状に残すことで断面逆三角形に肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、端面下縁に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
034	54	2	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄～10R4/6赤（赤彩）	-(1.8)/-	良好	密	外反する口縁を断面逆三角形に肥厚する 肥厚部端面：単節RL	赤彩・ヘラミガキ	拓本
034	54	3	弥生土器 鉢・高杯	5	7/5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.1)/-	良好	密	口縁部端面に単節RL、以下側面に単節LR・RL・LRを施す	赤彩（遺存不良）・横のヘラミガキ	拓本
034	54	4	弥生土器 高杯・鉢	5	6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄／6/4にぶ黄橙～2.5Y5/3黄褐	16.2?/(2.8)/-	良好	精緻	口縁端部が面取りされる 赤彩?・横のヘラミガキ	赤彩?・ヘラミガキ	反転復元
034	54	5	土師器 壺	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	9.6?/(3.2)/-	良好	精緻	ヨコナデ→ヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
034	54	6	弥生土器 壺	10	5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR6/6橙／5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(4.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が目立つ	単節LR・RL・LR・RL・LR→沈線→沈線以下：赤彩・ヘラミガキ	ヘラケズリに近い横の工具ナデ	拓本
034	54	7	弥生土器 鉢・鉢	5	5/2灰黄褐／5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む）	-(2.6)/-	良好	密	内湾気味の口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面にLRを施し、下縁に布目を伴う刺突文を加える	赤彩・ヘラミガキ	拓本
034	54	8	弥生土器 鉢・高杯	5	10R4/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐／10R4/4赤褐（赤彩）～2.5YR3/1暗石灰（黒変部）	-(2.8)/-	良好	密	単節LR→沈線→沈線以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
034	54	9	弥生土器 甕	5	7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	-(4.8)/-	良好	精緻	くびれ下端を段部とする 段部：布目を伴う刺突文 工具ナデ	ナデ・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
034	54	10	土師器 脚台部	60	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙	-(2.2)/6.0?	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が目立つ	被熱により赤変する ナデ	ナデ	反転復元 混入品か
034	54	11	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙	-(2.3)/8.0?	良好	精緻	工具ナデ	ナデ	反転復元
034	54	12	弥生土器? 脚部 (炬器台・高杯 か)	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.5)/12.0?	良好	密	ナデ	ヘラミガキ?	反転復元
034	54	13	土師器 高杯	100	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐 ／7.5YR5/4にぶ褐	-(5.0)/-	良好	密 ～2mmの暗赤 褐色シャモット 状粒がまばらに 混じる	赤彩?・縦のヘラミガキ	ナデ	磨減が進んでいる 混入品
035	54	14	ミニチュア土器	100	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙	-(4.0)/3.7/胴径 5.8	良好	密 まれに～4mm の穢が混じる	粘土円板を底部とし、体部を輪積 み・手捏で成形する	ナデ	
035	54	15	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～5/4にぶ黄褐／ 10R4/6赤（赤彩）	14.0?/(2.9)/-	良好	密 やや砂っぽい	外反する口縁を断面方形に肥厚し、 端面からの垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節RL・LR、垂下 部に布目を伴う刺突文を施す→棒状 工具の腹の刺突によるキザミを持つ 棒状浮文を貼り付ける 肥厚部以下：ナデ	棒状浮文を切って、赤彩・ヘラミガ キ	拓本
035	54	16	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤 彩）／10R4/6赤（赤彩）	21.0?/(3.2)/-	良好	密	弱く外反する口縁を断面逆三角形に 肥厚する 肥厚部：端面・側面に単節RLを施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
035	54	17	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤 褐（赤彩）／2.5YR5/6明赤褐	15.0?/(2.0)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmの砂粒 が混じる	外反する口縁を断面垂直状に肥厚す る 肥厚部側面に単節LR、垂下気味の下 縁に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
035	54	18	弥生土器 壺	10	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 褐／6/4にぶ黄橙	-(2.6)/-	良好	密	単節LR→沈線→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	ナデ	拓本
035	54	19	弥生土器 壺	10	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.9)/-	良好	やや粗 1mm大の淡黄 色バミス状粒 が大量に混じ る	単節RL・LR・RL	ナデ	拓本
035	54	20	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～2.5YR5/6明赤褐 （赤彩）／7/6明黄褐	-(2.7)/-	良好	精緻	複合山形文（単節2帯幅・沈線）→ 赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
035	54	21	弥生土器 甕	5	7.5YR7/6橙／5YR6/6橙～6/4 にぶ黄橙	-(2.6)/-	良好	密	ナデ	外反する口縁の内側を肥厚し、下縁 に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：ナデ	拓本
035	54	22	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	-(2.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	口頭部に8mm幅の粘土紐接合痕を残 す 口縁端部：端面一方向からの刺突を 施す	ナデ	拓本
035	54	23	弥生土器 甕	10	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.4)/-	良好	密	工具ナデ 口縁部：内縁を斜めに押圧し、口縁 部を波状に加工する	横の工具ナデ	拓本
035	54	24	弥生土器 壺	5	2.5Y6/3にぶ黄／2.5Y6/2灰黄	-(2.1)/-	良好	密 ～1mmの淡黄 色バミス状粒 が大量に混じ る	無節Rを軸に巻き付けた原体による 網目状文を山形に構成し、沈線で区 画する	工具ナデ	拓本
035	54	25	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4に ぶ褐	-(2.9)/-	良好	やや粗 ～2mmの砂粒 が多く混じる	くびれ部下端に段部を残し、段部に 半月形の刺突文を施す ナデ・工具ナデ	工具ナデ	拓本
035	54	26	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	20.7?/(4.0)/-	良好	精緻 砂っぽい	くの字を志向する緩い屈曲の口縁部 を持つ ナデ・ヨコナデ→口縁端部：端面一 方向からの布目を伴う刺突文 口縁端部は若干受け口状を呈する	ヨコナデ・一部ヘラミガキ	反転復元
035	54	27	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 ／6/4にぶ黄橙	-(5.1)/-	良好	密 ～1mmのテフ ラ状粒と角閃 石状粒が目立 つ	くびれ部下側接合部を段として残す 工具ナデ・ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
035	54	28	弥生土器 椀・高 杯	10	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR7/6 橙／10R4/6赤（赤彩）	14.0?/(4.0)/-	良好	精緻	口縁端部が水平的に面取りされる 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
035	54	29	弥生土器 椀・高 杯	5	10R4/6赤（赤彩）～5YR6/6橙 ／10R4/6赤（赤彩）	18.0?/(3.5)/-	良好	精緻	口縁端部が水平的に面取りされる 赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
035	54	30	弥生土器 底部	15	5/4にぶ黄褐／4/1褐灰	-(2.4)/6.0?	良好 使用による 2次あり	密	縦の工具ナデ・一部ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
035	54	31	弥生土器 鉢・壺	50	2.5Y6/3にぶ黄～2.5YR4/6赤 褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐 （赤彩）～7/4にぶ黄橙	-(2.0)/4.9?	良好	密 ～1mmの明黄 褐テフラ状粒 が多く混じる	縦の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
035	54	32	弥生土器 椀・鉢	5	5/3にぶ黄褐～黒灰／10R4/6赤 （赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好	精緻	面取りされた口縁端部に単節LR、以 下側面に単節RL・LR・RLを施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
035	54	33	弥生土器 椀	10	7/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤 彩）～6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好	精緻	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面以下に 単節RL・LR・RLを施す→下縁にヘ ラ状工具による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
035	54	34	弥生土器 椀	10	2.5YR5/6明赤褐～10R4/4赤褐 （赤彩）／2.5YR5/6明赤褐～ 10R4/6赤（赤彩）	12.0?/(4.3)/-	良好	密 ～1mmの淡黄 色バミス状粒 が大量に混じ る	内湾気味の口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に RL、下縁に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部直下：単節RL→沈線→肥厚部 下縁を切る円形透孔（径6mm）2個 を穿ち、沈線以下を赤彩・ヘラミガ キ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
036	56	1	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/6橙 ～2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）	-(5.4)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒・テフラ状粒が大量に混じる	口縁部：結節RS（6個1組か）を3段施す	磨減が進む 赤彩・横のヘラミガキ	拓本
036	56	2	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩） ～7.5YR6/4にぶ橙	18.0?/(1.7)/-	良好	密	外反する口縁を断面方形に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節RL、垂下部に縄文原体もしくは布目圧痕を伴う刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
036	56	3	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/4赤褐（赤彩）～ 2.5Y6/3にぶ黄	-(2.6)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒が大量に混じる	外反する口縁を断面垂直形に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に附加条を持つ単節縄文、下縁に縄文原体と思われる圧痕を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
036	56	4	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐～4/2灰黄褐／ 7.5YR4/3褐～7/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好	精緻	赤彩・横のヘラミガキ	結節RS（3個1組か）を施し、以下を赤彩・ヘラミガキ	拓本
036	56	5	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙／5YR6/6橙	-(3.6)/-	良好	精緻	単節RL・LR→沈線→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→一部ヘラミガキ	拓本
036	56	6	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩） ／6/4にぶ黄橙	-(4.8)/-	良好	精緻	単節RL・LR・RL→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
036	56	7	弥生土器 壺	5	4/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／ 2.5Y7/4浅黄	-(5.5)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	無節Rによる網目状文→沈線	工具ナデ	拓本
036	56	8	土製品 焼成粘土塊	100	2.5Y5/2暗灰黄	長軸4.4/短軸3.5/厚さ1.8/重量16.5g	良好	密 浅黄色バミス状粒が目立つ	とぐろを巻くように粘土紐を寄せ、手びねりで厚みのある三角形に整えているように見受けられる	－	擬遺物か
036	56	9	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐～5YR6/6橙	-(3.8)/-	良好	精緻	ゆるい頭部屈曲に、斜列点文状の刺突文が施される	横のヘラミガキ	拓本
036	56	10	弥生土器 甕	20	6/4にぶ黄橙／6/3にぶ黄橙	-(4.6)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの砂粒がまばらに混じる	幅1～1.5cmの輪積痕を4段残す 指頭圧痕が明瞭に残される	横の工具ナデ	拓本
036	56	11	弥生土器 大型甕 もしくは無頭壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR5/6明赤褐／7.5YR5/4にぶ褐～ 2.5YR5/6明赤褐	17.6?/(3.8)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じる	内湾する口縁を持つ 工具ナデ→横の疎らなヘラミガキ（赤彩が伴うかもしれない）	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
036	56	12	弥生土器 鉢	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐／10R4/6赤（赤彩）～ 7.5YR6/6橙	-(5.0)/-	良好	精緻	赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
036	56	13	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙／5/1褐灰～6/4にぶ黄橙	-(3.7)/-	良好	密 まれに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	剥落が著しい 口縁端部：内外からつまむような単位と内縁を押しつける単位のある刺突文を施す	横の工具ナデ	拓本
036	56	14	弥生土器 小型甕	10	5/3にぶ黄褐／2.5Y7/4浅黄	12.0?/(2.1)/-	良好 使用による2次あり	密	口縁部に輪積痕を残し端部に端面一方向の刺突文を施す 使用により炭化物がうすく付着する	ヨコナデ	拓本
036	56	15	弥生土器 甕	10	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/6橙	-(3.6)/-	良好	精緻	くびれ部下端接合痕を段として残す 横の工具ナデ	横の工具ナデ	拓本
036	56	16	弥生土器 鉢	10	5YR6/6橙／5/2灰黄褐～ 7.5YR6/6橙	-(3.2)/-	良好	密	内湾する口縁を若干肥厚する 口縁部：端面に単節RL、側面にLR/RLを施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
036	56	17	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙／10R4/4赤褐（赤彩） ～6/4にぶ黄橙	-(1.7)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じる	外反する口断面垂直状に肥厚する 肥厚部：端面に結節RS2個1組、側面に同原体を3段施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
036	56	18	弥生土器 甕	5	7.5YR6/6橙～3/1黒褐（黒変部） ／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好 使用による2次あり	密	くびれ下部に段を持ち、そこに布目と思われる圧痕を伴う刺突文を施す 全面にうすく炭化物が付着する	工具ナデ	拓本
036	56	19	弥生土器 椀・高杯	5	7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）	-(2.5)/-	良好	精緻	結節RSを4列施し、沈線を加える→ 文様外：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
036	56	20	弥生土器 壺	5	6/6明黄褐／7.5YR4/3褐	-(2.4)/-	良好 2次の可能性あり	密	受口を呈するあるいは内湾する口縁部を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：側面に単節RLと結節RS4個1組を上下に並べて施し、下縁に布目を伴う刻み目状刺突文を施す	赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ?	拓本
036	56	21	土師器 底部	25	7.5YR5/4にぶ褐／6/3にぶ黄橙	-(2.5)/6.4?	良好	精緻	工具ナデ	工具ナデ	反転復元
036	56	22	弥生土器 壺	80	6/4にぶ黄橙～2.5Y5/2暗灰黄 ／7.5YR6/6橙～5/2灰黄褐	-(4.9)/-	良好	精緻	工具ナデ	ナデ・工具ナデ	
036	56	23	弥生土器 甕	25	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(2.3)/4.9?	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの赤褐色テフラ状粒が目立つ	底部：ドーナツ状部に粘土を充填した接合痕が残る、側面には輪積痕状の粘土紐追加跡が見られる 体部：縦の工具ナデか 被熱による赤変が認められる	工具ナデ・黒変する	反転復元
036	56	24	土師器 底部	40	5YR5/4にぶ赤褐～5/3にぶ黄褐／7.5YR6/6橙	-(1.4)/8.4?	良好 2次あり	密 反射する微粒が目立つ	赤変する	ナデ	反転復元
036	56	25	弥生土器 底部	100	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(1.3)/4.0	良好	密	小さめの底面が若干上反る	ヘラミガキ?	
036	56	26	土師器 鉢	100	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／5YR5/4にぶ赤褐	-(1.0)/2.4	良好	精緻	径2.3cmほどが明瞭にくぼむ底部を持つ 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	204号遺物か
037	57	1	土製品 勾玉	100	6/4にぶ黄橙	長軸3.3/短軸2.0/厚さ1.2cm/重量5.5g	良好	密	横断面はほぼ円形で、平面形のカーブは半円に少し満たない程度である	－	
037	57	3	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/6明赤褐／7.5YR5/4にぶ褐	12.0?/(3.9)/-	良好	密 淡黄色バミス状微粒が大量に混じる	ゆるく外反する素口縁の側面に結節RS（3個1組4段以上か）を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
037	57	4	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／5/2灰黄褐～2.5YR4/6赤褐	17.0?/(1.8)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が目立つ	外反する口縁を断面垂直形に肥厚し、側面からの垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下部に棒状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
037	57	5	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4（赤彩含む）／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.5)/-	良好	密	外反気味の口縁を断面ゆるい半円形に肥厚する 肥厚部：上位面に単節RL・LR、下位面に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	拓本
037	57	6	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）	14.0?/(3.9)/-	良好	精緻	直線的に開く素口縁を持つ 口縁外面：端面に単節RL、側面に単節RL・LRを施し、下に結節RS2個1組2段を施す→文様以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
037	57	7	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	-(3.1)/-	良好	密	擬縄文（羽状縄文風）→沈線区画→幅の狭い山形沈線	ナデ	拓本
037	57	8	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y7/3浅黄	-(2.9)/-	良好	精緻	単節LR→沈線→単節上にボタン上円形浮文（径1.2cm）を施す 浮文上には縄文原体と棒状工具による円形刺突が4箇所十字配置で施される	ヘラミガキ	拓本
037	57	9	弥生土器 壺	10	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR6/6橙／5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙	-(5.2)/-	良好	密	単節LR・RL→沈線→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	拓本
037	57	10	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.9)/-	良好	密	単節RL横帯→結節RS2個1組→単節LRによる山形文→沈線で囲む	横の工具ナデ	拓本
037	57	11	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.3)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が目立つ	単節RL・LR→上側に沈線区画→単節を切って沈線に頂部の揃う山形文を2本1組で描く 下側沈線以下は磨り消され、赤彩・ヘラミガキが施される	ナデ	拓本
037	57	12	弥生土器 鉢	5	5/1褐灰～7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(2.8)/-	良好	精緻	直線的に開く口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節RL・LR、下縁に棒状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	拓本
037	57	13	弥生土器 椀・高杯	5	4/2灰黄褐～7.5YR5/6明褐／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	-(3.9)/-	良好	密	内湾する口縁部側面に、単節RL・LR・RL・LR・RLを施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
037	57	14	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～1 0 R4/6赤（赤彩）／5YR6/6橙	-(4.0)/-	良好	密	単節RL1帯で山形を描き、結節RS・沈線で囲む 文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
037	57	15	弥生土器 壺	5	3/1黒褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR5/6明赤褐	-(3.8)/-	良好	精緻	単節LR・RLによる山形文を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
037	57	16	弥生土器 鉢・高杯	10	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～4/1褐灰／2.5Y6/3にぶ黄～10R4/6赤（赤彩）	-(4.1)/-	良好	精緻	単節LR・RL→沈線→沈線以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
037	57	17	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／7.5YR6/6橙	-(3.5)/-	良好	密	単節LR横帯→結節RS（2個1組を2段か）→単節縄文帯の中に沈線で山形を描く→単節を磨り消し、赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	拓本
037	57	18	弥生土器 甕	20	5/2灰黄褐～3/1黒褐／2.5Y7/4浅黄～2.5Y6/3にぶ黄	-(8.3)/-胴径19.6?	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのテフラ状黄褐色粒が目立つ	縦の工具ナデ 全面にうすく炭化物が付着する	横の工具ナデ（砂粒の移動が見られる）	反転復元
037	57	19	弥生土器 甕	5	6/3にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	-(3.0)/-	良好 使用による2次あり	密	薄く炭化物が付着する 口縁部接合痕を輪積装飾として残し、口縁端部に内外2方向からの刺突文を施す	ナデ	拓本
037	57	20	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y6/4にぶ黄	-(4.2)/-	良好 2次あり	密 反射する微粒が大量に混じる	無節R網目状文（菱形部3段）→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
037	57	21	弥生土器 壺	20	2.5Y4/1黄灰／2.5Y5/2暗灰黄	-(2.2)/8.6?	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じる	ヘラミガキ（底面に及ぶ）	ナデ	反転復元
037	57	22	土師器? 甕	100	7.5YR5/4にぶ褐／4/2灰黄褐	-(1.7)/5.3	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ→一部ヘラミガキ	ナデ	
037	57	23	弥生土器 壺	100	4/1褐灰～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/6橙	-(2.1)/6.2	良好 2次あり	やや粗 ～1mmの橙色テフラ状粒が大量に混じる	器面の遺存不良 縦のヘラミガキ	剥落	
037	57	24	弥生土器 壺	20	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙	-(3.2)/5.9?	良好	密	縦のヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
037	57	25	弥生土器 底部	70	5/4にぶ黄褐／5/2灰黄褐	-(1.8)/8.0	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmの橙色テフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ（底面にも工具痕が残る）	ヘラミガキ	円形板を2枚重ねたような成形痕が残る
037	57	26	弥生土器 壺	15	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(7.7)/10.8?	良好	密 ～1mmの砂粒が大量に混じる	工具ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
038	57	27	土師器 甕	5	5YR5/6明赤褐～7.5YR6/6橙／4/1褐灰～6/4にぶ黄橙	14.4?/(3.8)/-	良好 使用による2次あり	密	ハケメ（8本/cm）→ヨコナデ 頸部屈曲は強くない	横のハケメ→ヨコナデ	反転復元
038	57	28	弥生土器 鉢	5	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／5YR6/6橙	-(4.2)/-	良好	密 反射する微粒が目立つ	内湾気味の口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節RL・LR、下縁に布目を一部に伴う棒状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
038	57	29	弥生土器 鉢・碗	15	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	20.0?/(4.6)/-	良好	密 反射する微粒が目立つ	内湾する口縁を平らに肥厚する 肥厚部：端面に結節RS2個1組、側面中位に同結節を3段、側面上下端に径2mmの円形刺突文を密に施す→中位の結節を切る形で2帯の山形沈線文を施す→肥厚部下段：棒状工具の腹による刺突文→肥厚部以下と肥厚部側面山形文外を赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
038	57	30	土師器 甕	40	5/4にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(1.3)/6.7?	良好 使用による2次あり	精緻 反射する微小粒が目立つ	ナデ	ナデ 炭化物が付着する	反転復元
038	57	31	弥生土器 高杯	100	10R4/6赤（赤彩）～7/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～黒斑	-(2.4)/-	良好	精緻	接合部に凸帯を巡らし、その側面に縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突文を施す 体部：赤彩・右上がりのヘラミガキ 脚部：赤彩・縦のヘラミガキ	体部・脚部とも赤彩・ヘラミガキ 裾部破断面は擬口縁状に剥離する	精製品
038	57	32	弥生土器 壺	25	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐	-(4.1)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多量に混じる	結節RS2個1組を複数重ねる横帯文→沈線→文様間：赤彩・横のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
038	57	33	弥生土器 高杯	10	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～7.5YR5/3にぶ褐／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	-(9.3)/-	良好 2次の可能性あり	密	赤彩・縦のヘラミガキ 脚部との境界には凸帯の剥落痕が巡る	赤彩・ヘラミガキ 杯部底面は剥離が進んでいる	反転復元
039	60	1	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(4.7・14.3)/-	良好	密 ～1mmの橙色テフラ状粒が多量に混じる	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
039	60	2	弥生土器 壺	5	5YR6/6橙～黒斑／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	-(1.8)/-	良好	密	内湾気味の口縁を断面長方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節RL・LR、下面から下縁にかけて刺突文を施す	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	拓本
039	60	3	弥生土器 甕	5	7.5YR6/4にぶ橙／5/3にぶ黄褐	-(3.5)/-	良好	精緻	くびれ下端を段部とする 段部：布目を伴う刺突文（右上がりの斜列点気味） 工具ナデ	横の工具ナデ	拓本
039	60	4	弥生土器 壺	10	2.5Y7/4浅黄～2.5Y6/3にぶ黄～10R4/4赤褐／7.5YR6/6	-(4.9)/-	良好	密	頂点が上にある山形に単節1帯と沈線を描き、それを切るようにV字状の同じ山形文を重ねる 文様間と山形文が交差して出来る空間を赤彩・ヘラミガキする	工具ナデ	遺存不良 拓本
039	60	5	弥生土器 壺	35	7.5YR6/6橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／7/6明黄褐	-(12.9)/-脚径22.3?	良好	密 ～2mmの橙色テフラ状粒が多く混じる	赤彩・横のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
039	60	6	弥生土器 大型壺	5	5/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	-(7.1)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が多量に混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
039	60	7	弥生土器 裾部	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(3.5)/9.0?	良好	密	ナデ・工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
039	60	8	弥生土器 高杯	20	10R5/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）	-(3.3)/-	良好 2次の可能性あり	密	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
039	60	9	弥生土器 甕	25	7.5YR6/6橙～2.5YR5/6明赤褐／5YR5/6明赤褐～7.5YR5/4にぶ褐	-(2.4)/5.8?	良好 破片化後の2次あり	精緻	ヘラケズリ状の工具ナデ	工具ナデ	反転復元
039	60	10	弥生土器 壺	30	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／2.5Y6/3にぶ黄	-(2.6)/8.0?	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が目立つ	底面までヘラミガキが及ぶ	剥落	反転復元
039	60	11	弥生土器 甕	30	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄／2/1黒～2.5Y7/3浅黄	-(2.5)/7.0?	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多量に混じる	縦のヘラミガキ 黒変する	炭化物が薄く付着する 工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
039	60	12	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙／2.5Y7/4浅黄～7.5YR6/4にぶ橙	16.4?/(6.9)/-	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒が多量に混じる	頸部に輪積痕（幅0.8～1.3cm）6段を残し、指頭圧痕が目立つ 体部：工具ナデ 輪積痕最下段は平坦に近い	横の工具ナデ	反転復元
040	60	13	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	-(1.5)/-	良好	密	外反する口縁を厚みのある垂滴形に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL、垂下部に縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突を施す	赤彩・ヘラケズリ	拓本
040	60	14	弥生土器 高杯	40	4/1褐灰～5/4にぶ黄褐／3/1黒褐	-(3.7)/-脚柱径3.9	良好 2次の可能性あり	密	脚柱部：縦の工具ナデ→縦横の緻密なヘラミガキ	上面は接合部できれいに剥離している 裾部内面上位には工具刺突痕が目立つ	全体が黒ずむ 反転復元 混入品か
040	60	15	弥生土器 壺	60	2.5Y5/3黄褐～4/2灰黄褐～5YR4/6赤褐（赤彩遺存部）／2.5Y4/1黄灰～6/4にぶ黄橙	-(5.0)/5.6	良好 2次あり	密 ～1mmの明黄褐テフラ状粒が目立つ	赤彩（被熱のためか遺存不良）・縦のヘラミガキ	工具ナデ	一部反転復元
040	60	16	弥生土器 脚台	100	7.5YR6/6橙／5YR5/6明赤褐（杯部）～6/4にぶ黄橙～黒斑（裾部）	-(4.0)/6.7	良好	密	縦のヘラケズリに近い工具ナデ→ヨコナデ	杯部：ヘラミガキ 裾部：横のハケム（7本/cm）	
040	60	17	弥生土器 鉢	90	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙～黒斑	20.0/10.5/6.5	良好	密 ～1mmの橙色バミス状粒が多量に混じる	口唇を粘土紐で肥厚 肥厚部外面：単節RL→LR→RL→LR→沈線 口唇：単節LR 沈線以下：赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
041	40	1	弥生土器 壺	25	2.5Y5/3黄褐～2.5Y7/4浅黄／ 2.5Y4/2暗灰黄～2.5Y5/6明赤褐（赤彩）	14.4?/(4.8)/-	良好 2次あり	密 ～3mmの暗赤褐色シャモット状粒がまばらに混じる	外反する口縁を断面方形に肥厚し、側面からの垂下部を加える 肥厚部：端面に単節LR、下縁に縄文原体押圧による刺突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	遺存不良 反転復元
041	40	2	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ黄褐	-(2.2)/-	良好	密	口縁端部に内外2方向からの刺突を加えるナデ	ゆるく外反する口縁の内側を粘土紐で肥厚する 肥厚部下縁：縄文原体による円形刺突文	拓本
041	40	3	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	23.0?/(2.8)/-	良好	密 ～1mmの淡黄 色バミス状粒 が大量に混じる	磨減が進み遺存不良 外反する口縁を断面三角形に肥厚し、側面からの垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL、垂下部に刺突文を施す	磨減が進む 赤彩・ヘラミガキ	拓本
041	40	4	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	11.0?/(3.1)/-	良好	密	弱く外反する口縁を断面三角形に肥厚する 肥厚部：側面に単節LRを施し、下面はナデで平らにされる 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
041	40	5	弥生土器 甕	10	3/2黒褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(4.6)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 まばらに～ 5mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	ゆるく屈曲する口縁部に内外2方向からの刺突が施される 以下：ナデ・工具ナデ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
041	40	6	弥生土器 大型壺	25	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄橙	-(8.1)/-	良好	精緻	文縁帯：単節LR・RL・LR・RL・LR→沈線→単節山形文→沈線で山形文を囲む 文縁外：赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
041	40	7	弥生土器 鉢・高杯	5	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	19.4?/(2.7)/-	良好	精緻	ハケメ状の工具ナデ（5本/5mm）→ナデ・ヨコナデ→赤彩・ヘラミガキ 口縁端部：ほぼ水平に面取りされる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元 混入品か
041	40	8	弥生土器 台付甕	80	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	体部：左上がりのヘラケズリ状工具ナデ	体部：工具ナデ 脚部：工具ナデ	赤変・炭化物の付着 が認められる
041	40	9	弥生土器 甕	15	7.5YR6/6橙～2.5Y6/3にぶ黄／7/4にぶ黄橙～2.5Y5/2暗灰黄	-(11.0)/-	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒・テフラが目立つ	ゆるく湾曲するくびれ部の下端を段とし、口縁端部は内外方向からの刺突文を施す 全体：ナデ・工具ナデ	段の裏面にシボリ痕が認められる 工具ナデ	反転復元
041	40	10	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(7.3)/-	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒 と反射する微 粒が目立つ	ナデ くびれ部に段はない	ヘラケズリ状の工具ナデ	反転復元 混入品か
041	40	11	土師器 甕	15	2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y3/1黒褐／5/3にぶ黄褐	-(3.8)/6.8?	良好 使用による 2次あり	密	ヘラケズリ→ナデ 炭化物が付着する	ナデ・工具ナデ	反転復元
041	40	12	土師器? 高杯	15	7.5YR5/4にぶ褐（赤彩含む）／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	-(4.3)/-	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
041	40	13	土師器? 高杯	50	7.5YR5/3にぶ褐～6/4にぶ黄橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(5.6)/-	良好	精緻	縦の密なヘラミガキ	天井部を除いて横のヘラミガキ	一部反転復元 混入品
042	41	1	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	15.0?/(1.7)/-	良好	やや粗 角閃石状の反 射する粒が多 く砂っぽい	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：側面に単節RL、下縁に棒状工具の腹による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	口縁端部直下に単節LR→沈線を施し、以下を赤彩・ヘラミガキする	拓本
042	41	2	土師器? 高杯	10	7/4にぶ黄橙～5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐	-(6.4)/-	良好	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
042	41	3	弥生土器 高杯	100	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐	-(2.1)/-	良好	精緻	赤彩・密なヘラミガキ ドーナツ状部品に杯部側から充填された痕跡が底面に認められる	杯部底面中央が剥落しており、使用痕と考えられる	
042	41	4	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(4.3)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	工具ナデ（6本/cm）	横のヘラケズリ状の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
042	41	5	弥生土器 甕	15	5/4にぶ黄褐～2.5YR5/8明赤褐／6/4にぶ黄橙	-(5.4)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	くびれ下部を段とする 段部に右上がりの斜列点気味の刺突文を施す 段以下：横の工具ナデ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
042	41	6	弥生土器 甕	5	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好	精緻	くびれに粘土紐接合痕を残す 輪積み以下：工具ナデ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
042	41	7	土師器 甕	25	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐	-(1.8)/6.0?	良好 使用による 2次あり	精緻	被熱で赤変する 工具ナデ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
043	41	8	弥生土器 鉢	5	7.5YR6/6橙～5YR5/6明赤褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.4)/-	良好 2次あり	密	端面に単節RL、側面にも単節RL（2段以上か）	赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	遺存不良 拓本
043	41	9	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／5/2灰黄褐～4/2灰黄褐	-(3.7)/-	良好 使用による 2次あり	密	縦の工具ナデ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
044	62	1	弥生土器 壺	15	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐／10R4/6赤（赤彩）	19.0?/(1.4)/-	良好	密	外反する口縁を肥厚する 肥厚部は下縁が鈍角で、側面に単節RL、下縁に縄文原体押圧による刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
044	62	2	弥生土器 広口壺	10	5/3にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）／5/3にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	-(4.0)/-	良好 2次あり	やや粗 ～1mmのテ フラ状粒が大 量に混じる	ゆるく外反する口縁の面取りされた端部（受け口状に拡張された可能性あり）に単節RL、外縁に縄文原体による刺突を施す→口縁以下：赤彩・縦のヘラミガキ	剥落	2次焼成のため全体 が遺存不良
044	62	3	弥生土器 壺	30	7.5YR4/3褐～5YR4/4にぶ赤褐／2.5YR5/6明赤褐	-(5.9)/-	良好	密	単節LR・RL・LR→上下に結節RS2個1組→文縁外に赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
044	62	4	弥生土器 壺	50	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／2.5Y4/1黄灰～6/3にぶ黄橙	-(12.8)/-/胴径18.6?	良好	密 ～1mmのバミス状粒が大量に混じる	最大径より若干上に単節RLを施し、結節で上下を挟む 結節：原体は単節LRをZ字・S字に結んだもので、上側に2段、下側に2段施す（下側下列のみS字が上になる） 文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
044	62	5	弥生土器 高杯	50	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.4)/-	良好	精緻	縦のヘラケズリもしくは工具ナデ→ヘラミガキ	杯部：ヘラミガキ 裾部：ナデ・ヘラケズリ	反転復元
044	62	6	土師器 甕	70	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y4/1黄灰	-(1.8)/4.0	良好 使用による2次あり	密	ヘラケズリ	ナデ・ヘラケズリ?	
044	62	7	弥生土器 甕	100	7.5YR6/6橙～4/2灰黄褐／4/3にぶ黄褐	-(5.1)/5.6	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が目立つ	薄く炭化物が付着する 工具ナデ	黒変する 工具ナデ→ヘラミガキ	
044	62	8	土製品 土器片鉢	100	4/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／4/1褐灰	長軸4.1/短軸3.6/厚さ1.2/重量20.7	良好	密	長軸両端に切れ込みがある	-	混入品
045	41	10	弥生土器 甕	15	5/4にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.5)/-	良好 2次あり	密	くびれ下部が段として残される段以下：工具ナデ	一部ハケム状になる横の工具ナデ（5本/5mm）	反転復元
045	41	11	縄文土器 深鉢	5	5/3黄褐～黒斑／6/4にぶ黄橙	-(4.9)/-	良好	密 雲母状の反射微粒が特徴的に含まれる	3本以上の沈線文に竹管状工具の斜方向刺突による列点文を追加する	ヘラミガキ	拓本 混入品
045	41	12	土師器 底部	20	4/2灰黄褐～7.5YR6/6橙／7.5YR4/3褐～2.5YR5/6明赤褐	-(1.3)/7.8?	良好 2次の可能性あり	密	底面を除きヘラミガキ	ナデ 一部ヘラミガキ（赤彩の可能性）	反転復元
046	65	1	弥生土器 壺	15	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.0?/(4.2)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、下縁がさらに垂下気味に作られる 肥厚部：側面に単節LR、下縁に布目を伴う刻み目状の刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
046	65	2	弥生土器 壺	40	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／7.5YR5/6明褐～10R4/6赤（赤彩）	15.6?/(5.1)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：側面に単節RL、下縁に布目を伴う工具もしくは縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
046	65	3	弥生土器 台付甕	40	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.7)/-	良好	密	ナデ・工具ナデ	体部：工具ナデ ナデ	反転復元
046	65	4	弥生土器 鉢	10	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙	21.0?/(3.4)/-	良好	精緻	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：端面は赤彩・ヘラミガキで無文、側面は単節LR、下縁が布目の伴う刻み目状の刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・主に縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
046	65	5	弥生土器 壺	30	2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5Y5/3黄褐	-(4.5)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が大量に混じる	横の工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	ナデ・横の工具ナデ	反転復元
046	65	6	弥生土器 鉢	50	7.5YR5/4にぶ褐～黒斑・黒変部／3/1黒褐（黒変部）～5/4にぶ黄褐	15.6?/8.5/4.0	良好 2次の可能性あり	精緻 ～6mmのシャモットがまばらに混じる 砂粒は目立たない	密なヘラミガキ→口縁部：ヨコナデで端部外面が面取りされる 底部付近から2cmぐらいの範囲が被熱のためか環状に剥落している	密なヘラミガキ 全体が黒変している	断面上位反転復元 非在地的な形状 東海東部の模倣か
046	65	7	弥生土器 鉢・高杯	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(5.8)/-	良好	精緻	内湾気味の口縁を肥厚し、肥厚部側面に単節RL、下縁から接合部にかけて斜列点気味の縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	水玉状の剥落が一部で著しい 赤彩・ヘラミガキ	反転復元
046	65	8	弥生土器 小型器台	20	6/4にぶ黄橙／6/3にぶ黄橙	9.6?/(2.1)/-	良好	精緻	口縁部が面取りされ、上方に少しつまみ出される ごく細かいハケム（4本/2.5mm）・縦の工具ナデ→縦の密なヘラミガキ	密なヘラミガキ	反転復元
046	65	9	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／5YR5/6明赤褐	-(4.8)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節RL・LR→結節RS2個1組→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
046	65	10	弥生土器 壺	30	10R4/6赤（赤彩）～8/4浅黄橙／2.5Y7/2灰黄	-(4.6)/4.0?	良好	極めて精緻 赤橙色微粒がまばらに見られる 非在地的	底面中央に径1.5cm・深さ4mmの凹みが付けられている 赤彩・ヘラミガキ	ナデ	反転復元 形状と胎土が非在地的 東海東部からの搬入品か?
046	65	11	弥生土器 壺	60	7.5YR5/4にぶ褐（赤彩部含む）～7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～4/1褐灰	-(4.5)/7.9	良好 破片化後の2次あり	密	工具ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	剥落 工具ナデ	一部反転復元
046	65	12	土師器 壺	100	10R5/6赤（赤彩?）～黒斑／4/1褐灰～5/1褐灰	-(1.2)/4.0	良好 2次あり	密	ヘラケズリ→ヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	ヘラケズリ・ナデ	
046	65	13	弥生土器 甕	25	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(2.7)/7.2?	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ	ナデ	反転復元
046	65	14	土師器? 壺	60	5/4にぶ黄褐～5YR5/6明赤褐／7.5YR5/3にぶ褐～7.5YR5/2灰褐	-(1.7)/7.5	良好 2次の可能性あり	密 まれに～5mmの暗赤褐色シャモット状粒が混じる	工具ナデ・ヘラミガキ	工具ナデ・ヘラミガキ	
047	66	1	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙	-(3.1)/-	良好	密	直線的な口縁を平らに肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、上縁に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：単節LR	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
047	66	2	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～7.5YR7/6橙／ 2.5Y7/4浅黄～10R4/6赤（赤 彩）	20.0?/(2.5)/-	良好	密	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、下縁に刺突 文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	磨減が進んでいる 拓本
047	66	3	弥生土器 壺	20	7.5YR7/6橙～10R4/6赤（赤 彩）／7.5YR6/6橙	-/(4.2)/-	良好	密 砂っぽい	単節LR→沈線→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	剥落	拓本
047	66	4	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～10R4/6赤（赤 彩）／7.5YR5/4にぶ褐	-/(2.9)/-	良好	密 砂っぽい 反射する微粒 が目立つ	単節LR・RL→沈線→文様外：赤 彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
047	66	5	弥生土器 壺	15	6/6明黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤 彩）／7.5YR6/6橙	-/(3.6)/-	良好	密 ～1mmのデフ ラ状黄褐色粒 が目立つ	単節RL→沈線→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
047	66	6	弥生土器 器台	5	2.5Y5/2暗灰黄／5/3にぶ黄褐	19.8?/(1.7)/-	良好 2次の可能性 あり	精緻	細かいハケメ（8本/5mm）→一部ヘ ラミガキ 口縁端部は側面が面取られ、若干垂 下部が生じており、側面にハケメ原 体による斜列点状の刺突文が施され る	ハケメ→ナデ→ヘラミガキ	反転復元
047	66	7	弥生土器 甕	15	7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙	-/(4.1)/-	良好 2次の可能性 あり	密	くびれ部に輪積痕を残す 工具ナデ	工具ナデ	反転復元
047	66	8	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／ 10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6 橙	-/(4.3)/-	良好	密	単節LR・RL・LR・RL・LR	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	拓本
047	66	9	弥生土器 壺	100	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 2.5Y7/3浅黄～2.5Y6/3にぶ黄	-/(2.3)/8.8	良好	精緻 ～1mmのデフ ラ状橙褐色粒 が目立つ	工具ナデ（工具痕が残る）	指ナデ	
048	66	11	弥生土器 壺	15	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤 彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙	20.0?/(5.3)/-	良好	精緻	外反する口縁を肥厚する 肥厚部は端部が若干丸くつまみ出さ れており、下縁に細かい刻み目状の 刺突文を施す 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
048	66	12	弥生土器 甕	60	4/2灰黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／ 4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐	-/(5.1)/7.1?	良好 使用による 2次あり	精緻	赤変し、炭化物がうすく付着する 工具ナデ	工具ナデ	一部反転復元 1と同一個体か
048	66	13	弥生土器 甕	50	7.5YR6/4にぶ褐～6/4にぶ黄橙 ～3/1黒褐（炭化物）／4/2灰 黄褐～6/4にぶ黄橙	18.0?/(9.3)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	ゆるく外反する口縁端部に側面上方 から一方向の刺突文を施す 工具ナデ 赤変・炭化物付着が認められる	横の工具ナデ	反転復元
050	69	21	弥生土器 壺	10	7.5YR7/8黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／7.5YR6/6橙	-/(3.6)/-	良好	密 砂っぽい	単節RL・LR→沈線→赤彩・ヘラミ ガキ	工具ナデ	拓本
050	69	22	弥生土器 椀	15	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	21.0?/(3.7)/-	良好	精緻	内湾する口縁を幅広く肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、以下側面に RL・LR・RL・LR・RL、下縁に棒 状工具による刺突文を施す	ヘラミガキ	拓本
050	69	23	弥生土器 壺	20	7/4にぶ黄橙～7.5YR7/6橙／ 2.5Y5/2暗灰黄	-/(4.2)/5.8?	良好	密	器面が磨減している 工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	幅広い間隔の木目状条線を伴う工具 ナデ	反転復元
051	69	24	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	18.0?/(2.1)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚 し、側面からの垂下部が伴う 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下 部に縄文原体もしくは布目を伴う工 具による刺突文を施す	赤彩（ほとんど遺存せず）・ヘラミ ガキ	拓本
051	69	25	弥生土器 壺	15	5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩） ／10R4/6赤（赤彩）～5YR6/6 橙	19.0?/(2.4)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面垂直状に肥厚 し、側面からの垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL、垂下部に縄 文原体もしくは布目を伴う工具によ る刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
051	69	26	弥生土器 壺	5	2.5Y6/3にぶ黄～7.5YR6/6橙 ／7.5YR6/6橙	-/(2.5)/-	良好 2次の可能性 あり	精緻	単節RL・LR2帯で山形を描き、沈線 で囲む	ナデ	拓本
051	69	27	弥生土器 壺	10	5YR6/6橙～7/4にぶ黄橙～ 10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄 橙	-/(3.0)/-	良好	精緻	単節RL→結節RS2個1組を1段→文様 外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
051	69	28	弥生土器 椀	5	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐 ／5/3にぶ黄褐	-/(3.4)/-	良好 2次の可能性 あり	精緻	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：水平的に面取りされた端面 に単節RL、側面に単節LR・RL、下 縁に角張った刺突文を施す	ヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あ り）	拓本
051	69	30	弥生土器 甕	5	4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	-/(3.1)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	ゆるく外反する口縁端部に内外2方 向から刺突を加える 体部：工具ナデ	横の工具ナデ→ヨコナデ	拓本
051	69	32	弥生土器 甕	20	7.5YR6/6橙～5/4にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	20.0?/(4.0)/-	良好	密 ～1mmの砂粒 が多く混じる	口縁端部に側面一方向からの刺突を 加える ヨコナデ・横の工具ナデ	口縁端部に粘土紐を追加し肥厚する 肥厚部：下縁に布目を伴う刺突文を 施す	拓本 混入品
051	69	33	弥生土器 甕	100	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／4/2 灰黄褐～3/1黒褐	-/(3.7)/6.0	良好 使用による 2次あり	密	黒変する 工具ナデ	黒変する ヘラミガキ	
051	69	34	弥生土器 高杯	80	2.5YR5/6明赤褐～6/4にぶ黄橙 ／6/4にぶ黄橙	-(3.6)/-脚柱径 5.0	良好	密	縦のヘラケズリもしくは工具ナデ→ 赤彩・縦のヘラミガキ	脚柱上面に接合痕が明瞭 脚部：ナデ	
051	69	35	土師器? 甕	40	5YR5/4にぶ赤褐～黒斑／ 7.5YR3/1黒褐～5/2灰黄褐	-/(2.6)/4.0?	良好 2次の可能性 あり	密	ヘラケズリ状の工具ナデ	ナデ	反転復元
051	69	36	弥生土器 台付甕	30	6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐（体 部）～5/3にぶ黄褐	-/(2.1)/-	良好 2次あり	密 ～1mmのデフ ラが多く混じ る	工具ナデ	体部：ヘラミガキ 脚部：ナデ	反転復元
051	69	37	弥生土器 高杯	20	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR7/6 橙／6/4にぶ黄橙	-/(3.3)/7.0?	良好	密	赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
051	69	38	弥生土器 甕	30	4/1褐灰～4/2灰黄褐／4/1褐灰 ～4/2灰黄褐	-/(4.5)/4.4?	良好 2次あり	精緻 砂っぽい	縦のハケメ（10本/cm）・ナデ	ナデ・ヘラミガキ?	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
051	70	31	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(3.7)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 ～1mmの淡黄 色バミス状粒 が目立つ	輪積痕を残し、最下段を段とする 段部：布目を伴う工具もしくは縄文 原体による斜列点状の刺突文を施す 以下：工具ナデ うすく炭化物が付着する	工具ナデ→ヘラミガキ	拓本
052	70	1	弥生土器 壺	40	4/4褐～5YR3/6暗赤褐（赤 彩）／5YR3/6暗赤褐（赤彩）	12.8?/(4.0)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmの明黄 褐色テフラ状 粒が多量に混 じる	被熱のためか黒ずんでいる 三角～垂滴状に口縁部を肥厚する 肥厚部：単節LRとRLを交互に施す 特徴的な文様→下端に縄文原体の押 圧による刺突文を巡らせる 以下：赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	反転復元
052	70	2	弥生土器 壺	20	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐～ 10R4/6赤（赤彩）／5/3にぶ黄 褐～10R4/6赤（赤彩）	20.0?/(3.4)/-	良好 2次の可能 性あり	やや粗 ～1mmの砂粒 が大量に混じ る	全面的に剥落している 外反する口縁を肥厚する 肥厚部：側面に単節LR、下縁に円形 の刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
052	70	3	弥生土器 壺	10	10R4/6赤（赤彩）～7/6明黄褐 ～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙 ～2.5YR4.4にぶ赤褐（赤彩）	16.0?/(2.9)/-	良好	精緻	外反する口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL・LR（位置 によって違う）→下縁に縄文原体に よる刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
052	70	4	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.9)/-	良好	精緻	受け口状の口縁を肥厚し棒状浮文を 最少3個貼り付け、布目状の圧痕を 伴う工具によって刻み目を施す	横の工具ナデ	拓本
052	70	5	弥生土器 壺	10	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4 にぶ褐／10R4/6赤（赤彩）	12.0?/(1.8)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚す る 側面に単節RL、下縁に縄文原体に よる刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
052	70	6	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤 彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.8)/-	良好	精緻	附加条を持つ単節縄文もしくは網目 状文→沈線→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
052	70	7	弥生土器 壺	15	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤 彩）／7.5YR6/6橙	-(11.4)/-	良好	密	なで肩の器体に頸部・肩部の2文様 帯がある 頸部文様帯：単節LR・RL・LR→RL の下位を切る形で結節RS2個1組 肩部文様帯：単節RL・LR・RL→LR の下位を切る形で結節RS2個1組 文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
052	70	8	弥生土器 壺	15	5YR4/6赤褐／2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩含む）	17.0?/(3.3)/-	良好	密 ～2mmの橙色 テフラ状粒が 大量に混じる	直線的な口縁部の水平的に面取りさ れた端面に単節LR、以下側面に単節 RL・LR・RLを施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
052	70	9	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤 褐（赤彩）／5YR5/6明赤褐	-(2.2)/-	良好	やや粗 ～2mmの明黄 褐色テフラ状 粒が大量に混 じる	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚 し、側面に垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下 部に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	剥落が著しい	拓本
052	70	10	土製品 焼成粘土 塊	100	6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒 斑）	長軸5.2/短軸 4.8/高さ4.4/重 量79.5	良好	密 土器と同じ ～1mmのバミ ス・テフラが 目立つ	粘土が手びねりで折りたたまれ丸め られている 指頭圧痕・指紋が明瞭に残る	-	土器製作時の手慰み かなげ焼成したのか
052	70	11	弥生土器 壺	5	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/6赤 （赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐	-(3.3)/-	良好	密 ～2mmの淡黄 色テフラ状粒 が大量に混じ る	単節RL・LR→沈線→赤彩・ヘラミ ガキ	工具ナデ	拓本
052	70	12	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5YR5/4にぶ赤 褐（赤彩）／7/6明黄褐	-(2.4)/-	良好	密 微少な淡黄色 バミス状微粒 が大量に混じ る	単節LR・RLの2帯で山形を描き、沈 線で囲む	工具ナデ 剥落が進む	拓本
052	70	13	弥生土器 甕	15	7/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 6/4にぶ黄橙	-(8.0)/-	良好	密 ～2mmの砂粒 が多く混じる	粘土紐接合痕が残される 以下：工具ナデ	工具ナデ	反転復元
052	70	14	弥生土器 直口壺	95	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4に ぶ黄橙／5/2灰黄褐	7.0～ 7.8/(8.49)/胴 径12.8	良好	精緻 灰白色バミ ス状微粒が混 じる	直口の口縁部の下端を輪積み甕のよ うに段に整形する ハケメ→ナデ→赤彩・ヘラミガキ （口縁部：右上がり～横、体部：主 に横）	口縁部：横ハケメ（4本/6mm）→ヨ コナデ・ヘラミガキ（一部に赤彩が 認められるが意図的ではない様 子）、口唇部はやや面取り気味 体部：横の指ナデ	特徴的な器形
052	70	15	弥生土器 小型壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／ 5YR5/4にぶ赤褐	6.4?/(3.8)/-	良好	精緻	縦のヘラミガキ（口縁端面に及ぶ）	工具ナデ	反転復元
052	70	16	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐～ 2.5YR4/6赤褐（赤彩）／6/4に ぶ黄橙	-(7.4)/-	良好	精緻 砂っぽい	単節RL横帯→沈線→頂部が沈線に近 接する山形の単節LR1帯→沈線→文 様外：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 工具ナデ	拓本
052	70	17	弥生土器 甕	60	3/1黒褐（煤付着部・黒斑）～ 6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～ 5/3にぶ黄褐	25.8/(20.8)/- 胴径24.5	良好 使用による 2次あり	密	口縁部下端を段部として残し、口唇 周辺に1段だけ、粘土紐の追加によ る肥厚を行う 口唇：上下方向からの棒状工具によ る刺突文で小波状を呈する 体部：横工具ナデ・ナデ 体部の一部には明瞭に炭化物が付着 する	横工具ナデ	最大径以上の外面調 整は台成
052	70	18	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.8)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が目立つ	幅1cmほどの粘土紐接合痕を残す 黒変する	磨滅	拓本
052	70	19	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 6/4にぶ黄橙	-(2.4)/-	良好	密 角閃石状の微 粒が目立つ	内湾する口縁を平らに肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に単節 LR、下縁に布目を伴う工具もしくは 縄文原体による刺突文を施す	ヘラミガキ?	磨滅が進んでいる 拓本
052	70	20	弥生土器 鉢・碗	5	2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～ 5YR6/6橙／2.5YR5/4にぶ赤褐 （赤彩）	-(2.1)/-	良好	密 砂っぽい	口縁端部を水平的に面取りし、単節 RLを施す 赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
052	70	21	弥生土器 台付甕	60	7.5YR6/4にぶ橙～5YR6/6橙／ 7.5YR5/3にぶ褐（脚部）～6/4 にぶ黄橙（体部）	-(3.1)/-	良好	精緻 まれに～3mm のテフラ状褐 色粒が混じる	縦のヘラミガキ	体部：ヘラミガキ 脚部：ナデ 脚柱の接合痕が明瞭に認められる	
052	70	22	弥生土器 壺	90	5/4にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐 ～7.5YR4/3褐	-(1.8)/10.2	良好	やや粗 ～1mmの砂 粒・バミス状 粒が大量に混 じる	縦の工具ナデ→ヘラミガキ	ナデ 製作時の粘土粒が貼り付いている	
052	70	23	弥生土器 脚台部	20	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(1.9)/6.0?	良好 2次の可能 性あり	密	工具ナデ	工具ナデ	反転復元
052	70	24	弥生土器 壺	30	6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒 斑）／4/1褐灰	-(2.8)/9.4	良好	密 砂っぽい	幅広の縦の工具ナデ・ヘラケズリ→ 縦のヘラミガキ	剥落が著しい 工具ナデ	反転復元
052	70	25	弥生土器 壺	100	7.5YR5/4にぶ褐～4/2灰黄褐／ 7.5YR5/4にぶ褐～5YR4/4にぶ 赤褐	-(1.7)/5.2	良好	密 ～1mmの淡黄 色テフラ状粒 が目立つ	縦の工具ナデ→ヘラミガキ	ナデ	
052	70	26	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好	精緻	縦の工具ナデ→一部ヘラミガキ（赤 彩の可能性）	横の工具ナデ	反転復元
052	70	27	弥生土器 壺	30	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤 彩）／5/3にぶ黄褐	-(3.2)/5.0?	良好	密	縦の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
052	70	28	弥生土器 壺	80	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／5/2 灰黄褐～6/4にぶ黄橙	-(2.9)/6.7	良好	密 微小な砂粒 （角閃石状が 多数）が大量 に混じる	工具ナデ→ヘラミガキ	水玉状の剥落が多い ナデ	
053	70	29	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐 （赤彩）／2.5YR5/6明赤褐 （赤彩）	-(2.5)/-	良好	密	外反する口縁を肥厚し、端面からの 垂下部を持つ 肥厚部端面：附加条を持つ単節LR 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
053	70	30	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/6橙 （赤彩）	-(2.8)/-	良好	密 まばらに～ 3mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	単節LR2段→沈線→文様外：赤彩・ ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本
053	70	31	弥生土器 鉢	5	2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～ 5/3にぶ黄褐／2.5YR5/6明赤褐 （赤彩）～6/3にぶ黄橙	-(3.6)/-	良好	密 透明砂粒・反 射する微粒が 目立つ	内弯する口縁部を肥厚し、その下端 に縄文原体もしくは布目を伴う工具 による刻み目状刺突文を施す 以下は赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
053	70	32	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／7/6明黄褐	-(3.4)/-	良好	精緻	横のナデ→段部：縄文原体（もしくは 布）による右上がりの刺突文	横のナデ	拓本
053	70	33	弥生土器 甕	5	5/4にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	-(3.1)/-	良好 2次あり	密	輪積痕（幅8mm程度）4段以上を残 す	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
053	70	34	弥生土器 壺	40	5YR5/4にぶ赤褐／7.5YR5/4に ぶ褐	-(1.9)/-	良好	密 ～2mmの砂粒 が目立つ	底面ヘラミガキ	剥落	
053	70	35	土師器? 底部	50	5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	-(1.7)/6.9	良好	やや粗 ～1mmの砂粒 が多い	ヘラケズリ・工具ナデ	ナデ	
054	73	1	弥生土器 壺	60	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙／7.5YR6/6橙～黒斑	-(33.3)/6.0	良好 2次の可能 性あり	密 やや砂っぽい	ナデ?→肩部：単節LRによるZ字状 結節文（2個1組）を6単位12段施す →赤彩・縦ヘラミガキ	水玉状の剥落が進む 最大径の下に帯状に黒変が認められ る	反転復元
054	73	2	弥生土器 壺	5	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む） ／7.5YR5/4にぶ褐（赤彩含 む）	-(3.1)/-	良好	精緻	直線的な口縁の端面に単節RLを施 し、以下を赤彩・縦のヘラミガキを 施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
054	73	3	弥生土器 壺	10	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐 （赤彩）	-(2.6)/-	良好	精緻 ～1mmのバミ ス状粒が目立 つ	口縁端部を断面垂直状に肥厚し、幅 広の側面から垂下部を作る 肥厚部：端面と側面に網目状撫糸文 →垂下部に棒状工具の腹による刺突 文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
054	73	4	弥生土器 壺?	5	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／ 5YR5/4にぶ赤褐～黒斑	14.2?/(2.8)/-	良好	精緻	口縁端面は水平に面取られる 細かい縦のハケメ（12本/5mm）→ やや疎らな縦のヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	反転復元
054	73	5	弥生土器 壺	50	5YR4/6赤褐（赤彩）～5/3に ぶ黄褐／6/6明黄褐～5/2灰黄 褐	-(15.0)/-	良好 破片化後の 2次あり	密	肩部：単節LR（斜行している）→赤 彩・縦ヘラミガキ	ナデ	反転復元
054	73	6	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐 ／2.5Y6/3にぶ黄	-(3.8)/-	良好	精緻	結節RS2個1組を施すが、横帯だと すると行き違っている 文様外：ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
054	73	7	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/4赤褐 （赤彩）／2.5YR5/6明赤褐	-(5.8)/-	良好	精緻 砂っぽい	結節RS3個1組を3段施す→文様外： 赤彩・横のヘラミガキ 結節文帯は2帯以上ある	剥落が広がる 横の工具ナデ	拓本
054	73	8	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 7.5YR5/3にぶ褐～5YR6/6橙	-(2.8)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの橙色 テフラ状粒が 目立つ	弱く黒変する 輪積痕を残し、口縁端部に内外2方 向からの刺突文を施す	横の工具ナデ	拓本
054	73	9	弥生土器 甕	15	4/1褐灰（黒変部）～7.5YR5/4 にぶ褐／6/3にぶ黄橙～4/1褐 灰	23.6?/(9.1)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	口縁部付近：横のハケメ（10本 /cm）→縦のハケメ	横のハケメ→下位：ヘラミガキ	7と同一個体の可能 性がある
054	73	10	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/2 灰黄褐～4/1褐灰	-(2.6)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	黒変する 縦のハケメ（12本/cm）→口縁付 近：横のハケメ→口縁端部：指頭 によって内外からひねる調整を施す （外面単位には爪痕）	横のハケメ・工具ナデ	拓本
054	73	11	弥生土器 壺	70	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5/4に ぶ黄褐／2.5YR5/6明赤褐～6/4 にぶ黄橙	-(7.8)/7.7	良好 2次の可能 性あり	精緻 砂っぽい	赤彩・縦のヘラミガキ	水玉状の剥落が広がる 工具ナデ	一部反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
054	73	12	弥生土器 鉢・壺	60	2.5Y7/3浅黄～6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／4/1褐灰～7.5YR6/6橙	-(4.7)/5.4	良好	密 ～1mmの砂粒が大量に混じる 角閃石状の反射する微粒が目立つ	赤彩（遺存不良）・横のヘラミガキ	磨減する 赤彩・ヘラミガキ?	一部反転復元
054	73	13	弥生土器 碗	5	6/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄褐	-(3.2)/-	良好	精緻	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：端面と側面に無節Rによる細目状文を施し、肥厚部下縁に縄文原体による刺突文を施す	赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	拓本
054	73	14	弥生土器 高杯・鉢	10	5YR5/4にぶ赤褐～黒変／2.5YR4/6赤褐（赤彩）	-(5.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	炭化物が付着し黒変する 内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、肥厚部下縁に棒状工具による刺突文 肥厚部以下：単節LR・RL→沈線→文様外：赤彩?・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
054	73	15	弥生土器 高杯・鉢	5	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐	-(4.2)/-	良好 2次の可能性あり	密 反射する微粒が目立つ	単節RL→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
054	73	16	弥生土器 碗・鉢	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	-(3.2)/-	良好	精緻	内湾する口縁を広く肥厚する 肥厚部：側面に単節RL・LR・RL。下縁に縄文原体による刺突文を施す	赤彩（遺存不良）→横のヘラミガキ	拓本
054	73	17	弥生土器 甕	60	5/2灰黄褐～3/1黒褐（模）～2.5YR6/6橙（赤変部）／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（炭化物）	-(9.5)/8.1	良好 使用と破片化後の2次あり	精緻	赤変・黒変・炭化物の付着が認められる 縦の工具ナデ	工具ナデ 炭化物が帯状に付着する	一部反転復元
054	73	18	弥生土器 鉢	90	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～5/4にぶ黄褐／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙	-(6.3)/4.8	良好	精緻	縦ハケメ（7本/5mm）→底面外周：4箇所の割り込み（1cm程度）→単節縄文（RL→LR→RL）→押し引き状の沈線文を1～1.5cmの間隔で最少3本巡らせる→赤彩・縦ヘラミガキ	赤彩・縦ヘラミガキ	
054	73	19	弥生土器 底部	100	5/4にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐～黒斑／7/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	-(1.8)/5.5	良好	密	工具ナデ・ヘラミガキ	ナデ	
054	73	20	弥生土器 鉢	20	4/2灰黄褐～10R4/6赤（赤彩）／10R5/6赤（赤彩）	-(3.5)/5.0?	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
054	73	21	弥生土器 甕	50	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～7/4にぶ黄橙	-(3.0)/5.5?	良好 2次あり	密	縦のハケメ（12本/cm）	磨減が著しい	反転復元
054	73	22	弥生土器 壺	50	7.5YR5/4にぶ褐（赤彩含む）～6/4にぶ黄橙／	-(4.0)/7.4?	良好	密	赤彩（遺存不良）・縦のヘラミガキ 底面の磨減が著しい	水玉状の剥落が著しい 工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
054	73	23	弥生土器 底部	100	6/4にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(4.0)/6.5	良好 破片化後の2次あり	精緻	工具ナデ	工具ナデ（工具ナデ幅3.2cm以上）	
054	73	24	弥生土器 壺	50	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～2.5Y5/2暗灰黄／7/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(3.4)/7.1	良好	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	クレター状の深い剥落が目立つナデ	反転復元
054	73	25	弥生土器 甕	60	2.5Y6/3にぶ黄～6/4にぶ黄橙～2.5Y4/2暗灰黄／2.5Y6/3にぶ黄橙	-(10.4)/7.8	良好 使用による2次あり	精緻	縦のハケメ（10本/cm）	工具ナデ→ヘラミガキ	一部反転復元
055	2	1	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐／6/4にぶ黄橙～5YR5/6明赤褐	-(3.5)/-	良好	密	右上がりの工具ナデ→横のナデ・工具ナデ→口縁端部：端面1方向からの刺突→口縁直下に部分的に横のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
055	72	2	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／7.5YR6/6橙	-(3.0)/-	良好	精緻	単節RL・LR・RL→結節RS2個1組	ナデ	拓本
055	72	3	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐／2.5YR5/6明赤褐～5/4にぶ黄褐	17.0?/(3.1)/-	良好	精緻	外反する口縁に板状部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR・RL。端面内稜側と肥厚部下縁に縄文原体による刺突文を施し、縄文原体刺突による刻み目を持つ棒状浮文を貼り付ける	赤彩	拓本
055	72	4	弥生土器 高杯・鉢	5	7.5YR5/4にぶ褐～2.5Y6/3にぶ黄／2.5Y6/2灰黄～6/4にぶ黄橙	13.4?/(3.1)/-	良好	精緻	水平的に口縁端部が面取りされる密な横のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
055	72	5	弥生土器 器台・高杯	5	10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(0.9)/16.6?	良好	精緻	裾端部が面取りされる ハケメ（5本/cm）→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→ナデ	反転復元
055	72	6	弥生土器 高杯	80	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙～黒斑／4/1褐灰	-(4.8)/-脚柱幅3.2	良好	精緻	縦の密なヘラミガキ	杯部：ヘラミガキ	脚柱下側に成形時の軸の痕がある
055	72	7	弥生土器 底部	90	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(1.6)/5.8	良好 2次あり	密 ～1mmのテフラ状粒が目立つ	縦の工具ナデ	ナデ	
055	72	8	弥生土器 底部	15	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(1.3)/8.2?	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ・ヘラミガキ	黒変するナデ	反転復元
055	72	9	弥生土器 広口壺	15	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	-(3.6・4.0)/-	良好	精緻	くびれ下端を段とする 単節RL・LR・RL→段部；縄文原体による刺突文→段以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
056	71	1	土製円板	50	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／	長軸（5.0）／短軸（3.7）／厚さ1.5／重量（27.3g）	良好	密 微小な灰白色バミス状粒が目立つ	赤彩・ヘラミガキ 側縁稜は赤彩が剥落している	－	元は円筒形か
056	72	10	弥生土器 壺	10	7.5YR6/6橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）	17.0?/(2.4)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚し、側面からの垂下部が伴う 肥厚部：側面に単節RL、棒状工具による刺突を伴う棒状浮文2個→垂下部に棒状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
056	72	11	弥生土器 壺	20	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	11.8?/(3.9)/-	良好	密 角閃石状の反射する微粒が多く混じる	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚し、側面からの垂下部が伴う 肥厚部以下：縦のハケメもしくは工具ナデ（7本/5mm）→赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
056	72	12	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-/(3.2)/-	良好	密	単節LR→沈線→単節LRの山形文を沈線で囲む	横の工具ナデ	拓本
056	72	13	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／5YR4/6赤褐	-/(3.6)/-	良好 破片化後の2次あり	密 微小な砂粒と反射微粒が多く混じる	体部：ハケメ状の条線を残す工具ナデ→単節RL→単節を切る沈線による山形文→結節RS3個1組を1段→文様外：ヘラミガキ?	横の工具ナデ	拓本
056	72	14	弥生土器 甕	5	7.5YR5/3にぶ褐／6/4にぶ黄橙	-/(4.3)/-	良好 使用による2次あり	精緻	くびれ部の輪積痕を残す 全体にうすく炭化物が付着する	横のヘラミガキ	拓本
056	72	15	弥生土器 甕	10	4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐～黒（炭化物）／7/4にぶ黄橙～黒斑	-/(3.6)/-	良好 使用による2次あり	やや粗 ～1mmの砂粒が大量に混じる	器面に明瞭な煤状炭化物が遺存するくびれ下端を段として残し、以下を工具ナデで仕上げる 段：縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突文	横のヘラミガキ	拓本
056	72	16	土師器 甕	10	5YR5/4にぶ赤褐～2.5YR4/6赤褐／5YR4/6赤褐～4/4褐	20.0?/(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmの砂礫が混じる	ハケメ（5本/cm）→ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
056	72	17	弥生土器 広口壺	20	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	-/(8.1)/-	良好	密	くびれ部下端の粘土紐を段部として残し、それ以上を文様帯とする 文様帯：単節RL・LR・RL→縄文原体単節RLによる刺突文 段以下：赤彩・横のヘラミガキ	横のヘラミガキ（段以上は赤彩を伴う）	反転復元
056	72	18	弥生土器 甕	15	4/2灰黄褐～3/1黒褐／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	22.0?/(6.8)/-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒と反射する微粒が目立つ	炭化物が薄く付着し、黒変する 緩く外反する口縁部端部下縁にハケメ原体状の工具による刺突文を施す	横の工具ナデ・ヘラミガキ	反転復元
056	72	19	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～黒斑／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-/(4.7)/-	良好 2次あり	密 反射する微粒が目立つ	工具ナデ 輪積痕をナデ消すが、接合痕が露出する 頸部はく字に近いが明確な屈曲は認められない	工具ナデ	反転復元
056	72	20	弥生土器 台付甕	30	7.5YR6/6橙～7.5YR6/4にぶ橙／5/2灰黄褐～4/1褐灰（体部）～5/3にぶ黄褐（脚部）	-/(2.7)/-	良好 使用による2次あり	精緻 ～2mmの暗赤褐色シャモット状粒が目立つ	縦の工具ナデ、一部ヘラミガキ?	体部：ヘラミガキ、炭化物がうすく付着し黒変する 脚部：ナデ、若干黒変する	反転復元
056	72	21	弥生土器 甕	25	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐（黒変）／6/4にぶ黄橙	-/(2.5)/6.2?	良好 使用による2次あり	精緻	うすく炭化物が付着する 縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	ヘラミガキ	反転復元
056	72	22	弥生土器 甕	15	7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	-/(5.0)/-	良好	密 砂っぽい	くびれ下端を段として残し、横の工具ナデで仕上げる 段：単節縄文の原体による刺突文	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
056	72	23	弥生土器 壺	35	6/3にぶ黄橙～7/3にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～7/6明黄褐	-/(2.3)/8.8?	良好	密 ～1mmの褐色テフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ→ヘラミガキ?	剥落が進む	反転復元
056	72	24	弥生土器 甕	15	5YR5/4にぶ赤褐～5YR4/3にぶ赤褐／4/1褐灰～3/1黒褐	-/(3.3)/11.0?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの黄褐色バミス状粒が目立つ	赤変する 工具ナデ	黒変する ヘラミガキ	反転復元
056	72	25	弥生土器 壺	25	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-/(2.5)/6.4?	良好	密 ～2mmの明黄褐色テフラ状粒が大量に混じる	縦の工具ナデ→底部の若干上から赤彩・縦のヘラミガキ	ナデ	反転復元
057	76	1	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～10R5/8赤（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）	-/(2.1)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	外反する口縁を断面長方形に肥厚し、端面からの垂下部を作り出す 肥厚部：端面に単節RL、垂下部に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部側面から下に赤彩を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
057	76	2	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙（赤彩含む）／6/4にぶ黄橙～2.5YR5/4にぶ赤褐	18.0?/(1.8)/-	良好	密	外反する口縁を断面三角形に近い垂滴状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節LR、垂下部に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
057	76	3	弥生土器 パレス壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／7/3にぶ黄橙	-/(4.4)/-	良好	密 反射する微粒が目立つ	ハケメ（8本/5mm、5本1単位か）→ナデ（・ヘラミガキ）→上側山形文→櫛描き直線文（8本/2cm）→下側山形文→山形文部を赤彩	ナデ	反転復元 東海東部地域の壺模倣
057	76	4	弥生土器 壺	15	4/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙～5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	17.0?/(2.8)/-	良好 2次の可能性あり	密 微砂粒が多い	外反気味の口縁を断面垂滴状の肥厚を行い受け口状に作る 肥厚部には側面からの垂下部が伴う 肥厚部：側面に単節LR、下縁に縄文原体の押圧による刺突文が施される 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
057	76	5	弥生土器 壺	5	4/2灰黄褐～5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-/(2.8)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの淡黄褐色バミス状粒が大量に混じる	単節LR1帯による複合山形文→沈線で囲む→空間に赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
057	76	6	弥生土器 壺	20	7/4にぶ黄橙～7.5YR7/6橙／7/4にぶ黄橙	-/(4.6)/-	良好	精緻	単節LR・RL・LR→結節RS2個1組	横の工具ナデ	拓本
057	76	7	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-/(5.6)/-	良好	精緻	緩く外反する口縁を肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節LR、垂下部に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩（可能性）・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
057	76	8	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(4.6)/-	良好	精緻	単節RL・LR→結節RS2個1組→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
057	76	9	弥生土器 ミニチュア壺	10	7.5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.4)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色ハミス状粒が大量に混じる	単節RLの山形文→沈線で囲む	ヘラミガキ	拓本
057	76	10	弥生土器 壺	5	6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.8)/-	良好	精緻	結節RS2個1組による横帯と派生する縦帯の文様 文様外：ヘラミガキ	ナデ	拓本
057	76	11	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／5/2灰黄褐～4/2灰黄褐	-(3.9)/-	良好	精緻	単節LR・RL・LR→結節RS2個1組→結節以下：横のヘラミガキ（赤彩の可能性あり）	横の工具ナデ	拓本
057	76	12	弥生土器 壺	70	7.5R4/6赤（赤彩）～7/6明黄褐～5/2灰黄褐（黒変部）／7/6明黄褐～6/4にぶ黄橙	-(20.0)/7.3/胴径24.4	良好 破片化後の2次あり	精緻	上半に幅広く文様帯がある 文様帯：上から、単節RL・LR→結節RS（2個1組）→単節RLによる山形文→単節LR・RL・LR・RL→結節RS→沈線による山形文の縁取り→山形文の三角形の空間に赤彩・ヘラミガキ 文様帯以下：赤彩・丁寧な横ヘラミガキ	横工具ナデ（原体幅4.3cm以上）・ナデ	精製品
057	76	13	弥生土器 広口壺（転用甗?）	25	10R3/6暗赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	23.4?/19.4/7.5/胴径20.9	良好 2次の可能性あり	やや粗 ～2mmの砂礫を多量に含む	口縁部：断面三角形に肥厚する→側面に単節LR、下端に縄文原体による刺突文（一部2段になる）が施される 頸部下端が段状に接合痕を残し、その直上に単節LR2段の縄文帯が施される 文様帯間と段部以下は赤彩・ヘラミガキ 底面：中央に焼成後の穿孔（径1.4cm）が見られる、甗として転用したものか 2次焼成のためか全体が黒ずんでいる	赤彩・主に横のヘラミガキ 底面近くの磨減が著しい	転用甗か 反転復元
057	76	14	弥生土器 甗	5	6/3にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	13.6?/(2.2)/-	良好	精緻	縦のハケメ状調整→ヨコナデで口縁端部外面を面取りする（口縁直下は帯状に剥落しており形状は不明）	口縁端部がヨコナデにより若干上に引き出し気味になる→以下：横のヘラミガキ	反転復元 器台の可能性あり
057	76	15	弥生土器 甗	5	6/4にぶ黄橙～黒斑／5/4にぶ黄褐	22.0?/(4.9)/-	良好 使用による2次あり	精緻	口縁端部：内外からの押圧で波状を呈する 以下：工具ナデ	主に横の工具ナデ	反転復元
057	76	16	弥生土器 甗	5	4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.4)/-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの角閃石状反射粒が目立つ	輪積痕 全体にうすく炭化物が付着する	横の工具ナデ	反転復元
057	76	17	弥生土器 壺	25	7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～4/2灰黄褐	12.5?/(13.6)/-	良好 破片化後の2次あり	密 ～5mmのシャモット状暗褐色色粒が目立つ	ハケメ（6本/cm）→口縁部：ヨコナデ、肩部以下：縦のヘラミガキ	主に横のハケメ、肩部には指頭圧痕が目立つ	289号墳丘下022号出土土器片と遺構間 接合 反転復元
057	76	18	弥生土器 甗	60	3/1黒褐（黒斑）～7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	22.6/(19.0)/-胴径22.9	良好 使用による2次あり	精緻	頸部下端接合部を段状に残す 口唇：側方からと下方からの刺突（棒状工具?）で波状を呈する 段部：先端の丸い棒状工具による刺突文を密に巡らせる 口縁部：工具ナデ・ヨコナデ 体部：ヘラケズリ状の工具ナデ（ヘラミガキ状に光沢を持つ部分がある） 使用によるものか煤状の炭化物が付着する	横のヘラケズリ状の工具ナデ、ナデ	精製品 雰囲気か057-2の壺に似る
057	76	19	弥生土器 甗	5	5/4にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	21.2?/(3.7)/-	良好 使用による2次あり	密 微小な砂粒特に角閃石状の粒が目立つ	ナデ、指頭圧痕が目立つ 口縁端部：内面1方向からの棒状工具押圧による刺突文	横の工具ナデ 口縁周辺に指頭圧痕が目立つ	反転復元
057	76	20	弥生土器 甗	20	7.5YR6/4にぶ橙～7/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(4.4)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～3mmのシャモット状暗褐色色がまばらに混じる	くびれ部の接合痕下端を段とする 段にはナデに伴う指頭圧痕、以下には横の工具ナデが見られる	横のナデ・工具ナデ	反転復元
057	76	21	弥生土器 甗	15	5/3にぶ黄褐～2/1黒（煤）／6/4にぶ黄橙	-(6.3)/-	良好 使用による2次あり	密	くびれ下部を段とする ナデ・工具ナデ→段部；棒状工具による刺突文→段以下：疎らなヘラミガキ	ナデ・工具ナデ→段付近以上に横のヘラミガキ	反転復元
057	77	1	弥生土器 小型甗	70	7.5YR5/4にぶ褐～5/4にぶ黄褐～黒変部／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	12.0/(10.0)/-胴径12.2	良好 使用による2次あり	精緻	頸部に輪積痕（幅5～8mm）を残し、口縁端面に側方1方向からの刺突文を施す 輪積痕以下：工具ナデ→横のヘラミガキ	横のヘラミガキ	遺存良好部を反転復元
057	77	2	弥生土器 甗	5	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/4にぶ褐	18.0?/(2.6)/-	良好 使用による2次あり	密	ナデ 口縁端部：端面1方向からの刺突文を施す	ナデ・工具ナデ	拓本
057	77	3	弥生土器 甗	10	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙	-(3.7)/-	良好 使用による2次あり	密	くびれ下端を段とし、縄文原体による刺突文を施す	工具ナデ→ヘラミガキ	拓本
057	77	4	弥生土器 甗	5	5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	-(1.9)/-	良好 使用による2次あり	精緻	段部に上方からの棒状工具による刺突文を施す うすく炭化物が付着する	横のハケメ状の工具ナデ	拓本
057	77	5	弥生土器 バレス壺模倣壺	5	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.3)/-	良好	精緻	弱く弧を描く描帯（4本/cm）	ナデ	拓本
057	77	6	弥生土器 椀	5	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐～6/4にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部側面に単節LR、下縁に縄文原体による刺突文、肥厚部以下に単節LRを施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
057	77	7	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙／5YR4/6赤褐（赤彩）	18.0?/(3.2)/-	良好	密	端面に単節RL、以下側面に単節RL・LR・RLを施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
057	77	8	弥生土器 鉢・高杯	5	5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）／5/4にぶ黄褐／5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）	-(3.6)/-	良好	密	単節RL→沈線→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
057	77	9	弥生土器 碗・高杯	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）	12.3?/(2.5)/-	良好	精緻	内湾する口縁に少し間隔を置いて沈線を描く 沈線以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
057	77	10	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5Y5/3黄褐	-(2.1)/8.8?	良好 2次の可能性あり	精緻	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
057	77	11	弥生土器 底部	20	5/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐／5YR5/4にぶ赤褐	-(2.2)/9.0?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	工具ナデ	ヘラケズリに近い工具ナデ	反転復元
057	77	12	弥生土器 炉器台	20	5YR5/4にぶ赤褐／4/2灰黄褐	-(5.8)/-	良好 使用による2次あり	密	縦のヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	黒変するヘラケズリ・工具ナデ→脚部の下位に横のヘラミガキ	反転復元
057	77	13	弥生土器 底部	15	5/4にぶ黄褐～2.5Y5/2暗灰黄／7/4にぶ黄橙	-(3.6)/9.7?	良好	密 まばらに5mm大のシャモット状赤褐色色粒が混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	一部にヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	反転復元
057	77	14	弥生土器 高杯	15	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(2.6)/10.4?	良好	精緻	ナデ・縦のヘラミガキ	裾端部が折り返される形で肥厚されるナデ	反転復元
057	77	15	弥生土器 高杯	40	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／黒斑／10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙	23.5?/(12.8)/-	良好 2次の可能性あり	密 まばらに～5mmの暗赤褐色シャモット状が混じる	口縁端部の磨減が著しく一定の使用期間があったことを示す 内湾する口縁を幅広く肥厚し、脚部との接合部に凸帯を巡らせる 肥厚部：端部に単節RL、側面に交互に原体を変えた単節RL4段、下段に縄文原体による刺突文を施す 接合部凸帯：縄文原体による刺突文 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	体部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ、杯部下面が丸く突出している	反転復元 上下は合成
057	77	16	土師器? 高杯	25	7.5YR4/4褐～7.5YR6/4にぶ橙／4/3にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐	-(3.2)/11.2?	良好 2次の可能性あり	やや粗 ～2mmの砂粒が多く混じる	器面の磨減が進む 縦のハケム（7本cm）→ナデ・工具ナデ→4方配置の円形透孔（径1cm）	ナデ 裾端部の接地面が面取りされる	反転復元
058	75	1	弥生土器 甕	5	4/1褐灰／5/2灰黄褐	-(1.8)/-	良好 使用による2次あり	密	段部に竹筭状工具（径3mm）による円形刺突文を施す	ナデ	
058	75	2	弥生土器 鉢・碗	5	7.5YR6/6橙～7.5YR4/2灰褐／5YR4/3にぶ赤褐	14.8?/(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの褐色テフラ状粒が目立つ	ナデ・工具ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
058	75	3	弥生土器 甕	20	5YR5/6明赤褐～7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐～7.5YR4/4褐	21.0?/(9.3)/-	良好 使用による2次あり	密 ～4mmの暗赤褐色シャモット状粒が混じる	ヘラケズリ状の工具ナデ 口縁端部に布目を伴う工具もしくは縄文原体による内外2方向からの刺突文が施される 被熱で口縁部近辺が黒変する	工具ナデ	反転復元
059	77	17	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～5/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙～10R5/6赤（赤彩）	20.0?/(7.6)/-	良好	密	外反する口縁を厚みのある粘土紐で肥厚し、側面からの垂下部を作る 肥厚部：端部に単節RL・LR、垂下部に刺突文を施す 頸部：単節LR→結節RS2個1組 肥厚部以下文様外：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
059	77	18	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	-(2.2)/-	良好	密	内湾気味の口縁端部を肥厚し、赤彩を施す	横のナデ→赤彩・横のヘラミガキ	拓本
059	77	19	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	-(1.6)/-	良好	密	口縁部を断面垂滴状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR、垂下部に縄文原体による刺突文を施し、側面に2個1組の棒状浮文（横位の刻目2個）	横の工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	拓本
059	77	20	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／5YR6/6橙	-(2.2)/-	良好	精緻	若干外反する口縁を断面垂滴状に肥厚する 肥厚部：端部に単節RL、側面に単節LR、下段に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	拓本
059	77	21	弥生土器 壺	5	4/2灰黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.6)/-	良好	密 ～1mmのバミス状粒・角閃石状粒が大量に混じる	単節RL1帯による複合山形文を沈線で囲み、空間を赤彩・ヘラミガキとする	ナデ	拓本
059	77	22	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.2)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒・バミス状粒が大量に混じる	単節RL・LR→結節RS2個1組→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	ナデ	拓本
059	77	23	弥生土器 鉢	5	2.5Y7/4浅黄／2.5Y7/4浅黄	-(2.0)/-	良好	精緻	口縁部を薄く肥厚する 肥厚部：端部に単節LR、側面に単節LR・RLを施す	ヘラミガキ	拓本
059	77	24	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む）	-(2.1)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒・バミス状粒が大量に混じる	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR、垂下部に棒状工具による刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
059	77	25	弥生土器 甕	5	4/1褐灰／4/3灰黄褐	-(2.8)/-	良好 使用による2次あり	密	頸部に輪積痕を残し、口縁端部に内外2方向からの棒状工具による刺突文を施す 炭化物が付着する	横の工具ナデ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
059	77	26	弥生土器 甕	20	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐	17.8?/(9.0)/-	良好 使用による 2次あり	密	体部：ヘラケズリ状の工具ナデ→口 縁部：内外2方向からの棒状工具に よる刺突文 黒変する	横の工具ナデ→若干疎な横のヘラ ミガキ	反転復元
059	77	27	弥生土器 甕	40	6/3にぶ黄褐～5/2灰黄褐／3/2 黒褐（炭化物）	-(1.7)/6.0?	良好 使用による 2次あり	密	工具ナデ→ヘラミガキ?	炭化物が付着する ナデ	反転復元
059	77	28	弥生土器 甕	20	6/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐／7/6 明黄褐	-(1.9)/8.0?	良好 使用による 2次あり	密	工具ナデ 黒変する	剥落	反転復元
059	77	29	弥生土器 甕	100	5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐／6/3 にぶ黄褐～3/1黒褐（炭化物）	-(1.9)/6.5	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの明黄 褐色デフラ状 粒が大量に混 じる	工具ナデ→ヘラミガキ 黒変する	工具ナデ 炭化物が付着する	
060	62	10	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐／ 4/3にぶ黄褐	-(3.2)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	ナデ・工具ナデ→口縁端部：内外2 方向からの刺突文	口縁端部に粘土紐を追加した接合痕 が残る 工具ナデ→横のヘラミガキ	拓本
060	62	11	縄文土器 深鉢	5	5YR4/6赤褐／5/4にぶ黄褐	-(3.1)/-	良好	密 雲母状の反射 微粒が目立つ	縦のハケメ状の条線を伴う調整→ナ デ→縦の隆帯	ヘラミガキ	拓本
060	62	12	弥生土器 椀	5	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩含む） ／5YR5/4にぶ赤褐～2.5YR4/4 にぶ赤褐（赤彩）	-(4.4)/-	良好	精緻	内湾する口縁側面に単節LR3段→結 節（LZとLSで1組）を施す 口縁端部と文様外に赤彩・ヘラミガ キ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
060	62	13	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／ 2.5Y6/3にぶ黄	-(3.0)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの透 明・反射砂粒 が目立つ	工具ナデ 全体的にうすく炭化物が付着する	ナデ 口縁端部内稜に上方からの布目を伴 う刺突文を施す	拓本
060	62	14	土師器 甕	15	2/1黒（黒変部）～4/2灰黄褐 ／3/2黒褐～4/2灰黄褐	-(8.5)/-/胴径 21.4?	良好 使用による 2次あり	密 ～3mmのデフ ラ状粒が目立 つ	ヘラケズリ・工具ナデ 全体的に黒変し、炭化物が付着する	ヘラケズリ・工具ナデ→ヘラミガキ 黒変する	反転復元 290号の遺物か
061	63	1	弥生土器 壺	25	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/6橙／ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	16.0?/(2.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密	外反する口縁に断面三角形の粘土板 を追加し肥厚し、側面からの垂下部 を作る 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節 RL・LR、垂下部に下からの刺突文 を施す 肥厚部以下：工具ナデ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
061	63	2	弥生土器 鉢	30	2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）～5/4 にぶ黄褐／2.5YR3/6暗赤褐 （赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.4?/8.2/7.2?	良好	やや粗 ～1mmの砂 粒・軽石状白 色粒が多量に 混じる	口縁部を幅広く肥厚する 肥厚部：単節RL・LR・RL・LRを時 計回りに施し（口唇部はLR）、下稜 に棒状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・横ヘラミガキ	赤彩・横ヘラミガキ	反転復元 胎土が特徴的
061	63	3	弥生土器 椀・高 杯	10	6/4にぶ黄褐～10R4/6赤（赤 彩）／10R4/6赤（赤彩）～5/3 にぶ黄褐	-(2.3)/-	良好	密	ナデ・工具ナデ→網目状擦糸文・結 節RS2個1組→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
061	63	4	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐／ 7.5YR5/4にぶ褐	-(3.8)/-	良好 2次の可能 性あり	精緻	単節LR多段→結節RS	ナデ→ヘラミガキ	拓本
061	63	5	弥生土器 小型甕	25	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙 ／7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ 褐	7.9?/(2.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～2mmの明赤 褐色デフラ状 粒が目立つ	ハケメ（6本/cm）→ナデ・ヨコナデ	横のハケメ→ナデ	反転復元
061	63	6	土師器 甕	5	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	19.6?/(3.7)/-	良好 使用による 2次あり	密	ハケメ（6本/5mm）→ヨコナデ 口縁端部は丸くおさまる	横のハケメ	反転復元
061	63	7	弥生土器 甕	25	2/1黒（煤・黒変部）～4/2灰 黄褐／4/2灰黄褐～3/1黒褐	21.2?/(8.2)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの淡黄 色バミス状粒 が目立つ	ゆるく屈曲する口縁部を持ち、口縁 端部に側面上下2方向からの刺突文 が施される ナデ・工具ナデ 全面に煤が付着する	横のヘラミガキ	反転復元
061	63	8	弥生土器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐 ／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/6明 赤褐	-(6.2)/-	良好 2次あり	精緻	頸部にうすく輪積痕を残し、最下段 接合部を段とて残す 工具ナデ 段部いのかの体部にはうすく縦のしわ が走りシボリの痕跡を示す	横のヘラミガキ	反転復元
061	63	9	弥生土器 甕	50	7.5YR5/4にぶ褐／5/4にぶ黄褐 ～7.5YR5/4にぶ褐	-(8.9)/-/胴径 19.4?	良好 使用による 2次あり	密	頸部に輪積痕を残し、下端を段部と する 工具ナデ→段部：指頭による刺突文 （爪痕を伴う） 被熱のために全体的に赤変する	工具ナデ	反転復元
061	63	10	弥生土器 壺転用 甕・甕	60	5/3にぶ黄褐～2.5Y5/2暗灰黄 ～黒斑／5/4にぶ黄褐～黒斑	-(14.4)/7.4/胴 径18.7?	良好 2次あり	密	左上がりのヘラミガキ	上位に横の工具ナデ、下位に横のヘ ラミガキ	一部反転復元
061	63	11	土師器? 高杯	70	10R4/4赤褐（赤彩）～5/3にぶ 黄褐／5/3にぶ黄褐	-(4.8)/-	良好	密	縦のハケメ（6本/5mm）→赤彩・ヘ ラミガキ	杯部側端面が丸く陥没しており、接 合面の状態を示す 脚部：ハケメ→ナデ	
061	63	12	弥生土器 椀・広 口壺	80	6/4にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐～ 2.5YR4/6赤褐（赤彩）／ 10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙	-(9.3)/7.2?	良好 2次の可能 性あり	密	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ 全体的に磨滅がすすむ	赤彩・右上がりのヘラミガキ 底部付近は使用による磨滅が明瞭に 認められる	一部反転復元
061	63	13	弥生土器 鉢・高 杯	10	7/4にぶ黄褐～2.5YR6/6橙（赤 彩含む）／7.5YR6/6橙～ 10R4/6赤（赤彩）	20.6?/(5.4)/-	良好	密 ～2mmの明黄 褐色デフラ状 粒が多く混じ る	遺存不良 赤彩・ヘラミガキ	遺存不良 赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
063	78	1	弥生土器 甕	10	7/4にぶ黄橙／2.5Y7/3浅黄～ 7/4にぶ黄橙	17.0?/(4.0)/-	良好	精緻	工具ナデ→口縁端部：内外2方向の 刺突文	横の工具ナデ	拓本
063	78	2	弥生土器 壺	40	2.5Y6/3にぶ黄～7.5YR5/4に ぶ褐／6/4にぶ黄橙	-(7.4)/7.1	良好	密 ～4mmのシャ モット状赤褐 色粒が目立つ	ヘラミガキ	ナデ・工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
064	78	3	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5YR5/4にぶ赤褐／2.5YR4/6赤褐（赤彩）	18.0?/(2.1)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多く混じる 角閃石状粒も多い	外反する口縁を肥厚し、側面からの垂下部を追加する 肥厚部：端面は磨減で不明だが、垂下部に円形の刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
064	78	4	土師器 甕	60	7.5YR6/6橙～5/4にぶ黄褐／3/1黒褐～7.5YR5/4にぶ褐	20.4?/19.6?/6.6/胴径19.5?	良好 使用と破片化後の2次あり	密 ～2mmのシャモット状明赤褐色粒が目立つ	ハケメ（13本/2.2cm）	下位にハケメ、上位に一部ヘラミガキ状の工具ナデを施す	破片化後の被熱で破片が湾曲気味に収縮している
064	78	5	土師器 甕	20	3/1黒褐～5/3にぶ黄褐／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/6明赤褐	-(13.1)/-/胴径32.2?	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのシャモット状赤褐色粒が目立つ	全体に炭化物が付着し、黒変するハケメ（6本/cm）→下位：ヘラズリ・ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
064	78	6	弥生土器 壺	5	2.5Y7/4浅黄～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～2.5Y7/4浅黄	-(4.5)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色バミス状粒が多く混じる	単節RL→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
064	78	7	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.6)/-	良好	密 ～2mmのテフラ状明黄褐粒が大量に混じる	単節RL・LR→沈線→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	拓本
064	78	8	土師器 底部	70	7.5YR6/6橙～5/4にぶ黄褐／5YR6/6橙～7.5YR6/6橙	-(4.3)/6.7	良好	やや粗 ～3mmのテフラ状橙褐色粒が多く混じる	工具ナデ	工具ナデ	
065	79	1	弥生土器 壺	20	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	10.1?/(4.0)/-	良好	密 反射する微粒が多く混じる	赤彩・縦のヘラミガキ 口縁端部付近の磨減が進む	工具ナデ→赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
065	79	2	弥生土器 壺	75	10R5/6赤（赤彩）～7/4にぶ黄橙／10R5/6赤（赤彩）～7/4にぶ黄橙	-(4.8)/-	良好	密	赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	
065	79	3	弥生土器 壺	5	2.5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～3/1黒褐／6/4にぶ黄橙	-(2.9)/-	良好	密	単節LR・RLによる山形文→沈線で山形を囲む	工具ナデ	拓本
065	79	4	弥生土器 壺	10	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～5/3にぶ黄褐	-(4.3)/-	良好	密 砂っぽい 角閃石状の反射微粒が目立って多い	外反する口縁を肥厚し、端面からの垂下部を作る 肥厚部：端面に単節RL、垂下部に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	磨減が進む 拓本
065	79	5	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐	-(2.0)/-	良好	密	沈線による菱形の格子文	工具ナデ	拓本
065	79	6	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/4赤（赤彩）	16.0?/(2.3)/-	良好	密 砂っぽい	外反する口縁を断面方形に肥厚し、端面からの垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節LR、垂下部に棒状工具の腹による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
065	79	7	弥生土器 広口壺	85	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	14.9/16.1/5.6	良好	密 淡黄バミス状粒・ガラス質粒が多く混じる	口縁部外面を粘土紐で肥厚、肥厚部下に対向する配置の2孔を穿つ（径6mm） 肥厚部端面：単節LR→下縁にヘラ状工具による刺突文を巡らせる 肩部文様帯：単節LR→RL→LR→上下沈線 文様帯間と以下底部付近まで赤彩・横ヘラミガキ	口縁部付近3.5cmに赤彩・横ヘラミガキ 以下：ナデ、器面の荒れが著しい	
065	79	8	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.1)/-	良好 使用による2次あり	密 反射する微粒が多く混じる	工具ナデ→口縁端部に斜め上1方向からの刺突文を施す	工具ナデ	拓本
065	79	9	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～2/1黒（煤）／2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y5/2暗灰黄	-(6.1)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの砂粒が混じる	くびれ部に輪積痕を残すが、その下端はなでつけられ体部に連続する炭化物が付着する	工具ナデ	拓本
065	79	10	弥生土器 壺	5	5/4にぶ黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.7)/-	良好	密	単節RL・LR→沈線→文様外：赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	拓本
065	79	11	弥生土器 大型壺	30	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(10.5)/-	良好	密 ～2mmの黄褐色テフラ状粒が大量に混じる	単節LR→沈線→赤彩・縦のヘラミガキ	剥落が進む 工具ナデ	反転復元
065	79	12	弥生土器 甕	100	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/3にぶ褐／3/1黒褐	-(1.3)/5.8	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ→ヘラミガキ?	ヘラミガキ 黒変する	
068	58	1	弥生土器 壺	80	10R3/6暗赤（赤彩）～6/3にぶ黄橙／10R3/6暗赤（赤彩）～6/3にぶ黄橙	12.9/(9.4)/-	良好	密 疎らに～5mmのシャモット状粒が混じる	口縁部を鉢状に内湾させる 口縁部：横工具ナデ→屈曲部に竹管状工具による円形刺突文（径3mm）を1個空け程度の間隔で巡らせる→赤彩・ヘラミガキ	口唇が水平的に面を持つ 横工具ナデ・ナデ→口縁部のみ赤彩・ヘラミガキ	非在地的な技法
068	58	2	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙～8/4浅黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙	-(2.9)/-	良好	精緻	外反する口縁先端を板状部を追加して肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節LR・RL、下端に縄文原体（LRか）による刺突文→棒状浮文（縦描き沈線で位置設定する）	屈曲部直上に竹管状工具による円形刺突文 赤彩・ヘラミガキ	拓本
068	58	3	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	内湾する口縁を断面垂滴状に肥厚する 肥厚部：結節RS 肥厚部以下：ハケメ状の工具ナデ	工具ナデ→ヘラミガキ?→逆C字状の刺突文	拓本
068	58	4	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐（赤彩含む）／5/4にぶ黄褐	-(4.3)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節LR→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→一部ヘラミガキ	混入品か 拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
068	58	5	弥生土器 壺	14	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(2.8)/-	良好	精緻 まれに～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	工具ナデ→ヘラミガキ→波高に幅のある結節L2個1組	工具ナデ	拓本
068	58	6	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(2.9)/-	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ→口縁端部：端面1方向からの棒状工具による刺突文	ヨコナデ	拓本
068	58	7	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	-(3.4)/-	良好 2次あり	密	工具ナデ→口縁端部：内外2方向の刺突文	工具ナデ→ヘラミガキ	拓本
068	58	8	弥生土器 椀	15	7/6明黄褐～5YR4/6赤褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～2.5Y7/4浅黄	11.9?/(4.2)/-	良好	精緻	内湾する口縁部を平らに肥厚する 肥厚部：端面と側面に無節Rを軸に巻いた原体による網目状文、下縁に棒状工具（網目状文原体軸部か）による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩（ほとんど遺存しない）・ヘラミガキ	内外とも磨減が進む 反転復元
068	58	9	弥生土器 甕?	10	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/4にぶ橙	13.9?/(2.8)/-	良好 2次あり	密 ～5mmのシャモット状赤褐色粒が目立つ	口縁端部：外面へ屈曲するように粘土紐を追加する 体部：横の工具ナデ	横の工具ナデ	反転復元
068	58	10	弥生土器 甕	10	5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	20.0?/(3.9)/-	良好 2次あり	密	輪積痕をハケメ状の工具ナデで消す	横の工具ナデ	反転復元
068	58	11	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／7.5YR6/6橙～7.5YR6/4にぶ橙	13.7?/(2.9)/-	良好 2次の可能性あり	密 まばらに～6mmの粗大なシャモット状粒が混じる	輪積痕をきついナデで消し、口縁端部に1方向からの刺突文を施す	横の工具ナデ	反転復元
068	58	12	土師器 小型甕	15	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐／7.5YR5/4にぶ褐～6/4にぶ黄橙	12.2?/(7.8)/-	良好 使用による2次あり	密	ハケメ（4本/cm）→体部：ナデ、口縁部：ヨコナデ 口縁端部は外面に玉縁状につまみ出される 黒変する	口縁部：ハケメ→ヨコナデ 体部：工具ナデ	反転復元
068	58	13	弥生土器 高杯	80	5YR4/2灰褐～10R4/6赤（赤彩）／2.5YR4/4にぶ赤褐（杯部赤彩）～5/3にぶ黄褐（脚部）	-(3.9)/-	良好 2次の可能性あり	密	赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	
068	58	14	弥生土器 高杯	10	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR7/4にぶ橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	-(2.2)/-	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
068	58	15	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(12.3)/-	良好 使用による2次あり	密 ～4mmのシャモット状暗赤褐色粒がまばらに混じる	ヘラミガキ状の工具ナデ	工具ナデ	反転復元
068	58	16	弥生土器 壺	80	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～黒斑	-(3.8)/7.1	良好	密 ～1mmの黄褐色テフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	工具ナデ	一部反転復元
068	58	17	弥生土器 底部	25	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／7/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙	-(3.0)/7.7?	良好 2次あり	密 ～2mmの円礫が混じる	工具ナデ	ナデ	反転復元
068	58	18	弥生土器 高杯	10	10R4/6赤（赤彩）～黒斑／3/1黒褐	-(1.7)/11.4?	良好	密	ハケメ（6本/5mm）→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→ナデ・一部ヘラミガキ	反転復元
068	58	19	須恵器 壺	5	5Y4/2灰オリーブ～2.5Y6/2にぶ黄／2.5Y5/1黄灰	22.4?/(4.7)/-	良好	精緻 まれに～5mmの角礫が混じる	自然釉がかかる ロクロメ	ヨコナデ	混入品 反転復元
069	80	1	弥生土器 甕	80	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／2.5Y6/3にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙～2.5Y4/1黄灰（黒斑）	-(11.6)/-胴径22.1?	良好 使用による2次あり	密 ～2mmの砂粒が目立つ	工具ナデ→縦のヘラミガキ 磨減気味	左上がりの工具ナデ（条線を伴う原体と伴わない原体がある）	反転復元
069	80	2	弥生土器 甕	20	5/3にぶ黄褐～7/4にぶ黄橙～3/1黒褐（黒変部）～7.5YR5/4にぶ褐（赤変部）／7/4にぶ黄橙～5/1褐灰（黒斑）	25.8?/(22.8)/-胴径24.8?	良好 使用による2次あり	やや粗 ～2mmの砂粒が多く混じる	頸部に輪積痕を7段残す 体部：左上がりの工具ナデ 口縁端部：端面1方向からの刺突文上位に炭化物の付着、下位に赤変が認められる	工具ナデ	反転復元
069	80	3	弥生土器 広口壺	5	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	-(5.7)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色ハミス状粒が大量に混じる	単節RL・LR・RL・LR	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
069	80	4	弥生土器 大型壺	10	10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙	25.8?/(9.0)/-	良好	密 ～1mmのテフラ・ハミス状粒が目立つ	外反する口縁を立体的に肥厚する 肥厚部：幅のある端面に単節RL・LR、側面に単節LRを施す→棒状浮文→側面上縁と下縁に縄文原体押圧による刺突文 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ 体部：単節RL2帯による山形文を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	口縁部：横の工具ナデ→赤彩? 体部：工具ナデ	反転復元
069	80	5	弥生土器 鉢	60	2.5Y7/4浅黄～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／6/3にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	-(2.9)/6.1	良好	密 角閃石等の反射する微粒が目立つ	赤彩・縦のヘラミガキ	底面の磨減を除き、赤彩・ヘラミガキ	反転復元
069	80	6	弥生土器 大型壺	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／2.5YR4/6赤褐	-(6.2)/-	良好	密 ～1mmの淡黄色ハミス状粒が大量に混じる	単節LR・RLによる山形文を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
072	66	14	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐／2.5YR4/3にぶ赤褐（赤彩）	23.0?/(1.8)/-	良好	密 砂っぽい 反射する粒 黒色ガラス質粒が多い	口唇を粘土紐で肥厚 肥厚部外面：単節RL→肥厚部下縁に縄文原体あるいは布による刺突を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	器表の遺存が悪い 反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
072	66	15	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～5/3にぶ黄褐	18.0?/(2.2)/-	良好	密 ～1mmのデフラ状・バミス状粒が大量に混じる	外反する口縁を断面三角形に近い垂滴状に肥厚し、一部に垂下部が伴う 肥厚部：側面に単節LR・RLを施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
072	66	16	弥生土器 壺	10	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/6明黄褐／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐	-(5.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmの赤褐色デフラ状粒が目立つ	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR・RLが混ざって施され、垂下部に布目を伴う 工具あるいは縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
072	66	17	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／10R4/6赤（赤彩）／6/3にぶ黄橙～5YR6/6橙	-(5.1)/-	良好	密	単節RL・LR・RL→沈線→赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ・一部ヘラミガキ	反転復元
072	66	18	弥生土器 壺	10	10R4/4赤褐（赤彩）～2.5Y7/4浅黄／6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	-(2.7)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面三角形に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR・RL、垂下部に指頭でつまむような形の交互刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
072	66	19	弥生土器 壺	15	7.5YR7/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙～2.5Y7/4浅黄	-(5.6)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒・バミス状粒が目立つ	頸部：単節RL→沈線 以下：赤彩・縦のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元 全体に磨滅気味
072	66	20	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄	-(2.8)/-	良好	密	単節LRによる山形文か	ナデ	拓本
072	66	21	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.3)/-	良好	精緻	単節LRによる山形を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
072	66	22	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～5YR4/4（赤彩?）／5YR5/6明赤褐	-(2.8)/-	良好	密 ～1mmの明黄褐色デフラ状粒が目立つ	肩部文様帯：単節RL・LR・RL→円形浮文（径1.6cm、十文字配置の竹管状円形刺突を伴う）2個	剥落	拓本
072	66	23	弥生土器 大型壺	20	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩?）～7/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐	-(4.0)/-	良好 2次の可能性あり	精緻 砂っぽい	工具ナデ→赤彩?	剥落	反転復元
072	66	24	弥生土器 甕	100	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙	-(3.9)/6.8	良好 使用による2次あり	粗 ～2mmの砂粒・デフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ	剥落が著しい ヘラミガキ	
072	66	25	弥生土器 壺	25	6/4にぶ黄橙～10R5/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.7)/6.0?	良好	密 まれに～6mmの円礫が混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
072	66	26	弥生土器 小型壺	100	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	-(2.0)/3.8	良好	密 まれに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	縦の工具ナデ→ヘラミガキ	剥落が広がる ヘラミガキ	
072	66	27	弥生土器 壺	100	2.5Y5/3にぶ黄～黒斑／2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y5/2暗灰黄	-(2.3)/5.3	良好	精緻	縦のヘラミガキ	ヘラミガキ	
072	67	1	弥生土器 甕	10	4/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	22.6?/(3.6)/-	良好 使用による2次あり	密	輪積痕をナデ消し、口縁端部に端面1方向からの刺突文を施す うすく炭化物が付着する	横の工具ナデ	反転復元
072	67	2	弥生土器 甕	25	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(6.6)/-胴径18.0?	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	頸部に輪積痕を残し、最下段を段とする ナデ・工具ナデ	工具ナデ	反転復元
072	67	3	弥生土器 甕	15	4/2灰黄褐～3/1黒褐／6/4にぶ黄橙	22.8?/(11.2)/-胴径22.0?	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒が目立つ	頸部下端に段を持つ 体部：ナデ・工具ナデ 口縁端部：端面1方向からの刺突文を施す	横の工具ナデ	反転復元
072	67	4	弥生土器 甕	70	6/3にぶ黄橙～黒斑／黒斑～7/4にぶ黄橙	20.8/19.9/6.5	良好 破片化後の2次あり	密 ～1mmの橙色粒が大量に混じる	口縁接合部最下段を段部として残す 口縁部：縦方向にナデを行うが接合痕を所々残す→口唇端面にほぼ平行する角度で布による刺突文を施し密に巡らせる 体部：工具ナデ 底面：木炭圧痕あり	ナデ・工具ナデ	断面・内面調整は反転復元
072	67	5	弥生土器 甕	75	7/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐～黒斑／7/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙～黒斑	21.2?/23.3/6.8?胴径21.9	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの角閃石・軽石状橙色粒が目立つ	最大径以上に煤炭炭化物が付着し、以下が被熱によって赤変する 口縁部下端を段とする 口縁部：横のナデ→口唇：上下方向からの棒状工具による刺突 体部：ナデ→やや疎らな縦のヘラミガキ	下位は使用のためか若干磨滅する 上位：横ヘラミガキ	胎土分析試料 内面調整は合成
072	67	6	弥生土器 脚台部	70	6/4にぶ黄橙／2.5Y6/2灰黄（体部）～6/4にぶ黄橙（脚部）	-(3.6)/-	良好	精緻 ～1mmの赤褐色デフラ状粒が目立つ	工具ナデ→ヘラミガキ	体部：ヘラミガキ	反転復元
072	67	7	弥生土器 高杯	20	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.3)/6.0?	良好	密	縦の工具ナデ→縦の疎らなヘラミガキ 裾端部は水平的な面を持つ	横のナデ	反転復元
072	67	8	弥生土器 椀	10	6/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄	-(2.9)/-	良好	精緻	内湾する口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に単節LR・RL、下縁に板状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：工具ナデ→ヘラミガキ	ナデ→ヘラミガキ	拓本
072	67	9	弥生土器 鉢・高杯	10	7/4にぶ黄橙～5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	20.2?/(3.7)/-	良好	密	単節RL・LR・RL（段単位が交差しており整っていない）→沈線区画	剥落	反転復元
072	67	10	弥生土器 椀・ミニチュア甕	25	2.5Y7/4浅黄～2.5Y5/2暗灰黄／2.5Y7/4浅黄～2.5Y5/2暗灰黄	10.0?/(4.3)/-	良好	密	椀状の体部を持つ 立ち上がり部には裏のように接合痕を一部に残す ナデ・工具ナデ	立ち上がり部：ナデ・工具ナデ 以下：一部ヘラミガキ	反転復元 全体像が不明 全体に磨滅が進む

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
072	67	11	弥生土器 鉢・鉢	15	5YR5/4にぶ赤褐／10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐	20.0?/(3.4)/-	良好	精緻	口縁直下に単節LR3段と結節LZ2個1組を施す	赤彩・横のヘラミガキ	拓本 混入品か
072	67	12	弥生土器 鉢・高杯	15	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐／5/3にぶ黄褐～10R4/6赤（赤彩）	-/(5.5)/-	良好	密 ～1mmの橙色テフラ状粒が目立つ	単節RL・LR→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
072	67	13	弥生土器 壺	50	7/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）～黒斑／5/3にぶ黄褐	-(15.6)/5.9/胴径16.4	良好 2次の可能性あり	粗 ～1mmの軽石状の黄橙色粒と白色ガラス状粒が多量に混じる	側面に黒斑あり 頸部：単節RL→沈線 文様帯以下：赤彩（ほとんど剥落）・横ヘラミガキ	ナデ	特徴的な胎土剥落が著しい
072	67	14	弥生土器 大型壺	80	2.5YR6/8橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	-/(16.9)/10.0/胴径35.2?	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmの褐色テフラ状粒・反射する雲母?・角四石微粒が目立つ砂っぽい	工具ナデ→赤彩・横ヘラミガキ 赤彩遺存不良・底部付近を中心に擦痕状に剥落している	横工具ナデ・底面ナデ	一部反転復元
073	66	28	弥生土器 壺・鉢	20	7.5YR5/4にぶ褐～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙～黒斑	15.6?/(1.7)/-	良好	密 ～1mmの赤褐色テフラ状粒が混じる	直線的に開く口縁部を断面垂直状に肥厚するナデ	ヨコナデ	反転復元
073	66	29	弥生土器 壺	15	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	14.0?/(1.7)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：下面に丸棒状工具の先端による刺突文を施す	赤彩?・ヘラミガキ	反転復元
073	66	30	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-/(2.4)/-	良好	密	口縁部を断面垂直状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR・RL。垂下部に布目を伴う工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩	剥落 赤彩	拓本
073	66	31	弥生土器 壺・器台	10	4/1褐灰～6/3にぶ黄橙／4/1褐灰	14.0?/(2.3)/-	良好 2次の可能性あり	密	縦のハケメ（6本/5mm）→面取りで拡張された口縁端部に単節LRを施す	ナデ→ヘラミガキ	拓本
073	66	32	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／2.5Y6/3にぶ黄	-/(3.6)/-	良好	密	単節LR・RL・LR→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
073	66	33	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-/(3.2)/-	良好	密	上段に山形沈線文→単節RL・LR・RL→RLを切って山形沈線文→結節RS2個1組	工具ナデ	拓本
073	66	34	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-/(3.5)/-	良好	精緻	単節LR2帯による山形文を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
073	66	35	弥生土器 甕	10	3/1黒褐～4/2灰黄褐／7.5YR6/4にぶ橙	-/(9.8)/-	良好 使用による2次あり	密	くびれ部下端に段を作る 横の工具ナデ→段部：木目状の痕跡を伴う刺突文	横の工具ナデ	反転復元
073	66	36	弥生土器 底部	25	6/4にぶ黄橙～5YR5/4にぶ赤褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-/(3.3)/9.8?	良好	密 角四石状の反射する微粒が目立つ	ナデ	ナデ	反転復元
073	66	37	弥生土器 高杯	40	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y7/4浅黄（杯部）～2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y5/2暗灰黄	-/(3.5)/-	良好	密 ～3mmのシャモット状赤褐色粒が目立つ	赤彩（ほとんど遺存せず）・縦のヘラミガキ	杯部底面中央が径1.7cmの円形にくぼむ 杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ハケメ（5本/cm）→ナデ	杯部が脚柱上端を巻くようにして成形する 反転復元
073	66	38	弥生土器 甕	20	2.5Y4/1黄灰（黒斑）～7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～黒斑	-/(2.1)/6.3?	良好 使用による2次あり	密	縦のきつい工具ナデ	横の工具ナデもしくはヘラミガキ	反転復元
075	82	1	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR7/6橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	17.7?/(2.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの透明質の砂粒が目立つ	頸部接合痕を左下がりのきつい工具ナデで磨り消し、口縁端部に内外2方向からの棒状工具による刺突文を施す	ナデ	反転復元
075	82	2	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-/(2.8)/-	良好	密	単節LR・RL→沈線→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
075	82	3	弥生土器 小型鉢	5	6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒斑）／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒斑）	11.8?/(2.3)/-	良好	精緻	ヘラミガキ	口縁部：面取り気味にヨコナデされ、弱く外反するヘラミガキ	反転復元 混入品か
075	82	4	弥生土器 小型鉢	5	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～5/4にぶ黄褐	11.6?/(1.8)/-	良好	密 ～2mmの暗赤褐色シャモット状粒	横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	口縁端面を面取りする 赤彩・ヘラミガキ	反転復元 混入品か
076	82	5	弥生土器 広口壺	20	7.5YR6/6橙～5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	21.6?/(4.7)/-	良好	精緻	外反する口縁を肥厚する 肥厚部：下縁に厚みのある板状工具による斜列点気味の刺突文 肥厚部以下：縦のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元 混入品か
076	82	6	弥生土器 壺	15	2.5Y5/3黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	11.4?/(2.0)/-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、側面からの垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL、垂下部に浅い刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
076	82	7	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）	-/(3.6)/-	良好	密 ～1mmのバミス状粒が大量に混じる	結節RS（3個1組か）が3段以上施される	赤彩・ヘラミガキ	拓本
076	82	8	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐／7.5YR5/4にぶ褐	-/(2.7)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	単節RL・LR→結節RS3個1組→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
076	82	9	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐	-/(3.4)/-	良好	密 角四石状の反射微粒が多く混じる	単節RL→沈線による格子文→沈線直線文	ナデ	拓本
076	82	10	土製品 土器片鉢	100	4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐	長軸4.2/短軸2.7cm/厚さ0.9/重量1.4g	（良好）	（密）	長軸両端に切れ込みがある	－	混入品

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
076	82	11	弥生土器 甕	10	4/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙～黒 (炭化物)／6/4にぶ黄橙	16.6?/(3.5)-	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの角礫 が若干混じる	工具ナデ→口縁端部：一方向からの 刺突が施されるが、縄文原体による 箇所と棒状工具による箇所に分かれ る	ナデ・工具ナデ	反転復元 混入品か
076	82	12	弥生土器 甕	5	2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y7/3浅黄 ／2.5Y7/4浅黄	16.8?/(4.8)-	良好 使用による 2次あり	密	ナデ・工具ナデ→ゆるく外反する短 い口縁端部に端面1方向からの縄文 原体による刺突文を施す うすく炭化物が付着する	横のナデ・工具ナデ	反転復元 混入品か
076	82	13	弥生土器 甕	60	7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～ 5/3にぶ黄褐	15.4?/(9.9)-	良好 使用による 2次あり	密 砂粒は目立 たないが～4mm のシャモット まばらが混じ る	若干黒変する部分がある 口縁部を外傾接合の粘土紐積みで形 成し、最下段を段部として残すほか はほとんどを指ナデで消す 口唇：上方・側方からの刺突により 波状を呈する 段以下：横ヘラミガキ	左上がりの工具ナデ→横ヘラミガキ	
076	82	15	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／5/4に ぶ黄褐～4/2灰黄褐	19.6?/(1.8)-	良好 使用による 2次あり	密	輪積痕をナデ消すが接合痕は明瞭で ある 全体に炭化物が付着し、破断面は赤 変する 口縁端部：内外2方向からの棒状工 具による刺突文 横の工具ナデ	口縁端部に粘土紐を内側から積み重 ねる形で肥厚し、肥厚部か単接合部 をそのまま残す	反転復元
076	82	16	弥生土器 甕	20	5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐～黒 (炭化物)／3/1黒褐（黒変 部）～6/4にぶ黄橙	-(15.9)/-胴径 25.2?	良好 使用による 2次あり	密	くびれ部に輪積痕を7段以上残す 輪積痕には指頭圧痕が明瞭に残る 体部：工具ナデ 全体：黒変し、炭化物が付着する	工具ナデ→下位：ヘラミガキ	反転復元
076	82	17	弥生土器 小型土 器	20	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／6/4 にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(5.7)/4.8?	良好	精緻	丁寧なヘラミガキ	丁寧なヘラミガキ	反転復元 上位は同一個体片から 推定 混入品か
076	82	18	弥生土器 甕	75	7.5YR5/3にぶ褐～7.5YR6/4に ぶ橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(12.9)/-胴径 17.1	良好 使用による 2次あり	密 ～5mmのシャ モットがまば らに混じる	単位の明瞭な粘土紐で口縁部を形成 し、最下段を段部として残す ヘラクスリに近い横の工具ナデ→ 部：ヘラミガキ	工具ナデ→下位：ヘラミガキ	段以下が球形に近い
076	82	19	弥生土器 高杯	10	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～黒 斑／2.5YR5/6明赤褐	-(3.6)/11.6?	良好	密	ハケメ→円形透孔（配置数不明）→ 赤彩・ヘラミガキ	ハケメ（8本/cm）→ナデ	反転復元 混入品か
076	82	20	土師器 底部	30	2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y6/3にぶ 黄／2.5Y6/4にぶ黄	-(2.0)/9.6?	良好	精緻	工具ナデ	ナデ	反転復元 混入品か
076	82	21	土師器 底部	20	2.5YR5/6明赤褐～5YR5/4にぶ 赤褐／4/2灰黄褐	-(1.5)/5.6?	良好 2次あり	密	ナデ 底面が横に広がっている	ナデ	反転復元 混入品か
076	82	22	弥生土器 底部	100	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(3.4)/8.5	良好	密 ～5mmのシャ モット状暗赤 褐色色粒が目 立つ	縦の工具ナデ・縦のヘラミガキ（底 面に及ぶ）	ナデ・工具ナデ	
076	82	23	弥生土器 底部	60	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／6/4 にぶ黄橙～4/1褐灰	-(2.4)-	良好 2次あり	密	工具ナデ	剥落	反転復元
076	82	24	土師器 底部	60	5/4にぶ黄褐～3/1黒褐／ 7.5YR5/4にぶ褐	-(5.5)/9.7	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmの砂粒 が多い	縦の工具ナデ	ナデ・工具ナデ	混入品か
076	148	25	弥生土器 鉢	90	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/4赤褐 (赤彩)／10R4/4赤褐（赤 彩）～6/4にぶ黄橙	15.5/7.6/6.4	良好	密 ～8mmのシャ モットが多 い、褐色デフ ラ状微粒が目 立つ	ナデ・工具ナデ→赤彩・横ヘラミガ キ（底部から2cmの範囲は剥落が進 み調整不明）	ナデ・ヨコナデ→赤彩・横ヘラミガ キ	
077	82	26	弥生土器 底部	50	6/3にぶ黄橙～10R5/6赤（赤 彩）／6/4にぶ黄橙	-(1.9)/6.4	良好 2次の可能 性あり	粗 ～1mmの砂 粒／デフラ状 粒が大量に混 じる	縦の工具ナデ→ヘラミガキ	ほぼ全面が剥落する	反転復元 混入品か
077	82	27	弥生土器 壺	80	6/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐 ～黒斑／7.5YR6/6橙	-(5.0)/6.7	良好	精緻	左上がり気味のヘラミガキ	ヘラミガキ	
077	82	28	弥生土器 鉢	60	2.5Y5/6明赤褐（赤彩）～6/3 にぶ黄橙～黒斑／5YR5/6明赤 褐～6/4にぶ黄橙～黒斑	15.6/12.5/6.2 ～6.7/最大径 19.2?	良好	密 ～1mmの砂粒 と反射する微 粒が多く混じ る	口縁部を肥厚し、外面に単筋 LR→RL→LR、段部下縁に縄文原体 による刺突文を巡らせる 口唇：単筋LR 肥厚部以下：底部付近にヘラクスリ に近い横工具ナデ→赤彩（ほとんど 遺存しない）・横ヘラミガキ	横工具ナデ→ヘラミガキ（赤彩は施 されていないかまったく遺存しな い）	断面上位反転復元 調整も合成
078	83	1	弥生土器 壺	10	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6 橙／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～ 7.5YR6/6橙	-(7.7)-	良好	精緻	頸部文様帯：単筋LR・RL・LR・ RL→沈線 文様外：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
078	83	2	弥生土器 甕	5	3/1黒褐／5/3にぶ黄褐	18.8?/(2.9)-	良好 使用による 2次あり	密	全体に炭化物が付着する 接合痕をナデ消し素口縁の端部を作り 、口縁端部外縁に外から1方向の 刺突文を施す	ナデ→ヘラミガキ	反転復元
078	83	3	弥生土器 甕	15	2.5Y5/3黄褐～3/1黒褐／5/4に ぶ黄褐～4/3にぶ黄褐	-(9.7)-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が大量に混じ る	ハケメ状の工具ナデ（5本/5mm）→ ナデ・工具ナデ 炭化物が付着する	剥落が著しい	反転復元
078	83	4	弥生土器 鉢	25	2.5Y5/3黄褐～黒斑／5YR5/4 にぶ赤褐～7.5YR4/2灰褐	12.4?/(6.8)-	良好 2次の可能 性あり	密	粘土紐接合痕をとところろ明瞭に 残した特徴的な成整形を示す ナデで仕上げられており、指頭圧 痕・指紋が明瞭に遺存する	ナデ・工具ナデ	被熱のためか赤変・ 黒変が見られる 反転復元
078	83	5	弥生土器 壺	5	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙／5YR5/6明赤褐	-(2.3)-	良好	密 ～1mmの明赤 褐色デフラ状 粒が目立つ	単筋LR・沈線による山形文→文様 外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
078	83	6	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／2.5Y5/1黄灰～2.5Y5/2 暗灰黄	-(2.3)/8.1?	良好	密	工具ナデ→一部に赤彩が見られる	ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
078	83	7	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-/(3.2)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 混じる	輪積痕	ナデ	拓本
078	83	8	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐／ 2.5Y7/4浅黄～7/4にぶ黄橙	-/(3.3)/5.9?	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの赤褐色 デフラ状粒 が目立つ	左上がりの工具ナデ うすく炭化物が付着する	ヘラミガキ	反転復元
078	83	9	中世土器 内耳鍋	5	4/1褐灰／4/2灰黄褐	-/(2.1)/-	良好 使用による 2次あり	密	ナデ	口縁部内面に下縁が段部になる凹 面が作られる	混入品
079	22	4	弥生土器 壺	10	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐／5/3 にぶ黄褐	-/(3.7)/-	良好 2次の可能 性あり	密 反射微粒が目 立つ	沈線による菱形の格子文	ナデ	拓本
079	22	5	弥生土器 壺	30	6/4にぶ黄橙／7.5YR7/6橙～ 7.5YR6/4にぶ橙	-/(3.5)/-	良好	精緻	単節RL・LR→沈線→文様外：赤 彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
079	22	6	弥生土器 壺	20	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙／6/6明黄褐～2.5Y6/4にぶ 黄	-/(6.0)/-	良好	密	沈線→赤彩・縦のヘラミガキ	剥落が著しい ナデ→上位に赤彩	反転復元
079	22	7	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～ 6/4にぶ黄橙	-/(7.5)/-	良好	精緻	くびれ部下端を低い段として残す 体部：工具ナデ→段部：布目を伴う 刺突文	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
079	22	8	弥生土器 甕	10	4/1褐灰～3/1黒褐／6/4にぶ黄 橙～5/3にぶ黄褐	-/(5.1)/-	良好 使用による 2次あり	密	くびれ部下端を段とする 工具ナデ 段部に角棒状工具による刺突文を施 す 全体に炭化物が付着する	工具ナデ	反転復元
079	22	9	弥生土器 高杯	10	7/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～ 2.5YR4/4にぶ赤褐	22.0?/(5.0)/-	良好	精緻	内弯気味の口縁を肥厚する 肥厚部：側面に単節LR・RL、下縁 に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：単節RL・LR・RL	上位が磨滅気味 赤彩・横のヘラミガキ	拓本
079	22	10	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤 （赤彩）	-/(4.4)/-	良好	精緻	単節RL・LR・RL（施文位置が一定 せず最下段RLは沈線外に出る部分が 多い）→沈線→赤彩・ヘラミガキ	ナデ→頸部：赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
079	22	11	弥生土器? 小型 鉢	5	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／5/3 にぶ黄褐	7.8?/(3.8)/-	良好	密	ハケメ状の工具ナデ→口縁部：ヨコ ナデ	ヘラミガキ	反転復元 混入品か
079	22	12	弥生土器 小型鉢	5	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／ 5/4にぶ黄橙	10.1?/(3.3)/-	良好	密	口縁部外面が面取りされる 工具ナデ	口縁部内面が面取りされる	反転復元 混入品か
079	22	13	土師器? 甕	20	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／7/4 にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-/(5.5)/-	良好	精緻	ハケメ状の工具ナデ→一部ヘラミガ キ	磨滅気味 ヘラミガキ?	反転復元 混入品か
079	22	14	弥生土器 大型壺	25	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	-/(3.7)/11.4?	良好	密 角閃石・雲母 状の反射微粒 が目立つ	工具ナデ	ナデ	反転復元
079	22	15	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／ 2.5Y7/4浅黄～2.5Y5/4黄褐	-/(5.0)/6.4?	良好 使用による 2次あり	精緻	工具ナデ 全体的にうすく炭化物が付着する	ナデ・工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
080	85	1	弥生土器 壺	35	10R3/6暗赤（赤彩）～ 7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/4に ぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐	18.4?/(34.5?)/- 胴径26.2?	良好 破片化後の 2次あり	密 大きい砂粒は ないが、反射 する角閃石 粒・雲母?粒が 混じる	外反する口縁部を断面方形に肥厚 する 肥厚部：端面に単節RL、肥厚部下縁 に布目を伴う工具による刺突文を施 す 頸部屈曲部直下と最大径付近に文様 帯有り 上文様帯：単節RL→LR→RL→上下 沈線 下文様帯：単節RL→LR→RL→上下 沈線 文様帯外：赤彩・横ヘラミガキ（口 縁部は縦）	横ナデ・工具ナデ	反転復元
080	85	2	弥生土器 壺	20	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 4/1褐灰～6/4にぶ黄橙／ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙	16.7?/(4.2)/-	良好	密 角閃石状の微 粒が目立つ	外反気味の口縁部を断面垂直状に肥 厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下 部に下からの押印文を施す 肥厚部以下：赤彩・横のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
080	85	3	弥生土器 広口壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐 ／5/3にぶ黄褐	14.0?/(4.5)/-	良好 2次の可能 性あり	密	口縁部：面取りされ単節LRが施さ れる 口縁部：単節RL・LR・RL・LR→端 部下7mmのところ径4～5mmの円 孔2個を穿つ	一部条線を伴う横の工具ナデ→ヘラ ミガキ（赤彩は不明）	拓本
080	85	4	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-/(2.9)/-	良好	密	網目状文→網目状文を切る沈線山形 文→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
080	85	5	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-/(2.3)/-	良好 使用による 2次あり	密	くびれ部下端を残した段部に竹管状 工具による円形刺突文を施す	ナデ	拓本
080	85	6	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/4に ぶ橙	-/(1.8)/-	良好 2次の可能 性あり	密	輪積痕を残し、最下段を段とする 段部：布目を伴う工具もしくは縄文 原体による刺突文を施す	工具ナデ	拓本
080	85	7	弥生土器 壺	20	2.5Y7/4浅黄～10R4/6赤（赤 彩）／2.5Y7/4浅黄～2.5Y6/4 にぶ黄	-/(8.1)/-	良好	密	文様帯（上下とも同じか）：単節 LR・RL・LR→単節LR原体によるZ 字状結節文2個1組 文様外：赤彩・横のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
080	85	8	弥生土器 高杯	5	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙 ／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6 橙	-/(4.8)/-	良好	精緻 まばらに～ 4mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	杯部：縦のヘラミガキ（底面付近は 左上がり）	ヘラミガキ	反転復元 混入品か
080	85	9	弥生土器 壺	10	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～ 4/2灰黄褐	-/(10.8)/-	良好	密 角閃石を含む 反射微粒・パ ミス状粒が大 量に混じる	赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
080	85	10	弥生土器 甗・鉢	20	2.5Y6/4にぶ黄～10R4/6赤 (赤彩)／10R4/6赤 (赤彩) ～5/4にぶ黄褐	9.8?/(5.7)/-	良好	密 ～2mmの赤褐 色テフラ状粒 が目立つ	内弯気味の口縁部の端部に単節LR、 側面に単節LR・RLを施す 以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
080	85	11	弥生土器 鉢・壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～5/4にぶ黄褐 ／6/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐	-(4.5)/-	良好	密 ～2mmの砂粒 が目立つ	沈線 工具ナデ→ヘラミガキ?	工具ナデ→ヘラミガキ?	反転復元
080	85	12	弥生土器 鉢	10	10R4/6赤 (赤彩) ～6/4にぶ黄 橙／10R4/6赤 (赤彩) ～6/4に ぶ黄橙	19.8?/(4.6)/-	良好	密 角閃石状の反 射微粒が大量 に混じる	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
080	85	13	弥生土器 壺	30	4/1褐灰～10R4/4赤褐 (赤彩) ／6/4にぶ黄橙	-(6.2)/7.6?	良好	密 ～3mmの赤褐 色シャモット 状粒・テフラ 状粒が目立つ	赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ	反転復元
080	85	14	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤 (赤 彩) ／6/4にぶ黄橙	-(6.1)/-	良好	密 反射微粒が目 立つ	赤彩・横のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
080	85	15	弥生土器 底部	70	5/3にぶ黄褐～5/2灰黄褐／6/4 にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(1.8)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～2mmのテフ ラ状粒・パミ ス状粒が多く 混じる	ナデ (底面の一部ヘラミガキ状)	剥落が著しい ナデ	反転復元
080	85	16	弥生土器 甕	70	5/4にぶ黄褐～4/3にぶ黄褐／ 5/3にぶ黄褐	-(3.4)/5.3	良好 使用による 2次あり	密	全体に炭化物が付着する 工具ナデ (一部ヘラミガキ状にな る)	ナデ	一部反転復元
081	84	1	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤 (赤 彩) ／10R4/6赤 (赤彩)	19.0?/(3.2)/-	良好	密	外反口縁を肥厚し、垂下部を追加す る 肥厚部：端部に単節RL、垂下部に棒 状工具の腹による刺突文を施す 肥厚部から少し間隔を空けて、赤 彩・ヘラミガキを行う	赤彩・ヘラミガキ	拓本
081	84	2	弥生土器 壺	5	10R4/4赤褐 (赤彩) ～6/4にぶ 黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.2)/-	良好	精緻	単節RL→沈線→赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
081	84	3	弥生土器 壺	10	10R4/6赤 (赤彩) ～6/4にぶ黄 橙／6/4にぶ黄橙	-(4.5)/-	良好	精緻	頸部文様帯：沈線 肩部文様帯：単節LR→沈線 文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	反転復元
081	84	4	弥生土器 鉢	60	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～ 10R4/6赤 (赤彩) ／2.5YR4/4 にぶ赤褐 (赤彩) ～6/4にぶ黄 橙	-(3.0)/5.7	良好	密	工具ナデ→底部付近を除き、赤彩・ ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
081	84	5	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／ 7.5YR5/4にぶ褐	-(2.1)/-	良好 使用による 2次あり	密	輪積痕を残し、口縁端部に内外2方 向からの刺突文を施す	ナデ	拓本
081	84	6	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 ／6/4にぶ黄橙	18.2?/(10.0?)/-	良好	密	口縁部：輪積痕をナデ消し段部を残 す→端面1方向からの刺突文 体部：ハケメ状の条線を伴う工具ナ デ	ハケメ状の条線の伴う工具ナデ	反転復元 器形は合成
081	84	7	弥生土器 甕	20	6/4にぶ黄橙／4/1褐灰	-(1.9)/8.0?	良好	精緻	左上がりの工具ナデ	ヘラミガキ	反転復元
081	84	8	弥生土器 底部	25	5/4にぶ黄褐／5/2灰黄褐	-(2.0)/7.4?	良好	精緻	工具ナデ	工具ナデ	反転復元
083	87	1	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 ／10R4/6赤 (赤彩) ～6/4にぶ 黄橙	16.0?/(2.3)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端部に単節RL、垂下部に刺 突文を施す 肥厚部と少し間隔を空けて、赤彩・ ヘラミガキを行う	赤彩・横のヘラミガキ	拓本
083	87	2	弥生土器 壺	15	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	-(4.3)/-	良好	密	磨減が著しい 沈線	磨減が著しい	反転復元
083	87	3	弥生土器 底部	80	6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄 ／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	-(3.0)/8.1	良好	密	工具ナデ	工具ナデ	一部反転復元
083	87	4	弥生土器 甕	90	7/4にぶ黄橙～黒 (煤・黒斑) ／7/4にぶ黄橙～3/1黒褐 (黒 斑)	16.6/18.3/6.3/ 胴径17.0	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 少量混じる	体部：主に横の工具ナデ (条線が残 る) くびれ部：8段の粘土紐の接合痕を 残す→横のナデ 上位に多く煤が付着、口唇：丸い先 端を持つ工具による横方向からの刺 突が密に巡る	横のナデ・工具ナデ 底面：指ナデの筋が残る	
083	87	5	弥生土器 壺	70	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙～ 10R4/6赤 (赤彩) ／6/4にぶ黄 橙～7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	-(4.7)/8.4/胴径 26.0?	良好	密 ～2mmの砂 粒・テフラが 混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	一部反転復元
084	86	1	弥生土器 壺・鉢	90	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/6橙～ 10R4/6赤 (赤彩) ／4/1褐灰～ 2.5Y6/3にぶ黄	-(4.1)/5.4	良好	精緻 角閃石等の反 射微粒が多く 混じる	底部付近を残して赤彩・ヘラミガキ	ヘラミガキ (赤彩の伴う可能性あ り) 底面中央には敲打痕状の剥落が見ら れる	一部反転復元
084	86	2	弥生土器 鉢	60	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/6赤 褐 (赤彩) ～3/1黒褐 (黒変 部・煤)	-(8.4)/7.0	良好 2次の可能 性あり	密	剥落部が広がる 単節LR→沈線→赤彩 (遺存不良) ・ ヘラミガキ	ヘラミガキ (底部付近に工具痕が目 立つ)	一部反転復元
084	86	3	弥生土器 甕	40	7.5YR5/4にぶ黄橙～5YR5/6明 赤褐～黒斑／6/4にぶ黄橙～ 3/1黒褐	-(14.8)/-/胴径 19.6?	良好 使用による 2次あり	密	くびれ部に接合痕を残し、最下段を 段部とする 体部：工具ナデ→下位に縦のヘラミ ガキ 段部：布目を伴う工具による刺突文	工具ナデ→下位ほど密なヘラミガキ	反転復元
201	94	1	弥生土器 壺	15	4/1褐灰～6/4にぶ黄橙／6/4に ぶ黄橙～10R4/4赤褐 (赤彩)	16.8?/(1.8)/-	良好	精緻	外反する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端部に単節RL、端面外縁に 棒状工具による刺突文→棒状浮文を 施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
201	94	2	弥生土器 壺	10	2.5Y7/3浅黄／2.5Y7/3浅黄～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	16.4?/(1.8)/-	良好	密 ～1mmの砂粒 (透明感のある白色粒が多い)を多量に含みかなり砂っぽい	口縁端部を粘土紐で肥厚する 肥厚部外面：単節RL→ボタン状円形浮文（径1.6cm、7個の竹管状工具による刺突を伴う）→下縁に縄文原体もしくは布による刺突文を巡らせる 以下：赤彩されるがほとんど遺存せず	赤彩されるがほとんど剥落する	胎土分析試料 反転復元
201	94	3	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	-(6.6)/-	良好	精緻	単節LR・RL・LR・RL・RL・RL→中位に結節RS2個1組	ナデ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
201	94	4	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	-(1.5)/-	良好	密 砂っぽい	受け口状の口縁を断面垂直状に肥厚し、小さく垂下部を追加する 肥厚部：端面に結節RS2個1組?を3段以上施し、垂下部に刺突文を施す	ヘラミガキ（赤彩は遺存せず）	拓本
201	94	5	弥生土器 壺	10	7.5YR6/4にぶ橙～黒斑／10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.0?/(2.4)/-	良好	密 砂っぽい	外反する口縁を断面方形に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節LR、垂下部に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
201	94	6	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.5)/-	良好	密	単節RL・LRの2帯による山形文を沈線で囲む	工具ナデ	拓本
201	94	7	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.6)/-	良好	密 ～1mmの砂粒が多く混じる	結節RS多段の山形文および横帯を沈線で囲む→文様外：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	拓本
201	94	8	弥生土器 壺	80	7/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／4/1褐灰～6/4にぶ黄橙	-(2.7)/6.0	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	底面中央に敲打痕状の剥落が見られるヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	反転復元
201	94	9	弥生土器 大型壺	70	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	18.3/38.7～39.5/9.8/胴径28.5	良好 体部中位から下位に黒斑が大きく入る	密 ～1mmの角閃石・テフラ状橙色粒	全体の一次調整：ナデ・工具ナデ（一部ケズリ状） 口縁部：粘土紐を追加し断面垂直形に肥厚する 肥厚部端面：単節LR 肥厚部外面：単節RL 頸部文様帯：単節RL→LR→RL→上下に沈線 肩部文様帯：単節LR→RL→LR→上下に沈線 一部に縦方向に逸脱する単位有り 口縁部：赤彩・縦のち横のヘラミガキ 文様帯間：赤彩・横ヘラミガキ 文様帯以下：赤彩・左上がりから横のヘラミガキ 赤彩は遺存不良	口縁部：赤彩・ヘラミガキ 体部：横工具ナデ	下半が大きく欠損する
201	95	1	弥生土器 壺	60	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙／5YR5/6明赤褐～7.5YR6/6橙	-(27.1)/6.7	良好 2次の可能性あり	密 大きい砂粒が目立たない	頸部文様帯：単節RL→LR→RL→上下に結節RS2個1組を施す 肩部文様帯：単節RL→LR→RL→上下に結節RS2個1組を施す 文様帯間：赤彩（彼熟のためかほとんど遺存せず）、体部は横、口縁部は縦のヘラミガキ	水玉状の剥落が目立つ 口縁部：ヘラミガキ（赤彩は不明） 体部：ナデ	断面大部分反転復元
201	95	2	弥生土器 大型壺	90	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）～黒斑	23.9?/53.2/10.4?/胴径40.3	良好	密 黄灰色バミス（～1mm）多量に含む	口縁外面・頸部・肩部に文様帯がある 口縁文様帯：肥厚部端面に単節LR、端部下端に布圧痕を伴う刺突文が数mmおきに巡らされる 頸部文様：単節LR・RL→結節RS2個1組上下段にの順に施される 肩部文様帯：上-RL・LR・RL、下-LR・RL横回転の縄文の後にその上下に結節RS2個1組が施される また、中段の山形文に伴う縄文も結節文の前に行われる 中段の基本的な構成は上下の結節文をつなぐかたの斜めのヘラ描き沈線8本である この沈線が左右反対の傾きで8本ごとに交互に描かれ、それをベースにできた三角形と空間を埋める形で小V字状の単位（縄文帯）が入れ込まれる 小V字状の単位の一つ外側にあたるV字単位の外部にはさらにヘラ描き斜行沈線が入れられる 文様帯以外：赤彩に伴うヘラミガキ（頸部：縦、他：横）	口縁内面：赤彩・横ヘラミガキ 以下：ナデ・工具ナデ（一部ヘラケズリ状） 下位に大きく黒斑が入る	胎土が特徴的
201	95	3	弥生土器 小型甕	20	3/1黒褐～5/3にぶ黄褐／5/2灰黄褐～4/1褐灰	13.6?/(4.0)/-	良好 使用による2次あり	密	弱く屈曲する短い口縁を持ち、その端面に1方向からの刺突を施す 体部：工具ナデ→ヘラミガキ 全体的に炭化物が付着し黒変する	工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
201	95	4	弥生土器 甕	10	2.5Y4/2暗灰黄～6/4にぶ黄橙／4/2灰黄褐～5/4にぶ黄褐	18.2?/(4.0)/-	良好 使用による2次あり	密 反射する微粒が目立つ	工具ナデ→口縁端部：端面1方向からの刺突文（不明瞭）	ナデ	反転復元
201	95	5	弥生土器 甕	15	5/2灰黄褐～7.5YR7/6橙／5/3にぶ黄褐	17.4?/(4.7)/-	良好 2次あり	密 まばらに～5mmのシャモット状粒が混じる	弱く屈曲する短い口縁を持ち、その端面に1方向からの刺突を施す 体部：条線を残す右上がりの工具ナデ	ナデ	反転復元
201	95	6	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	19.2?/(4.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	輪積痕が若干残る程度にナデ・工具ナデを施し、口縁端部に端面1方向からの刺突文を加える	横の工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
201	95	7	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／2.5Y5/2暗灰黄 ～2.5Y6/3にぶ黄	-(3.9)/-	良好	密	くびれ部下端を段とし、そこに竹管状工具による円形刺突文（径3mm）を施す	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
201	95	8	弥生土器 鉢	25	6/4にぶ黄橙～2.5Y7/4浅黄／ 2.5Y5/3黄褐～6/4にぶ黄橙	10.6?/(5.9)/-	良好	精緻	弱く内湾する器体に肥厚した口縁を持つ 肥厚部下縁に木目を伴う工具による刺突文を施す ナデ・工具ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
201	95	9	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙／ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙	18.0?/(2.4)/-	良好	精緻	直線的な口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節RL、下縁に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：単節LR	赤彩・ヘラミガキ	拓本
201	95	10	弥生土器 碗	10	6/4にぶ黄橙～5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／ 6/4にぶ黄橙	-(4.3)/-	良好	精緻	内湾する口縁を断面方形に肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、側面に単節RL・LR、下縁に縄文原体による刺突文を施す 肥厚部以下：単節LR・RL→沈線→ 肥厚部直下に径6mmの円孔を穿つ→ 沈線以下：赤彩・ヘラミガキ	ヘラミガキ（赤彩は不明）	拓本
201	95	11	弥生土器 壺	25	5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～ 4/2灰黄褐	-(2.1)/8.4?	良好 2次あり	密 まれに～2mm の砂粒混じる	工具ナデ→底面と一部にヘラミガキ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
201	95	12	弥生土器 底部	60	5/3にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐～ 6/4にぶ黄橙	-(5.1)/7.2	良好	密	工具ナデ	ナデ・工具ナデ	一部反転復元
201	95	13	弥生土器 壺	5	10R4/6赤（赤彩）／ 7.5YR4/4褐	-(5.4)/-	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ 補修工とも思われる径5mmの円孔2 個が穿たれる	ナデ	
201	96	1	弥生土器 甕	50	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐 （赤変部）～黒変（煤付着）／ 5/4にぶ黄褐	16.4?/(18.4)/- 胴径17.2?	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 が混じる	使用による被熱のため、下半が赤変し、上半に煤状炭化物が付着する 頸部に4段の粘土紐を外傾に積み、 最下段を段として残す 口縁部：接合痕がナデ消されるが完全ではない 段以下：横工具ナデ・ナデ	横工具ナデ・ナデ	断面大部分反転復元
201	96	2	弥生土器 甕	100	7.5YR4/3褐～4/2灰黄褐／5/4 にぶ黄褐～7.5YR5/6明褐	14.8?/(4.8)/-	良好 使用による 2次あり	密	口縁部にほとんどナデ消された輪積痕を示し、最下段を段として残す 口縁端部：内外2方向からの刺突文 体部：工具ナデ	ナデ・工具ナデ	
201	96	3	弥生土器 甕	70	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/3にぶ褐 （赤変部）～黒（煤付着）／ 5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	14.8?/16.2/6.6	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒・橙色粒・ 褐色粒が多く 混じる	最大径以上に煤状炭化物が付着し、 下位は赤変する 口縁部下端を段部として残す 口唇：上下方向の棒状工具による刺突文 段部：棒状工具による刺突文 口縁部：ナデ、体部：ヘラケズリに近い工具ナデ	工具ナデ	反転復元
201	96	4	弥生土器 小型壺	70	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐 （赤彩）／6/4にぶ黄橙～ 2.5YR4/6赤褐（赤彩）	11.5～ 12.1/16.7/5.6/ 胴径12.7	良好	密 1mmを超える 砂粒が目立たないが、ガラス質の微粒が多い	口縁部：端部外面を肥厚し外面に結節RS3個1組を時計回りに施す→肥厚部下端：3～5mmごとに棒状工具あるいは指頭による刺突がめぐる 体部：くびれ下半と肩に文様帯がある 上文様帯：結節RS3個1組が2段→上下に沈線 下文様帯：結節RS3個1組が2段→上下に沈線→上沈線寄りに沈線による山形文 文様帯外：赤彩・ヘラミガキ（口縁部：縦、他：横）	口縁部：赤彩・横ヘラミガキ以下：ナデ	遺存不良 大型品と似たデザインなので両者は関連があると見られる
201	96	5	弥生土器 壺	90	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4に ぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～ 2.5YR4/6赤褐（赤彩）	15.7/28.9/7.1/ 胴径22.3	良好	密 ～1mmの角閃石・雲母?など ガラス質粒が目立つ	口縁部：外反する口縁を断面「へ」の字に肥厚する、肥厚部外面：単節RL、肥厚部下端：単節RLを切つて、布圧痕を伴う棒状工具による刺突文を密に巡らせる→口縁外面：扁平円形浮文（径1.2cm）を15か16個ほぼ均等の配置に貼り付ける 文様帯は頸部と体部にある 頸部文様帯：単節RL→上下にヘラ描き沈線 体部文様帯：単節RL・LR→上下に沈線→鋭角のヘラ描き山形文（反時計回り）→山形の単位の中に縦方向の単節RLを重点→沈線→鋭角のヘラ描き山形文（反時計回り）→山形文の単位の中に縦方向の単節LRを充填する→沈線 文様帯以外と山形文と沈線に挟まれた空間に赤彩・ヘラミガキが施される（口縁部：縦、文様帯間・文様帯以下：横）	体部：ナデ・工具ナデ 口縁部：上位のみに赤彩・ヘラミガキ	やや砂っぽい

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
201	96	6	弥生土器 壺	90	10R4/8赤（赤彩）～7/4にぶ黄橙／7/6明黄褐～10R4/8赤（赤彩）	16.6/35.0/7.3/ 胴径27.7	良好	精緻 反射する微小 粒が目立つ	口縁部に板状部を追加し受口形をつくる 底面に同心円状の亀裂が走る（粘土紐輪づくりか） 文様帯は口縁部外面・頸部・肩部にあり、その空間には赤彩・ヘラミガキが施される 口縁部外面：上に単節RL、下に単節LR→3個1組の棒状浮文（刻みが4～6箇所加えられる）が口縁内周上4箇所に均等配置される→棒状浮文を避けて口縁部外面下端に布を巻いた棒状工具もしくは縄文原体による刺突文が密にめぐらされる 頸部文様帯：上から単節LR→単節RL→上下沈線 肩部文様帯：上から、単節RL→LR→RL、1段目沈線→2段目沈線（上から見て時計回りに施文）→山形沈線（左下→右下の順に上から見て反時計回りに施文）→山形文の下側空間に単節LRを縦方向に充填→3段目沈線→山形文→単節LR縦方向充填→4段目沈線 各文様帯間と底部から5cm以上が赤彩・ヘラミガキされる 肩部文様帯の山形文の上側空間も赤彩されるがヘラミガキは不明瞭である	全体：工具ナデ 口縁部：端部から7cmの範囲が赤彩・横ヘラミガキされる	文様の施文法の類似する他個体がある 口縁部外面は合成
201	96	7	弥生土器 鉢	90	5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／5YR4/6赤褐（赤彩）	16.7/8.7/5.2	良好	密 ～1mmの橙色・黄灰色テフラ状粒目立つ	底部付近：縦ヘラケズリ（縦工具ナデ） 体部：横工具ナデ→赤彩・横ヘラミガキ 口縁部：平らに肥厚しその外面に、単節RL、口唇に結節状の縄文が施される	途中で一度立ち上がるようなプローションを呈する 全面：赤彩・横ヘラミガキ	
201	97	1	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～黒斑／7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙	-(19.4)/6.2/胴 径16.1?	良好 2次の可能性あり	密 やや砂っぽい	器面が遺存不良 頸部下位文様帯：単節RL→LR→沈線（下側が上から見て時計回りに2周近くまわっている） 頸部：赤彩・縦ヘラミガキ 体部：赤彩・横ヘラミガキ	遺存不良 体部は水玉状の剥落が著しい	被熱のためか遺存不良
201	97	2	弥生土器 甕	70	7.5YR5/4にぶ褐～2.5Y5/2暗灰黄（黒変部）／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	15.7?/(11.4)-	良好 使用による2次あり	密 反射する微粒が目立つ	ナデ→左上がりのヘラミガキ（口縁部付近にハケメ状の工具痕を残す）→口縁端部・ヨコナデ→口唇：棒状工具による内外方向の刺突 上位に煤状炭化物が付着し、下位は被熱のためか剥落が進む	左上がりの工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
201	97	3	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～2.5Y5/2暗灰黄～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(15.3)/-/胴径 23.2?	良好	密 ～2mmのテフラ状粒が目立つ	全体的に磨滅気味 工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	磨滅・剥落が進む	反転復元 外形・断面は遺存部を合成
201	97	4	弥生土器 壺	95	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR5/6明褐～10R4/6赤（赤彩）	17.8/39.2/9.6/ 胴径	良好 2次の可能性あり	密 砂粒は目立たない	口縁部：受け口状に作り刻み目を伴う棒状浮文3個1組を4方向に貼り付ける。浮文間には単節RL・LRが施されるが、一部上下が逆転している 頸部と肩部に文様帯があり、肩の方は3段に分かれる 頸部文様帯：単節LR・RL→上下に沈線 肩部上段：単節RL・LR・LR（順序は上→下→中の可能性あり） 肩部中段：へら描き沈線による山形文（反時計回り）→山形文単位内に単節LR縦回転を充填→沈線を下に描く（縄文を切る） 肩部下段：中段と同じ 底部付近を除いて赤彩され、くびは縦、他は横方向の密なヘラミガキが施される	口縁付近が赤彩され、横の密なヘラミガキが施される 以下は、ナデ・工具ナデ	器面の遺存不良
202	99	1	弥生土器 壺	60	7.5YR5/6明褐～6/6明黄褐～2.5YR3/6暗赤褐（赤彩）／5/4にぶ黄褐～4/1褐灰（黒変）	15.2/(27.4)/-/ 胴径26.9?	良好 破片化後の2次あり	密 ～1mmの浅黄橙色粒を特徴的に含む	口縁端部を裾広がり気味に肥厚する 肥厚部：側面に無節Rの網目状文、下縁に縄文原体による刺突文を巡らせる 頸部文様帯：無節R網目状文2段→上下に沈線 肩部文様帯：無節R網目状文4段→網目状文に乗る形で、上下に沈線による山形文が施される 文様帯外と山形文の外は赤彩され、ヘラミガキが施される 赤彩の遺存状態は良くない	口縁部：赤彩・ヘラミガキ 左上がり気味の工具ナデ・ナデ	一部反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
202	99	2	弥生土器 大型壺	90	10R4/6赤（赤彩）～6/6明黄褐／6/4にぶ黄橙～2.5YR赤褐（赤彩）	26.2/55.8/11.5 ～12.2/胴43.7	良好	密 黄灰色バミス 多量に含む	口唇部：受け口状の口縁に、肥厚して立ち上がりを作る 口縁外面に3個1組の結節RSを2段施し、下端に指頭による刺突文（単位に爪痕あり）を連結して巡らせる→棒状浮文3個1組をほぼ90°ごとに4箇所貼り付ける、浮文両側は沈線状におさえられ、浮文側縁は指で波状に押圧される 文様帯は頸部と肩部の2箇所にある上の2帯はヘラ描き沈線に扶まれるが、下1帯は上側を山形文で構成する 施文順序はいずれも3個1組の結節RSが先で、沈線が後に描かれる（上から2段目の沈線は上から見て反時計回り） 上1帯の中心にボタン状円形浮文（径1.6～2.0cm）が15個（1個欠失）ほぼ等間隔に貼り付けられ、各浮文には径3.5mmの円形刺突が4～6個施される 文様帯の外は頸部～口縁部が縦、他が横の密なヘラミガキで、底から7.5cm以下を除き赤彩が伴う。	底から一度内弯するようなプロボーションをとる 体部：横の工具ナデ、頸部：赤彩（遺存不良）・横ヘラミガキ	胎土が特徴的
202	100	1	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	17.0?/(2.1)-	良好	密 微少な反射砂粒・テフラが多く混じる	外反する口縁部を肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、上縁に棒状工具による刺突文、下縁に単節LR原体押圧による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩	赤彩・ヘラミガキ 赤彩は口縁端部内縁の刺突文内に及ぶ	反転復元
202	100	2	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(7.8)-	良好	密	文様帯：単節RL・LR→結節RS2個1組 文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
202	100	3	弥生土器 甕	10	6/3にぶ黄橙～4/1褐灰／6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙	-(4.7)-	良好 使用による 2次あり	密	幅6mmほどの輪積痕を残すナデ・工具ナデ 全体的に炭化物が付着する	工具ナデ	反転復元
202	100	4	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）	17.0?/(2.1)-	良好	密 ～1mmのバミス状粒が大量に混じる	外反する口縁を肥厚する 肥厚部：端面に単節LR、内縁に刻み目状の刺突文、外縁に縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本
202	100	5	弥生土器 甕	20	7.5YR5/6明褐～7.5YR5/4にぶ褐～2/1黒（炭化物）／7.5YR5/4にぶ褐～4/1褐灰	-(3.2・6.2)-	良好 使用による 2次あり	密	輪積痕をうすくナデ残し、最下部を段とする 全体：工具ナデ→下位：ヘラミガキ	工具ナデ→底面付近：ヘラミガキ	反転復元
202	100	6	弥生土器 底部	90	7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(1.5)/4.8	良好	精緻	工具ナデ→赤彩（極部分的に遺存）	ナデ	
202	100	7	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.7)-	良好 2次あり	密	輪積痕各段下縁に布目を伴う工具による刺突文を施す	ナデ	拓本
202	100	8	弥生土器 甕	95	6/4にぶ黄橙～黒（煤・黒斑）／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	17.0/17.5/5.6/ 胴径16.6	良好 使用による 2次あり	精緻 目立つ砂粒なし	体部：ハケメ状の条線を残す横の工具ナデ→密な横のヘラミガキくびれ：横の工具ナデ（一部ハケメ状になる） 口唇：上から丸い先端を持つ棒状工具による刺突、横から爪痕状の刺突文が施され小波状になる 上位には煤がうすく付着する	ナデ・工具ナデ→丁寧なヘラミガキ	精製品
202	100	9	弥生土器 底部	60	3/1黒褐～6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(1.4)/6.5	良好 2次あり	密	工具ナデ	磨滅によって平滑になっている	反転復元
202	100	10	弥生土器 甕	60	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(5.4)/5.6	良好	やや粗 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ→底面付近：ヘラミガキ 底面：外周が幅4mmほど高台状を呈する	工具ナデ→底面：ヘラミガキ	一部反転復元
202	100	11	弥生土器 壺	25	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(2.7)/8.0?	良好	密	工具ナデ→赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
203	100	13	弥生土器 壺	60	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	14.7/29.3/8.3/ 胴径22.3	良好	密	口縁部：外面を肥厚、肥厚部外面に単節LR、下縁に本目を伴う工具による刺突文を施す 頸部文様帯：単節RL→LR→RL→上下に無節RによるZ字状結節文 肩部文様帯：単節LR→RL→上下に無節RによるZ字状結節文 口唇端面・文様帯・底部から3cmを除き、赤彩・横ヘラミガキする（ヘラミガキは底部直上に及ぶ）	ナデ・ヨコナデ→口縁部：赤彩・横ヘラミガキ	下文様帯以下の調整は合成
203	100	14	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐／5/4にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	18.0?/(1.7)-	良好	密	外反する口縁を断面垂直状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節LR・RL、垂下部に棒状工具の腹もしくは板状工具による刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	拓本
203	100	15	弥生土器 壺	50	8/3浅黄橙～8/4浅黄橙／7/4にぶ黄橙	- /(21.8)/7.2/21.4	良好	精緻 砂粒は目立たない 白っぽく非在地的	磨滅が進んでいる 底面：ハケメ（5本/7mm）がある 体部：ハケメ（6本/cm）→左上がりの工具ナデ 器体が柔らかかったのが指頭圧痕が目立つ 頸部：凸帯が剥がれたような跡があるが、遺存する口縁部の立ち上がりが薄いので、合わせて口縁部だったのかもかもしれない	ナデ・工具ナデ 頸部付近に指頭圧痕が目立つ	薄手のつくりと卵形のプロボーションが非在地的な印象 断面は中軸の合成 内面調整は外面の裏の合成

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
204	102	1	弥生土器 バレス壺	5	2.5Y8/3淡黄～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y8/2灰白	-(2.9)/-	良好	密 ～2mmの白色砂粒がまばらに混じる 非在地的	ハケメ（8本/cm）→赤彩	剥落	技法・胎土が非在地的
205	105	1	二重口縁壺	60	6/4にぶ黄橙／7.5YR6/4～黒斑	21.9/(15.1)/-	良好	精緻	直立する頭部の上に狭く水平部があり、そこから外反する口縁部を持つ口縁部：口唇をヨコナデで面取り、ほぼ垂直をなすように仕上げる→左上がりのきついヘラミガキ（頭部上位に横ヘラミガキが及ぶ） 頭部：縦の工具ナデ→左上がりのハケメ（15本/cm）→一部ヘラミガキ 体部：ハケメ→工具ナデ→主に縦のヘラミガキ	口縁部：口唇部に向けて屈曲する横ハケメ→横ヘラミガキ 頭部：横ハケメ→左上がりのヘラミガキ 体部：頭部直下に接合痕・シボリ痕・指頭圧痕が残る	一部反転復元 調整も合成
205	105	2	土師器 二重口縁壺	40	7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／7.5YR5/4にぶ褐～黒斑	16.4?/(5.6)/-	良好	密	外反する口縁部を断面三角形に肥厚し、二重口縁を形成する 下段口縁：縦のハケメ（10本/cm）→拡張部：横の密なヘラミガキ	下段口縁部：横のハケメ→拡張部：横の密なヘラミガキ	205号遺物か
205	105	3	土師器 二重口縁壺	5	5/3にぶ黄褐／7.5YR6/4にぶ橙	-(3.0)/-	良好	密	直立気味の頭部が屈曲して2段目の口縁へ移行する ハケメ（9本/cm）	横のハケメ→ヘラミガキ	反転復元
205	105	4	弥生土器 壺	20	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(4.1)/-	良好	精緻 砂粒は皆無で～3mmのシャモットがまばらに混じる	ナデ→赤彩・ヘラミガキ 赤彩は遺存不良	横のナデ	反転復元 胎土の色調と砂粒の混じり方が非在地的に見受けられる
205	105	5	土師器 壺	60	7.5YR5/6明褐～黒斑／7.5YR5/6明褐	-(18.7)/6.5/胴径28.1	良好	密 ～2mmのシャモット・砂粒がまばらに混じる	ハケメ（頭部屈曲に遺存、12本/cm）→ヘラケズリに近い横工具ナデ・ナデ→ヘラミガキ	ナデ・横工具ナデ	肩部は接合しない破片を合成
205	105	6	土製品 ミニチュア土器	70	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	4.3/3.8/2.9?	良好	密	平底を持つ鉢形を呈する 指頭圧痕がそのまま残る	ナデ 指頭圧痕が残る	口縁部は不整形で波状を呈する
205	105	7	土師器 小型土器	30	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐／10R4/6赤（赤彩）	10.8?/(5.9)/-	良好	精緻	ハケメ（9本/5mm）→ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	精製品 205号遺物か
205	105	8	土師器 小型土器	40	10R3/4暗赤（赤彩）～7.5YR5/4にぶ褐／10R4/6赤（赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐	-(2.8)/3.0?	良好	精緻	横のヘラケズリ・工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	精製品 205号遺物か
205	105	9	土師器 小型土器	60	10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／10R4/6赤（赤彩）	-(3.0)/2.8	良好	精緻	横のヘラケズリ・工具ナデ→赤彩（底面に及ぶ）・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	精製品 205号遺物か
205	105	10	弥生土器 壺	85	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	-(23.3)/6.4/胴径25.2	良好	精緻 まばらに～1mmの白色砂粒・橙色粒が混じる	口縁部は若干内弯気味である 赤彩・密な縦ヘラミガキ	底部：ごく薄い作りで、屈曲までの範囲にハケメ（14本/cm）が密に施される 屈曲部以上：ハケメに乗るように接合されており、胴部が横の工具ナデ、口縁部が赤彩・縦ヘラミガキ調整される	胎土分析試料 成形単位が明瞭である
205	105	11	土師器 壺	80	7.5YR5/4にぶ褐～5YR4/6赤褐～黒斑／5YR5/6明赤褐～黒斑	21.4/30.7/5.9	良好	精緻	若干内弯気味の直口口縁を作る 体部上半以上：縦ヘラミガキ 体部下位：ヘラケズリに近い横の工具ナデ	底部は非常に薄い 口縁部：ハケメ（9本/cm）→縦ヘラミガキ 底部付近：ハケメのままの範囲が残る、接合痕のナデつけはそこを覆っている 体部：横工具ナデ	大型品 赤彩は不明
205	106	1	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐～3/1黒褐／2.5Y5/2暗灰黄	-(3.4)/-	良好 使用による2次あり	やや粗 ～1mmの淡黄色バミス状粒と角閃石状粒が大量に混じる	ナデ→口縁端部：内外2方向からの刺突文を施す 炭化物が全体に付着する	ナデ→ヘラミガキ	拓本
205	106	2	弥生土器 甕	10	4/1褐灰～2.5Y7/3浅黄／2.5Y4/2暗灰黄～2.5Y6/3にぶ黄	15.5?/(3.5)/-	良好 使用による2次あり	精緻 ～1mmの淡黄色バミス状粒が目立つ	くの字を志向したゆるい屈曲の口縁部を持つ 左上がりの工具ナデ→口縁端部：ヨコナデで面取りされる	ヨコナデ→横のヘラミガキ	反転復元
205	106	3	土師器? 甕	5	3/1黒褐／3/1黒褐	19.6?/(3.0)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのテフラ状赤褐色粒が目立つ	左上がりのハケメ（4本/cm） 炭化物が付着する	横のハケメ	反転復元
205	106	4	土師器 壺	40	5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙／7.5YR6/6橙	12.9?/(4.0)/-	良好	密	内弯する素口縁を持つ 横の疎らなヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	疎らな横のヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	205号遺物か
205	106	5	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙／2.5Y5/2暗灰黄	-(2.8)/-	良好	精緻	櫛描き波状文（9本/9mm）→櫛描き直線文→櫛描き波状文	ハケメ（6本/5mm）→ナデ	拓本
205	106	6	弥生土器 バレス壺	5	2.5Y8/2灰白～10R4/6赤（赤彩）／2.5Y8/2灰白	-(4.2)/-	良好	精緻 まれに6mm大の角礫が混じる 非在地的	ハケメ（8本/cm）→ナデ?→赤彩	剥落	拓本 胎土と技法が非在地的
205	106	7	土師器? 鉢・高杯	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/6赤褐（赤彩?）／5YR6/6橙（赤彩?）～7/4にぶ黄橙	16.7?/(4.2)/-	良好	精緻 まれに～3mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	磨減が進む 左上がりの工具ナデ→一部ヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	剥落・磨減が進む 工具ナデ→ヘラミガキ（赤彩の可能あり）	反転復元
205	106	8	弥生土器 高杯	10	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙	17.8?/(3.8)/-	良好	精緻	縦の密なヘラミガキ	口縁端部が幅4mmほど面取りされる 縦のヘラミガキ	反転復元
205	106	9	弥生土器 台付甕	15	7.5YR6/4にぶ橙～5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐	-(2.8)/-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmのテフラ状粒が目立つ	縦の工具ナデ	体部：剥落 脚部：横のヘラケズリ状の工具ナデ赤変する	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
205	106	10	弥生土器 器台?	90	5YR5/4にぶ赤褐～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／7.5YR4/3褐（体部）～5YR5/4にぶ赤褐	-(2.7)/5.5	良好	精緻	断面糸巻き状の太短い脚台部 赤彩・ヘラミガキ 口縁端部は丸く鈍い	受け部：赤彩・ヘラミガキ 底面は両面回転穿孔で貫通している（径9mm） 裾部：ナデ	炉器台にしては精製品
205	106	11	土師器 小型高杯	5	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/3にぶ褐	-(3.1)/11.8?	良好	精緻	ナデ→縦のヘラミガキ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
205	106	12	弥生土器 壺	40	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐／2.5Y7/3浅黄	-(1.8)/8.1?	良好	精緻 ～1mmの赤褐色テフラ状粒が目立つ	工具ナデ→ヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
205	106	13	弥生土器 裾部	5	7.5YR6/4にぶ橙／6/3にぶ黄橙	-(2.3)/14.6?	良好	密	ヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
205	106	14	土師器 高杯	20	5YR5/4にぶ赤褐／7.5YR6/6橙	-(4.0)/11.0?	良好 2次あり	密	ヨコナデ→縦のヘラミガキ	ナデ 裾部：ヘラケズリで面を形成する	反転復元
211	115	1	弥生土器 甕	5	2.5YR4/6赤褐～7.5YR5/4にぶ褐／4/3にぶ黄褐～5YR4/6赤褐～黒斑	-(4.4)/-	良好 2次あり	密	左上がりのハケメ（8本/cm） 口縁屈曲は弱い	横のハケメ 屈曲部にわずかに稜が出る	反転復元 注記に「291」とあり215号の遺物である可能性がある
211	115	2	土師器? 甕	25	7.5YR6/6橙～7.5YR3/1黒褐（炭化物）／4/2灰黄褐	-(1.4)/7.0?	良好 使用による2次あり	密	工具ナデ→縦のヘラミガキ 全体に炭化物が付着する	ナデ	反転復元 注記に「291」とあり215号の遺物である可能性がある
211	115	3	弥生土器 鉢	10	10R5/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	16.0?/(4.0)/-	良好	精緻	直線的に開く口縁部を肥厚する 肥厚部：側面に単節LR・RL、下縁に布目を伴う工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	拓本 混入品
211	115	4	弥生土器 甕	15	7.5YR5/4にぶ褐～5/2灰黄褐／5/4にぶ黄褐	-(6.1)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・反射微粒が目立つ	工具ナデ→底部付近：縦のヘラミガキ	工具ナデ	反転復元 注記に「291」とあり215号の遺物である可能性がある
288	121	1	弥生土器 パレス壺模倣壺	30	10R4/6赤（赤彩）～7/3にぶ黄橙／10R4/6赤（赤彩）～5YR6/6橙	25.6?/(7.2)/-	良好	非在地的 やや粗 ～4mmの角礫（石英等）が多く混じる	外反気味の頸部に内湾する複合口縁部を持つ 複合部：複合部高さを上回る棒状浮文（上端内面に竹管状円形刺突を伴う）4個1組を4方向にほぼ均等配置し貼り付ける→棒状浮文の区間を赤彩・密な横のヘラミガキする 頸部（1次口縁）：赤彩・縦の密なヘラミガキ 頸部屈曲直上は横方向のナデ・ヘラミガキ 器面は光沢を放つ	口縁部：外面と違い頸部・複合部とも内湾する 屈曲は鋭い 口縁端部は幅5mmほどが面取りされる 頸部屈曲直上から幅5cmほどを空けて赤彩が施される（口縁直下は横、頸部は縦のヘラミガキ） 外面同様の密なヘラミガキで光沢を放つ	胎土は非在地的だが、形状・技法は折衷的な様相を示す
288	121	2	弥生土器 壺	20	10R4/6赤～10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙～6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	22.0?/(6.4)/-	良好	密 ～1mmの赤褐色テフラ状粒が混じる	受け口状の口縁端部を幅のある垂滴状に肥厚する ハケメ（8本/cm）→赤彩・ヘラミガキ（肥厚部の下は施されない）	頸部以上に赤彩・ヘラミガキ	反転復元
288	121	3	弥生土器 壺	5	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙～10R5/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.8?/(2.5)/-	良好	精緻	外反する口縁部を板状部で肥厚し、垂下部を加える 肥厚部：側面に単節LR・RL→垂下部に縄文原体もしくは布目を伴う工具による刺突文 肥厚部以下：ナデ→赤彩・ヘラミガキ	屈曲部直上に竹管状工具による円形刺突文（径3mm）を施す 赤彩・ヘラミガキ	反転復元
288	121	4	弥生土器 壺・広口壺	5	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	14.6?/(1.6)/-	良好	密 ～1mmの浅黄褐色テフラ状粒が多く混じる	口縁端部を肥厚し、ヨコナデで丸くおさめられた端部に刻み目状の刺突文を施す	赤彩・ヘラミガキ	反転復元
288	121	5	土師器 壺	30	6/4にぶ黄橙～黒斑／5/1褐灰～3/1黒褐	-(8.6)/-/胴径21.4?	良好	精緻	ハケメ（5本/cm）→やや疎らな縦のヘラミガキ	横の工具ナデ→下位：ヘラミガキ	反転復元
288	121	6	弥生土器 大型壺	95	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	-(36.5)/9.4/胴径36.9	良好	密 ～1mmの橙色テフラ状粒・シャモット（まれに3mm大）が混じる	器面の剥落が著しい 頸部屈曲から肩部にかけてと、胴部上位に文様帯がある 頸文様帯：屈曲直下から単節RL・LR・RL→頸部立ち上がり側面と単節の下側に結節RS3個1組が施される 胴文様帯：単節RL・LR・RL→上下に結節RS3個1組 文様帯間と文様帯外：ナデ・横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	口縁部：上位：赤彩・横ヘラミガキ、他：ナデ・横工具ナデ 体部：剥落が著しいが ナデ・工具ナデ?	注記なし 288号か? 内外とも器面の荒れが著しい

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	121	7	弥生土器 手焙形	90	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙～黒斑／7.5YR6/4にぶ橙	鉢部口縁 13.5/16.1/2.8/ 覆部高8.6/覆 部奥行き10.9	良好 2次は不明	密 ～6mmのシャ モットが多く 混じる	鉢部：くぼみ底を持つ皿状部品をつくり出し、そこに面取り口縁の立ち上がりをもっている。鉢部の接合部はわざと突出部になるように皿状部の縁が残されており、そこに角棒状工具の刺突による列点文が施される（単位は約4mm、右下がりの形状）面取り口縁は鉢の形ができてから、覆部を作っている。接合部はくの字口縁の内側半分ほどの幅に行われている 覆部：体部同様に粘土紐づくりで、端部の拡張は板貼り付けではなく厚みを足す感じでおこなわれる 整形はハケメ・ナデ→ヘラミガキが施され、とくに鉢部下外面は放射方向のヘラミガキが光沢を放つほど丁寧に行われている 文様はすべて櫛状工具による波状文で幅約9mm、条線数約5本である 覆部の波状文は、開口部と平行する1帯を先に施し、のちに水平方向に5帯、さらに天井近くの空隙を埋めるかたちで、開口部と平行する向きに2帯施している。なお水平方向の波状文の上から4本目は背面中央までしか描かれていない 鉢部の波状文は、くびれ直下と疑似凸帯の上にもまず施され、最後に中段の1帯が下の1帯を切るように描かれる	煤などの付着物は遺存していない 鉢部内面は鉢部形成時にヘラミガキを受けており、工具キズが多く残る 覆部内面は端部肥厚・形成時の指圧痕に加え、全体のナデの擦痕が残る 覆部内面にヘラミガキは行われていない	覆部と鉢部に分かれて出土 作りは目立って薄手ではなく、在地的である
288	122	1	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(3.8)/-	良好	やや粗 砂粒を大量に含む 角礫多い	細かいハケメ→単節RL→上側櫛描き直線文（7本/7mm）→下側櫛描き直線文→横ヘラミガキ	剥落	反転復元 非在地的な技法との折衷型
288	122	2	弥生土器 壺	5	7.5YR6/6橙～10R4/4赤褐（赤彩）／7.5YR6/6橙～5YR4/4にぶ赤褐（赤彩遺存部）	-(2.9)/-	良好	精緻	一度外反し端部に向かって内弯気味に広がる口縁部を持つ 口縁部：断面三角形に肥厚し、ヨコナデ→赤彩・ヘラミガキを施す 肥厚部直下は赤彩が施されない	ヨコナデ→赤彩（ほとんど遺存せず）・ヘラミガキ	反転復元
288	122	3	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙	-(2.6)/-	良好	密 まばらに～5mmのシャモットが混じる	櫛描き直線文（7本/11mm、4段以上）→斜行列点文	ナデ	反転復元 非在地的な技法
288	122	4	弥生土器 櫛描文壺	10	5YR5/6明赤褐～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR5/4にぶ赤褐～5YR5/6明赤褐	-(3.3)/-	良好	精緻	頸部屈曲に断面が円形に近い無文の凸帯が貼り付けられる 肩部文様帯：櫛描直線文（19本/1.6cm）→列点文（同一工具か）	工具ナデ→肩部内面：横のやや疎らなヘラミガキ	反転復元
288	122	6	弥生土器 大型壺	30	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	-(24.6)/-/胴径38.0?	良好	密 ～1mmの橙色テフラ状粒が多く混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	外面の風化が進む 反転復元
288	122	7	弥生土器 大型壺	70	10R3/6暗赤（赤彩）～6/6明黄褐／6/6明黄褐～7/4にぶ黄橙	-(25.2)/10.5/ 胴径36.3	良好	密 ～2mmの軽土状浅黄橙粒多く混じる	最大径やや上に文様帯がある 文様帯：単節RL→LR→縦方向の2本描き沈線による区画文（2単位1組） 文様帯外：赤彩・ヘラミガキ	遺存やや不良 ナデ	断面上位反転復元
288	122	8	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～黒斑～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.2)/-	良好	精緻	結節RS→山形沈線文→山形文内に単節LR・RL→結節RS2個1組→単節RL横帯→山形文の空間に赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	反転復元 山形文内に充填する手法が特徴的
288	122	9	土師器? 小型土器	25	3/1黒褐（黒斑）～6/4にぶ黄橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(2.2)/4.2?	良好	密	工具ナデ・ハケメ（7本/5mm）→ナデ	横の工具ナデ	反転復元
288	122	10	弥生土器 小型壺	70	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～5/4にぶ黄褐／10R5/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	-(2.5)/3.0	良好	密	赤彩・密なヘラミガキ（底面に及ぶ）	ナデ・赤彩	一部反転復元
288	122	12	土師器 小型丸底土器	70	5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤褐／5YR6/6橙	-(3.7)/-/胴径7.9	良好	精緻	密なヘラミガキ	密なヘラミガキ 口縁部に屈曲を持つ	一部反転復元
288	122	13	土師器 小型土器	40	10R4/6赤（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～5/3にぶ黄橙	8.6?/(3.2)/-	良好	精緻	赤彩・密なヘラミガキ→ヨコナデ	口縁部屈曲以上：赤彩・密なヘラミガキ	反転復元
288	122	14	土師器 小型鉢	20	7.5YR5/4にぶ褐～4/2灰黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	7.8?/(3.6)/-	良好	密 まばらに～5mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	屈曲部に接合痕を残すくの字状の口縁部を持つ、端部は丸くおさまる 体部：細かいハケメ（14本/cm）	口縁部：ハケメ→ヨコナデ 体部：工具ナデ	反転復元
288	122	15	弥生土器 小型鉢	20	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	8.8?/(2.9)/-	良好	精緻	短い口頸部の下端を段として残す口縁端部は丸くおさまる 赤彩・横のヘラミガキ（頸部屈曲付近のみ赤彩が及ばない）	赤彩（口縁部のみ）・横のヘラミガキ	在地と非在地の折衷的な技法を示す 反転復元
288	122	16	土師器 小型鉢	15	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.1)/-	良好	密	ヘラケズリ・工具ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	122	17	土師器 鉢	5	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	16.4?/(2.5)/-	良好	精緻	くの字状の口縁を呈し、端部は少しつまみ出され丸くおさまる ハケメ→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→赤彩・ヘラミガキ	反転復元
288	122	18	土師器 小型鉢	35	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙～黒（黒斑?）／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	13.0?/6.2/3.2	良好	精緻 反射する微粒が目立つ	口唇：ヨコナデ→全体：赤彩・密なヘラミガキ（口縁部：縦、体部：横）	赤彩・横ヘラミガキ	反転復元 調整は遺存良好な部分

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	122	19	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.4)/-	良好	精緻	単節RL・LR→結節RS2個1組で区画→単節をそれぞれ切る位置に沈線による山形文が描かれる（磨り消しはない）	ナデ	拓本
288	122	20	弥生土器 壺	20	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	10.8?/(4.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・バミス状粒が大量に混じる	網目状文を口縁端部直下から施す	赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	拓本 混入品か
288	122	21	土師器 壺	40	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙	-(3.3)/7.5?	良好	密	工具ナデ→ヘラミガキ	剥落部が多い 工具ナデ	反転復元
288	122	22	土師器? 大型壺	100	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐／2.5Y4/1黄灰～7/4にぶ黄橙	-(4.0)/8.4	良好	密 ～2mmのシャモット状赤褐色粒がまばらに混じり、全体的に砂っぽい	ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり） 底部の稜は緩く丸底に近い	全面が剥落する	
288	123	1	弥生土器 壺	15	7.5YR5/4にぶ褐～10R4/4赤褐（赤彩）／6/3にぶ黄橙～7/3にぶ黄橙	-(3.4・5.9)/- 胴径16.2?	良好 2次の可能性あり	精緻 まばらに～2mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	赤彩・ヘラミガキ（赤彩は遺存不良）	ナデ	反転復元
288	123	2	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙～黒斑／6/4にぶ黄橙	-(11.7)/-	良好	密 ～1mmの橙色テフラ状粒が多く混じる	ハケメ状の条線を伴う工具ナデ→疎らなヘラミガキ 文様がない	工具ナデ 頸部屈曲直下に明瞭な接合痕が残される 頸部屈曲は稜を持つが鋭くはない	反転復元
288	123	3	土師器 壺	25	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙～黒斑／2.5YR5/6明赤褐	-(15.9)/- 胴径27.3?	良好 2次の可能性あり	密 ～3mmの砂粒・シャモット状暗赤褐色粒が目立つ	ハケメ（9本/cm・6本/5mm）→ヘラズリ状の工具ナデ→赤彩・縦のやや疎らなヘラミガキ	下位はハケメ→一部ヘラミガキ、中位以上はヘラズリもしくはヘラズリ状の工具ナデ 下位のハケメに乗るかたちで接合痕があり、調整法が変わるので、下位パーツをある程度調整してから上位を形成したことが分かる	反転復元
288	123	4	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐～黒斑／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(13.9)/9.0/ 胴径24.2?	良好	密 ～2mmのにぶ褐色テフラ状粒が大量に混じる	工具ナデ（下位に工具痕が目立つ） →中位以上：横のヘラミガキ	工具ナデ 底部内面が使用による接触によって剥落している	一部反転復元
288	123	5	弥生土器 高杯・鉢	15	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）～黒斑／10R4/6赤（赤彩）～黒斑	19.8?/(5.1)/-	良好	精緻	口縁端部はヨコナデで立ち上げる 杯部外面には明確な稜を持ち、二重口縁状を呈する 赤彩・密なヘラミガキ	赤彩・密なヘラミガキ	反転復元
288	123	6	土師器 壺・高杯	10	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐～2/1黒（炭化物）／2/1黒～5/3にぶ黄褐	15.8?/(5.1)/-	良好	密 まばらに角閃石状微粒が混じる	ハケメ（14本/cm）→縦のヘラミガキ（ハケメは消えきっていない）	ハケメ→ヘラミガキ（ハケメは消えきっていない）	反転復元
288	123	7	弥生土器 高杯	10	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	14.0?/(4.0)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	ヨコナデ→縦のヘラミガキ	口縁端部内面が面取りされる ヘラミガキ	反転復元
288	123	8	弥生土器 高杯	60	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙	-(5.7)/-	良好	密	ハケメ（7本/5mm）→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ 鉢状の杯部から稜を経て外反する口縁に至る	一部反転復元
288	123	9	弥生土器 高杯	25	10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙	-(2.2)/-	良好	精緻	杯部底面に稜が形成されている 赤彩・密なヘラミガキ	赤彩・密なヘラミガキ	反転復元
288	123	10	弥生土器 高杯	95	5YR5/6明赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙／5YR5/6明赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	19.6/14.8/9.6	良好	密 1mm以下の浅黄褐色バミス状粒が多量に混じる	杯部：左上がりのハケメ（9本/cm）→赤彩・放射状のヘラミガキ→口縁部：横ヘラミガキ、口唇は幅5mmのはっきりした面を持つ 脚部：縦ハケメ→ナデ・赤彩・ヘラミガキ（単位は判然とせず）、裾端部は若干外反する	杯部：上位に横ヘラミガキ→丁寧な放射状ヘラミガキ 脚部：ナデ、裾端部はバリに内側に突出する	赤彩の遺存不良
288	123	11	弥生土器 高杯	90	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙（杯部）～7.5YR6/4にぶ橙	-(4.1)/-	良好	密 ～4mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：ヘラミガキ（赤彩遺存せず） 脚部：ナデ・工具ナデ	脚柱上位が中実である
288	123	12	弥生土器 高杯	40	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩遺存部）／5/4にぶ黄褐～10R4/4赤褐（杯部赤彩）～5/4にぶ黄褐	-(3.0)/-	良好	精緻	器面は荒れている 屈曲部に凸帯剥離痕が見られ、沈線状の痕跡が認められる 赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	反転復元 混入品か
288	123	13	土師器? 高杯	100	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/3にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(7.7)/- 柱径3.7	良好	密 ～2mmの砂粒が混じる	縦の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	中実の脚柱部 上面は断面三角形にヘラ状工具で挟られた接合面で剥離している 脚部：周方向のハケメ（7本/5mm）	
288	123	14	弥生土器 高杯	80	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／2.5YR5/6明赤褐（赤彩）～5YR6/6橙	-(5.6)/-	良好	密 砂っぽい	脚柱に3箇所均等配置で円形透孔（径1.2cm）穿つ→赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：横の工具ナデ→赤彩（ヘラミガキは伴わない）	
288	123	15	土師器 高杯	20	7.5YR6/4にぶ橙～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	-(3.2)/13.0?	良好	密 ～2mmのシャモット状暗赤褐色粒が多く混じる	ヘラミガキ	ナデ・ヘラミガキ	反転復元
288	123	16	弥生土器 高杯	70	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙（杯部）～7.5YR6/6橙（脚部）	-(6.3)/8.7?	良好	密 ～2mmのシャモット状粒が多く混じる	ハケメ状の条線を伴う工具ナデ・ヘラズリ→ヘラミガキ 脚部は水平的な面を持つ	杯部：ヘラミガキ 脚部：工具ナデ?（工具痕跡の縦筋あり）	反転復元
288	123	17	弥生土器 脚台部・台付甕?	80	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5Y4/1黄灰～7.5YR6/4にぶ橙	-(3.9)/5.8?	良好 2次の可能性あり	精緻	ナデ	体部：ナデ→ヘラミガキ 脚部：脚柱部に粘土を充填した跡が認められる	反転復元
288	124	1	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	19.4?/(5.8)/-	良好	精緻	輪積痕を残すが、ハケメ状の工具ナデによってほとんど消えている 口縁端部：内外2方向からの刺突文	横の工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	124	2	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	21.2?/(2.4)/-	良好	密	ハケメ（4本/cm）→ヨコナデ 口縁端部：内外2方向からの棒状工具による刺突文	ハケメ→ナデ	反転復元
288	124	3	弥生土器 小型 甕・鉢	15	3/1黒褐（黒変）～7/3にぶ黄橙／3/1黒褐～6/3にぶ黄橙	11.0/(4.9)/-	良好 2次の可能性あり	精緻 ～1mmのテフラ状微粒が目立つ	直線的に立ち上がり端部付近で少し曲がる口縁部を持ち、くびれ下端には段部が形成される 口縁端部：端面に1方向からの刺突文が施される 段部：竹管状工具による円形刺突文 体部：横のヘラミガキ	ヘラミガキ	反転復元
288	124	4	土師器 甕	10	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐／2.5YR4/6赤褐～5/4にぶ黄褐	12.8?/(3.0)/-	良好	精緻	口縁部はくの字状を呈するが屈曲は緩い 口縁端部は丸くおさまる 左上がりのハケメ（9本/cm）→ヨコナデ	横のハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	124	5	土師器 甕	10	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/3にぶ褐／7.5YR6/4にぶ橙	17.2?/(3.1)/-	良好 使用による2次あり	密	ヨコナデ 口縁端部外面が若干面取り気味になる	ハケメ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
288	124	6	土師器 甕	10	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／7.5YR5/4にぶ褐～5/2灰黄褐	14.8?/(4.0)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのシャモット状粒がまばらに混じる	ハケメ（7本/cm）→ナデ・ヨコナデ 頸部屈曲はくの字を志向するが稜は不明瞭である	ハケメ→ナデ・工具ナデ 屈曲部：接合痕が垂下気味になる	反転復元
288	124	7	弥生土器 甕	20	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐	16.1?/(4.1)/-	良好	密 砂粒は目立たない	ハケメ（9本/cm）→ナデ・ヨコナデ 口縁端面は明瞭に面取りされる	ハケメ→ナデ・工具ナデ	反転復元
288	124	8	弥生土器 壺	20	5/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙	-(2.7)/-屈曲部径9.0?	良好	精緻	ハケメ（7本/cm）→ヨコナデ・横のヘラミガキ 腕口縁で剥離しており、破断面にもハケメの及んでいることが分かる	口縁部：ハケメ→ヨコナデ・ヘラミガキ 以下：横の工具ナデ	内外とも屈曲は鋭くない 反転復元
288	124	9	土師器 甕	25	5YR4/4にぶ赤褐～7.5YR6/6橙／7.5YR7/6橙～7.5YR4/2灰褐	15.6?/(3.8)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのシャモット状粒と砂粒が混じる	ハケメ（7本/cm）→ヨコナデ 頸部屈曲はくの字状だが鋭くない	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	124	10	土師器 甕	40	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐／2.5YR4/6赤褐～6/4にぶ黄橙	16.9?/(4.1)/-	良好	精緻	口縁部はくの字状を呈し、端部は内面側が面取り気味になる ハケメ（7本/cm）→ヨコナデ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	124	11	弥生土器 台付甕	20	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／5/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙	-(1.5)/-	良好 使用による2次あり	精緻 ～1mmのテフラ状橙色微粒が多く混じる	縦の工具ナデ→屈曲部：ヨコナデ	体部：ヘラミガキ	反転復元
288	124	12	弥生土器 小型師部・台付甕	100	5/3にぶ黄褐～3/1黒褐／5/2灰黄褐（体部）～3/1黒褐～4/2灰黄褐（脚部）	-(3.4)/5.4	良好 2次あり	密	ハケメ（6本/cm）→ナデ	体部：ヘラミガキ 脚部：ナデ 裾部が若干内側に押し出される	
288	124	13	弥生土器 台付甕	20	5/3にぶ黄褐～5/2灰黄褐／4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐	-(3.9)/6.0?	良好 2次あり	密 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒・テフラ状粒が目立つ	ナデ	上位接合面には粘土片の剥離した跡にハケメが認められる 脚部：蜘蛛の巣状のハケメ（7本/cm）	反転復元
288	124	14	土師器 甕	5	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐	22.4?/(4.0)/-	良好	密	ハケメ（5本/cm）→ヨコナデ 口縁端部は丸くおさまる	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	124	15	土師器 甕	20	7.5YR5/3にぶ褐～7.5YR3/1黒褐／5YR5/4にぶ赤褐	18.8?/(3.9)/-	良好 使用による2次あり	精緻	ハケメ（6本/cm）→屈曲以下：工具ナデ・ヘラケズリ 頸部屈曲はゆるい	ハケメ→ナデ・ヨコナデ	反転復元
288	124	16	土師器? 甕	25	4/2灰黄褐～7.5YR5/4にぶ褐～黒変／3/1黒褐～7.5YR5/4にぶ褐	15.6?/(4.3)/-	良好 使用・破片化後の2次あり	密	左上がりのハケメ（8本/cm）→ヨコナデ 口縁部は外反するくの字状に作られたものの屈曲は鋭くない 口縁端部は丸くおさまる	口縁部：ハケメ→ヨコナデ 体部：工具ナデ	反転復元
288	124	17	土師器? 甕	10	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	17.9?/(3.6)/-	良好	精緻 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒がまばらに混じる	細かいハケメ（12本/cm）→ヨコナデ 屈曲部は鋭くない	ハケメ→口縁部：ヨコナデ 稜はシャープである	反転復元
288	124	18	土師器 甕	10	7.5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤褐／7.5YR6/6橙～5/3にぶ黄褐	19.6?/(4.4)/-	良好	密	口縁部がくの字状を呈し、口縁端部は丸くおさまる ハケメ（7本/cm）→口縁部：ヨコナデ	横のハケメ→口縁部・屈曲以下の体部：ナデ・ヨコナデ	反転復元
288	124	19	土師器 甕	50	4/2灰黄褐～5YR5/4にぶ赤褐／4/2灰黄褐～5YR5/4にぶ赤褐	15.6?/(3.9)/-	良好 使用による2次あり	密 ～2mmのテフラ状粒が混じる	ハケメ（6本/cm）→ヨコナデ 口縁部はくの字状を呈し、端部は丸くおさまる	ハケメ→ヨコナデ	
288	124	20	弥生土器 小型甕	10	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/4にぶ褐	11.8?/(4.9)/-	良好 使用による2次あり	精緻	ハケメ（8本/cm） 口縁部下端は接合痕が一部露出している 口縁端部は丸くおさまる	ハケメ・ナデ	頸部の屈曲は鋭くない 反転復元
288	124	21	土師器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/3褐／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐	17.6?/(4.7)/-	良好 使用による2次あり	密 ～1mmの砂粒が混じる	ハケメ（13本/cm）→口縁部：ヨコナデ	ハケメ→ナデ・ヨコナデ	反転復元
288	124	22	土師器 甕	15	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐／7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐	13.4?/(4.0)/-	良好	密 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	ハケメ（8本/cm）→ヨコナデ 頸部屈曲は明瞭である	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	124	23	土師器? 甕	10	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／5/3にぶ黄褐	15.4?/(3.7)/-	良好 使用による2次あり	密 まばらに～2mmの砂粒が混じる	口縁部は屈曲の緩いくの字状を呈する ハケメ（6本/cm）→ヨコナデ 口縁端部は上面が面取り気味になる	ハケメ→口縁部：ヨコナデ 体部：ナデ	反転復元
288	124	24	土師器 甕	10	7.5YR6/6橙～7.5YR5/3にぶ褐／5YR4/6赤褐～7/4にぶ黄橙	16.2?/(3.5)/-	良好	密 やや砂っぽい	くの字状の口縁部を呈し、薄い口縁端部は丸くおさまる ハケメ（8本/cm）→ナデ・ヨコナデ	ハケメ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
288	124	25	土師器? 小型甕	5	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐	13.0?/(3.0)/-	良好 2次あり	精緻	ハケメ（口縁部：左上がり・6本/cm、体部：縦・11本/cm） 口縁端部は丸くおさまる	横のハケメ（6本/cm）	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	124	26	土師器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐～黒（黒変） ／7.5YR5/4にぶ褐	17.0?/(13.8)/- 胴径23.0?	良好 2次あり	精緻 ～3mmのシャ モット状暗赤 褐色粒がまれ に混じる	ハケメ（5本/cm）→口縁部：ヨコナ デ 口縁端部は丸くおさまるが、外方に 少し突出する 全体に炭化物が付着する	工具ナデ→口縁部：横のハケメ→ヨ コナデ 屈曲部の稜は明瞭	反転復元
288	124	27	土師器 甕	60	5/3にぶ黄褐～6/3にぶ黄橙／ 4/2灰黄褐～3/1黒褐（黒変）	-(3.3)/6.3	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmのテフ ラ状赤褐色粒 が目立つ	ハケメ（7本/cm） 底面中央の径2cm程度が凹みドーナ ツ状を呈する	ハケメ 剥落が目立つ 被熱で黒変する	
288	124	28	土師器 底部	40	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ 赤褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ 黄褐	-(3.0)/4.4?	良好 使用による 2次あり	精緻	底面中央に凹みがある 底部以上：ヘラケズリ 粘土紐の単位を反映したものか断面 形が段々になる	工具ナデ→ヘラミガキ?	反転復元
288	124	29	土師器 甕	40	2.5YR4/4にぶ赤褐／4/1褐灰～ 5/3にぶ黄褐	-(2.3)/6.0?	良好 2次あり	密	左下がりへのヘラケズリ（底面に及 ぶ）	ハケメ（4本/cm）	反転復元
288	124	30	弥生土器 甕	70	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰～ 5YR4/4にぶ赤褐（赤変）／ 5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(3.1)/5.7	良好 使用による 2次あり	精緻 反射する微粒 が目立つ	ハケメ（10本/cm） 被熱による赤変と炭化物の付着が認 められる	ハケメ→ヘラミガキ	一部反転復元
288	124	31	土師器 甕	60	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ 赤褐～黒変／6/4にぶ黄橙～ 5/3にぶ黄褐	-(2.8)/4.0	良好 使用による 2次あり	精緻	ハケメ（9本/cm、ほとんど遺存しな い）→ヘラケズリ	工具ナデ（工具幅2.1cm以上）	反転復元
288	124	32	弥生土器 壺	30	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐 ／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.1)/5.8?	良好 2次あり	密	ハケメ（6本/cm）→やや疎らなヘラ ミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	ハケメ	反転復元
288	124	33	土師器 甕	100	7.5YR4/3褐～2/1黒／5/3にぶ 黄褐～4/2灰黄褐	-(2.4)/5.9	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの砂粒 が目立つ	底面とその周囲がヘラケズリ、以上 がハケメ（9本/cm）→ヘラミガキ状 の工具ナデ 被熱による赤変・黒変が目立つ	放射状のハケメ 底面が剥離する	
288	124	34	弥生土器 底部	25	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 ／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(2.2)/5.8?	良好	精緻	ハケメ（8本/cm） 底面：ドーナツ状に中央部が浅くく ぼむ	ハケメ	反転復元
288	124	35	土師器 甕	30	3/2黒褐～7.5YR4/3褐／4/2灰 黄褐～3/1黒褐	-(3.8)/6.0?	良好 使用による 2次あり	密 まばらに～ 3mmの暗赤褐 色シャモット 状粒が混じる	ハケメ（10本/cm） 底面：ヘラケズリ	工具ナデ	反転復元
288	124	36	土師器 甕	30	5/3にぶ黄褐～3/2黒褐～ 5YR4/4にぶ赤褐／7/4にぶ黄 橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(4.5)/7.2?	良好 使用による 2次あり	精緻 ～2mmの砂粒 がまばらに混 じる	ヘラケズリ	ハケメ（8本/cm）→底面付近：工具 ナデ	反転復元
288	124	37	弥生土器 底部	20	6/4にぶ黄橙～5YR6/6橙／5/3 にぶ黄褐～4/1褐灰	-(3.1)/6.0?	良好	密 まばらに～ 5mmの砂粒 シャモット状粒 が混じる	ハケメ（6本/cm） 底部が突出している	ハケメ→ナデ・ヘラミガキ?	反転復元
288	125	1	弥生土器 広口壺	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐 ／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～ 7.5YR6/4にぶ橙	22.0?/(2.2)/-	良好	密	外反する口縁を肥厚し、端外縁に 布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：ヘラミガキ?（赤彩が 伴う可能性あり）	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
288	125	2	弥生土器 大型壺	5	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／ 10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙	21.6?/(2.7)/-	良好	密 ～1mmの浅黄 褐色テフラ状 粒が大量に混 じる	外反する口縁端部を板状に肥厚し、 下端を拡張させ、さらに垂下部を追 加する 肥厚部：側面に単節RL、→結節RS （3個1組）を上下に施し、棒状浮文 を貼り付け刻みを加える 口縁端面：上方からの布目を伴う刺 突文を施す	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
288	125	3	弥生土器 壺	10	5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 7.5YR5/4にぶ褐／5/4にぶ黄褐 ～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	18.8?/(3.2)/-	良好	粗 ～1mmの砂 粒・テフラ状 粒が大量に混 じる	外反する口縁の端部を断面垂直状に 肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節RL・LR、刺突 を伴う円形浮文（径1.3cm）を施 し、垂下部に棒状工具の腹による刺 突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	反転復元 混入品
288	125	4	弥生土器 壺	20	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤 褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐 （赤彩）～5/3にぶ黄褐	14.4?/(2.9)/-	良好	密 反射する微粒 が目立つ	外反する口縁部に板状部を接続・肥 厚し、垂下部をつくる 肥厚部：側面に単節RL・LR、垂下 部に縄文原体もしくは布目を伴う工 具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	口縁端部内稜：縄文原体もしくは布 目を伴う工具による刺突文 赤彩・ヘラミガキ	反転復元 288-243と同一個体 の可能性あり
288	125	5	弥生土器 壺	25	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙／6/4にぶ黄橙	-(6.3)/-	良好	密 ～2mmのテフ ラ状粒が混じ る	ゆるく屈曲する頸部に竹管状工具に よる円形刺突文（径3mm）が巡らさ れる→赤彩・ヘラミガキ	頸部屈曲はあるが稜は鋭くない 工具ナデ	反転復元
288	125	6	弥生土器 壺	15	10R4/4赤褐（赤彩）～ 7.5YR6/6橙／5YR6/6橙～ 5YR5/6明赤褐	-(4.0)/-	良好	密	単節LR→単節を切って結節RS2個1 組→沈線区画→文様間：赤彩・ヘラ ミガキ	横の工具ナデ	拓本 混入品
288	125	7	土師器 壺	20	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩か）～ 4/2灰黄褐／7.5YR5/3にぶ褐	-(4.1)/-	良好	精緻	ハケメ→工具ナデ→赤彩の可能性あり	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	125	8	弥生土器 櫛描文 壺	10	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙～ 10R4/4赤褐（赤彩）／5/3にぶ 黄褐～6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	密	単節LR・RL→上下に結節RS2個1組 →縄文を切って縦横の櫛描直線文 （6本/8mm）→文様外：赤彩・ヘラ ミガキ	横の工具ナデ	反転復元 288-243と同一個体 の可能性あり
288	125	9	弥生土器 壺	5	4/1褐灰～10R4/4赤褐（赤彩） ／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR7/4 にぶ橙	-(2.8)/-	良好	精緻	単節RL1帯を囲む山形文→単節RL1 帯を囲む直線文→単節RL1帯を囲む 複合?山形文→文様外：赤彩・密な ヘラミガキ	ヘラミガキに近い工具ナデ	拓本 混入品
288	125	10	弥生土器 櫛描文 壺	10	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙～ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／ 5/3にぶ黄褐	-(4.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密	単節LR・RL→結節RS2個1組→櫛描 直線文（5本/6mm）→文様外：赤 彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
288	125	11	弥生土器 広口壺	15	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙～ 2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／ 6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(5.7)/-	良好	精緻 まれに～3mm のシャモット 状粒が混じる	くびれ下部を段として残す 頸部：単節RL・LR・RL→段部稜： 棒状工具による刺突文 以下：赤彩・横のヘラミガキ	工具ナデ→赤彩（ほとんど遺存せ ず）・ヘラミガキ	拓本 混入品か

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	125	12	弥生土器 櫛描文壺	10	4/1褐灰／7/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	単筋RL→結節RS2個1組→縄文を切って縦横の櫛描直線文（6本/8mm）→文様外：ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	剥落が進む	反転復元 288-241と同一個体の可能性あり
288	125	13	弥生土器 有段鉢	40	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／4/1褐灰（黒変）～5/3にぶ黄褐	-(4.5)/4.2	良好	精緻 ～1mmの砂粒が目立つ	一度内湾する低い鉢状部から内湾する口縁部が拡張する 体部：ハケメ（9本/cm）→屈曲部：ヨコナデ 底面は凹みの浅いドーナツ状を呈し、輪台技法で作られた可能性がある	ナデ 口縁屈曲部の後はシャープである	非在地的な技法 反転復元
288	125	14	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～5YR4/2灰褐	19.8?/(4.3)/-	良好	精緻	碗形の口縁端部を肥厚し、肥厚部側面に単筋LR、下縁に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
288	125	15	弥生土器 小型壺	40	6/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐	-(8.8)/丸底/胴径10.0?	良好	精緻	球形の胴部を持ち、鋭くない屈曲を経て若干開く口縁部に続く体部：細かいハケメ（9本/5mm）→肩部以上：工具ナデ・ヘラミガキ	口縁部：ナデ・工具ナデ 体部：ナデ（指頭圧痕の凹凸が目立つ）	反転復元
288	125	16	弥生土器 大型壺	5	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(7.7)/-/胴径52cm以上	良好	密	赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ（ハケメ状の条線が伴う）	反転復元
288	125	17	弥生土器 高杯	70	5/3にぶ黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR6/6橙（杯部）～6/4にぶ黄橙	-(3.6)/-	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	杯部底面中央が陥没する 杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	反転復元
288	125	18	弥生土器 高杯	90	7.5YR6/6橙～5YR5/6明赤褐（赤彩）／7.5YR6/6橙	-(6.8)/11.6	良好 2次の可能性あり	密 大きい砂粒が目立たないが、雲母・ガラス質微粒が目立ちやや砂っぽい	ハケメ→ナデ・工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ→裾端部ヨコナデ（爪痕が伴う） 脚部中心：円形透孔 赤彩はほとんど遺存しない	横の工具ナデもしくはハケメ→ナデ 一部の工具痕に木目あり	内面調整は合成した
288	125	19	弥生土器 大型高杯	60	5YR5/4にぶ赤褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(7.1)/10.5?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒とバミス状粒が目立つ	縦の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	杯部：赤彩・ナデ 脚部：赤彩・ヘラミガキ（下位のみ）	一部反転復元
288	125	20	弥生土器 高杯	25	黒斑～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～黒斑	-(5.8)/13.0?	良好	密 テフラ状の橙微粒が目立つ	裾部に粘土紐を追加し肥厚する 脚部：工具ナデ→ヘラミガキ 肥厚部上縁：棒状工具による刺突文を連続させる	ナデ 裾部：接合痕が残り、指頭圧痕が見られる	反転復元
288	125	21	弥生土器 高杯	15	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰	18.8?/(5.3)/-	良好	精緻	口縁端部は端面に面を持つ 横の工具ナデ→横のヘラミガキ	斜めのヘラミガキ	反転復元
288	125	22	弥生土器 高杯・広口壺	25	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～5YR4/6赤褐／7.5YR4/2灰褐～10R4/4赤褐（赤彩）	-(5.2)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒・黄灰色テフラ状粒が大量に混じる	体部に屈曲を持つ 横の工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
288	125	23	弥生土器 鉢・高杯	20	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～3/1黒褐（黒変）／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	19.6?/(5.4)/-	良好	やや粗 ～1mmのテフラ状黄褐色粒が大量に混じる（器面に脱落痕が広がっている）	口縁端部は端面が面取りされる 体部：赤彩・横のヘラミガキ	摩耗が進む 横の工具ナデ→ヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	反転復元
288	125	24	弥生土器 高杯	100	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙（上面）～7.5YR4/4褐（裾）	-(4.6)/-	良好	密 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	ハケメ→赤彩（遺存不良）・縦のヘラミガキ	脚柱上下面に凹みがあり、上下からの粘土充填が示唆される	
288	125	25	弥生土器 高杯	90	赤褐（赤彩）／赤褐（杯部赤彩）～黄褐（脚部）	20.6/(16.7)/9.6	良好	精緻 砂粒少ない	杯部：口縁端部を肥厚し、肥厚部下端に竹管状工具による円形刺突文を施す→赤彩・横のヘラミガキ 脚部：赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：赤彩・横のヘラミガキ 脚部：疎らな横のヘラミガキ	遺物所在不明
288	125	26	弥生土器 高杯	90	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐	-(6.2)/-/脚柱最大径4.8	良好 2次の可能性あり	精緻	縦のヘラケズリもしくは工具ナデ→ナデ・ヘラミガキ?	脚柱部は粘土板を巻いた筒状部の上下に粘土を追加するかたちで形成されている 杯部：底面の粘土充填痕が明瞭に連なる 脚部：横の工具ナデ 裾部への移行部に明瞭な稜が作られる	反転復元 透孔はない
288	125	27	弥生土器 高杯	80	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～7/4にぶ黄橙	-(3.3)/-	良好	精緻	赤彩・密な縦のヘラミガキ	工具ナデ→ヘラミガキ	
288	125	28	弥生土器 高杯	20	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～黒斑	-(3.0)/	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	横のヘラミガキ	反転復元
288	125	29	土師器? 高杯	10	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～黒斑／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(2.2)/12.0?	良好	密	ヘラケズリ?→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ・ヨコナデ	反転復元
288	125	30	土師器 高杯	10	10R4/6赤（赤彩）～7.5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～7/4にぶ黄橙	-(3.1)/11.0?	良好	精緻 まばらに～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
288	126	1	弥生土器 S字模 甕	20	3/1黒褐～4/2灰黄褐／7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/3褐	9.8?/(5.3)/-	良好 2次あり	精緻 反射する微小粒が目立ちやや砂っぽい	口縁部：ヨコナデで外方に広がる下段口縁部から、さらに外方に拡張する 体部：縦のハケメ（5本/5mm）→肩部に横方向のハケメを施す 全体的に被熱のために黒変する	口縁部：ヨコナデ・横のハケメ 体部：ナデ	反転復元
288	126	2	弥生土器 甕	10	5/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／7.5YR6/4にぶ黄橙～7.5YR5/3にぶ褐	17.0?/(2.5)/-	良好 使用による2次あり	精緻 砂粒はほとんど目立たない	口縁部に輪積痕を明瞭に残す 口縁端部：外側を面取りされた端面に布目を伴う工具による刺突文を施す 全面が黒変する	ヨコナデ	拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	126	3	弥生土器 甕	20	4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／ 7.5YR5/4にぶ褐	17.0?/(8.5)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂粒 を多く含みやや 砂っぽい	体部：右上がりの工具ナデ 口縁部：粘土紐接合痕を5段残す→ 口唇：棒状工具による上下方向の刺 突文	ナデ 左上がりの条線が残る	反転復元
288	126	4	弥生土器 甕	15	7.5YR6/6橙～7.5YR4/3褐／ 7.5YR6/6橙～7.5YR4/3褐	20.0?/(3.6)/-	良好	密	工具ナデ 口縁端部：端面1方向からの刺突文	工具ナデ	反転復元
288	126	5	弥生土器 甕	10	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4に ぶ橙	15.6?/(3.1)/-	良好 2次の可能 性あり	密 ～1mmのバミ ス状灰白色粒 が大量に混じ る	工具ナデ 口縁端部：端面外縁に1方向からの 刺突文が施される	ナデ	反転復元
288	126	6	弥生土器 甕	25	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐 ／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4 にぶ褐	25.4?/(8.8)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの砂 粒・バミス状 粒が目立つ	全体的に赤変・黒変している 右上がりのハケメ状工具ナデ→口縁 端部：内外2方向からの刺突文	横の工具ナデ（工具幅1.2cm以上）	反転復元
288	126	7	弥生土器? 甕	30	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/3褐 ／7/4にぶ黄橙～7.5YR4/3褐	14.4?/(3.2)/-	良好 使用による 2次あり	密 まばらに～2mm の砂粒・シャ モット状粒が 混じる	短いくの字状の口縁部を持つ ハケメ（11本/cm）→ヨコナデにより 受口状口縁風の稜線を持つ 口縁端部は尖り気味に丸くおさまる	ハケメ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
288	126	8	土師器? 甕	10	4/1褐灰～3/1黒褐（黒変）／ 3/1黒褐～4/2灰黄褐	19.6?/(2.6)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 反射する微粒 が目立つ	ハケメ（12本/cm）→ナデ・ヨコナ デ 口縁端部は丸くおさまる	屈曲以下までハケメ→ナデ・ヨコナ デ	反転復元
288	126	9	弥生土器 甕	10	3/1黒褐～4/2灰黄褐／6/3にぶ 黄橙～5/3にぶ黄褐	16.0?/(4.5)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	口縁部下端の接合痕が段として部分 的に残る ナデ・ヨコナデ 口縁端部は丸くおさまる	ナデ・ヨコナデ	反転復元
288	126	10	弥生土器 大型器 台?	15	2.5Y3/1黒褐／5YR5/4にぶ赤 褐	-(7.6)/-	良好	精緻	ハケメ状の条線を残す工具ナデ	段状の接合痕を残す（指頭圧痕を伴 う） 工具ナデ	反転復元
288	126	11	弥生土器 甕	40	3/1黒褐（煤）～6/4にぶ黄橙 ／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6 橙	16.8/(13.5)/-	良好 使用による 2次あり	密	全体に煤が付着し、黒変が見られる 屈曲の緩い口縁部で端部は粘土紐の 接合痕を残す薄い肥厚部をつくる 口唇はヘラ状工具による刺突を巡ら す 以下：主に左上がりのハケメ（5～ 7本/cm）→肩部以下にヘラケズリ 状の工具ナデ?→ヘラミガキ	体部はやや赤っぽい 全体：ヨコナデ・ナデ 頭部はにぶく、くの字状とは言えな い	過渡的な形状が特徴 的
288	126	12	土師器 甕	20	3/1黒褐（炭化物）～7.5YR6/6 橙／6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐	-(9.3)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	密なハケメ（10本/cm） 下位にススが付着する	ナデ・工具ナデ	薄手の作り 反転復元
288	126	13	弥生土器 台付甕	25	7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐 （杯部）～7.5YR5/4にぶ褐	-(3.3)/-	良好 2次の可能 性あり	密 まばらに～ 1mmの角閃石 状粒、～5mm のシャモット 状暗赤褐色粒 が混じる	一部ハケメ状になる工具ナデ	体部：ヘラミガキ 脚部：工具ナデ	反転復元
288	126	14	弥生土器 台付甕	70	4/2灰黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐 ／5/3にぶ黄褐（体部）～ 7.5YR4/3褐	-(3.3)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～6mmの砂 粒・テフラ状 粒がまばらに 混じり、反射 する微粒が目 立つ	ハケメ（9本/cm） 全体が黒変する	体部：磨滅気味 脚部：ナデ	反転復元
288	126	15	弥生土器 台付甕	40	5/3にぶ黄褐～5/2灰黄褐／5/3 にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好 使用による 2次あり	精緻 まばらに～ 2mmの角縁が 混じる	ハケメ（10本/cm）	蜘蛛の巣状のハケメ 体部底面は脚部に向かって粘土を充 填して作られている	反転復元
288	126	16	弥生土器 脚台部	15	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／ 6/3にぶ黄橙	-(2.7)/9.8?	良好	精緻	ナデ・工具ナデ 器面に凹凸が多い	横の工具ナデ	反転復元
288	126	17	土師器 甕	40	7.5YR4/2灰褐～7.5YR4/1褐灰 ／4/1褐灰～5/2灰黄褐	-(2.9)/5.2?	良好 使用による 2次あり	精緻 ～2mmのバミ ス状粒が目立 つ	ハケメ（4本/5mm）→底面と付近に ヘラケズリ 被熱により黒変する	放射状のハケメ（12本/cm） 外面とハケメ原体が異なる	反転復元
288	126	18	弥生土器 小型壺	70	5/4にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐 ／7.5YR6/6橙	-(2.5)/3.1	良好	密 ～1mmの黄褐 色テフラ状微 粒が大量に混 じる	ヘラミガキ	やや疎らなヘラミガキ	一部反転復元
288	126	19	弥生土器 壺	100	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／ 4/1褐灰～6/3にぶ黄橙	-(2.3)/8.0	良好	密	工具ナデ→ヘラミガキ?	密なヘラミガキ	
288	126	20	土師器 底部	75	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/4に ぶ橙／5/3にぶ黄褐～5/2灰黄 褐	-(1.7)/6.1	良好	精緻	ヘラミガキ	ヘラミガキ	一部反転復元
288	126	21	土師器? 壺	70	2/1黒（黒斑）～5YR4/6赤褐 （赤彩?）／4/1褐灰～3/1黒褐 （黒変）	-(3.8)/3.7	良好	密 ～1mmのシャ モット状粒が まばらに混じ る	工具ナデ→ヘラミガキ	工具ナデ→疎らなヘラミガキ	一部反転復元
288	126	22	土師器 大型壺	15	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／ 4/1褐灰	-(2.9)/11.1?	良好	密 ～1mmのテフ ラ状粒が多 く、まばらに ～5mmのシャ モット状粒が 混じる	一部ハケメ状になる工具ナデ	工具ナデ	反転復元
288	126	23	土師器 底部	20	7.5YR6/6橙～黒斑／6/4にぶ黄 橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(1.7)/10.2?	良好	密 ～2mmの砂粒 が多く混じる	ヘラケズリもしくは工具ナデ	ナデ 皿状に縁の高くなる円板に粘土を積 むことで底部が成形されている	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	126	24	土師器? 壺	30	2.5YR5/6赤褐（赤彩?）～ 7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/4に ぶ橙	-(3.6)/7.4	良好 2次の可能 性あり	精緻 まばらに～ 4mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る	体部：横のヘラミガキ（底面に及ぶ）	工具ナデ 底部は2枚の粘土板を重ねる形で形成されたように見受けられる	反転復元
288	126	25	土製品 管状品 （土鍾?）	100	3/1黒褐～6/4にぶ黄橙	外径4.4/孔径 1.3/長軸（5.6）/ 重量93.1g	良好	精緻	ナデ 孔の縁の欠損などは見受けられない	孔内はごく平滑である	羽口状の形状
288	127	1	土師器 小型甕	30	7.5YR5/3にぶ褐～5/2灰黄褐／ 5YR5/4にぶ赤褐～5YR5/3に ぶ赤褐	10.8?/(9.6)/-/ 径12.4?	良好 2次の可能 性あり	密	工具ナデ→ヘラミガキ 口縁部：ヨコナデ	体部：ハケメ状の工具ナデ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
288	127	2	弥生土器 甕	15	6/3にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	19.7?/(2.5)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	口縁部に輪積痕を残す 口縁端部：内外2方向からの棒状工具による刺突文を施す	外反する口縁部に乗せる形で肥厚される 口縁端部の粘土組1段分の接合痕が残されている	反転復元 混入品
288	127	3	弥生土器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ 赤褐／2.5YR5/6明赤褐～ 7.5YR5/4にぶ褐	11.8?/(5.7)/-	良好 2次の可能 性あり	精緻 ほとんど砂粒 は目立たない がごくまれに 7mm大のシャ モット状粒が 混じる	体部：タタキ状の粗い目を残す横のハケメ（4本/5mm）→口縁部：小さくくの字に形成した口縁を折り返し状に拡張する→全体：縦の工具ナデ・ヘラミガキ（体部のハケメは部分的に遺存）	口縁部：横のハケメ→ヘラミガキ（ハケメ条線は遺存） 頸部屈曲直下は横、以下は縦のヘラケズリもしくは工具ナデ	5の字状口縁を志向したもののか 反転復元
288	127	4	弥生土器 台付甕	80	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／ 7.5YR5/3にぶ褐～5YR5/6明 赤褐（体部）～7.5YR5/4にぶ 褐（脚部）	-(5.6)/8.1	良好 2次あり	密 ～5mmの礫が まばらに混じ る	縦のハケメ（8本/cm）→裾端部：ヨコナデ	体部：底面から下に向けて粘土を充填した形跡がある 脚部：横のハケメ→上位：指ナデ	一部反転復元
288	127	5	弥生土器 台付甕	90	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙（体部）～ 5YR6/6橙（脚部赤変部）	-(2.6)/-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmの橙色 テフラ状粒が 多く混じる	ナデ・工具ナデ	裾部破断面に筒状部品を形成した痕が見られる 体部：ヘラミガキ? 脚部：ナデ 天井部が山形に突出する	
288	127	6	弥生土器 小型鉢	70	7.5YR6/4にぶ橙～黒斑／7.5 YR6/4にぶ橙～黒斑	9.4/7.2/3.2	良好	密 疎らに1mm大 のシャモット ・砂粒混じ る	下位に円く黒斑がある 底面：凹凸があるもののドーナツ状を呈する 口縁部：ヨコナデ、体部：左上がりの細かいハケメ（15本/cm）に近い	口縁端部に幅11mmの面を作る 体部：ナデ・工具ナデ、口縁部：ヨコナデ	調整は位置をずらした
288	127	7	弥生土器 小型鉢	50	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	10.0?/(6.6)/3.4	良好	密	工具ナデ（底部付近はヘラケズリに近い）	口縁部：内弯気味の鉢部に内面から乗せるかたちで拡張面を形成する	一部反転復元
288	127	8	弥生土器 高杯	100	10R4/6赤（赤彩）～5YR7/6橙／ 10R4/6赤（杯部赤彩）～ 5YR5/4にぶ赤褐	-(2.2)/-	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ	
288	127	9	弥生土器 鉢	40	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤 彩）／10R4/6赤（赤彩）～5/2 灰黄褐	-(4.3)/4.9	良好	密 ～1mmの黄褐色 テフラ状粒が 大量に混じ る	赤彩・縦のヘラミガキ（底部周辺は剥落している）	赤彩・ヘラミガキ（底面中央は使用痕が剥落が目立つ）	反転復元
288	127	10	弥生土器 台付甕	70	4/2灰黄褐～2.5YR4/4にぶ赤褐 （赤変部）／5YR5/6明赤褐～ 2/1黒（甕部）	-(5.8)/9.6	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmの浅黄 橙色ハミス状 粒が目立つ	縦ハケメ（5本/cm）→裾部：横ハケメ（時計回り）	甕部：ナデ、使用により黒変 脚台部：天井に粘土補充痕、以下は右下がりの指ナデ、裾端部は内側にバリ状に少し突出する	
288	127	11	弥生土器 台付 甕・高杯	25	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/2 灰黄褐～6/4にぶ黄橙	-(5.6)/8.8?	良好	精緻	縦の工具ナデ・ヘラミガキ	体部：ヘラミガキ 脚部：横の工具ナデ（一部ヘラミガキ） 裾端部は内面にごく弱く突出する	反転復元
288	127	12	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～ 5/4にぶ黄褐	16.0?/(3.3)/-	良好	精緻 まばらに～ 3mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混じ る	端部のみが若干立ち上がり気味の外反する口縁を持つ 口縁端部：断面三角形に肥厚し、ヨコナデで仕上げる 以下：縦のハケメ状の工具ナデ→ヘラミガキ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
288	127	13	弥生土器 甕	25	4/1褐灰～7.5YR5/4にぶ褐／ 7.5YR5/4にぶ褐	-(2.1)/5.2?	良好	精緻	細かいハケメ（10本/5mm） 底面中央が明瞭に凹む（輪台技法か）	工具ナデ	反転復元
288	127	14	弥生土器 高杯	5	2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～ 6/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤 褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.0?/(3.9)/-	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	口縁端部内面が面取りされる 赤彩・ヘラミガキ	反転復元
288	127	15	弥生土器 高杯	90	7/4にぶ黄橙～黒斑／7/4にぶ 黄橙（杯部）～7.5YR6/6橙 （脚部）	-(9.3)/11.3	良好	密 ～5mmの赤褐 色シャモット が混じる	杯部・脚部ともヘラミガキ 脚部中位やや上に円形透孔（径約1cm）を3方穿つ	脚部裾はゆるく内弯し、裾端部は面を持つように仕上げられる 杯部：ヘラミガキ 脚部横方向のナデ・工具ナデ	一部反転復元 杯部調整は合成
288	127	16	弥生土器 高杯	20	5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩） ／5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤 褐（赤彩残存部）	11.8?/(4.3)/-	良好	精緻 ～1mmの橙色 テフラ状粒が 多く混じる	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ 杯部底面縁ははっきりしている	口縁部：内面が面取りされ、段部も生じている 以下：赤彩（ほとんど遺存しない）・ヘラミガキ?	非在地的な形状 反転復元
288	127	17	弥生土器 高杯	30	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙／7.5YR6/6橙～4/1褐灰（黒 変）～6/3にぶ黄橙	-(6.2)/13.8?	良好	密 ～2mmのテフ ラ状粒・シャ モット状粒が 目立つ	脚柱中位若干上に円形透孔（径1cm）を3方均等配置する	脚柱上下両面から粘土を充填したような形跡がある 脚部：ナデ	反転復元
288	127	18	弥生土器 高杯	80	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄 橙／10R4/6赤（赤彩）～ 7.5YR6/4にぶ橙	-(3.3)/-	良好	精緻	杯底部に縦が作られ、接合部の屈曲もシャープである 赤彩・ヘラミガキ 杯部接合痕破断面には成形時に粘土が密着させられたと思われる刺突が遺らされている	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：工具ナデ→天井部を残してヘラミガキ（赤彩の伴う箇所有り）	
288	127	19	弥生土器 高杯	100	～/7.5YR5/4にぶ褐	-(1.4)/-	良好	精緻	剥離面には指紋の一部が残る	杯部底面：ヘラミガキ	高杯杯部底面の充填粘土が脱落したものの
288	127	20	弥生土器 高杯	20	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／ 7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(3.3)/10.8?	良好	精緻 ～4mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	若干内弯する 工具ナデ→4方均等配置の円孔（径9mm程度）を穿つ→縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	127	21	弥生土器 壺	60	5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤褐～10R4/6赤（赤彩）／7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）	20.5?/(5.5)/-	良好	精緻	外反する口縁に粘土を追加し、受け口状に成形する 肥厚部：単節LR2帯・RL→両側からの刺突によって縦方向に波状を呈する棒状浮文（3個1組、3方均等か）→下縁に布目を伴う工具による刺突文を施す→以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	器面遺存不良 反転復元
288	127	22	弥生土器 壺	70	10R3/6暗赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	19.2/27.2/6.8/ 胴径24.2	良好	精緻	外反する体部下半にドーム状の体部下半を形成し、ほぼ直角に立ち上がり外反する口縁部を作る 口縁端部は受口状に作り、外面を肥厚する 口縁部外面：単節LR・RL・LRを施し、中位に結節RS3個1組を上描きする、側面に刻みを伴う棒状浮文を4個1組で配し、ボタン状円形浮文（径11mm）を間に施す 体部文様帯は肩から胴部にかけて2段ある いずれの文様帯も、単節LR・RL・LR→上下の結節RS3個1対→山形のヘラ描き沈線文2帯の順に施す 山形文と結節文の間にできる三角形の部分は赤彩されるがヘラミガキが甘く縄文は残りがちである 頸部には円形刺突を伴う円形浮文が密接に巡らされるが、浮文の下には文様帯と同じ結節RSが施されている 口縁部・円形浮文・肩部文様帯間・文様帯間・文様帯以下・文様帯内三角形部分：赤彩・密なヘラミガキ、口縁部が縦、三角形部分が不定方向なのを除けば横の密なヘラミガキ 底面：ナデ	口縁部：赤彩・横ヘラミガキ 体部：横の工具ナデ・ナデ	文様帯は遺存の良い部分を合成した
288	127	23	弥生土器 バレス壺	60	2.5Y8/3淡黄～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5Y8/3淡黄～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）	19.8?/(9.3)/-	良好 口縁肥厚部の内部は破断面で見ると黒ずんでいる	精緻 まばらに～3mmの角礫混じる 非在地的	全面：ハケメ（6本/cm）→口縁部：外反口縁を形成し口唇外面を断面三角形に大きく肥厚、頸部に断面逆「へ」の字の凸帯貼り付け→全面：ハケメ（11本/cm）、肥厚部外面：四面の断面形がU字形、伴う凸部がナデにより低い撥形を呈する擬凹線3条→肥厚部外面：縦の棒状浮文4個1組、肩部：櫛状工具の刺突による山形文が最低1段巡る→肥厚部外面・山形文：赤彩（磨滅しており遺存不良）	頸部・口縁部途中の屈曲とともにシャープで、口縁部は下段・上段とも若干内湾する 頸部屈曲以下：指頭圧痕が多い 口縁部上段：櫛状工具（7本/cm）による列点文で綾杉文（外から内）を構成する	反転復元 胎土が非在地的・東海東部的で形状も技法も酷似するので搬入品と考えられる
288	127	24	弥生土器 バレス壺模倣壺	5	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(4.1)/-	良好	精緻	非常に細かいハケメ（14本/5mm）→櫛描直線文（6本/cm）→文様外：縦のヘラミガキ	横のハケメ（6本/cm 外面と別工具）	反転復元
288	128	1	弥生土器 壺	40	6/6明黄褐～6/4にぶ黄橙～10R3/6暗赤（赤彩）／5/3にぶ黄褐～6/6明黄褐	-(25.0)/-胴径32.4	良好	密 大きい砂粒が目立たない	肩部文様帯：単節LR→RL→LR→結節RS（2個1組）で上下を装飾→単節LRによる山形文→沈線による山形文の縁取り 文様帯外・赤彩・ヘラミガキ	一部に水玉状の剥落が認められる 横のナデ・工具ナデ	遺存不良 反転復元
288	128	2	弥生土器 大型壺	80	6/4にぶ黄橙～5YR5/6明赤褐～黒斑／5YR4/4にぶ赤褐～6/4にぶ黄橙	15.4?/35.4/10.0/ 胴径32.6	良好	密 ～2mmの砂粒がまばらに混じる	上位の器面の剥落が著しい 外反する口縁部に粘土紐を追加し断面方形に肥厚する（下側のナデは甘く接合痕を残す） 体部：主に縦方向の密なヘラミガキ	頸部下位と体部下位の剥落が著しい 頸部の稜は鋭くない 頸部：横の密なヘラミガキ 体部：横の工具ナデ	口縁部は推定復元 器面の剥落は正置した状態で風雨に曝されたからであろうか
288	129	1	弥生土器 壺	20	7.5YR6/6橙～10R4/6赤（赤彩）／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）	21.2?/(5.3)/-	良好	密 ～2mmの黄褐色テフラ状粒が多く混じる	口縁部は外反するが、外側を肥厚することで若干内湾気味に立ち上がる 肥厚部は無文である 赤彩・ヘラミガキ	赤彩（上位のみ遺存）・横のヘラミガキ	反転復元
288	129	2	弥生土器 壺	20	7/3にぶ黄橙／2.5Y7/3淡黄	16.6?/(4.7)/-	良好	精緻 ～2mmの砂粒がまばらに混じる 微小な金雲母状粒が多く混じる 非在地的	口唇部を断面撥形に拡張し、下端を若干垂下させる ハケメ（6本/cm）→ヨコナデ	器面の剥落が進む やや内湾気味で屈曲が下位にある文様はない	反転復元 胎土・形状とも非在地的だが、在地の模倣品と見受けられる
288	129	3	弥生土器 装飾甕・広口壺	20	4/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～5/2灰黄褐	-(4.1)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	くびれ下端に段部残す→頸部：段部下寄りに単節RL・LR→段部下縁：縄文を切る形で竹管状工具による円形刺突文（径5mm）を施す	横のヘラミガキ	拓本
288	129	4	弥生土器 鉢・高杯	10	7.5YR6/4にぶ橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	19.6?/(3.5)/-	良好	密 角閃石状の放射微粒が多い	横の工具ナデ→赤彩・やや疎らなヘラミガキ	剥落が進む	反転復元
288	129	5	弥生土器 高杯・壺	15	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/4にぶ橙	17.6?/(6.1)/-	良好	密	工具ナデ→口縁部：ヨコナデ	ヨコナデにより口縁端部内面が明瞭に面取りされる 工具ナデ	反転復元
288	129	6	弥生土器 高杯	5	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	17.6?/(3.6)/-	良好	精緻	工具ナデ	口縁端部：ヨコナデで面が作られる	反転復元
288	129	7	土師器? 甕	10	7/4にぶ黄橙～2.5Y5/2暗灰黄／2.5Y5/2暗灰黄～6/4にぶ黄橙	23.0?/(3.0)/-	良好 破片化後の2次あり	密 砂っぽい	ハケメ（4本/cm）→ヨコナデ 口縁端部は丸くおさまる	横のハケメ	反転復元
288	129	8	弥生土器 底部	45	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/3にぶ褐／5/3にぶ黄褐～4/1褐灰	-(3.3)/6.4?	良好	精緻	ハケメ（6本/cm） 底部が突出している 底面に木葉圧痕がある	ハケメ 底部中央がくぼんでいる	反転復元
288	129	9	弥生土器 小型壺	25	6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰	-(4.6)/-	良好 破片化後の2次あり	精緻	ハケメ状の工具ナデ・ナデ→赤彩?	ナデ・シボリ痕・指頭圧痕	反転復元
288	129	10	弥生土器 小型壺	40	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.8)/2.8?	良好	精緻	ハケメ（9本/cm）→ナデ・工具ナデ 底面が上反っている	横の工具ナデ（工具単位が明瞭）	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	129	11	弥生土器 高杯・器台	10	7.5YR6/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(5.3)/-	良好	精緻	ハケメ?→ナデ→縦のヘラミガキ	裾端部を折り返すように肥厚する工具ナデ	反転復元
288	129	12	弥生土器 高杯	20	5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤褐(赤彩)／5YR5/4にぶ赤褐～5YR6/6橙	-(5.1)/-	良好	密	ハケメ(6本/cm)→円形透孔(径1.2cm)→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→ナデ	内弯気味の裾部 反転復元
288	129	13	弥生土器 台付甕	20	2/1黒～7.5YR5/4にぶ褐／4/1褐灰～3/1黒褐	-(3.7)/8.2?	良好 2次あり	密	ハケメ状の細かい条線を伴う工具ナデ	裾端部は面を持つ工具ナデ・指頭圧痕	反転復元
288	129	14	弥生土器 大型壺	20	5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(8.0)/-	良好	密 黄橙色テフラ 状粒が大量に 混じる	工具ナデ→ヘラミガキ(底部近くは縦方向)	工具ナデ 器面が水玉状に剥落する部分がある	反転復元
288	130	1	弥生土器 壺	10	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～7/4にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙	13.6?/(4.0)/-	良好	精緻	短く立ち上がる受け口状の口縁部に棒状浮文が貼り付けられる→単節LR→赤彩・ヘラミガキ	横のヘラミガキ(赤彩が伴った可能性あり)	反転復元 混入品
288	130	2	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐(赤彩)／2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～2.5Y7/4浅黄	15.2?/(3.2)/-	良好	精緻	ゆるく受け口状を呈する口縁部を平らに肥厚する 肥厚部：2個以上1組の棒状浮文を貼り付け、端面・側面に結節(LZ)、下縁にヘラ状工具による刺突文を施す→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 混入品
288	130	3	弥生土器 壺・鉢	10	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	13.4?/(3.0)/-	良好	精緻	内弯気味の口縁部を肥厚する 肥厚部：端面・側面に回転施文による擬縄文を施す(オオバコカ) 以下：工具ナデ	工具ナデ	全体的に磨減気味 反転復元 混入品
288	130	4	弥生土器 壺	10	2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～5/3にぶ黄褐／5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)～6/4にぶ黄橙	15.6?/(3.7)/-	良好	精緻	鈍角に屈曲する口縁が受け口状を呈しており、側面・端面に結節RSが数段施される→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 混入品
288	130	5	弥生土器 小型壺	70	7/4にぶ黄橙(剥落部)～10R4/4赤褐(赤彩)／	9.8?/(4.4)/-	良好	密 ～1mmのシャ モット状暗赤 褐色粒・テフ ラ状粒が大量 に混じる	剥落が著しい 直線的に開く口縁の端部に面を形成する 口縁端部側面は若干凹線状に凹み、凹みの下側縁に単節RLを施す 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい 赤彩・ヘラミガキ	
288	130	6	弥生土器 壺	10	10R4/6赤(赤彩)～7.5YR6/6橙／10R4/4赤褐(赤彩)～6/6明黄褐	17.4?/(4.4)/-	良好	精緻	ゆるめの屈曲による受け口状の口縁部を持ち、端面外面に棒状浮文・結節文(RSか)を施す 文様も含めて赤彩を施しヘラミガキを加える	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 混入品
288	130	7	弥生土器 壺	10	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～7.5YR6/4にぶ橙／10R4/6赤(赤彩)～7.5YR6/4にぶ橙	15.2?/(4.5)/-	良好	密	口縁部は弱く屈曲し受け口状を呈する 口縁端部：端面に単節RLを施す 以下：工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	赤彩・横の密なヘラミガキ	反転復元 混入品か
288	130	8	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐	13.6?/(4.9)/-	良好	精緻 まれに～3mm の砂粒が混じ る	端面が面取られる、ゆるく外反する口縁部を持つ 口縁端面：単節LR	ナデ	反転復元 混入品
288	130	9	弥生土器 壺	15	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～6/6明黄褐	14.2?/(3.3)/-	良好	密 微小なテフラ 状粒が大量に 混じる	外反する口縁部を肥厚し、肥厚部下側に布を指で挟んで横向きにつまんだような刺突文を施す 肥厚部以下：縦のヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
288	130	10	弥生土器 壺	15	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／2.5Y5/3黄褐～7.5YR6/4にぶ橙	15.6?/(2.4)/-	良好	密	外反する口縁の端部が少し立ち上がり受け口状を呈する 口縁端部側面：横方向の穿孔を伴う棒状浮文→結節RS4段以上(4個1組か)	磨減	器面遺存不良 反転復元 混入品
288	130	11	弥生土器 器台・甕	5	6/4にぶ黄橙～8/3浅黄橙／5/2灰黄褐～8/3浅黄橙	20.0?/(2.8)/-	良好	精緻 白っぽく非在 地的	ハケメ(14本/cm)→口縁端面：ハケメ工具による斜列点刺突文	口縁端部が若干立ち上がり気味になるヘラミガキ	反転復元
288	130	12	弥生土器 壺	5	2.5Y8/3淡黄～2.5YR5/6明赤褐(赤彩)／2.5Y8/2灰白	-(3.8)/-	良好	密	ハケメ→ナデ→櫛描き直線文(9本/2cm)→山形文(右方向)	剥落	胎土と形状が非在地的 搬入品か
288	130	13	弥生土器 二重口縁壺	10	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～5/4にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙／2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y4/1黄灰	-(3.0)/-	良好	密 やや砂っぽい	ハケメ(6本/5mm)→赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい ヘラミガキ	反転復元
288	130	14	弥生土器 バレス壺	10	2.5Y8/3淡黄～2.5YR5/6明赤褐(赤彩)／2.5Y8/3淡黄～8/3浅黄橙	-(4.3)/-	良好	精緻 ～1mmの砂粒 がまばらに混 じる 非在地的	頸部：L字形の屈曲部の外側を埋めるかたちで、つまみ出される形状の凸帯を追加する 肩部：ハケメ(7本/cm)→2本描き沈線による直線文→ハケメ状工具による右上がりの斜行列点文を直線文の直下に巡らせる→赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→ナデ→口縁部近くのみ砂粒の移動を伴う横の工具ナデ	3片を合成・反転復元 胎土が非在地的だが、技法が雑な雰囲気
288	130	15	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐(赤彩)／6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	精緻	単節LR・RL→結節RS2個1組→沈線による山形文→山形文の下側空間を赤彩・ヘラミガキ	幅広の横のヘラミガキ	反転復元
288	130	16	弥生土器 壺	10	6/3にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(2.8)/-	良好	密	単節LR→沈線→沈線による山形文→沈線と山形文の間を赤彩・ヘラミガキする	横の工具ナデ	反転復元
288	130	17	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～10R4/6赤(赤彩)／10R4/4赤褐(赤彩)	20.8?/(1.9)/-	良好	密 放射微粒が目立つ	外反する口縁部を断面長方形に肥厚し、端面からの垂下部を追加する 肥厚部：端面に単節RL、垂下部に布目を伴う刺突文を施す 以下：赤彩・ヘラミガキ	赤彩・密な横のヘラミガキ	反転復元 混入品か
288	130	18	弥生土器 壺	10	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄橙	20.4?/(3.7)/-	良好	密	外反する口縁部を断面垂直状に肥厚し、下端を垂下させる 肥厚部：側面に単節LR・RL、下縁に布目を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：ヘラミガキ	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元
288	130	19	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐	14.8?/(2.3)/-	良好 2次の可能性あり	密 微小なテフラ 状赤褐色粒が 大量に混じる	外反する口縁部を断面垂直状に肥厚する 肥厚部：無文・ヨコナデ 以下：ナデ→縦のヘラミガキ(赤彩が伴う可能性あり)	ヘラミガキ(赤彩が伴う可能性あり)	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	130	20	弥生土器 大型壺	40	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／10R4/4赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	21.49/45.0?/10.4?/胴径41.6?	良好	精緻 ～1mmの橙色テフラ状微粒が目立つ程度で砂粒はほとんどない	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚し、垂下部を追加する 肥厚部：側面に単節LR・RL。下縁に縄文原体もしくは布目を伴う刺突文を施す 頸部文様帯：頸部屈曲にかけて、単節RL・LR・RL→結節LZ・LS（同一原体上の結び目）1組を上下に施す 肩部文様帯：単節RL・LR→結節LZ・LSを上に、結節LS・LZを下に施す（同一原体の向き違い） 文様帯間：赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→ヘラミガキ（頸部以上は赤彩が伴う）	器形は破片を合成して推定したものの反転復元
288	130	21	弥生土器 櫛描文壺	5	7.5YR7/6橙／6/3にぶ黄橙	-(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	密	単節RL→結節RS（2個1組）→櫛描直線文（4本/5mm以上）	工具ナデ?	遺存不良 反転復元
288	130	22	弥生土器 壺	20	5/4にぶ黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.8)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	結節RZ・RZ・RS・RS・RZ・RZ（2個1組、上限は不明）→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ（工具痕・単位が明瞭）	反転復元 混入品
288	130	23	弥生土器 壺	10	10R4/4赤褐（赤彩）～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙	-(4.2)/-	良好	密 反射微粒が目立つ	断面U字状の凸帯を貼り付け、側面からヘラ状工具による刻目状刺突文を施す 赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ→一部ヘラミガキ	反転復元 混入品
288	131	1	弥生土器 壺	20	7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙	-(3.9)/-	良好	密 角閃石状の反射粒とバミス状波黄粒が大量に混じる	網目状文→沈線区画→文様外：赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本 混入品
288	131	2	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩遺存部）／5/3にぶ黄褐～4/1褐灰	-(7.5)/-	良好	精緻 若干砂っぽい	単節LR原体によるZ字状結節文（2個1組）を3段以上施す 赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	横の工具ナデ	拓本 混入品
288	131	3	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／7/4にぶ黄橙	-(3.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が多く混じる	単節RL・LR→結節RS2個1組→単節を切る形で沈線による山形文	剥落が目立つ	拓本
288	131	4	弥生土器 壺	5	5/2灰黄褐～10R4/4赤褐（赤彩）／6/4にぶ黄橙	-(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒が混じる	頸部下端が段部となる 段部：単節RL。下縁に棒状工具の先端による刺突文を施す 以下：段部直下にヘラ描き山形文→結節RZ3個以上→山形文の区間に赤彩・ヘラミガキ	剥落が進む	拓本
288	131	5	弥生土器 壺	15	10R4/6赤（赤彩）～2.5Y7/3浅黄／2.5Y7/3浅黄～2.5Y6/1黄灰	-(6.8)/-	良好	精緻 砂粒がほとんどなく、まれに～3mmの角礫が混じる 非在地的	ハケメ（7本/cm）→赤彩・縦ヘラミガキ	水玉状剥落が広がるナデ	反転復元 胎土がバレス壺に近い
288	131	6	弥生土器 壺・鉢	25	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／10R4/4赤褐（赤彩）～2.5Y7/4浅黄	20.1?/(7.0)/-	良好	密 ～1mmの白色砂粒が多く混じる 砂っぽい	白線的に開く口縁部を平らに肥厚する 肥厚部：端面に単節RL、側面に単節LR・RLを施す 肥厚部以下：単節LR・RL・LR・RL	赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 混入品か
288	131	7	土師器 底部	25	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	-(3.4)/9.6?	良好	精緻 目立つ砂粒はない	底部に至る屈曲部に工具ナデの単位が残る	ナデ	反転復元
288	131	8	弥生土器 壺	60	7/4にぶ黄橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(2.2)/5.0?	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ	ナデ	反転復元
288	131	9	弥生土器 小型鉢・壺	100	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(1.5)/3.2	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	
288	131	10	弥生土器 鉢・広口壺	100	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	-(2.1)/6.2	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	一部反転復元
288	131	11	弥生土器 鉢	5	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙／2.5YR4/4にぶ赤褐（赤彩）～6/4にぶ黄橙	20.0?/(3.7)/-	良好	精緻	口縁直下から、結節RS2個1組・単節LR・RL・結節RS2個1組を施す	口縁端面に単節RLを施す 赤彩・ヘラミガキ	拓本
288	131	11	土師器 小型土器	25	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙／3/1黒褐～4/2灰黄褐	-(2.4)/2.0?	良好	密	横の工具ナデもしくはヘラケズリ→赤彩・ヘラミガキ	ナデ→部分的にヘラミガキ（赤彩が伴う可能性あり）	反転復元
288	131	12	弥生土器 鉢	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙	20.0?/(4.0)/-	良好	精緻	口縁部を幅広く肥厚する 肥厚部：端部直下に単節LRを1帯のみ施し、下縁に縄文原体による刺突文を加える	横のヘラミガキ	拓本
288	131	13	弥生土器 壺	60	7.5YR5/4にぶ褐／7/4にぶ黄橙	-(5.5)/7.9	良好	密	きつい縦ヘラミガキ	接合痕で割れる横のナデ	
288	131	14	弥生土器 大型壺	25	2.5YR6/6明赤褐（赤彩）～5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙	-(5.7)/9.0?	良好	精緻	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	剥落が著しい	反転復元
288	131	15	弥生土器 壺	40	7/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(5.7)/7.8?	良好	精緻 砂粒は目立たないが砂っぽい	工具ナデ→ヘラミガキ?	工具ナデ→ヘラミガキ?	混入品か 反転復元
288	131	16	弥生土器 甕	20	6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙／6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙	21.2?/(6.1)/-	良好	密 ～2mmのテフラ状粒・バミス状粒が目立つ	輪積痕を縦にナデ消し、その後横の工具ナデを施す 口縁端部：布目を伴う工具による端面1方向の刺突文	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	131	17	弥生土器 甕	5	4/2灰黄褐～3/1黒褐（黒変）／6/3にぶ黄橙～5/2灰黄褐	22.2?/(2.0)/-	良好 使用による2次あり	精緻	輪積痕を薄く残す 口縁端部：端面1方向からの刺突文	口縁端部内面を乗せるような形で肥厚する 肥厚部：下縁に楕円形刺突文を施す	反転復元
288	131	18	弥生土器 甕	15	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙	20.0?/(2.8)/-	良好	精緻	「」状の緩やかな頸部屈曲を持ち、素口縁の端部は面取りが施されるナデ	ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	131	19	弥生土器 小型甕	10	4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐	12.8?/(2.6)-	良好 使用による 2次あり	密	口縁部に輪積痕を残し、端部には上縁に1方向からの刺突文を施す 全体に炭化物が付着する	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	131	20	弥生土器 甕	10	5/2灰黄褐～6/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～黒斑	17.4?/(3.7)-	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmのバミ ス状粒・テフ ラ状粒が大量 に混じる	面取りされた端面を持つゆるい屈曲 の口縁部を持つ 口縁端部：外縁に布目を伴う刺突文 を施す 体部：工具ナデ	ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
288	131	21	弥生土器 甕	20	5YR5/4にぶ赤褐～4/1褐灰／5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR5/4にぶ褐	14.6?/(4.4)-	良好 2次あり	精緻	かなり緩い口縁部を呈し、端部には板状工具による刺突文が施される 体部：ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	131	22	土師器 甕	10	5/4にぶ黄褐～4/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	19.2?/(6.7)-	良好 使用による 2次あり	精緻	くの字状の口縁部を呈し、口縁端部は丸くおさまる 工具ナデ→ナデ・ヨコナデ	工具ナデ（体部：ヘラケズリ・ヘラミガキ状になる）→ヨコナデ	反転復元
288	131	23	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(4.1)-	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmのバミ ス状黄灰色微 粒が大量に混 じる	くびれ下端に段部を残し、そこに布目を伴う刺突文を施す 体部：工具ナデ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
288	131	24	弥生土器 大型甕	15	5/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙／6/3にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(5.9)-	良好 2次あり	精緻 まばらに～ 5mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混 じる	くびれ最下段を段として残す 段部：竹筥状工具による円形刺突文 （径3mm） 段以下：左下がりの工具ナデ	工具ナデ→疎らな横のヘラミガキ	厚手である 反転復元
288	131	25	弥生土器 台付甕・高杯	30	7.5YR5/3にぶ褐～5/3にぶ黄褐／3/1黒褐（体部）～2.5YR4/4にぶ赤褐（脚部）	-(2.9)-	良好 使用による 2次あり	精緻 橙色テフラ状 微粒が大量に 混じる	縦の工具ナデ	体部：ヘラミガキ 脚部：ナデ	破断面を見ると上下 両側から充填が行わ れたように見受けら れる 反転復元
288	131	26	弥生土器 台付甕	20	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／7.5YR6/6橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(3.3)-	良好	精緻 まばらに～ 4mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	ハケメ（5本/cm）	体部から下向きに粘土を充填した痕跡がある ハケメ	反転復元
288	131	27	弥生土器 台付甕	40	5/2灰黄褐～5/3にぶ黄褐／4/2灰黄褐～3/1黒褐（体部）～7.5YR5/4にぶ褐	-(3.8)-	良好 使用による 2次あり	密	縦の工具ナデ→ヨコナデ	体部：磨滅・黒変する 脚部：ナデ	反転復元
288	131	28	弥生土器? 脚台部	20	2.5Y6/4にぶ黄～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(4.9)-	良好	密 反射する微粒が目立つ	磨滅が進む 工具ナデ→ヘラミガキ?	横のナデ	反転復元
288	131	29	弥生土器 台付甕	25	5/3にぶ黄褐～7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐～4/1褐灰	-(2.8)-	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が目立つ	一部がヘラミガキ状になる工具ナデ	ヘラミガキ（使用によって磨滅する）	反転復元
288	131	30	弥生土器 甕	25	5YR5/4にぶ赤褐～2.5YR5/6明赤褐／2.5YR5/6明赤褐	-(3.1)/6.6?	良好 2次あり	密	縦のハケメ（5本/cm）	剥落が著しい	反転復元
288	131	31	土師器 底部	60	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(2.8)/7.7	良好	やや粗 ～2mmの砂粒が多く混じる	工具ナデ 底面の縁が横に突出気味になる	工具ナデ	反転復元
288	131	32	弥生土器 甕	25	7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐／7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐	-(3.6)/6.4?	良好	密 微小なバミ ス状粒・テフ ラ状粒が目立つ	粗い縦のハケメ（5本/cm）→屈曲部：ヨコナデ	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元
288	131	33	土師器 甕	40	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙	-(1.4)5.6?	良好	精緻 まばらに～ 5mmのシャ モット状暗赤 褐色粒が混 じる	縦のヘラケズリ状の工具ナデ	ナデ	反転復元
288	131	34	弥生土器 底部	50	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／7.5YR6/4にぶ橙～5/2灰黄褐	-(4.2)/7.0	良好 2次の可能性あり	精緻 ～2mmのシャ モット状赤褐 色粒・テフ ラ状粒が多く混 じる	工具ナデ・ヘラミガキ	工具ナデ・ヘラミガキ	反転復元
288	132	1	弥生土器 高杯	15	6/4にぶ黄橙～2.5YR4/4にぶ赤褐／6/4にぶ黄橙～4/1褐灰	16.4?/(6.5)-	良好	精緻	赤彩・ヘラミガキ	磨滅のため不明瞭だが、口縁端部内面が面取りされている 赤彩?・ヘラミガキ	反転復元
288	132	2	弥生土器 高杯	25	5/3にぶ黄褐／5/4にぶ黄褐	-(2.6)-	良好	密	接合部屈曲に凸帯を貼り付け、布目を伴う刺突文を施す ヘラミガキ（赤彩の伴う可能性あり）	杯部：ヘラミガキ（赤彩されるがほとんど遺存せず） 脚部：ナデ	破断面には脚台部の 上面に杯部を平面的 に接合した痕が見ら れる 反転復元 混入品
288	132	3	弥生土器 小型器台	20	7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐／5YR6/6橙～5YR6/4にぶ橙	10.2?/(1.4)-	良好	精緻	受部端面が面取りされる ヨコナデ	ヨコナデ・ヘラミガキ?	全体が磨滅気味 反転復元
288	132	4	弥生土器 高杯	60	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR6/4にぶ橙（杯部）～5/3にぶ黄褐（脚部）	-(5.4)-	良好 2次の可能性あり	密 ～2mmのバミ ス状粒・砂粒 が混じる 若干白く非在 地的	杯部：厚みのある杯底部からほぼ平らに広がり、明確な稜を経て口縁部へと続く 主に縦のハケメ（4本/5mm）→工具ナデ→4方向に円形透孔を穿つ→赤彩（ほとんど遺存せず）・ヘラミガキ	杯部：赤彩（ほとんど遺存せず）・ヘラミガキ 脚部：ナデ	一部反転復元
288	132	5	弥生土器 高杯	60	6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐	-(2.8)-	良好	密 ～2mmのテフ ラ状明黄褐色 色粒が混じる	縦のヘラミガキ	脚部：ヘラミガキ	反転復元
288	132	5	弥生土器 大型壺	30	2.5YR4/6赤褐（赤彩）～7.5YR6/6橙～2.5Y6/3にぶ黄／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(24.7)/-/胴径36.0?	良好 破片化後の 2次あり	密	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ	外面の風化が進む 反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
288	132	6	弥生土器 高杯	60	8/3浅黄橙～7.5YR7/4にぶ橙(赤彩?)／8/3浅黄橙	-(5.3)/-	良好	精緻 ～4mmの角礫がこくわずかに混じる 非在地的	縦ヘラケズリ?→縦ハケメ(5本/5mm)→ナデ→赤彩?・ナデ器表に赤みを帯びた部分があり、遺存した赤彩に見受けられる	横ヘラケズリ・工具ナデ	一部反転復元 非在地的な胎土を持つ
288	132	7	弥生土器 鉢	25	6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙／6/6明黄褐	15.8?/(7.6)/-	良好	密 ～2mmのデフラ状粒が大量に混じる	緩く内湾気味に開き、端面が面取りされる口縁部を持つ 端面：単節RL 以下：縦のヘラミガキ	ほとんど剥落する	反転復元
288	132	8	弥生土器 小型高杯	5	10R4/6赤(赤彩)～黒斑／10R4/6赤(赤彩)～7/4にぶ黄橙	-(2.0)/9.7?	良好	精緻	円形透孔(径7mm)を穿つ→赤彩・ヘラミガキ	ヨコナデ→赤彩(一部ヘラミガキ)	反転復元
288	132	9	弥生土器 脚台部	15	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／4/2灰黄褐～4/1褐灰	-(3.2)/-	良好	密 デフラ状微粒が目立つ	工具ナデ→ヘラミガキ?	ナデ・工具ナデ	反転復元
288	132	10	弥生土器 高杯	15	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	-(3.7)/8.8?	良好	密	縦の工具ナデ・ヨコナデ	ナデ	反転復元
288	132	11	弥生土器 脚台部	15	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(2.7)/7.8?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒・反射微粒・デフラ状黄褐色粒が混じる	縦の工具ナデ	横の工具ナデ 裾端部が内面に突出する	反転復元
288	132	12	弥生土器 高杯	30	5YR6/6橙～5/2灰黄褐／5YR5/4にぶ赤褐～5YR6/6橙	-(3.0)/-	良好	密 まばらに～5mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	剥落が著しく調整は不明 円形透孔(径1cm程度)を穿つ	脚柱上位にシボリ痕がある ハケメ(6本/cm)	反転復元
288	132	13	弥生土器 高杯	70	5/3にぶ黄褐～5YR6/4にぶ橙／7.5YR5/3にぶ褐(杯部)～5/3にぶ黄褐(脚部)	-(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	縦の工具ナデ→ヘラミガキ?	杯部：密なヘラミガキ 脚部：脚柱下端が擬口縁状に剥離する ナデ	反転復元
288	132	14	弥生土器 脚台部	10	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(2.9)/13.0?	良好 2次の可能性あり	密 まれに～3mmの砂粒が混じる	縦の工具ナデ	工具ナデ	反転復元
288	132	15	弥生土器 高杯	40	10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～10R4/6赤(赤彩)	-(6.3)/10.6?	良好	精緻 まばらに～4mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	赤彩・縦のヘラミガキ(単位が細かい)	ナデ・工具ナデ 脚柱上位に赤色顔料が付着しており外面赤彩時の支持痕と見られる	反転復元
288	132	16	弥生土器 高杯	10	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4／6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(4.4)/13.8?	良好	精緻 やや砂つぶくまれに～5mmの円礫が混じる	ハケメ?→ヨコナデ・縦のヘラミガキ	ハケメ→ヨコナデ	反転復元
288	132	17	弥生土器 大型脚台部 器台	30	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙	-(6.3)/18.0?	良好	精緻 まばらに～5mmのシャモット状赤褐色粒が混じる	横のナデ・工具ナデ→縦のヘラミガキ	裾端部が折り返される形で肥厚される 横の工具ナデ・ナデ	全体形が不明 反転復元
288	132	18	土製品 棒状品(支脚?)	25	6/4にぶ黄橙	長軸4.4/短軸4.2/厚み2.8/重量35.0	良好	精緻 ～1mmの赤褐色デフラ状粒が目立つ	ナデ・工具ナデ	破断面は粘土板を棒状に丸めたような痕跡がある	
288	132	19	土製品 ミニチュア壺	90	7/4にぶ黄橙	-(3.5)/1.4/重量13.5g	良好	精緻 土器と同じ	中実の体部に単節LRと沈線による山形文を施す 底面は平坦で自立する	土器で口縁部に当たる部分が凹んでいる	混入品か
288	132	20	弥生土器 小型脚台部	30	5/1褐灰～6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(0.8)/3.6?	良好	精緻	縦のヘラミガキ	ナデ	反転復元
288	132	21	弥生土器? 脚台部	20	7.5YR5/4にぶ褐／5YR5/4にぶ赤褐	-(1.7)/6.0?	良好 2次の可能性あり	密 ～1mmの砂粒・デフラ状粒が大量に混じり、まばらに5mm以上のシャモット状暗赤褐色粒が混じる	工具ナデ	工具ナデ	反転復元
289	135	1	弥生土器 鉢	25	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／10R4/4赤褐(赤彩)～6/4にぶ黄橙	21.4?/(6.2)/-	良好	精緻 砂粒はほとんど目立たない	ゆるく内湾する口縁を幅広く肥厚する 肥厚部：側面に単節RL・LR・RL・結節RS3個1組・単節LR・RL、下縁に布目を伴う工具による刺突文を施す	横の工具ナデ→口縁端部に布目を伴う工具による刺突文を施す→若干間隔を空けて赤彩・横のヘラミガキ	反転復元 混入品
289	135	2	弥生土器 鉢	15	5/3にぶ黄褐～5YR4/4にぶ赤褐／5/3にぶ黄褐～5YR4/4にぶ赤褐(赤彩)	18.6?/(2.5)/-	良好	精緻	内湾する口縁を断面垂直状に肥厚し、垂下部が追加される 肥厚部以下：赤彩・ヘラミガキ 肥厚部：垂下部に布目を伴う刺突文を施す	口縁端部に単節LRを施す 赤彩・ヘラミガキ	反転復元
289	135	3	土師器 壺	20	10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄橙／10R4/6赤(赤彩)～7.5YR5/4にぶ褐	-(7.5)/-	良好	精緻	明瞭に屈曲する直口と見られる口縁に残る 赤彩・丁寧なヘラミガキ	頸部屈曲直下に接合痕とシボリ痕が明瞭に残る ナデ→口縁部：赤彩・丁寧なヘラミガキ	反転復元 遺物注記は「213」号
289	135	4	弥生土器 甕	10	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/4にぶ橙／5YR5/4にぶ赤褐	-(4.3)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	附加条を伴う単節縄文(RLか)を多段施す	工具ナデ	拓本 非在地的な技法
289	135	5	弥生土器 壺	5	6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐／7.5YR6/4にぶ橙	-(2.9)/-	良好	精緻	単節LRによる複合山形文→結節RS2個1組による区画→斜方向の沈線で山形文を囲む	きつい工具ナデ(工具側縁で段が形成される)	拓本
289	135	6	弥生土器 バレス壺	5	6/3にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐(赤彩)／7/3にぶ黄橙	-(2.4)/-	良好	精緻 色調が非在地的	文様帯：斜行列点文(1.2cm幅の工具)→櫛描き直線文(4本/9mm以上)→列点文に赤彩	ヘラミガキ?	胎土と技法が非在地的

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
289	135	7	弥生土器 小型壺	30	7/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐／ 6/4にぶ黄褐～5YR6/6橙	-(7.6)/-胴径 9.0?	良好	精緻	器面が磨減している ハケメ (4本/5mm) →ナデ・ヘラミ ガキ?	ハケメ状の工具ナデ→ナデ	反転復元
289	135	8	弥生土器? 壺	20	6/3にぶ黄褐～7/4にぶ黄褐／ 7.5YR6/4にぶ橙～5YR5/4にぶ 赤褐	-(2.1)/8.0?	良好	密	体部：斜方向の単節RLもしくは擬縄 文	ヘラミガキ	反転復元
289	135	9	土師器? 甕	60	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄褐～ 黒(炭化物)／4/2灰黄褐～ 5/3にぶ黄褐	-(2.0)/7.7	良好 使用による 2次あり	密 ～2mmのデフ ラ状赤褐色粒 が目立つ	工具ナデ 部分的に炭化物が付着する	工具ナデ 黒変する	
289	135	10	土師器 甕	25	5YR4/4にぶ赤褐～7.5YR5/3に ぶ褐／2.5Y5/2暗灰黄～ 2.5Y5/1黄灰	-(2.5)/7.4?	良好 2次の可能 性あり	密	工具ナデ 赤変気味である	密なヘラミガキ 黒変する	反転復元
289	135	11	土師器? 底部	20	6/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐／ 6/3にぶ黄褐	-(3.6)/9.0?	良好	やや粗 ～1mmの砂 粒・反射する 砂粒が多く混 じる	工具ナデ→ヘラミガキ	全面が剥落する	反転復元
289	135	12	弥生土器 バレス 模倣壺	95	7.5YR6/6橙～10R4/6赤(赤 彩)／6/6明黄褐～7/4にぶ黄 橙～10R4/6赤(赤彩)	22.1/34.7/7.4/ 胴径31.1	良好	密 ～2mmの砂 粒・シャモツ 混じる	口縁部は一度外反してからゆるく立 ち上がり、端部を断面三角形に肥厚 する 頸部屈曲部には断面「へ」字状の凸 帯を貼り付ける 凸帯直下にはそれを切る形で、ハケ メ工具(あるいは櫛状工具)による 左下がりの列点文(最大幅2.5cm) が密接して施され、以下も上から順 に、約1.7cm幅の直線文(時計回 り)を2帯→最大幅3.5cmの山形文 (反時計回り)→約1.7cm幅の直線 文(時計回り)→最大幅3.5cmの山 形文(反時計回り)→約1.7cm幅の 直線文を2体(時計回り)→垂直に 近い左下がりの密な列点文、の一連 の文様帯が構成される 調整は、主に左上がりのハケメ(9 本/cm)→ナデ→赤彩・ヘラミガ キ、で、口縁部と底部付近に多く遺 存する。口縁部肥厚部下面に粘土を 充填した跡があるが、これはハケメ に乗るので、口縁部成形は体部ハケ メ後であることがわかる 口縁端部外面：3方均等配置の3個1 組の棒状浮文→体部と同じ工具によ る直線文(時計回り)→山形文を赤 彩(棒状浮文にあわせて山形文が描 かれ、それから赤彩される) 体部：山形文を赤彩→ボタン状円形 浮文を口縁部の棒状浮文のピッチの 間に来るように配置(山形文と赤彩 に円形浮文が乗る) 底面：ヘラミガキ 成形→ハケメ→口縁部棒状浮文・頸 部凸帯→文様帯→赤彩→体部円形浮 文の製作工程が考えられる	頸部屈曲はまるく甘い 口縁内面に明確な稜はない ナデ→ハケメ(8本/cm)→口唇以下 にハケメ状工具(櫛状工具)による 羽状列点文が施され、この文様の単 位ごとと頸部内面に赤彩が行われる (黒斑の範囲は発色せず) 頸部の赤彩はヘラミガキを伴うが、 疎らでハケメがよく残っている	東海東部地域の壺を 模倣した在地製の壺
289	136	1	弥生土器 甕	5	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄褐～ 3/2黒褐(煤)／6/4にぶ黄橙 ～7/4にぶ黄橙	17.8?/(3.3)/-	良好 使用による 2次あり	密	外反する口縁を平らに肥厚し、端面 1方向の刺突文を施す 工具ナデ	ナデ・工具ナデ	反転復元
289	136	2	弥生土器 甕	5	5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR5/4に ぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐～ 5YR5/6明赤褐	23.4?/(4.0)/-	良好 2次の可能 性あり	密 角閃石等の反 射微粒が目立 つ	斜めの工具ナデ→口縁端部：内外2 方向からの棒状工具による刺突文	外反する口縁に粘土紐をのせる形で 肥厚し、接合痕を残す ナデ・工具ナデ	反転復元
289	136	3	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	19.2?/(3.1)/-	良好	密	ゆるく外反する口縁に端面1方向の 刺突文を施す 体部：ナデ→縦のヘラミガキ	工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
289	136	4	弥生土器 甕	20	5/3にぶ黄褐～6/3にぶ黄褐～ 7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐 ～6/3にぶ黄橙	-(8.3)/-胴径 23.0?	良好 使用による 2次あり	密 ～1mmのバミ ス状浅黄橙粒 が目立つ	弱いくびれ部下端を段として残す 工具ナデ(くびれ部は部分的に接合 痕が残る)	工具ナデ→ヘラミガキ(単位が明 瞭)	反転復元
289	136	5	土師器? 甕	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	17.8?/(3.6)/-	良好 使用による 2次あり	精緻	口縁部：横のハケメ(7本/cm)→ヨ コナデ(口縁端部が若干丸く突出す る) 体部：斜めのハケメ	口縁部：横のハケメ→ヨコナデ 頸部屈曲は鈍い 屈曲以下：工具ナデ	反転復元
289	136	6	土師器 甕	5	4/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙／5/4 にぶ黄褐～5/2灰黄褐	18.6?/(3.2)/-	良好 使用による 2次あり	密	うすく炭化物が付着する ハケメ→口縁部：ヨコナデ	横のハケメ(6本/cm)→ヨコナデ	反転復元
289	136	7	弥生土器 壺	70	5YR6/6橙～7/4にぶ黄橙／ 5YR7/6橙～2.5Y7/2灰黄(剥 落部)	-(27.2)/7.2/胴 径26.4?	良好	非在地的 ～0.5mmの砂 粒多い	口縁部付近の剥落が進む ナデ・ヘラミガキが全面に施された 跡がある 肩部：上から、櫛描き直線文→波状 文→直線文→波状文を時計回りに施 す(一部、指圧痕のくぼみに工具の 届いていないところがある)	頸部屈曲はゆるい 口縁部と下半は剥落が進んでいる 肩部：縦のナデがよく残る	全体に薄手 器壁が3mm程度 遺存不良の状態は長 期間露出していたこ とを示すのか
289	136	8	弥生土器 二重口 縁壺	60	2.5Y7/3浅黄～10R5/6赤(赤 彩)／2.5Y7/3浅黄(口縁部) ～2.5Y4/1黄灰	17.9/28.5/6.8/ 胴径27.8	良好	非在地的 密 ～1mmの白色 砂粒多く含む	ハケメ状の工具ナデが全面に施され る(口縁直口部はケズリに近い) 口縁部の直口部より上側はヨコナデ で仕上げられる 頸部：赤彩が残存するのででは剥落 した可能性が高い	体部は剥落が進む 口縁部：ヨコナデ(口唇は若干面取 りされる)、他：ナデ	全体に薄手の作り 穿孔の有無は不明

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外/内	寸法 口/高/底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
289	136	9	弥生土器 小型器 台(高杯)	90	7/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙/ 6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	8.1/7.8/9.0	良好	精緻 砂粒が目立たない	口唇は面取りされるが、裾端部は丸くおさまる 細かいハケメ→縦ヘラミガキ→脚中に3方の円形透孔(径1.2cm)→赤彩(口唇と裾部だけ遺存) 受け部は若干内湾する	受け部：ヘラミガキ、粘土充填の痕がある 脚部：上位にシボリ痕、全体にナデ	内面調整は台成した
289	136	10	弥生土器 高杯	70	3/1黒褐(黒変部)～7.5YR6/6 橙/3/2黒褐(黒変部)	-(6.6)/10.5?	良好 2次の可能性あり	密 ～3mmの7.5YR7/6橙色テフラ状粒が多量に、シャモットがまばらに混じる	裾部：ヨコナデ→3方に円形透孔(径1.2cm)を穿つ→脚部：縦ヘラミガキ	脚柱部：横ヘラケズリ→以下：横の工具ナデ 脚柱上面の充填粘土塊が脱落した痕がある	被熱のためか全体が黒変している 胎土が特徴的
289	136	11	弥生土器 開脚高杯	5	10R4/6赤(赤彩)～6/4にぶ黄橙/7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/3にぶ褐	-(1.2)/22.8?	良好	精緻	端部付近が横、以上が縦のハケメ(6本/cm)→赤彩・ヘラミガキ(ハケメは消えていない) 裾端部は明瞭に面取りを行う	横のハケメ→ナデ・ヨコナデ	反転復元 14号器台と雰囲気がよく似る
289	136	12	弥生土器 高杯	15	10R5/6赤(赤彩)～7.5YR5/3にぶ褐/7.5YR5/3にぶ褐～2.5YR5/4にぶ赤褐	-(3.9)/-	良好	密	円形透孔を穿つ 赤彩・ヘラミガキ	横の工具ナデ	反転復元
289	136	13	弥生土器 高杯	90	2.5YR4/3にぶ赤褐(赤彩)～5YR4/2灰褐(黒変) / 2.5YR5/4にぶ赤褐(脚部赤彩)～6/4にぶ黄橙(上面)	-(4.0)/-	良好	精緻	縦のハケメ→径1.2cmの円孔3個を均等配置で穿つ→赤彩・ヘラミガキ	上面：ナデ(剥離痕か) 裾部：赤彩(研磨は伴わない様子)	
289	136	14	弥生土器 脚部	10	5/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙/6/4にぶ黄褐	-(4.5)/12.4?	良好 2次の可能性あり	精緻	裾部：断面方形に肥厚する 脚部：左上がりの工具ナデ→ヘラミガキ 肥厚部：上稜に角棒状工具による刺突文を施す	ナデ	反転復元
290	140	1	弥生土器 壺	10	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/4にぶ赤褐(赤彩) / 2.5YR4/6赤褐(赤彩)～5/4にぶ黄褐	19.2?/(2.6)/-	良好	密	外反気味の口縁端部を肥厚する 肥厚部下稜に板状工具による刺突文を施す 肥厚部以下：赤彩・縦のヘラミガキ	赤彩・ヘラミガキ	遺存不良 反転復元
290	140	2	弥生土器 広口壺	10	7.5YR6/4にぶ橙～6/4にぶ黄橙/7.5YR6/4にぶ橙	20.5?/(4.5)/-	良好	密	外反する口縁を肥厚し、下稜に木目状圧痕を伴う刺突文を施す 肥厚部以下：縦のヘラミガキ	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
290	140	3	弥生土器 壺	75	10R4/6赤(赤彩)～7.5YR5/4にぶ褐/2.5YR4/6赤褐(赤彩)～7.5YR5/4にぶ褐	13.2/(10.8)/-	良好	密 まれに～8mmの礫があるほか、～3mmのシャモットと黄灰ハミス状粒が目立つ	口縁部を肥厚するが、肥厚部下端は垂滴状に接合部を残す 頸部屈曲は丸めで稜はない 口縁部・体部：ハケメ(10本/cm)→口縁部肥厚→肥厚部：ハケメ→口唇部：ヨコナデで面を持つ、体部：赤彩・縦ヘラミガキ	体部：横のナデ(接合痕が頸部下に明瞭に残る)→口縁部：横ハケメ(10本/cm)→口縁部上位に赤彩の可能性あり	
290	140	4	弥生土器 バレス壺	5	6/4にぶ黄橙～黒斑/7.5YR5/4にぶ褐	-(3.1)/-	良好	密 まれに4mmの明赤褐色シャモット状粒が混じる	ハケメ(8本/5mm)櫛歯直線文1帯以上の下に木目を伴う板状工具による稜杉状斜列点文を1組以上施す	工具ナデ	技法は非在地的だが胎土は在地的 反転復元 注記は042号一括取り上げ
290	140	5	弥生土器 壺	20	5YR4/6赤褐～黒斑/7.5YR6/4にぶ橙	-(9.4)/-/胴径26.0?	良好	密 ～3mmの明黄褐色テフラ状粒が目立つ	工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ	横のハケメ(17本/1.6cm)	反転復元
290	140	6	弥生土器 甕	10	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙/6/4にぶ黄橙	20.7?/(3.1)/-	良好	密	輪積痕を頸部に残す 口縁端部：内外2方向	横のヘラミガキ	反転復元
290	140	7	弥生土器 甕	15	7.5YR6/4にぶ橙/6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	18.4?/(4.0)/-	良好 使用による2次あり	精緻	縦のハケメ(7本/cm)→ヨコナデ→口縁端部：内外2方向からの板状工具による刺突文	主に左上がりのハケメ	反転復元
290	140	8	弥生土器 甕	10	7.5YR6/6橙～7/4にぶ黄橙/6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4	19.3?/(3.3)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	縦のハケメ(7本/cm)→ヨコナデ 口縁端部は明瞭に面取りを行う	横のハケメ→ヘラミガキ	反転復元
290	140	9	弥生土器 甕	10	5/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐/5/4にぶ黄褐～5/3にぶ黄褐	-(3.7)/-	良好	密	工具ナデ 頸部屈曲は弱い	工具ナデ	反転復元
290	140	10	弥生土器 壺	5	2.5Y7/3浅黄/2.5Y6/2灰黄	-(4.7)/-	良好 強い2次あり	精緻	ナデ	単節RL・LR・RL→沈線	強い2次焼成で土器片が変形した可能性も考えられる
290	140	11	弥生土器 小型甕	15	5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐/2.5Y6/3にぶ黄	-(4.4)/-/胴径12.3?	良好 2次あり	密 ～1mmの明赤褐色テフラ状粒が目立つ	ハケメ→ヘラミガキ状の工具ナデ	ハケメ(6本/cm)	反転復元
290	140	12	弥生土器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐～5YR4/6赤褐/7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR4/2灰褐	-(10.3)/-/胴径22.2?	良好 2次の可能性あり	密 まばらに～2mmのシャモット状暗赤褐色粒が混じる	工具ナデ→頸部のみ横のヘラミガキ 頸部屈曲は弱い	横の工具ナデ→横のヘラミガキ	反転復元
290	140	13	弥生土器 高杯	30	7.5YR6/6橙～6/4にぶ黄橙/6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙	19.3?/(6.8)/-	良好	精緻	ハケメ(5本/cm)→密な縦のヘラミガキ 脚柱近くに不明瞭ながら稜が巡る 口縁端部は内面側が強く、外面に若干折れ出るかたちでヨコナデが施される	脚部：杯部底面から脚柱部に充填された粘土塊の接合状況がよく分かる 杯部：ハケメ→ヘラミガキ	反転復元
290	140	14	弥生土器 高杯	100	2.5YR4/6赤褐(赤彩)～6/4にぶ黄橙/10R4/4赤褐(赤彩・杯部)～5/3にぶ黄褐(脚部)	-(2.9)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が大量に混じる	結合部に凸帯を貼り付ける(指頭圧痕が残る) 凸帯上面以上に赤彩・ヘラミガキを施す	杯部：赤彩・ヘラミガキ 剥落が進む 脚部：ナデ	
290	140	15	弥生土器 脚部	20	7.5YR6/6橙/7.5YR6/6橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(2.3)/8.9?	良好	密	ハケメ(5本/cm)→ナデ	横のハケメ	小型甕口縁部の可能性もあり 反転復元
290	140	16	弥生土器 高杯	100	7.5YR7/4にぶ橙～5YR5/4にぶ赤褐(赤彩) / 6/3にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙(杯部)～7.5YR7/4にぶ橙	-(4.0)/-	良好	密	縦のヘラケズリもしくは工具ナデ→径1cmの円形透孔を3方均等配置で穿つ→赤彩・縦のヘラミガキ	杯部：工具ナデ→ヘラミガキ? 脚部：ナデ	

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
290	140	17	弥生土器 高杯	70	7.5Y5/4にぶ褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR5/3にぶ褐	-(4.0)/9.8	良好	密	ハケメ（5本/5mm）→径1cmの円孔を3方均等配置で穿つ→赤彩・縦のヘラミガキ	横の工具ナデ	
290	140	18	弥生土器 壺	20	5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄	-(3.0)/6.9?	良好	精緻	工具ナデ→ヘラミガキ（赤彩を伴う可能性あり）	ヘラミガキ	反転復元
290	140	19	土師器 甕	50	6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐／5/3にぶ黄褐	-(2.2)/7.7	良好 2次あり	密 ～1mmの砂粒・バミス状粒と～3mmのシャモット状暗赤褐色粒が目立つ	工具ナデ	ヘラケズリ状の工具ナデ	反転復元
290	140	20	土師器? 壺	25	7.5YR5/4にぶ褐～黒斑／3/1黒褐～5/3にぶ黄褐	-(3.5)/7.6?	良好 2次あり	密 ～5mmのシャモット状赤褐色粒が目立つ	工具ナデ	ハケメ（8本/cm） 底面付近はヘラケズリ状に掻き取られている	反転復元
1号 土壌	101	1	弥生土器 甕	75	4/1褐灰（煤）～5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～4/1褐灰（黒変）	17.0/20.4/6.6 ～7.3/胴径20.5	良好 使用による 2次あり	密 1mm以下の浅黄褐色バミス状粒が少量に混じる	底部から5cm以上の部位に煤が多く付着し、一部、最大径付近に明瞭な赤変がある くびれ下に段を形成 段部：口縁部につづく右上がりの工具ナデで不規則になでつけられる 口唇：側方・上方からの棒状工具による刺突が交互に施される 体部：横の工具ナデ→ヘラミガキ 底面形が楕円気味	横のナデ・工具ナデ 底面は一方方向のナデで仕上げられ特徴的	
1号 土壌	101	2	弥生土器 高杯	90	5YR6/6橙～5YR5/4にぶ赤褐～10R4/6赤（赤彩）／10R4/6赤（杯部赤彩）～5YR5/4にぶ赤褐（脚部）	-(5.4)/-	良好	密	屈曲部に凸帯を巻き付け、棒状工具による斜列点気味の刺突文を施す 体部：凸帯の少し上から赤彩・ヘラミガキを施す	杯部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：杯部底面裏が下向きに盛り上がる ナデ	一部反転復元
1号 土壌	101	3	弥生土器 鉢	90	7/4にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／10R4/4赤褐（赤彩）～7/4にぶ黄橙	14.1～ 14.7/10.1/5.6	良好	密	半球形の体部に平らに肥厚した口縁を持つ 肥厚部：4個1組の結節RSが2段、時計回りに施される→肥厚部下端に縄文原体（結節?）による刺突文が通る 体部：工具ナデ→赤彩・ヘラミガキ 底面：一方方向の工具ナデ（ヘラケズリ）	口唇：内傾する面を持ち。そこに単節LRが施される 以下：赤彩・主に横の密なヘラミガキ	
遺構外	148	1	弥生土器 複合口縁壺	15	10R5/8赤（赤彩）～6/3にぶ黄橙／7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）	-(3.6)/-	良好	密 ～2mmの角縁が若干混じる	内弯気味の1次口縁に外反して広がる口縁部を追加する 径1.1cmの竹管状工具による刺突を伴う円形浮文2個以上1組（おそらく4方均等配置）→赤彩・丁寧なヘラミガキ	赤彩（遺存不良）・ヘラミガキ	非在地的な形状 反転復元
遺構外	148	2	土師器 大型壺	15	5YR5/6明赤褐～7.5YR5/4にぶ褐／5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR5/4にぶ褐	-(5.4)/-径 12.8?	良好	密	縦のハケメ（9本/cm）→最少2個1組の円形浮文（径1.4cmで中央に径4mmの円形刺突を伴う）→疎らなヘラミガキ	横のハケメ→上位にヘラミガキ	反転復元 墳墓供献土器か
遺構外	148	3	弥生土器 壺	15	5YR5/4にぶ赤褐（赤彩?）～5/3にぶ黄褐～黒斑／5YR4/6赤褐～7.5YR5/4にぶ褐	9.9?/(3.7)/-	良好 2次の可能性あり	やや粗 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が大量に混じる	弱く外反する口縁を肥厚する 条線を伴う工具ナデ→赤彩?	条線を伴う工具ナデ→赤彩?	反転復元
遺構外	148	4	弥生土器 壺	20	7/4にぶ黄橙～6/4にぶ黄橙／7/4にぶ黄橙～6/4にぶ応答	13.8?/(2.5)/-	良好	密 ～3mmの暗赤褐色シャモット状粒がまばらに混じる	外反する口縁を断面垂滴状に肥厚する ナデ・工具ナデ→ヘラミガキ	剥落が進む	反転復元
遺構外	148	5	弥生土器 壺	10	5YR6/6橙～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/3にぶ褐	-(3.2)/-	良好	精緻	頸部下端に段部を持ち、そこに竹管状工具を横から刺したと見受けられる半月形刺突文を施す 以下：赤彩・ヘラミガキ	ナデ 屈曲以上：赤彩・ヘラミガキ	反転復元
遺構外	148	6	弥生土器 バレス模倣壺	10	2.5Y5/3黄褐～6/3にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）	13.6?/(2.2)/-	良好	密 白っぽく非在地的だがテフラ状赤褐色微粒が混じる	直線的な口縁を断面垂滴状に肥厚し、側面にハケメ工具状工具刺突による綾杉文を施す（上列を1周させたあと、下列を巡らせる） 肥厚部以下：ハケメ（7本/5mm）→ヘラミガキ?	口縁端部が若干上向き、ごく弱く内弯する口縁部を呈する 口縁端部から櫛もしくはハケメ状工具による斜列点（外→内、最大幅2.4cm）で綾杉文が構成される	反転復元
遺構外	148	7	弥生土器 壺	5	5/3にぶ黄褐～6/3にぶ黄橙／3/1黒褐	-(2.3)/-	良好	精緻	ごく細かいハケメ→櫛描直線文（8本/cm以上）→ヘラミガキ	ナデ	非在地的な技法
遺構外	148	8	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙／7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(3.0)/-	良好	精緻	櫛描波状文（8本/8mm）→ヘラミガキ	ナデ	非在地的な技法だが、胎土は在地的
遺構外	148	9	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐	-(3.1)/-	良好 2次の可能性あり	密	頸部屈曲に無文凸帯を巡らせる→櫛描き直線文（5本/5mm）	頸部に1cmほどの幅が巡る 屈曲以下は横ハケメ（7本/1cm）	反転復元 非在地的な技法
遺構外	148	10	弥生土器 壺	20	2.5YR4/6赤褐（赤彩）／7/4にぶ黄褐～2.5YR4/6赤褐（赤彩）	-(5.1)/-	良好	精緻 ～3mmのシャモット状暗赤褐色粒がまれに混じる	赤彩・ヘラミガキ	工具ナデ→頸部：赤彩	反転復元
遺構外	148	11	弥生土器 壺	5	7/4にぶ黄橙／5YR6/6橙	-(3.9)/-	良好	精緻	ハケメ（3本/5mm）→単位の不明瞭な櫛描直線文→櫛状工具刺突による可能性のある列点文	ナデ	非在地的な技法
遺構外	148	12	弥生土器 バレス模倣壺	5	7.5YR6/4にぶ橙～5YR6/6橙／5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙	-(1.9)/-	良好	精緻	細かいハケメ（7本/5mm）→櫛もしくはハケメ状工具刺突による斜列点文	ナデ	技法は非在地的だが胎土は在地的
遺構外	148	13	弥生土器 裝飾壺	15	7.5YR6/4にぶ橙／2.5Y5/2暗灰黄	-(2.5)/-	良好	精緻 ～3mmのシャモットが混じる	肩部：櫛状工具（8本/1cm）による波状文上→下→櫛描き直線文	細かい斜めのハケメ→ナデ	形状が東海以西の 反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
遺構外	148	14	弥生土器 裝飾壺	15	7.5YR7/6橙／2.5Y4/1黄灰	-(2.9)/-	良好	精緻 砂粒が目立たない	頸部：断面逆「へ」の字の凸帯貼り付け 凸帯直下：櫛状工具（7本/1.1cm）による波状文（段数・構成は不明）→円形浮文（径6mm）	剥落が進むナデ	形状が東海以西の反転復元
遺構外	148	15	弥生土器 バレス壺	15	7.5YR6/4にぶ橙～10R4/6赤（赤彩）／7/4にぶ黄橙	-(4.5)/-	良好	精緻 ～1mmの砂粒がまばらに混じる 非在地的？	肩部：6本単位の櫛描き直線文→櫛状工具の刺突による山形文→下段の櫛描き直線文→円形浮文複数貼り付け（径2.4cm、一つは剥離痕）→円形浮文と山形文に赤彩	横のナデ	反転復元 289-8の壺とよく似たつくりである
遺構外	148	16	弥生土器 バレス模倣壺	15	5YR6/6橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(1.9)/-	良好	精緻	頸部屈曲：丸めの断面形を持つ凸帯を巡らせる 体部：ハケメもしくは櫛描き直線文（4本/5mm）	ハケメ（5本/5mm）・ナデ	反転復元 東海東部模倣品
遺構外	148	17	弥生土器 バレス模倣壺	90	5YR5/6明赤褐（赤彩?）～7.5YR6/6橙／7.5YR6/4にぶ橙～5YR5/4にぶ赤褐	19.8/(6.6)/-	良好	非在地? 密 大きい砂粒は目立たない 反射するガラス質・雲母?微粒がやや多く混じる	口縁部：ハケメ→縦ヘラミガキ（赤彩を伴うかは不明） 口縁端部：断面三角形に肥厚（垂下口縁の下側に充填する形） 肥厚部外面：やや浅い縦凹線3条→横の刻みを2～3条伴う棒状浮文を15個はば均等に配置する 頸部：左傾する刻みを伴う断面U字形の凸帯が巡る	口縁部：にぶい屈曲から外反する断面形で、中間に稜を形成している屈曲から稜の少し上にかけては横のヘラミガキで仕上げられる 口縁端部から稜の近くまでに、外側から左傾→右傾→左傾→右傾→左傾の列点文が羽状に構成される屈曲は幅のあるにぶいもので、その下側に接合痕と指頭圧痕がある	ヘラミガキされた部分がやや赤く見えるが赤彩かどうかは不明 竹内陽明氏寄贈品 神門3号墳出土土器に酷似する
遺構外	148	18	弥生土器 壺	5	5YR6/6橙～10R4/4赤褐（赤彩）／5YR5/4にぶ赤褐	-(3.2)/-	良好	やや粗 ～1mmの砂粒・テフラ状粒・バミス状粒が大量に混じる	単節RL→単節RLの上に山形沈線を描き単位外を磨り消す→文様間：赤彩・ヘラミガキ	剥落	拓本
遺構外	148	19	弥生土器 広口壺	10	7/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(3.5)/-	良好	精緻	くびれ部下端に段部を持ち、上下に文様帯が伴う 段部：単節RL→縄文原体押圧による山形文→沈線→一段直下：単節LR	ナデ	拓本
遺構外	148	20	弥生土器 大型壺	5	7.5YR6/6橙～2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／5YR5/6明赤褐	-(6.6)/-	良好	密 ～1mmのバミス状粒・テフラ状粒が目立つ	単節RL・LR・RL・LR→横の沈線文→単節RL・LRによる山形文→山形文を沈線で囲む→文様間：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
遺構外	148	21	弥生土器 壺	10	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙～10R4/4赤褐（赤彩）／5/3にぶ黄褐	-(4.2)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・バミス状粒が多く混じり砂っぽい	沈線による菱形の格子文（山形文を充填する可能性がある）→文様外：赤彩・ヘラミガキ	ナデ	拓本
遺構外	148	22	土師器 壺	30	6/4にぶ黄橙～4/1褐灰／5YR5/4にぶ赤褐～4/2灰黄褐	-(13.2・3.3)/7.0/胴径26.6?	良好	精緻	工具ナデ→ヘラミガキ 底面外周が突出気味になる	底面付近：ハケメ（28本/1.9cm以上）→ナデ・横の工具ナデ（工具幅2.4cm以上）	注記なし 205号関連遺物か
遺構外	148	23	弥生土器 大型壺	25	7.5YR5/4にぶ褐～7.5YR6/6橙／5YR5/4にぶ赤褐～7.5YR4/4褐	-(7.3)/12.8?	良好	密 バミス状粒・テフラ状粒・暗赤褐色シャモット状粒が混じる	工具ナデ→ヘラミガキ	剥落が著しく器面はほとんど遺存しない	反転復元
遺構外	149	1	土師器 小型壺	10	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4にぶ褐	11.8?/(4.5)/-	良好	精緻	ハケメ（5本/5mm）→ヘラミガキ 口縁端部直下が若干盛り上がる	ハケメ→ヘラミガキ	反転復元
遺構外	149	2	弥生土器 壺	20	6/4にぶ黄橙～黒斑／10R4/4赤褐（赤彩）	13.6?/(3.8)/-	良好	密 ～1mmのバミス状灰白色粒が大量に混じる	ゆるく面のある端部を持ち直線的な口縁部を持つ 口縁端部：単節RL、側面：単節LR・RL・LR	赤彩・主に横のヘラミガキ	反転復元
遺構外	149	3	弥生土器 小型壺	70	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／5/2灰黄褐～6/3にぶ黄橙	-(1.9)/3.5	良好	精緻	工具ナデ	ナデ・工具ナデ	
遺構外	149	4	ミニチュア土器	95	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐～黒斑／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	5.9～5.3/3.9/5.4	良好	精緻	ナデ→口縁部直下にだけ左上がりのハケメ（6本/5mm）	ナデ（指頭の走行痕が明瞭） 口縁端部：内傾気味に弱く面取りが行われる	
遺構外	149	5	弥生土器 甕	10	5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙／5/3にぶ黄褐～7.5YR6/4にぶ橙	18.0?/(2.5)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	左上がりのハケメ（7本/cm）→口縁部：ヨコナデ、端部外面が面取られる	口縁部：横のハケメ→ヨコナデ	非在地的な形状 反転復元
遺構外	149	6	土師器 甕	25	5/3にぶ黄褐～7.5YR4/2灰褐／5YR5/4にぶ赤褐～5YR4/4にぶ赤褐	15.8?/(3.3)/-	良好 使用による2次あり	密	ハケメ（10本/cm）→口縁部：ヨコナデ	屈曲部以下もハケメ→口縁部：ヨコナデ	反転復元
遺構外	149	7	弥生土器 鉢・小型甕	10	5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐／5/4にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	10.4?/(5.2)/-	良好	精緻 ～3mmのシャモット状暗褐色粒がまれに混じる	ハケメ→口縁部：ヨコナデ→縦のヘラミガキ	口縁部：横のハケメ（8本/cm）→工具ナデ	反転復元
遺構外	149	8	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～4/2灰黄褐／5/3にぶ黄褐～3/1黒褐	-(3.0)/-	良好 2次の可能性あり	密	タタキもしくはタタキ状のハケメ（4本/cm）	ナデ	拓本
遺構外	149	9	弥生土器 甕	5	7.5YR5/4にぶ褐～6/4にぶ黄橙／5/3にぶ黄褐	-(2.4)/-	良好 2次の可能性あり	精緻	タタキもしくはタタキ状のハケメ（6本/1.5cm以上）	ハケメ（5本/5mm）	拓本
遺構外	149	10	弥生土器 甕	5	6/4にぶ黄橙～4/1褐灰（黒変）／7/4にぶ黄橙～3/1黒褐（炭化物）	-(5.5)/-	良好 使用による2次あり	精緻	タタキのような斜めのハケメ（5本/cm）	横のハケメ	拓本
遺構外	149	11	弥生土器 壺	5	7.5YR6/4にぶ橙～3/1黒褐（炭化物）／6/3にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	-(4.3)/-	良好 使用による2次あり	精緻	タタキのようなハケメ（5本/cm）→ヘラミガキ 炭化物が付着する	横の工具ナデ・横のハケメ	拓本
遺構外	149	12	弥生土器 甕	20	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐～黒斑／6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐	21.1?/(9.0)/-	良好 使用による2次あり	精緻	緩い頸部屈曲を示す 頸部には粘土紐接合痕を残すがほとんどナデ消されている 工具ナデ 口縁端部は刺突文が施されている可能性がある	工具ナデ→ヘラミガキ	反転復元

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
遺構外	149	13	弥生土器 器台	100	2.5YR5/6明赤褐（赤彩）／ 2.5YR5/6明赤褐（赤彩・受部） ～7.5YR6/6橙（脚部）	-(4.4)/- 3.1	良好	精緻	赤彩・縦のヘラミガキ 径1cm程度の円孔を3方均等配置で穿つ	脚柱に縦の貫通孔が穿たれる 受部：赤彩・ヘラミガキ 脚部：ナデ・指頭圧痕	
遺構外	149	14	弥生土器 器台	70	7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐 ／7.5YR5/4にぶ褐～5YR5/3に ぶ褐	-(3.3)/-	良好	密 ～1mmの砂粒・テフラ状粒が目立つ	ハケメ状の工具ナデ→ヘラミガキ 円形透孔を穿つ	脚柱上面にすり鉢型に広がる貫通孔を穿つ 受部：ヘラミガキ 脚部：ナデ	一部反転復元
遺構外	149	15	弥生土器 高杯	30	10R4/4赤褐（赤彩）～ 7.5YR6/4にぶ橙／4/2灰黄褐 （上面剥離部）～6/4にぶ黄橙 （脚部）	-(2.0)/-	良好	密 ～2mmのテフラ状粒が目立つ	径約1.7cmの円孔をおそらく4方配置で穿つ→赤彩・縦のヘラミガキ	脚柱上面は剥離している 脚部：ナデ	透孔の大きさと位置が特徴的 反転復元
遺構外	149	16	弥生土器 高杯	20	7/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙 ～黒斑／6/3にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(4.0)/9.9?	良好	密 ～1mmの赤褐色テフラ状粒が目立つ	ハケメ→ヘラミガキ 円形透孔を2箇所以以上穿つ（4方配置の可能性あり）	ハケメ（7本/cm）	反転復元
遺構外	149	17	弥生土器 台付甕	80	5YR5/4にぶ赤褐～6/4にぶ黄橙 ／6/4にぶ黄橙（体部）～ 5YR5/4にぶ赤褐～6/4にぶ黄橙 （脚部）	-(3.8)/-	良好 使用による2次あり	密 反射するもの の多い砂粒が目立つ	ハケメ（8本/cm）	体部：蜘蛛の巣状のハケメ ナデ	
遺構外	149	18	弥生土器 脚台甕	70	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／5/2 灰黄褐（杯部）～5YR5/6明赤 褐（脚部）	-(4.2)/-	良好 2次の可能性あり	密 ～3mmの赤褐色テフラ状粒が 大量に混じる	ハケメ（3本/5mm）→ナデ 被熱のためか黒変する部分が多い	杯部：工具ナデ？ 脚部：横のハケメ・工具ナデ 脚柱下面に粘土充填痕が認められる	反転復元
遺構外	149	19	弥生土器 裾部	20	4/1褐灰（黒斑）～7/4にぶ黄 橙／6/3にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(3.5)/13.6?	良好	精緻	ナデ→縦の疎らなヘラミガキ 裾端部は若干上に押し上げられた面を持つ	横の工具ナデ	反転復元
遺構外	149	20	弥生土器 高杯	60	7.5YR5/4にぶ褐～2.5YR4/4に ぶ赤褐（赤変）／7.5YR5/4に ぶ～2.5YR4/4赤褐にぶ（赤 変）	-(8.1)/9.8?	良好 2次あり	密	蓋状に脚部を形成し、その頂部の 周りに巻くように杯部をつくる 脚部：径1.4cmの円形透孔を3方に穿 つ→脚部：縦ヘラミガキ	杯部内面にゆるい屈曲がある 裾部：端部が丸く肥厚される 縦方 向のシボリ痕がうすく残る 天井部：粘土充填痕	被熱のためか部分的 に黒変する
遺構外	149	21	土師器 大型鉢	70	10R4/4赤褐（赤彩）～黒斑／ 10R4/4赤褐（赤彩）～黒斑	22.0?/14.1?/なし /胴径14.2?	良好	精緻	左上がりのハケメ（8本/cm）→ナデ →赤彩・ヘラミガキ	ハケメ→ナデ・ヨコナデ→赤彩・ヘ ラミガキ	反転復元
遺構外	149	22	弥生土器 甕	80	6/4にぶ黄橙／7.5YR5/4にぶ褐	-(1.6)/5.2	良好	密 まばらに～ 3mmのシャ モット状赤褐 色粒が混じる	底面の中央が凹み、ドーナツ状を呈 する 輪台技法によるものか	ナデ	一部反転復元
遺構外	149	23	弥生土器 壺	30	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／ 4/1褐灰～5/2灰黄褐	-(2.2)/8.0?	良好	密 ～2mmのテフ ラ状粒が目立 つ	縦のハケメ（7本/cm） 底面：中央が凹んでいる、葉脈圧痕 が認められる	ハケメ・ナデ	非在地的な形状 反転復元
遺構外	149	24	弥生土器 壺	100	5YR4/6赤褐（赤彩）～ 7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR5/4に ぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐	-(1.8)/7.8?	良好	密 テフラ状微 粒・ハミス状 微粒が多く混 じる	赤彩・ヘラミガキ	剥落	
遺構外	149	25	土師質 鉢	95	7.5YR6/6橙／7.5YR6/6橙	20.4/14.8～ 16.2/12.1	良好	密 まばらに～ 3mmのシャ モット混じる	右上がり気味の縦のヘラズリ→底 部付近の横ヘラズリ→口縁部：ヨ コナデ	横工具ナデ→ヨコナデ	14世紀ごろの蔵骨器 か
遺構外	149	26	ロクロ土師器 杯	100	8/4浅黄橙／8/4浅黄橙	12.7/4.6/7.4	良好	精緻 まれに～3mm のシャモット 状赤褐色粒混 じる	ヨコナデ 底面：回転系切り無調整	ヨコナデ	出土位置記録なし
遺構外	149	27	ロクロ土師器 杯	20	5YR6/6橙～2.5YR6/8橙／ 2.5YR6/8橙	12.8?/3.5/6.5?	良好	精緻	ロクロメ 底面：ナデ	ロクロメ	磨滅が著しい
遺構外	150	1	縄文土器 深鉢	30	7.5YR5/4にぶ褐～5YR4/6赤褐 ～黒斑／4/2灰黄褐（黒変部） ～5YR4/6赤褐	34.0?/(21.4)/-	良好 使用による2次あり	密 ～3mmの礫混 じる	口縁部が内湾するように拡張される 口縁は弱い波状を呈し頂部がおそらく 4箇所に均等配置されている 口縁部：口縁直下に2条の太い沈線と その間にある隆帯による文様を描かれ る 文様は横走する沈線が頂部ごと に交差する構成で区画内には単 節RL横回転が施されている 胴部：口縁部文様帯の下限にある横 沈線から下に沈線・単節RLが縦方向 に施される 縦縄文帯とミガキが左 右交互に配置される	口縁部より4cm以下の器面が剥落・ 黒変しており、煮沸用途の使用痕を 示している	加曽利EII式 出土遺構不明 反転復元
遺構外	150	2	縄文土器 深鉢	5	5YR4/3にぶ赤褐～7.5YR4/2灰 褐／5/3にぶ黄褐～4/2灰黄褐	-(5.8)/-	良好 使用による2次あり	密	燃糸文を密に施文する	器面の荒れが進む	燃糸文系 拓本
遺構外	150	3	縄文土器 深鉢	5	2.5Y8/4淡黄～2.5Y7/4浅黄／ 2.5Y7/4浅黄～7/4にぶ黄橙	-(7.2)/-	良好	密	口唇に無節圧痕→以下：無節縦回転 施文	横の工具ナデ・ミガキ	燃糸文系 拓本
遺構外	150	4	縄文土器 深鉢	5	2.5Y5/2暗灰黄～6/4にぶ黄橙 ／5/3にぶ黄褐	-(5.4)/-	良好 2次あり	密	やや粗い単節RLを重畳して施文	器面が荒れている	燃糸文系 拓本
遺構外	150	5	縄文土器 深鉢	5	2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y5/2暗灰 黄／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄 橙	-(4.5)/-	良好 2次あり	密	やや粗い単節RLを重畳して施文	ミガキ？ 器面が荒れている	燃糸文系 拓本
遺構外	150	6	縄文土器 深鉢	5	5/2灰黄褐～6/4にぶ黄橙／6/4 にぶ黄橙～5/2灰黄褐	-(4.6)/-	良好 2次あり	密	口縁部無文 以下：細密燃糸文を疎らに施す	器面が荒れている	燃糸文系 拓本
遺構外	150	7	縄文土器 深鉢	5	6/4にぶ黄橙～6/3にぶ黄橙／ 6/4にぶ黄橙～7/4にぶ黄橙	-(4.0)/-	良好 2次あり	精緻	口縁部直下から間隔の開いた斜方向 の沈線が施される	口縁端部が外面に屈曲する ミガキ	沈線文系 拓本
遺構外	150	8	縄文土器 深鉢	5	6/4にぶ黄橙～5/2灰黄褐／ 2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y5/1黄灰	-(3.3)/-	良好	密	2本1組の集合沈線	口唇内削ぎあり	沈線文系 拓本
遺構外	150	9	縄文土器 浅鉢	30	6/4にぶ黄橙～2.5Y6/3にぶ黄 ～黒斑／6/3にぶ黄橙～ 7.5YR5/4にぶ褐	14.8?/4.6?/6.0?	良好	精緻	横方向に展開する2本描きの雑な沈 線意匠文が施される	ミガキ	浮島式 反転復元・拓本
遺構外	150	10	縄文土器 深鉢	5	2.5Y7/4浅黄～6/4にぶ黄橙／ 2.5Y7/4浅黄	-(3.7)/-	良好	精緻 反射微粒が目 立つ	刻みの加えられる隆帯縦区画があり、 その左右に木葉状沈線文が横向き に展開する	横のミガキ	浮島式 拓本
遺構外	150	11	縄文土器 深鉢	5	5/4にぶ黄褐～2.5Y6/3にぶ黄 ／5/3にぶ黄褐～6/4にぶ黄橙	-(7.1)/-	良好 2次あり	密 やや砂っぽい	口縁直下から単節縄文上に4本描きの 横方向の集合沈線文を重畳させる	器面の荒れが進む	諸磯式 拓本

遺構番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
遺構外	150	12	縄文土器 深鉢	5	5/3にぶ黄褐～5YR5/4にぶ赤褐／2.5YR4/6赤褐～5YR4/4にぶ赤褐	-(4.1・6.0)/-	良好 2次あり	密 反射微粒が目立つ	2本描き沈線の口縁部沈線文区画帯がある 以下は単節縄文	ミガキ	諸磯式 拓本
遺構外	150	13	縄文土器 深鉢	5	2.5Y7/4浅黄～2.5Y6/4にぶ黄／2.5Y7/4浅黄～2.5Y6/4にぶ黄	-(5.1)/-	良好	精緻	口縁無文帯に縦端沈線が加えられる 以下、集合沈線間に交互刺突状の彫刻が施される	口縁端部直下に稜を持つ	五領ヶ台式 拓本
遺構外	150	14	縄文土器 深鉢	10	5/3にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐／2.5Y5/1黄灰～2.5Y5/3黄褐	-(4.0)/-	良好	精緻	沈線区画内に交互刺突・連続刺突文 半截竹管状工具による	波状の口縁部が若干肥厚される ミガキ	五領ヶ台式小型土器 拓本
遺構外	150	15	縄文土器 深鉢	5	2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y7/4浅黄／6/4にぶ黄橙	-(4.5)/-	良好	精緻	波状口縁 無節Lの上に結節RS縦回転を施す	口縁端部直下に稜を持つ ミガキ	五領ヶ台式波状口縁 深鉢 拓本
遺構外	150	16	縄文土器 深鉢	5	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／6/4にぶ黄橙	-(5.5)/-	良好	精緻 雲母粒が明瞭に多い	口縁端部が外側に玉縁状に引き出される 口縁端部と少し間隔を置いて縦刺突文（1.2cm）を巡らせる	横のミガキ	阿玉台式 拓本
遺構外	150	17	縄文土器 深鉢	5	2.5Y6/3にぶ黄～6/4にぶ黄橙／2.5Y6/3にぶ黄～2.5Y6/4にぶ黄	-(5.5)/-	良好 2次あり	密	波状口縁波頂部 Y字状隆帯区画内に沈線充填 隆帯上口縁側に長い刻み、垂下部に短い刻み	口縁部に2本隆帯が巡る ミガキ	中期前葉？ 拓本
遺構外	150	18	縄文土器 深鉢	5	5 YR3/3暗赤褐～5YR4/3にぶ赤褐／2.5YR4/3にぶ赤褐～2.5YR3/3暗赤褐	-(7.9)/-	良好 2次あり	密	キャリバー形 頸部無文帯をを持つ 複節LRL横施文	ミガキ	加曾利E式前半 拓本
遺構外	150	19	縄文土器 深鉢	5	7.5YR6/4にぶ橙～7.5YR6/6橙／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	-(4.4)/-	良好	密	連弧文系もしくは意匠充填系 口縁下に2列の円形刺突文列が巡らされる 沈線区画内に縄文を充填する	器面が荒れている	加曾利E式前半 拓本
遺構外	150	20	縄文土器 深鉢	5	7.5YR4/3褐～6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙～5/4にぶ黄褐	29.0?/(7.2)/-	良好 使用による 2次あり	密	黒変・赤変が認められる 口縁直下が幅広の沈線 上にくぼみ微隆帯がつくり出される 区画以下：単節RL横回転	横の工具ナデ（条線が残る）→ヘラミガキ	加曾利E式後半 拓本
遺構外	150	21	縄文土器 深鉢	5	2.5Y6/4にぶ黄～7.5YR5/4にぶ褐／6/4にぶ黄橙～7.5YR5/4にぶ褐	-(3.9)/-	良好	密	口縁端面に沈線文、口縁無文帯下に沈線区画・垂下沈線が施される 沈線区画の交点に円形浮文が貼り付けられ、中心に円形刺突が加えられる	口縁端部に1cmほどの間隔をとり、 沈線が巡らされる	堀之内式 拓本
遺構外	150	22	縄文土器 深鉢	5	7.5YR4/2灰褐～4/1褐灰／5YR4/3にぶ赤褐～5/3にぶ黄褐	-(5.0)/-	良好 2次あり	密	波状口縁で外稜に刻み目状の刺突文を巡らせる 沈線区画内沈線充填	ミガキ	加曾利B式 拓本
遺構外	150	23	縄文土器 深鉢	5	2.5YR5/6明赤褐～6/4にぶ黄橙／7.5YR5/3にぶ褐～2.5YR4/4にぶ赤褐	-(3.4)/-	良好	精緻	口唇外面に高い紐線 体部縄文上に横の条線が加えられる	口縁付近に太い沈線が描かれる ミガキ	加曾利B式 拓本
遺構外	150	24	縄文土器 深鉢	5	5/3にぶ黄褐～4/1褐灰／5/2灰黄褐	-(4.4)/-	良好 2次の可能性あり	密	帯縄文系波状口縁 口唇上に沈線を施す 口縁部：沈線以上に単節LRを施す	ミガキ	径7mmの補修孔が 貫通している 晩期安行式 拓本
遺構外	152	1	土器片 鉢	100	7.5YR5/3にぶ褐～5YR5/4にぶ赤褐／5YR5/4にぶ赤褐	長軸5.0/短軸4.2/厚さ1.0/重量24.7g	良好	密	単節RL縦回転 長軸の両端に割り込みが入れられている	ミガキ	混入品
遺構外	152	2	土製円板（土器片転用）	100	7.5YR5/4にぶ褐／7.5YR4/3褐	長軸3.4/短軸3.3/厚さ1.1/重量13.4g	良好	密	側縁破断面が磨滅する 不明瞭ながら割り込みが1箇所確認できる	－	混入品か
遺構外	152	3	土器片転用砥石	50	6/4にぶ黄橙／5/4にぶ黄褐	長軸（5.3）/短軸（3.4）/厚さ0.9/重量（12.2g）	良好	精緻	元の器面はヘラミガキ 利器を研いだかに見える3条の深い条痕があり、破断面の1辺は磨れて平滑になっている	ハケメ（9本/cm）	元は壺形土器の破片化
遺構外	152	5	埴輪	5	8/3浅黄橙～7/3にぶ黄橙／8/3浅黄橙～6/3にぶ黄橙	高さ（5.9）/厚さ1.1	良好	密 シャモット状 暗赤褐色微粒・角閃石状微粒が混じる	縦のハケメ（18本/2.5cm以上の幅）	横のハケメ	混入品
遺構外	152	6	土器片 鉢	100	2.5Y7/4浅黄～2.5Y5/2暗灰黄／2.5Y5/2暗灰黄～2.5Y5/3黄褐	長軸6.9/短軸6.8/厚さ1.2/重量75.6g	良好	密 ～1mmの砂粒が多い 雲母状の反射粒が目立つ	長軸両端に切れ込みがある	－	阿玉台式土器口縁部 片の転用
遺構外	152	7	埴輪 形象埴輪	5	6/4にぶ黄橙／6/4にぶ黄橙	-(5.9)/-	良好	精緻 大きい砂粒が目立たない	ハケメ→ナデ 径2cm程度の円形透孔が5cm間隔で2箇所穿たれる	横のハケメ（6本/cm） 接合痕が残る	形象埴輪形象部か 拓本
遺構外	152	8	埴輪 形象埴輪	5	5YR5/4にぶ赤褐／5YR5/4にぶ赤褐	長軸6.5/短軸3.2/厚さ1.2	良好	密	ナデに直線的で角張った面取りが施される	ハケメ（5本/cm）	形象埴輪形象部か 拓本
遺構外	152	9	縄文土器？ 深鉢	40	3/1黒褐～5/2灰黄褐／6/3にぶ黄橙～4/1褐灰	-(3.1)/8.0?	良好 使用による 2次あり	精緻 微小反射粒が目立つ	無節Lによる燃糸文 黒変・炭化物の付着が認められる	ナデ・ヘラミガキ	反転復元・拓本 非在地的な弥生土器の可能性あり
加茂C	参考	1	弥生土器 壺	60	6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐～黒灰／6/4にぶ黄橙～7.5YR6/4にぶ橙	12.9/(17.2)/- 胴径22.0	良好	密 ～1mmのテフラ状粒が大量に混じる	外反する口縁部を断面垂滴状に肥厚し、ヨコナデで仕上げる 口縁部：頸部下端屈曲に沈線を巡らせる 口縁肥厚部を除き、全面緻密なヘラミガキが施される（6本/5mmのハケメ状の条線が見られる箇所もあるが、ハケメの存否は不明）	口縁部：頸部屈曲以上に横のヘラミガキを施す（ハケメ状の条線が一部に残る） 体部：ナデ・工具ナデ	在地的な形状だが、 無文である点は異質である
加茂C	参考	2	弥生土器 鉢	90	3/1黒褐～7.5YR5/4にぶ褐～5/3にぶ黄褐／5/3にぶ黄褐～5/4にぶ黄褐～3/2黒褐	20.3～ 20.8/7.3/6.8	良好 2次の可能性あり	精緻	やや内弯気味に大きく開く素口縁の端部を持つ ナデ・ヨコナデ→赤彩（ほとんど遺存しない）・密なヘラミガキ	杯部底面に若干平面がある ハケメ（4本・5mm以上）？→赤彩（ほとんど遺存せず）・密なヘラミガキ	一部反転復元
加茂C	参考	3	弥生土器 高杯	70	10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～5/3にぶ黄褐／10R4/6赤（赤彩）～6/4にぶ黄橙～7.5YR6/6橙（杯部）～6/4にぶ黄橙（脚部）	18.3/15.0/9.6	良好	密 ～1mmのテフラ状粒が混じる	杯部は碗形を呈し、くの字に短く外反する口縁端部を持つ 全体が赤彩され、密にヘラミガキされる	口縁端部の屈曲は鋭くなく、端部は外反から内弯まで微妙にゆらぐ 杯部底面中央は丸くくぼむ 杯部：赤彩・横のヘラミガキ 脚部：裾部は折り返し状に肥厚される ナデ	非在地的な形状だが、 胎土は在地的である

遺構 番号	図	番号	種別	遺存	色調 外／内	寸法 口／高／底	焼成	胎土	外面の特徴	内面の特徴	備考
根田代	152	4	土師器 S字甕	5	2.5Y8/3淡黄／2.5Y7/3淡黄	-(2.9)-	良好	密 大きい砂粒は ほとんどない 色調が非在地 的	縦ハケメ（7本/cm）→横方向の櫛描 直線文（もしくはハケメ）	ナデ	根田代遺跡遺物 ごく薄手のつくり 胎土が非在地的